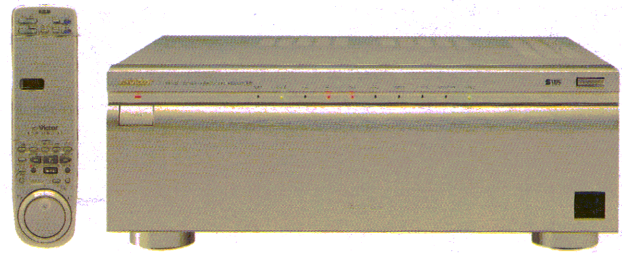
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

先進の個性

デジタルオーディオ搭載BS内蔵
S-VHSビデオカセットレコーダー

HR-Z1
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この説明書の本文はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

もくじ

はじめに

見る

録る

タイマー予約

衛星放送・デジタル音声を楽しむには

便利な使いかた

ビデオ編集

設置

その他

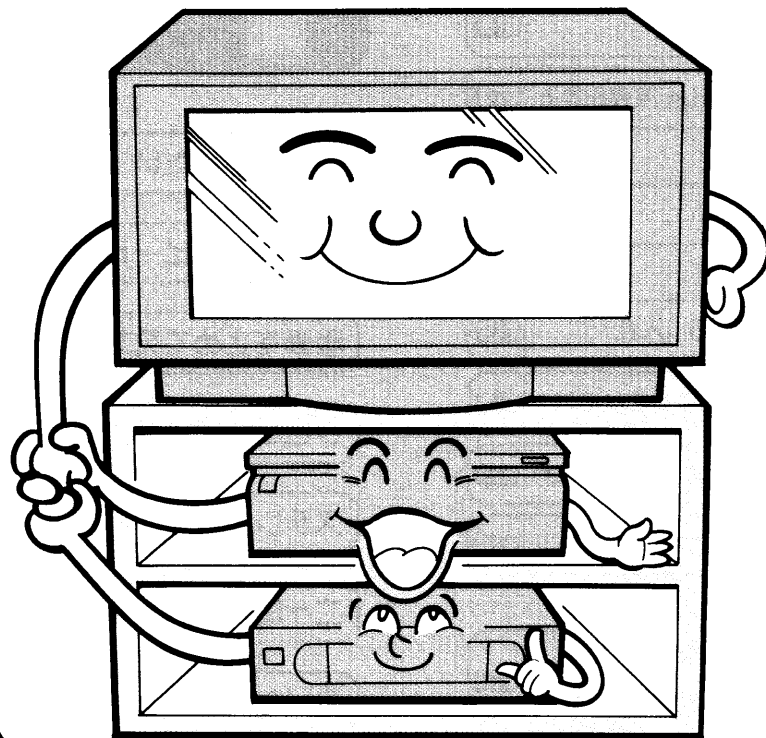
おもな特長 今新たにBS新時代の幕をあけようとしています。ビクターデジタルオーディオ対応ビデオでピュアー

深層高周波バイアス記録方式で記録
デジタルオーディオ対応のビデオ

ワイドアスペクトTVに対応
16：9オートワイドシステム

AIナチュラルカラーシステム採用
デジタルカラープロセッシング

センダストHD（ハイディフィニッション）ヘッド採用
新開発長時間モード専用ヘッド

なデジタルサウンドとワイドな画面をお楽しみください。

テープの特性に合わせて録画
オートキャリブレーション

MIG(ミグ)型センダストデジタルオーディオヘッド採用
新開発オーディオ専用ヘッド

高比重のコンポジットプラスチック採用
高比重ハニカムシャーシ

制振・静音にすぐれた
新開発トリプルサスペンション構造大型インシュレーター

録画したい

編集したい

サーチしたい

AV 用語でページをさがすには 133 ページをご覧ください。

接続マップ

内のページにくわしい説明があります。

衛星放送を見るために

右のページへ

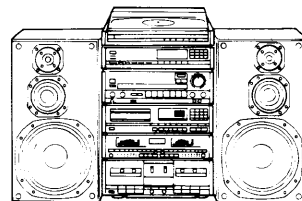
左のページより

ハイビジョン放送を見たい

AVテレビをお持ちのかた 106

BSチューナ内蔵テレビをお持ちのかた 108

横長画面（16：9）で見たいかた 110

AV機器との接続

当社製AV機器との連携プレーをするために 94

デジタルアンプで楽しみたい 56

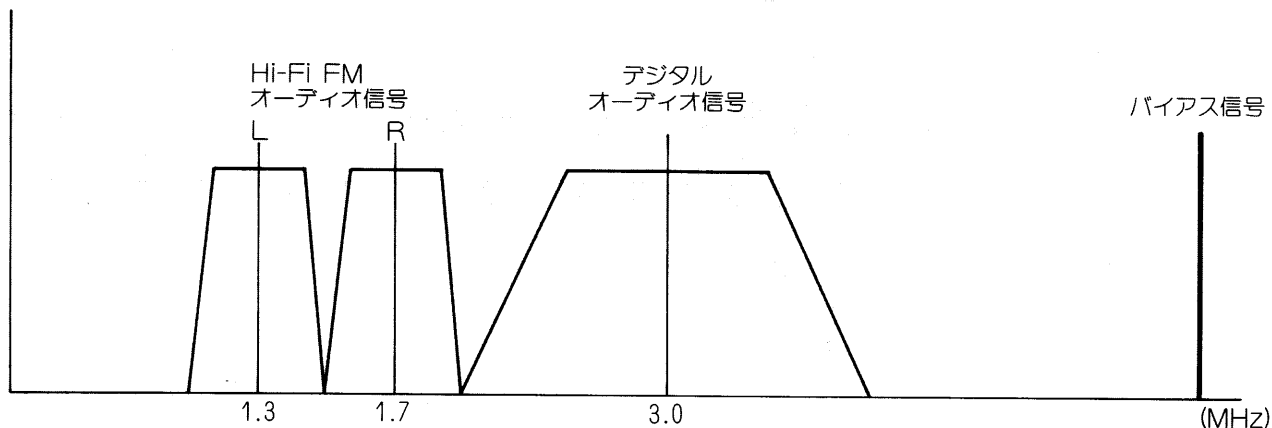
プロジェクターで横長画面を楽しみたい 90

技術解説

S-VHSデジタルオーディオ技術の主な特長

デジタル音声の記録方式について

この記録方式はハイファイ音声用のヘッドを使用してテープ深層部に周波数多重方式でデジタル音声を記録します。デジタルオーディオ信号の音声信号周波数アロケーションについては、FM音声キャリアの1.7 MHz以上の空いている帯域に3 MHzのキャリア(±1 MHzの帯域)でデジタル音声を記録します。デジタル音声の変調方式についてはO-QDPSK(オフセット・クァドラ・ディファレンシャル・フェイズ・シフト・キーイング)変調方式を採用しています。デジタルパラメーターについては衛星放送のA.Bモードに対応させた48 KHz/16ビット直線/2チャンネルと32 KHz/12ビット非直線/4チャンネルの2種類あります。衛星放送からの直接デジタル記録が可能です。本機ではデジタル音声を高周波バイアス方式で記録していますのでおよそ11 MHz付近の帯域にバイアス周波数が設定されています。

音声信号周波数アロケーション

デジタルオーディオ仕様

記録方式	深層高周波バイアス記録方式	
チャンネル数	2ch	4ch
サンプリング周波数	48 KHz	32 KHz
量子化ビット数	16 bit 直線	12 bit 非直線
変調方式	O(オフセット)-QDPSK	
キャリア周波数	3MHz(±1MHz)	
データレート	2.62 MBPS	
訂正方式	二重リード・ソロモン符号	
使用ビデオカセット	DAマーク付S-VHSビデオカセット	

左記の表はS-VHSデジタル音声方式の仕様です。リニアオーディオ及びHi-Fi FMオーディオの記録については従来通りです。

S-VHSデジタルオーディオを支える新技術

新開発センダストデジタルオーディオヘッド

スーパーVHSの新技術とデジタルオーディオシステムのために新たに開発されたMIG（Metal In Gap）型ヘッドの採用により、従来のHi-Fiオーディオと両立してデジタルオーディオの高音質化を実現します。MIG型ヘッドは初めに深層部に書き込まれたオーディオ信号が、次に書き込まれる映像信号によって消されにくくするための技術を搭載しています。

16：9オートワイドシステム

MUSE-NTSCコンバータからの圧縮（スクィーズ）されたハイビジョン放送をテープ上に記録する際フルモード用パイロット信号を同時に記録します。この信号を再生時に自動検知し、ワイドアスペクト対応テレビを制御することにより、16：9のワイド画面が簡単に楽しめます。

オートキャリブレーション

より良い音声と画質を得るために、使用テープに合わせて記録レベルをマイコン制御で最適化する機能です。キャリブレーション信号を記録、そして再生して、再生映像信号レベルと再生FMオーディオ信号とデジタルオーディオ信号の信号レベル、そしてデジタル音声信号からのエラーレートにより記録レベルを調節します。S-VHSの標準・3倍、VHSの標準・3倍、SテープをVHSモードで使用した場合の標準・3倍それぞれで調節します。

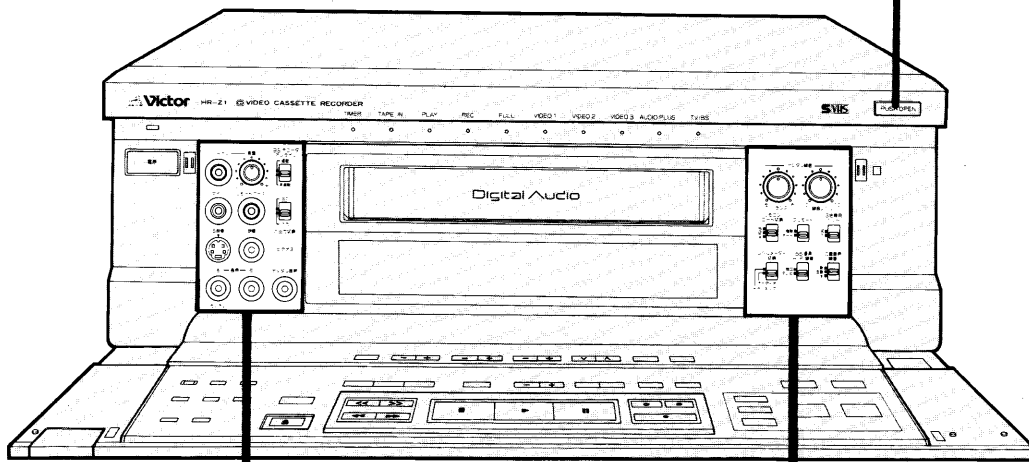
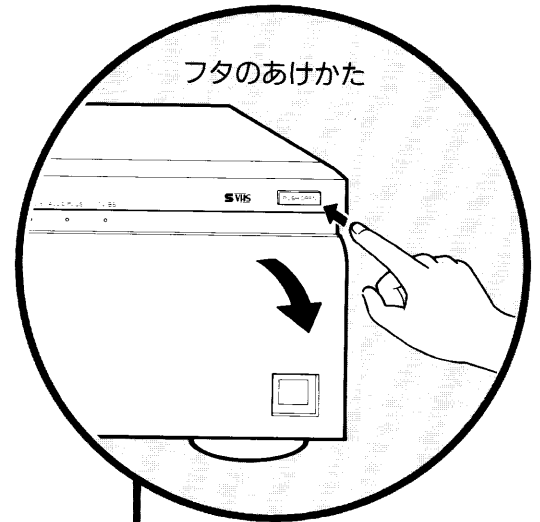
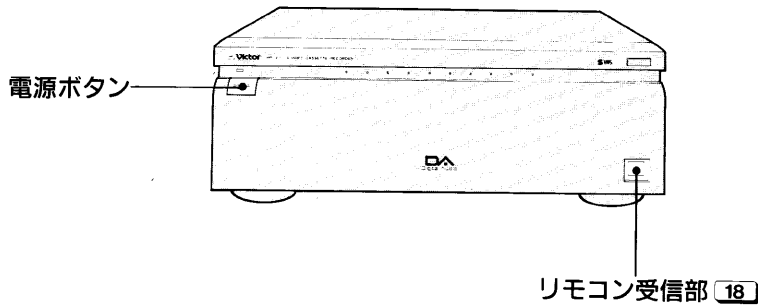
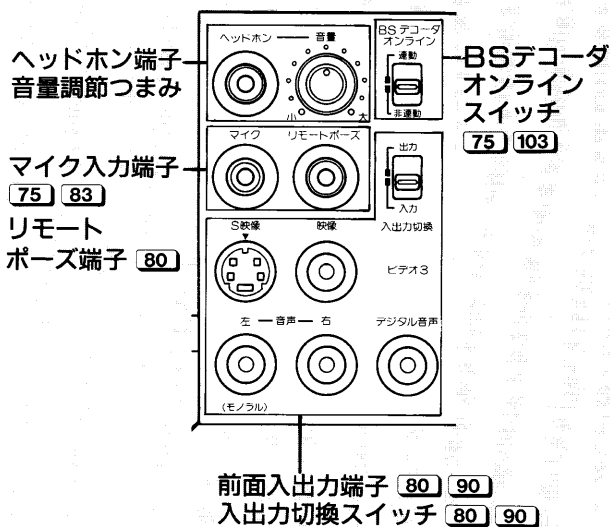
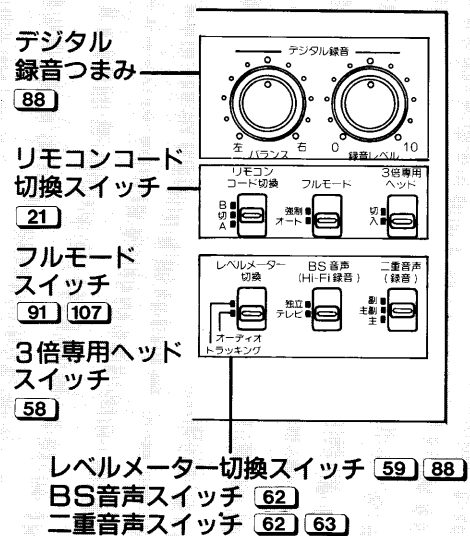
デジタルカラープロセッシング

デジタル処理でカラーノイズを抑える働きをします。大きく分けて3次元デジタルCNR、2次元デジタルCNR、AIナチュラルカラーシステム、再生色ダレ補正の４つの信号処理回路から構成されています。

・3次元デジタルCNRはフィールドメモリーを用いた巡回型の色差処理を行ないます。この処理によりフィールドの平均化で大面積のフリッカーやヘッドのチャンネル間のレベル差のバラツキ補正を効果的に行うことができます。
・2次元デジタルCNRはラインメモリーを使ったNR（ノイズリダクション）です。従来のアナログCNRをデジタル化することで、より精度の高い補正を可能にしました。
・AIナチュラルカラーシステムはCRIをデジタル化したものです。CRI、パルス波形改善、細かい濃淡の復元、ノイズキャンセルなどの機能を持ちます。
　Yの微分値、Cの微分値、Cのレベル情報で大容量ROMに納められた補正最適処理を選択して、補正を行います。
・再生色ダレ補正はY/C分離用の3ラインデジタルロジカルコムフィルターを使うことにより補正しています。

各部のなまえ

▭内の数字が参照ページです。

〔本体前面〕

〔本体背面〕

BSデコーダ用コンセント 102

（背面端子）

電話予約端子 95
AVコンピュリンク端子 94
リモートポーズ端子 80

BSデコーダ入力端子 102

ビデオ１入力端子

ビデオ出力端子 75

ビデオ２入力端子

アンテナ接続端子 96

モニター出力端子 75

オーディオプラス端子 88 75

ビデオチャンネル切換スイッチ 98

アンテナから
入力
VHF/UHF
切
2CH
1CH
出力
テレビへ
電話予約
AV コンピュリンク
リモートポーズ
BS-IF
DC15V最大4W
BSアンテナ入力
BS分配出力
アンテナ電源
切 入
BSデコーダ入力切換
ビデオ MUSE Sビデオ
(MUSE)
(ビデオ)
ビデオ1入力
ビデオ2入力
オーディオプラス
BSデコーダ入力
ビデオ出力
モニター出力
映像
音声
AFC入力
MUSE-NTSCコンバーター
検波出力
検波入力
外部BS機器
ビットストリーム入力
検波出力
BSデコーダ
ビットストリーム出力
デジタル音声入力
(BSデコーダ入力)
同軸―(ビデオ１入力)
光
デジタル音声出力
同軸
光

BSデコーダ入力切換スイッチ 75 102

MUSE/NTSCコンバーター端子
・AFC入力端子 106
・検波出力端子 106

外部BS機器端子
・検波入力端子 75 102
・ビットストリーム入力端子 75 102

BSデコーダ端子
・検波出力端子 75 102
・ビットストリーム出力端子 75 102

BSアンテナ接続端子 99
アンテナ電源スイッチ 99

デジタル音声出力端子
・同軸端子 56 75
・光端子 56 75

デジタル音声入力端子
・ビデオ１入力(同軸)端子 74 75
・BSデコーダ入力(光) 75 102

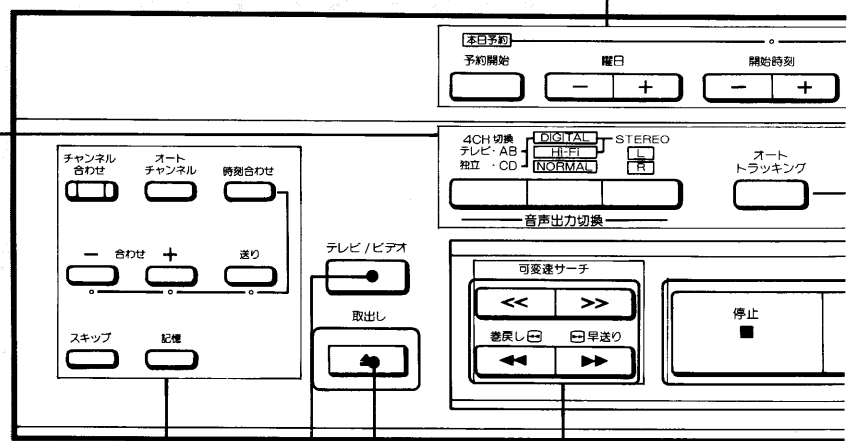
各部のなまえ

□内の数字が参照ページです。

〔本体扉内〕

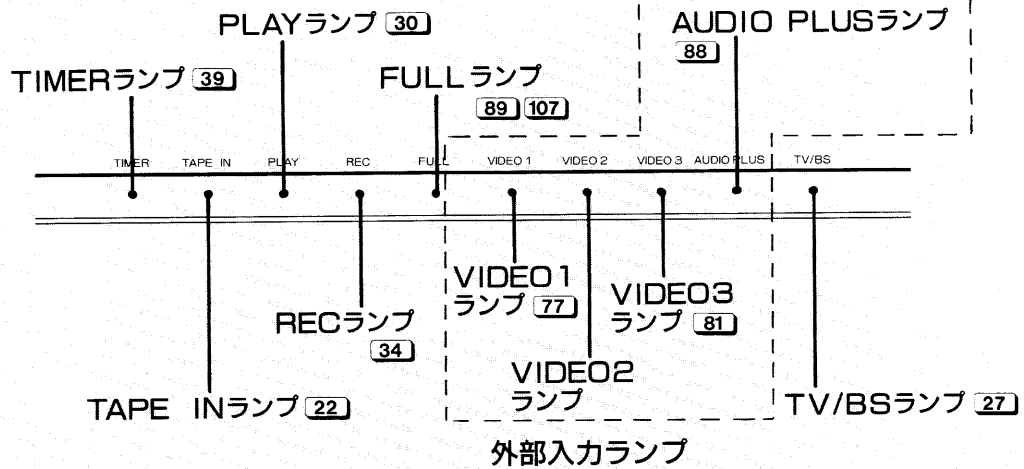
（前面扉）

タイマー/本日予約ボタン 38

音声出力切換ボタン 54
オートトラッキングボタン 59
トラッキングボタン 59
垂直同期ボタン 59
カウンター 122 /残量ボタン 64
カウンターリセットボタン 72 85

時刻合わせ 120
チャンネル合わせ 112

カセット取出し
ボタン 22

テレビ/ビデオボタン
26 130

検索ボタン
・可変速サーチ 33
・巻戻し 31 73
・早送り 31

チャンネルボタン 35

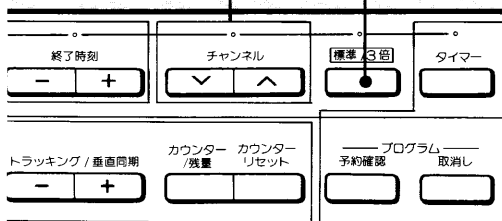
標準/3倍ボタン 35

タイマーボタン 39

タイマー予約の確認・取消しボタン 42 43

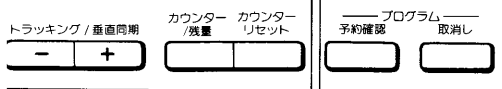
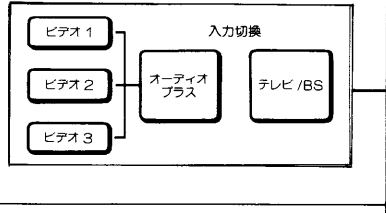
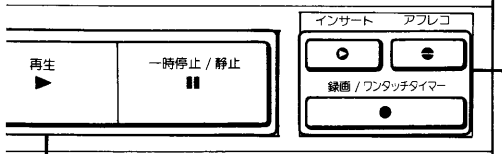
終了時刻 チャンネル 標準/3倍 タイマー

トラッキング/垂直同期 カウンター/残量 カウンターリセット プログラム 予約確認 取消し

オートキャリブレーション ANALOG IN DIGITAL IN 録音モード

オートキャリブレーションボタン 68

録音モードボタン 74 75

再生 一時停止/静止 インサート アフレコ 録画/ワンタッチタイマー

入力切換 ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3 オーディオプラス テレビ/BS

入力切換ボタン
- ビデオ1 74 77
- ビデオ2 74
- ビデオ3 74 81
- オーディオプラス 88
- テレビ/BS 27

録画・編集ボタン
- 録画/ワンタッチタイマー 35
- インサート 85
- アフレコ 87

再生・停止ボタン
- 停止 35
- 再生 30
- 一時停止/静止 33 35

各部のなまえ

[ ]内の数字が参照ページです。

〔本体表示窓〕

時計表示 [120]
タイマー開始時刻表示 [38]

タイマー/本日予約設定用表示 [38]
・12345678……プログラム番号
・2.……………………2週目表示

BS番組の音声モード表示 [47]

A MODE B MODE
STEREO BILINGUAL
ADD MUSE

1234 2.日 月 火 水 本日 開始
5678 木 金 土 毎週 明日

88:88

終了
残量 88H:8

ANALOG IN
DIGITAL IN
48kHz 32kHz

OPTICAL
COAXIAL
A B C D

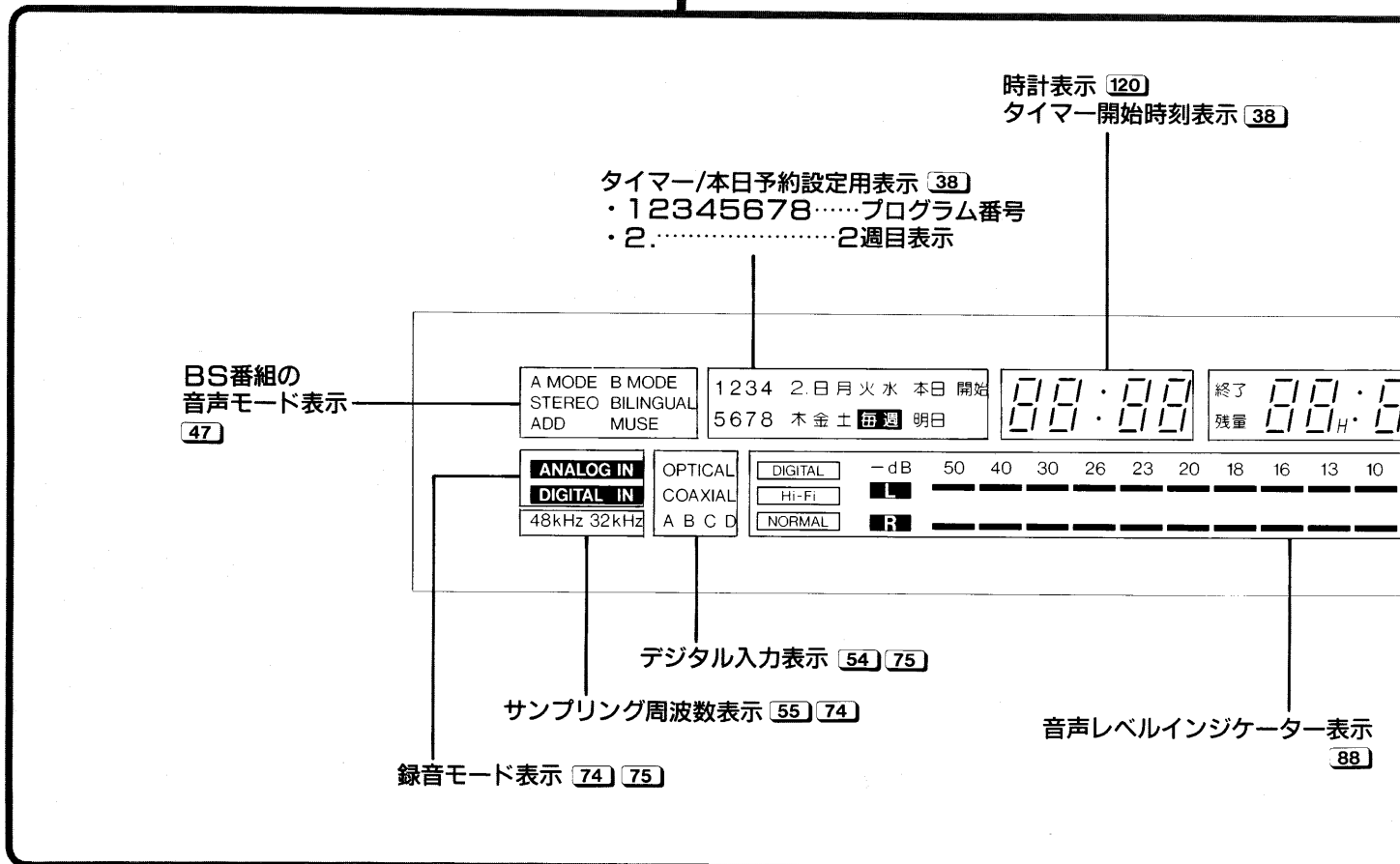
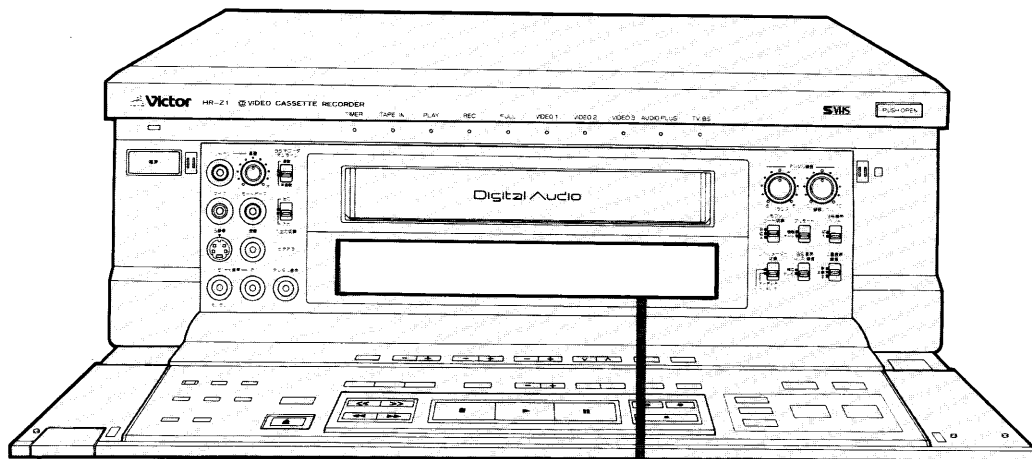
DIGITAL
Hi-Fi
NORMAL

−dB 50 40 30 26 23 20 18 16 13 10
L
R

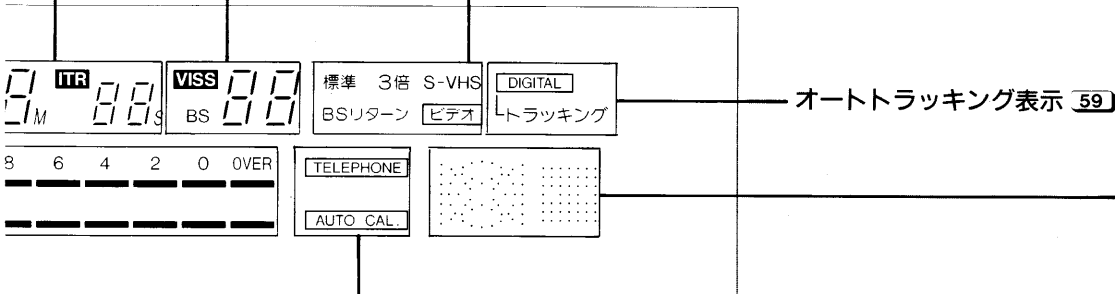
デジタル入力表示 [54] [75]

サンプリング周波数表示 [55] [74]

音声レベルインジケーター表示 [88]

録音モード表示 [74] [75]

テープ走行表示

録　画	録画一時停止	巻戻し	早送り	インサート＋アフレコ	インサート

再　生	静止画またはバリアブルサーチ中のスロー再生		シャトルサーチ再生		アフレコ
	（逆転方向）	（正転方向）	（早送り再生）	（巻戻し再生）	

各部のなまえ

□内の数字が参照ページです。

〔リモコン〕

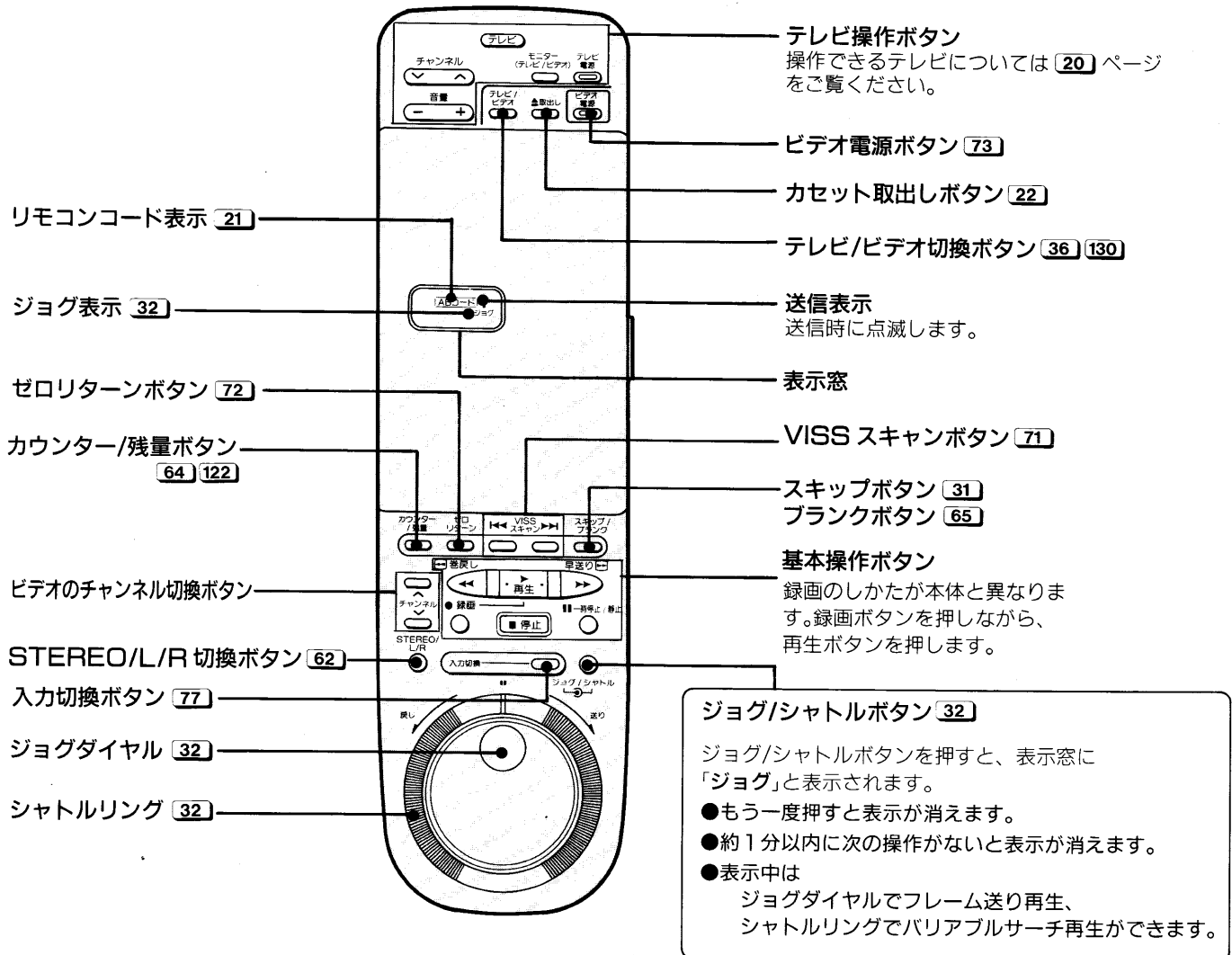
・フタを閉めた状態

ジョグ/シャトルボタン 32

ジョグ/シャトルボタンを押すと、表示窓に「**ジョグ**」と表示されます。

●もう一度押すと表示が消えます。

●約１分以内に次の操作がないと表示が消えます。

●表示中は
ジョグダイヤルでフレーム送り再生、
シャトルリングでバリアブルサーチ再生ができます。

乾電池の入れかた

・**乾電池(単3)を2本入れます。**

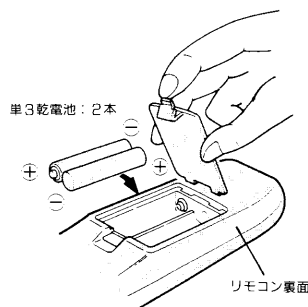
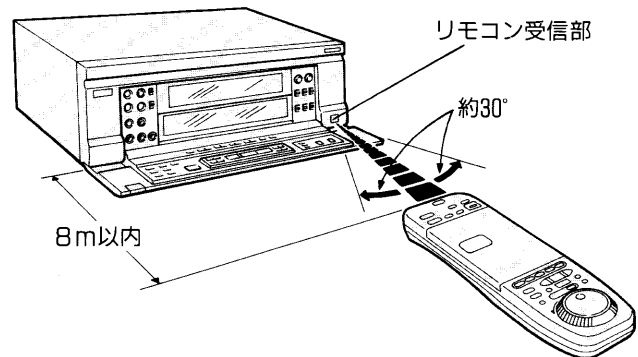
単3乾電池：2本

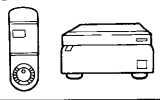
リモコン裏面

リモコンの向けかた

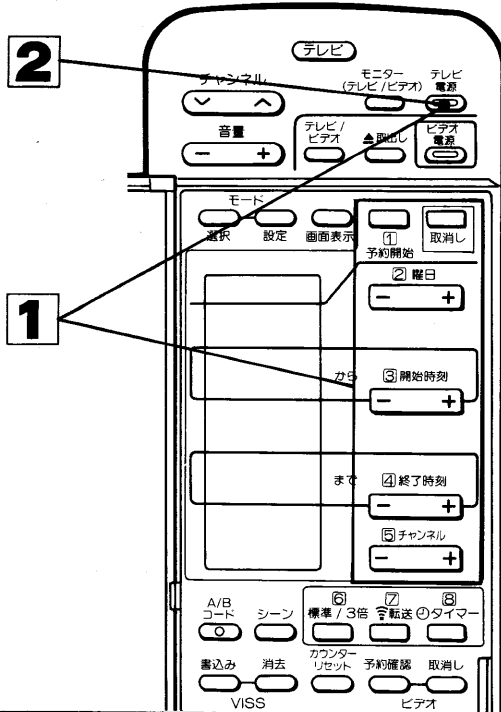
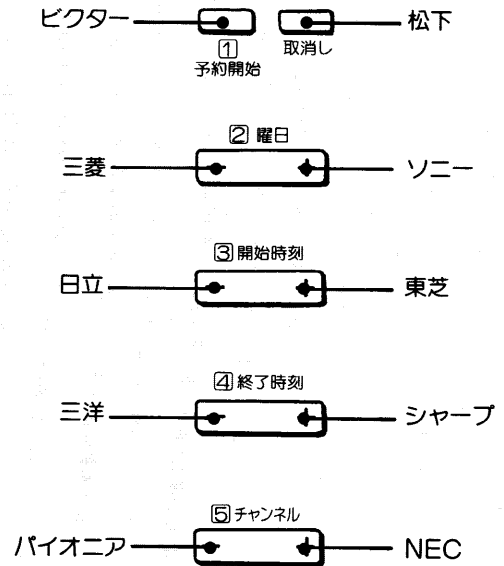
リモコン受信部

約30°

8m以内

・電池交換後はテレビのメーカー指定をもう一度やり直してください。(20 ページ参照)
・リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。
・乾電池は2本とも新しいものと交換してください。使用した乾電池と混ぜて使用しないでください。
・単３乾電池(UM-3型)をご使用ください。
・乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
・長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
・乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
・リモコン操作ができる距離が短くなったり、リモコン表示窓がうすくなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

リモコン表示窓
〔表示例〕
A
予約番号
金
予約する曜日
開始時刻
19:30
リモコン
送信コード
A コード
送信表示
ジョグ
ジョグ表示
終了時刻
20:30
録画
スピード
標準
BS
7
録画
チャンネル
転送表示
転送
〔リモコン〕
・フタを開けた状態
リモコンのフタの
開けかた
モード選択・設定ボタン 122
画面表示ボタン 124
リモコン表示窓の
予約取消しボタン 41
タイマー予約設定ボタン
40
シーンボタン 58
リモコンA/Bコード
切換ボタン 21
ビデオ本体の予約確認
・取消しボタン 42 43
カウンターリセット
ボタン 72
VISS(インデックス)
書込み/消去ボタン 70

リモコンの設定

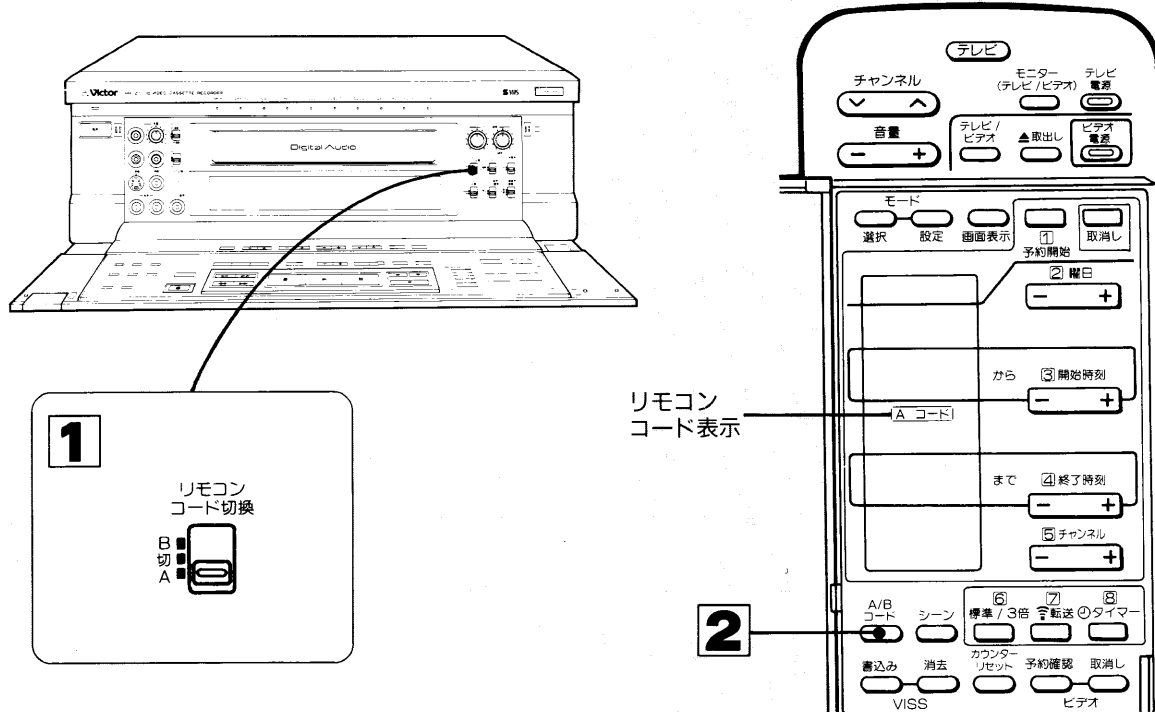
他社のテレビを操作する TVマルチブランドリモコン

国内メーカー10社のテレビ操作(電源の入・切、チャンネル、音量、入力切換)ができます。
ご購入時は、ビクター製テレビの指定になっています。

テレビ電源ボタンを押しながら、
メーカー指定ボタンを押す

2 テレビの電源が入/切するか確認する
・チャンネルの選択、音量の調節、入力切り換えもできるか確認します。

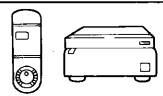
・テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。
・電池交換後はテレビのメーカー指定をもう一度やり直してください。

本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する リモコンコード切換

リモコン操作をすると、2台が同時に同じ動きをしてしまい、ビデオ操作がうまくいかないことがあります。
本機は、リモコンコードを別に設定し、1つのリモコンで2台のビデオを別々に操作することができます。

1 ビデオ側の**リモコンコード切換スイッチ**がAの場合

2 リモコンの**A/Bコードボタン**でAコードにする

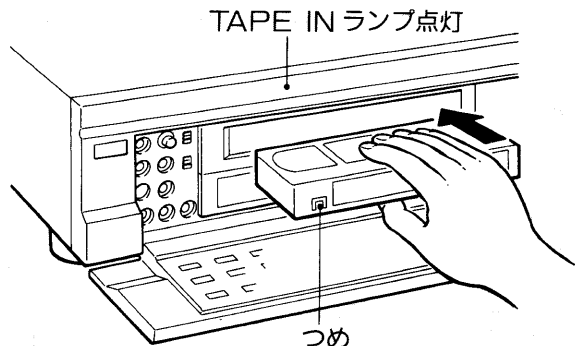
■Bコードにする場合は、本体もリモコンもBコードにします。

・本体のリモコンコード切換スイッチが切のときは、リモコン操作できません。

ビデオカセットについて

カセットの出し入れ

入れかた

TAPE IN ランプ点灯

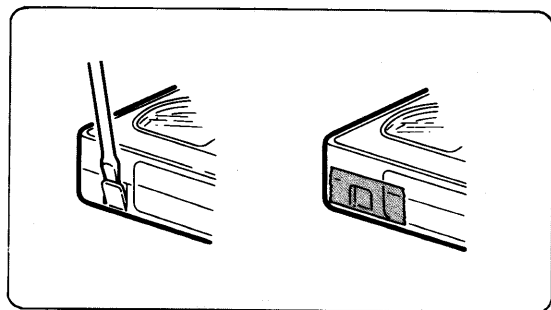
つめ

テープの見える面を上にして入れる

- 電源が入ります。
- カウンターが、0H00M00Sになります。
- つめのないカセットを入れると、再生を始めます。
- TAPE IN ランプが点灯します。

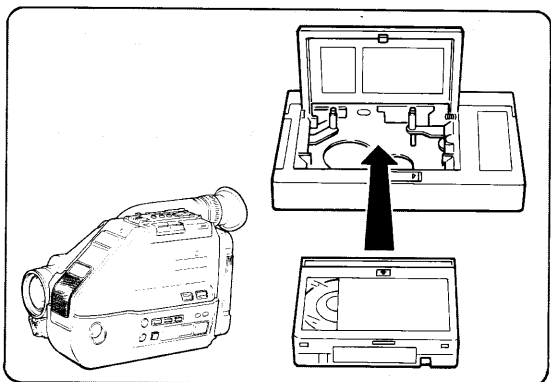
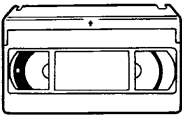
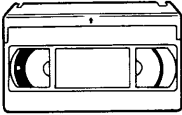
出しかた

取出しボタンを押す

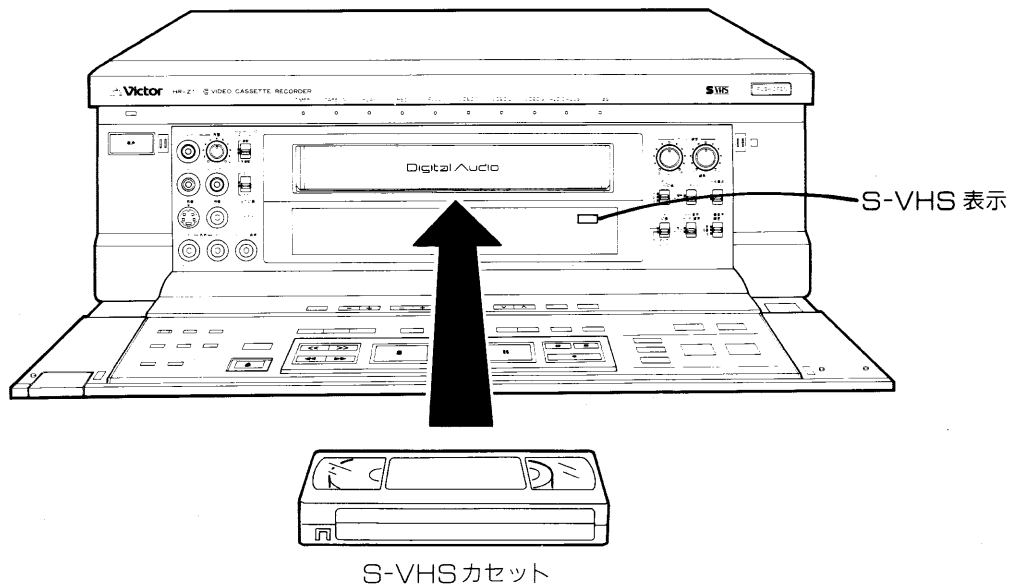
- タイマー予約中、取り出すことはできません。
  タイマーボタンでTIMERランプを消してから、取り出してください。

- カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。
  特に小さなお子様にはご注意ください。

大切なテープを消さないために

つめ（誤消去防止用）を折って、
取りのぞいてください。

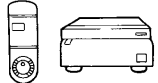
ふたたび録画したいときは、セロハンテープを2重に貼ってください。

ビデオムービーで録画した VHS C 、S VHS C テープを見るには

別売のカセットアダプターC-P6を
ご使用ください。

S-VHS録画する

S-VHSカセットを入れると、自動的にS-VHS録画をします。
S-VHS表示が点灯していることを、確認してください。

S-VHSカセット

●使用カセットと録画方式

使用カセット	録画方式	S-VHS表示	
S-VHS	S-VHS	点　灯	S-VHSカセットを入れると点灯します。
	VHS	消　灯	モード選択画面でS-VHS記録を切にします。(122 ページ参照)
VHS	VHS	消　灯	S-VHS録画できません。

・S-VHS録画したテープは、VHSビデオでは正常に再生できません。
S-VHS対応ビデオまたはSQPB(S-VHS簡易再生機能)付ビデオで再生してください。

ビデオカセットについて

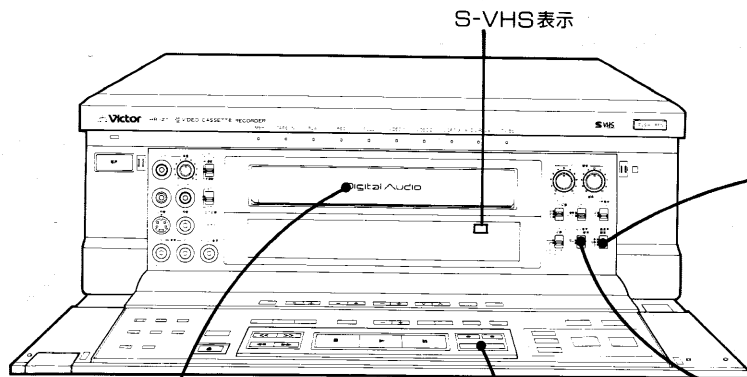
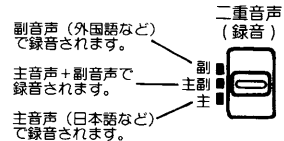
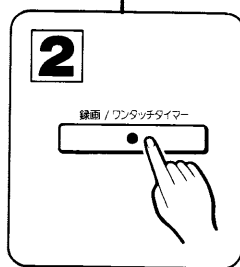
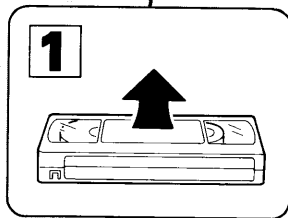
デジタル録音するためには

S-VHSテープでS-VHS録画を行うと自動的にデジタル録音されます。
(映像入力がない場合、デジタル音声は記録されません。)

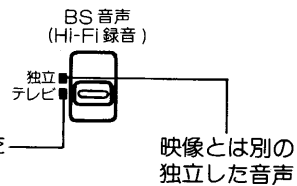
S-VHS表示

二重音声スイッチ

二重音声（録音）

副音声（外国語など）で録音されます。——副
主音声＋副音声で録音されます。——主副
主音声（日本語など）で録音されます。——主

テレビ放送、衛星放送録画時にデジタル、Hi-Fi、ノーマルトラックに記録する音声を選択します。

衛星放送録画時にHi-Fiトラックに記録する音声を選択するには

BS音声（Hi-Fi録音）

独立
テレビ

映像に合った音声
映像とは別の独立した音声

BS音声スイッチで"テレビ"または"独立"を選択します。
(BSデコーダ使用時は、BSデコーダ側の音声選択ボタンも"テレビ"または"独立"にしてください。)

1

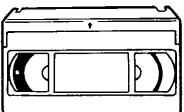
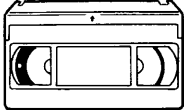
2
録画／ワンタッチタイマー

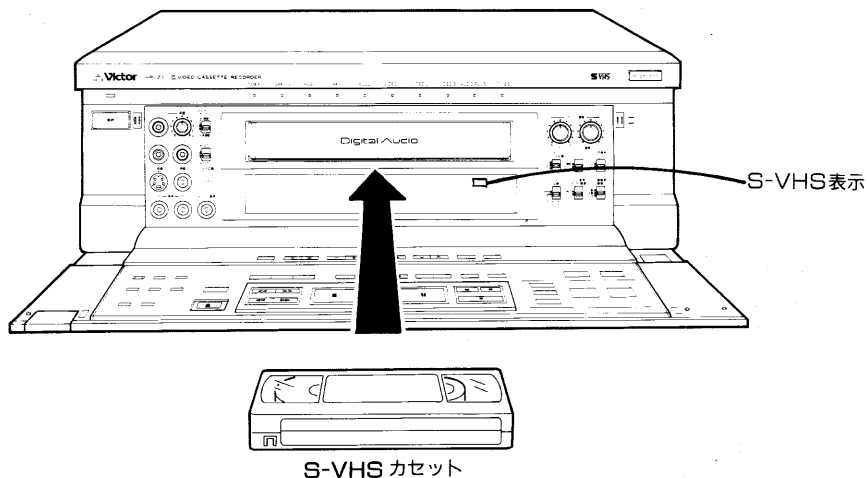
1 S-VHSテープを入れる

S-VHS 表示点灯

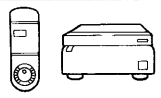
"DA"マークの付いたカセットはデジタル録音に最適です。

2 番組をえらびS-VHSモードで録画する

・テレビ放送の録画時は、二重音声(録音)スイッチで設定された音声がデジタルトラックにA/D変換されて48 KHzのサンプリング周波数で記録されます。
・Aモードの衛星放送録画時は、32 kHzのサンプリング周波数でデジタルトラックに記録されます。
・Bモードの衛星放送録画時は、48 KHzのサンプリング周波数でデジタルトラックに記録されます。
・外部入力の記録については 74 ページを参照してください。

使用カセットと録音方式

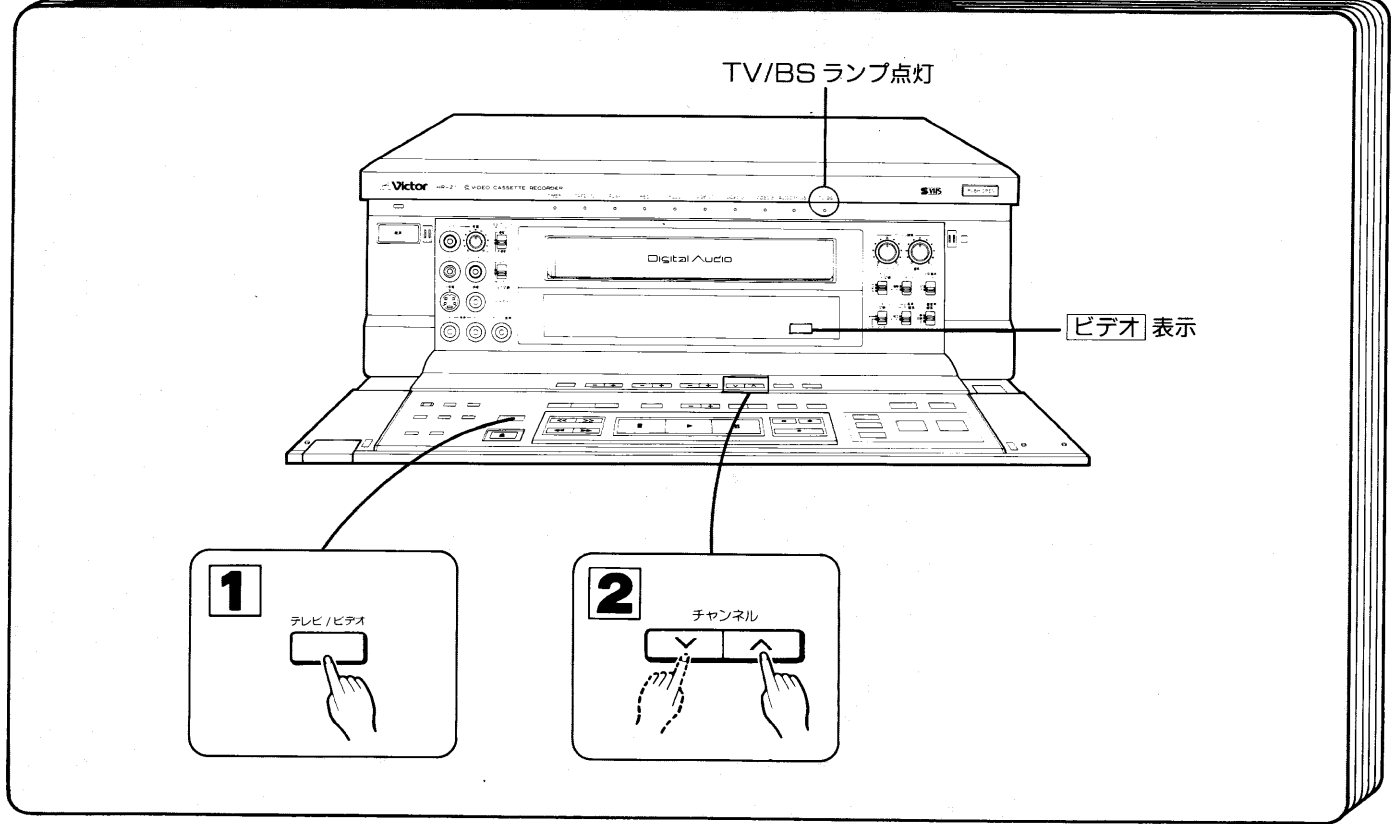
S-VHS カセットを入れると自動的にデジタルトラックにデジタル録音を行います。
S-VHS 表示が点灯していることを、確認してください。

●使用カセットと録音方式

使用カセット	録画方式	デジタル録音	S-VHS 表示
S-VHS	S-VHS	可能 (“DA”マークの付いたカセットをおすすめします。)	“ S-VHS ”表示点灯 S-VHS カセットを入れると点灯します。 **音声は自動的にデジタル録音されます。**
	VHS	不可能	“ S-VHS ”表示消灯 モード選択画面で S-VHS 記録を切にします。 (122ページ参照) デジタル録音できません。
VHS	VHS	不可能	S-VHS 表示消灯 デジタル録音できません。

・デジタル録音したテープは、デジタルオーディオ搭載のスーパー VHS ビデオで再生してください。
・デジタル録音したテープは、Hi-Fi/ノーマルトラックにも同時にアナログ録音しておりますので、S-VHS対応ビデオまたはSQPB(S-VHS簡易再生機能)付ビデオでも再生可能です。

見る(テレビ番組/BS番組)

テレビ番組/BS番組を見る

TV/BS ランプ点灯

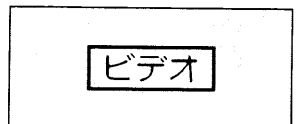
[ビデオ] 表示

1 テレビ/ビデオ

2 チャンネル

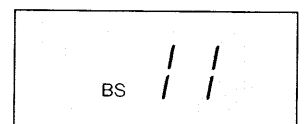
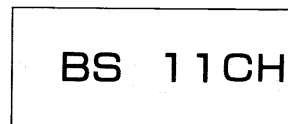
準備 ①テレビとビデオの電源を入れます。
②テレビをビデオチャンネル（1か2、ビデオ）にします。(98 ページ参照)

テレビ画面　本体表示窓

1 ビデオチャンネルが1か2のかたは
テレビ/ビデオボタンで [ビデオ] 表示を点灯させる

[ビデオ]

2 **チャンネルボタン**で見たい番組を選ぶ
・テレビ番組またはBS番組を受信中はTV/BSランプが点灯します。

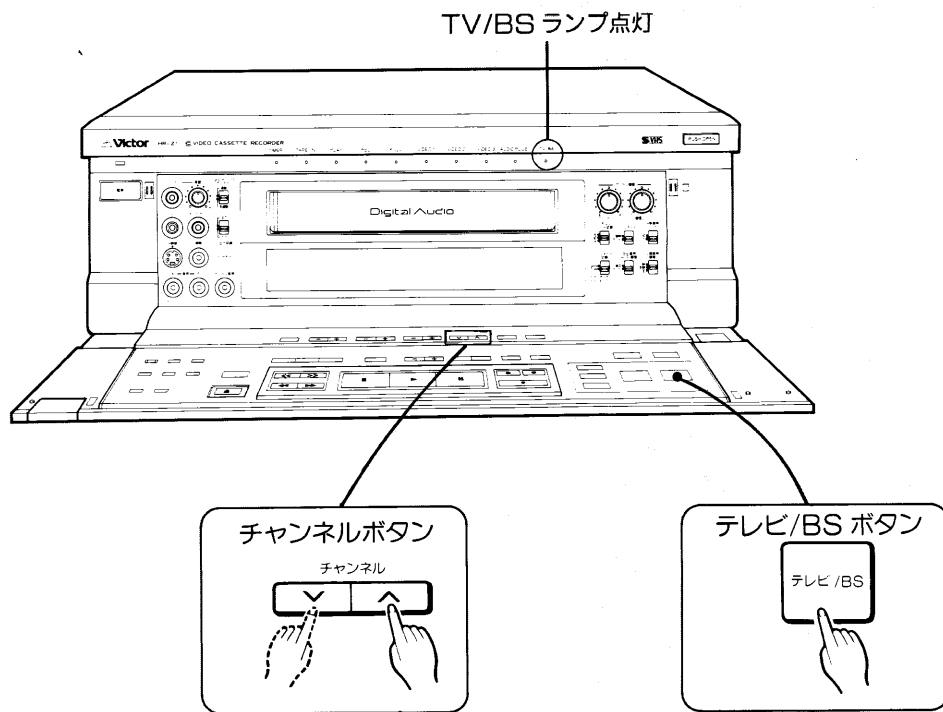
BS 11CH

BS 11

・テレビがBSチューナー内蔵でない場合はBS番組を録画中に別のBS番組を見ることはできません。
・VHF/UHF放送番組を、テレビ番組と説明しています。
・衛星放送番組を、BS番組と説明しています。

テレビ/BSボタンの使いかた

TV/BS ランプ点灯

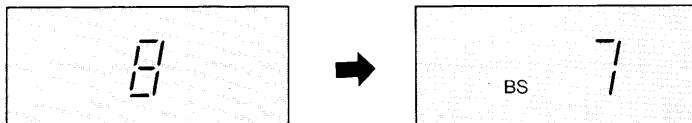
チャンネルボタン

チャンネル

テレビ/BS ボタン

テレビ/BS

テレビ番組を受信中に、素早くBS番組に切り換える場合

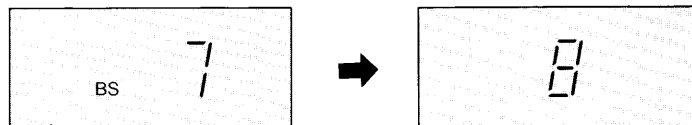
①テレビ/BSボタンを押す。
・TV/BSランプは点灯したままです。

②チャンネルボタンで見たいBS番組を選ぶ。

本体表示窓

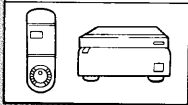
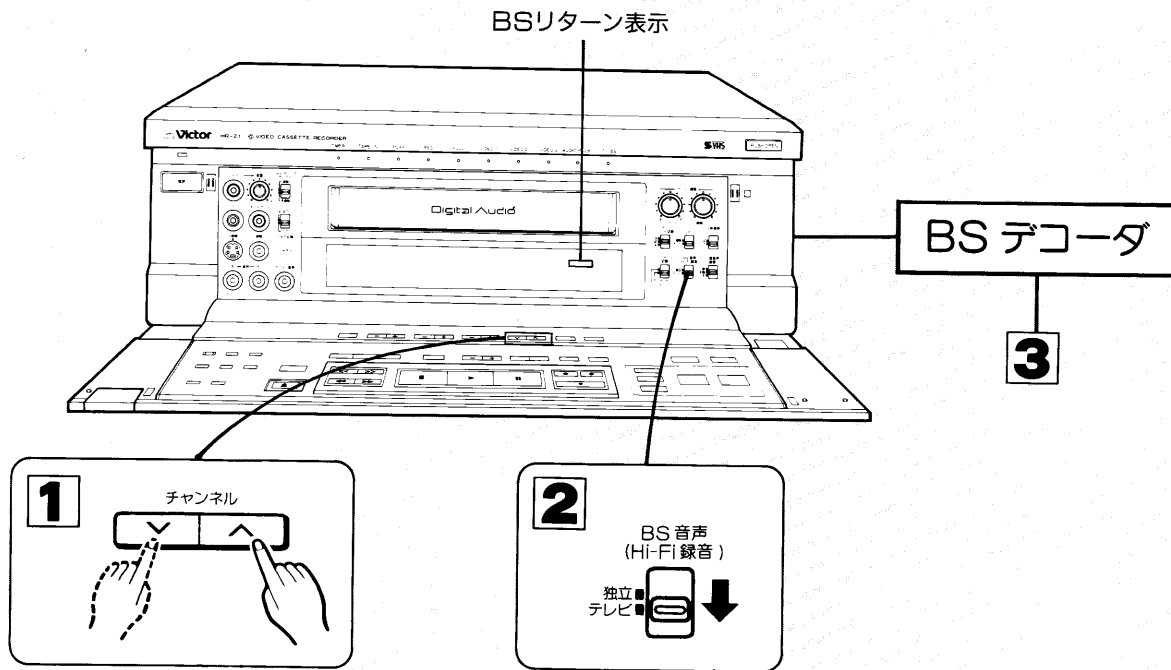
BS番組を受信中に、素早くテレビ番組に切り換える場合

①テレビ/BSボタンを押す。
・TV/BSランプは点灯したままです。

②チャンネルボタンで見たいテレビ番組を選ぶ。

本体表示窓

・外部入力(L1,L2,L3)チャンネルを表示中に、テレビ番組またはBS番組に切り換える場合は、チャンネルボタンまたはTV/BSボタンを押します。TV/BSランプが点灯します。

見る（スクランブル放送）

WOWOW（ワウワウ）を見る

WOWOW（ワウワウ）を見るには、BSデコーダが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。

準備
①（102）〜（105）ページの接続と設定をします。
②テレビの電源を入れます。
③テレビをビデオチャンネル（1か2、ビデオ）にします。（98ページ参照）
④ビデオチャンネルが1か2のかたは、テレビ/ビデオボタンで［ビデオ］表示を点灯させます。

1 チャンネルボタンでBS5チャンネルを選ぶ

テレビ画面	本体表示窓
BS 5CH	BS 5

2 BS音声スイッチを“テレビ”にする

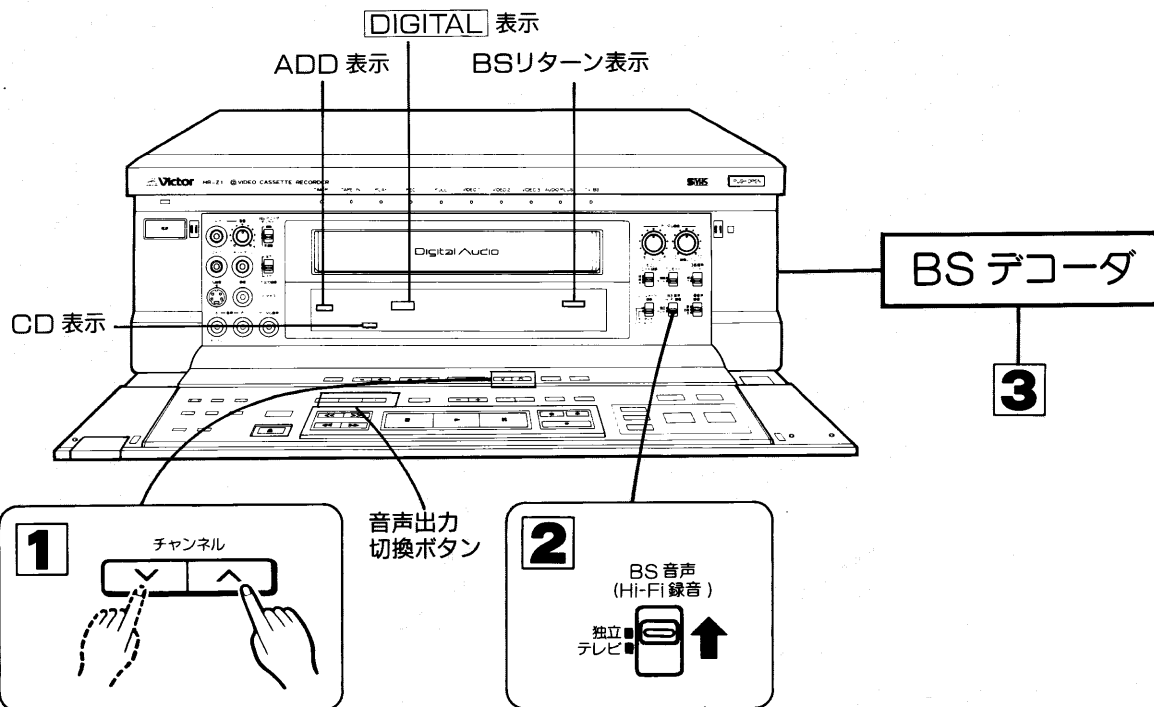
・テレビ音声が聞こえます。
・スクランブル放送の場合は、BSリターン表示が点灯します。

3 BSデコーダの音声選択ボタンで“テレビ”を選ぶ

・二ヶ国語放送の場合は、BSデコーダの二重音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。

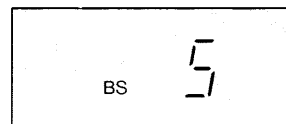
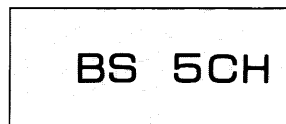
St. GIGA(セント ギガ)を聞く

St. GIGA(セント ギガ)を聞くには、BSデコーダが必要です。放送局との所定の手続を行ってください。

DIGITAL 表示
ADD 表示
BSリターン表示
CD 表示
BS デコーダ
3
1 チャンネル
音声出力切換ボタン
2 BS 音声(Hi-Fi 録音) 独立 テレビ

準備
①102〜105ページの接続と設定をします。
②テレビの電源を入れます。
③テレビをビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。(98ページ参照)
④ビデオチャンネルが1か2のかたは、テレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を点灯させます。

テレビ画面　本体表示窓

1 **チャンネルボタン**でBS5チャンネルを選ぶ

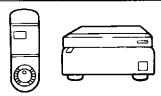
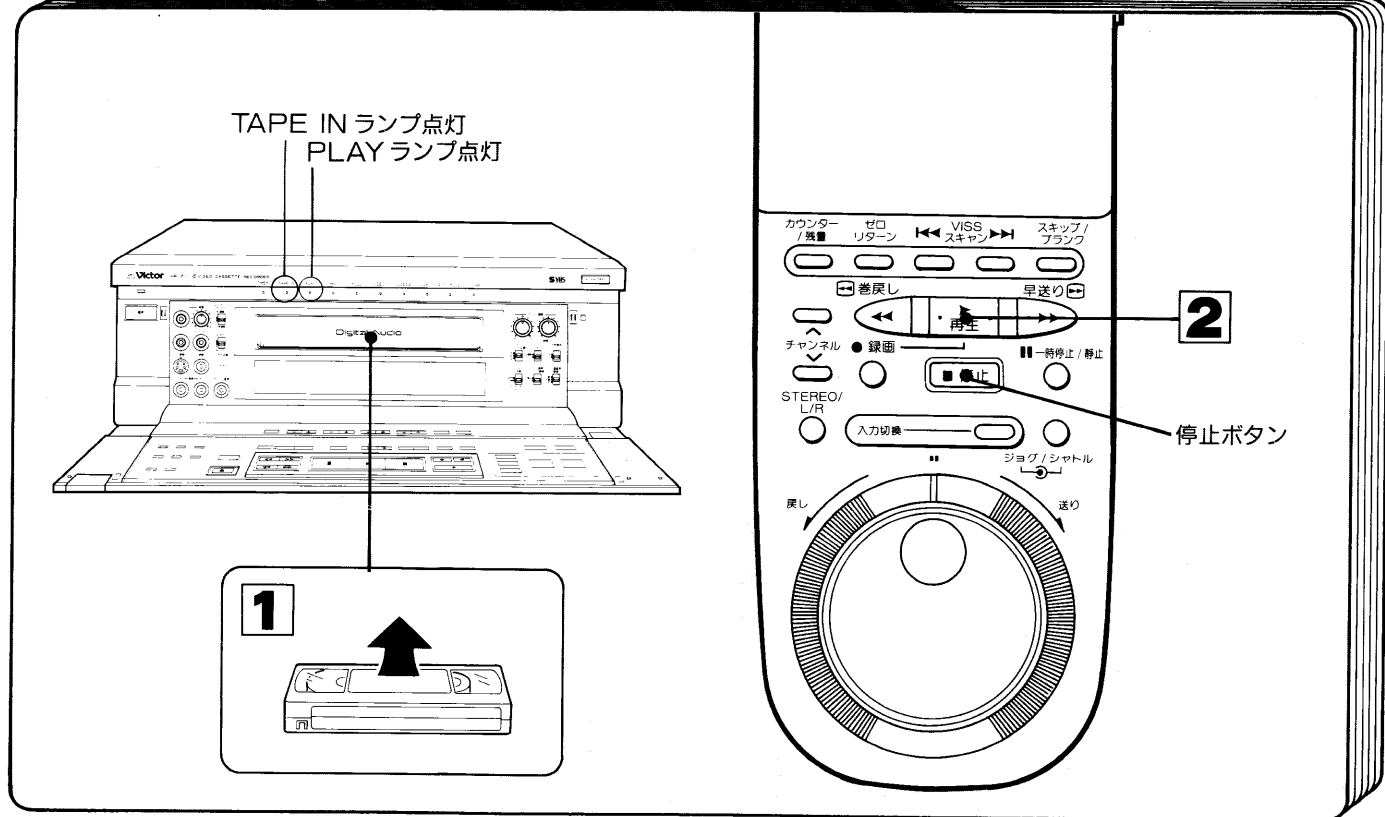
・独立音声が放送されていると、ADD表示が点灯します。

2 **BS音声スイッチ**を“独立”にする

・スクランブル放送でない場合は、音声出力切換ボタンで“CD・DIGITAL”表示を点灯させてください。(56ページ参照)
・スクランブル放送の場合は、BSリターン表示が点灯します。

BSデコーダの**音声選択ボタン**で“独立”を選ぶ

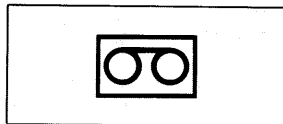
・スクランブル放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
・独立音声放送がないときにBS音声スイッチを“独立”にすると、音声は出ません。
・スクランブル放送時、BSデコーダを接続していないと、音声は出ません。

見る(再生)

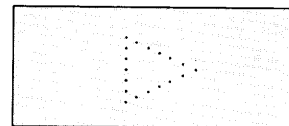
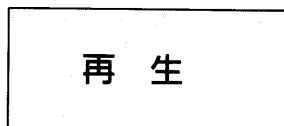
テープを見る

TAPE IN ランプ点灯
PLAY ランプ点灯
停止ボタン

準備 テレビの準備
①電源を入れます。
②ビデオチャンネル（1か2、ビデオ）にします。(98ページ参照)

テレビ画面　本体表示窓

1 テープを入れる

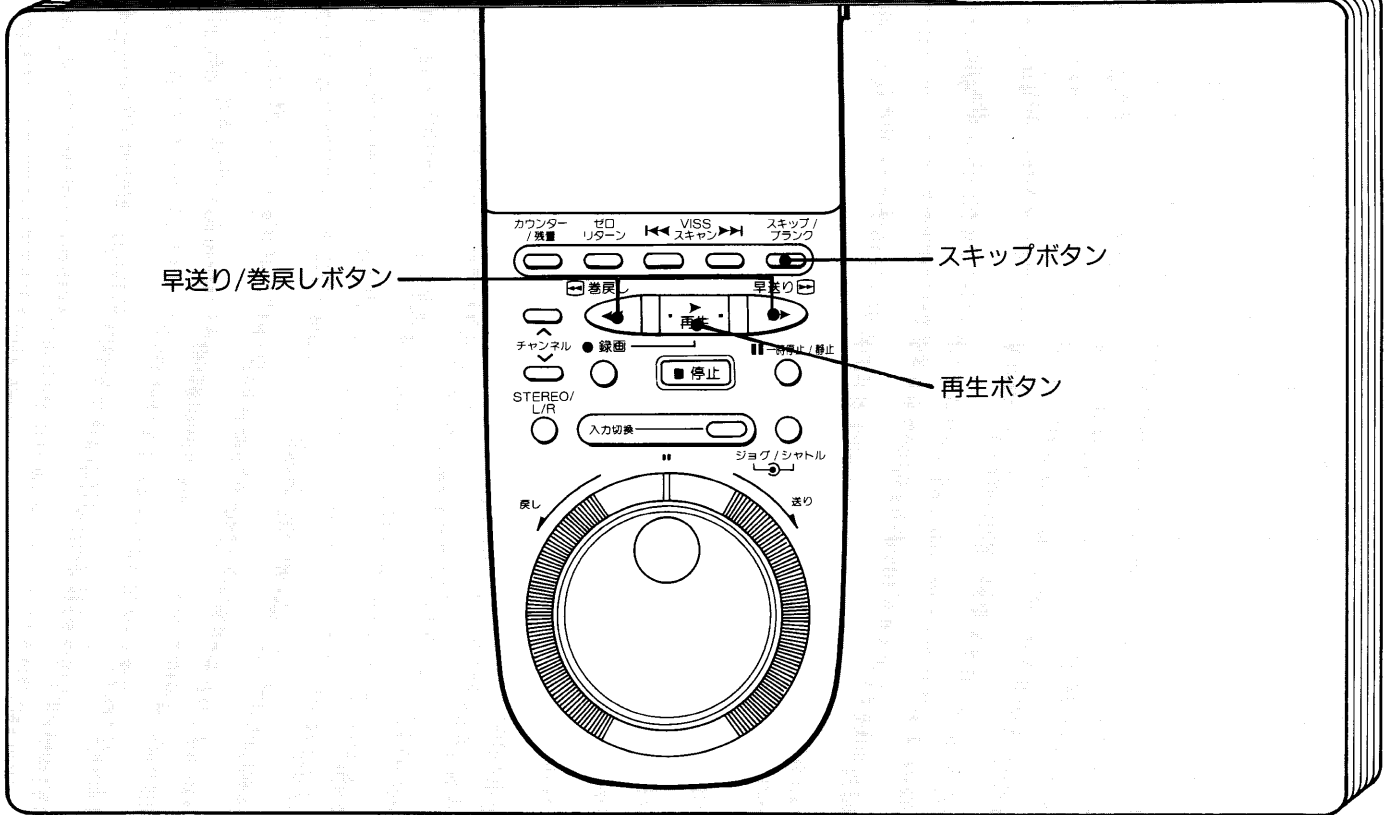
・電源が入ります。
・TAPE IN ランプが点灯します。
・つめのないテープを入れると再生を始めます。

2 再生ボタンを押す

・PLAY ランプが点灯します。
・再生が始まります。

再　生

■再生をやめるには、停止ボタンを押します。

・再生を始めると、トラッキングを自動的に調節します。
・テープがなくなると、自動的に巻き戻します。
・再生を止めるには一時停止ボタンを押します。再生ボタンで戻します。
・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止状態になります。

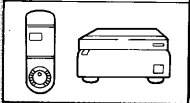
速さを変えて見る

早送り/巻戻しボタン
スキップボタン
再生ボタン

見たい場面を早く探す　シャトルサーチ再生

・再生中に早送りまたは巻戻しボタンをポンと押す
　7倍速(標準)、21倍速(3倍)で飛ばし見します。⇨見たい場面で再生ボタンを押す。
・再生中に早送りまたは巻戻しボタンを押し続ける
　7倍速(標準)、13倍速(3倍)で飛ばし見します。⇨見たい場面で手をはなす。

CMを飛ばす　スキップサーチ

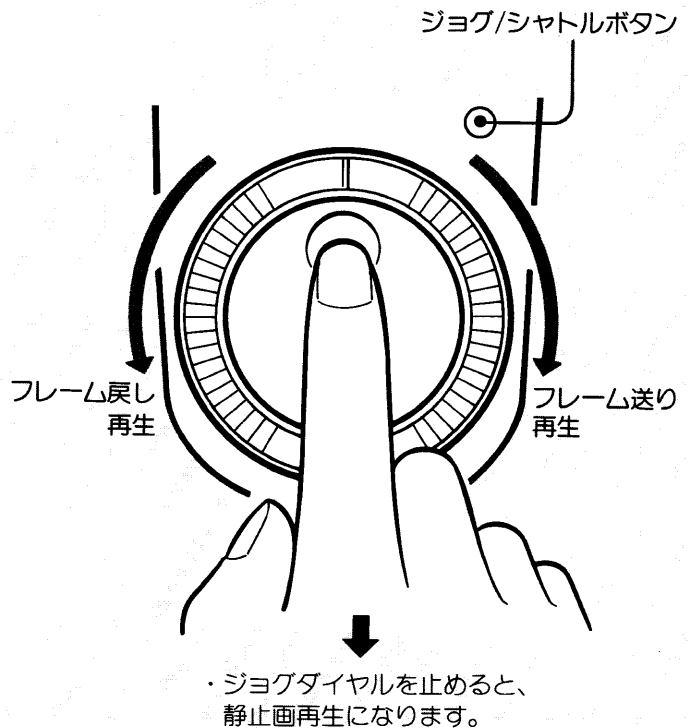
・再生中に、スキップボタンを1回押すと30秒ぶんを早送り再生します。
・押すたびに30秒刻みで最大2分(4回押す)まで飛ばし見できます。
・再生ボタンで戻します。

・シャトルサーチ再生、スキップサーチ中は音声が出ません。

見る

リモコンで速さを変えてみる　ジョグシャトルの使いかた

フレーム再生

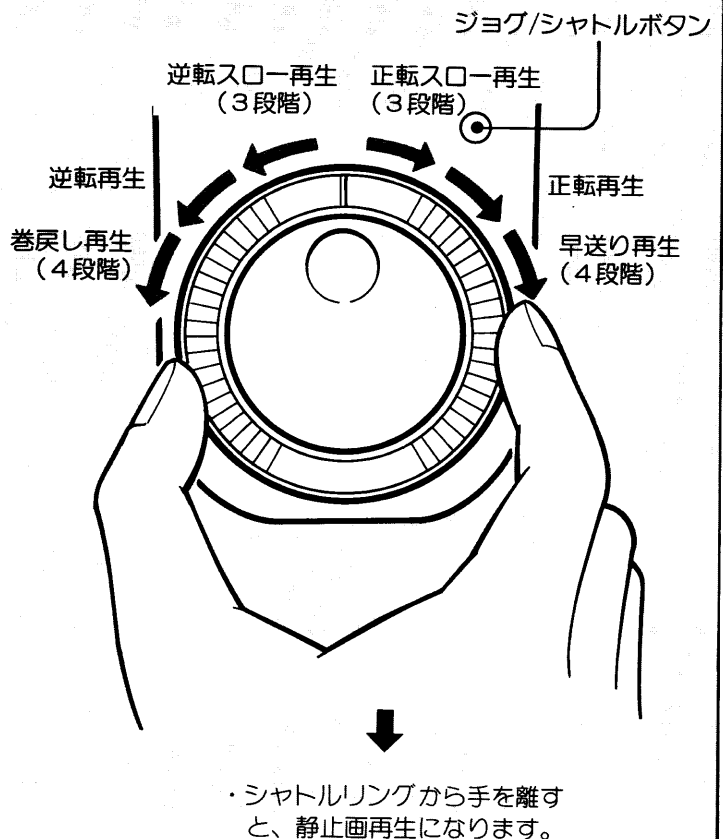
1 再生中または静止画再生中に
ジョグ/シャトルボタンを押す
リモコン表示窓に"ジョグ"表示が点灯します。

2 **ジョグダイヤル**を右または左に回す
フレーム再生が出来ます。

・ジョグダイヤルを止めると、静止画再生になります。

バリアブルサーチ再生

1 再生中または静止画再生中に
ジョグ/シャトルボタンを押す
リモコン表示窓に"ジョグ"表示が点灯します。

2 **シャトルリング**を右または左に回す
バリアブルサーチ再生ができます。

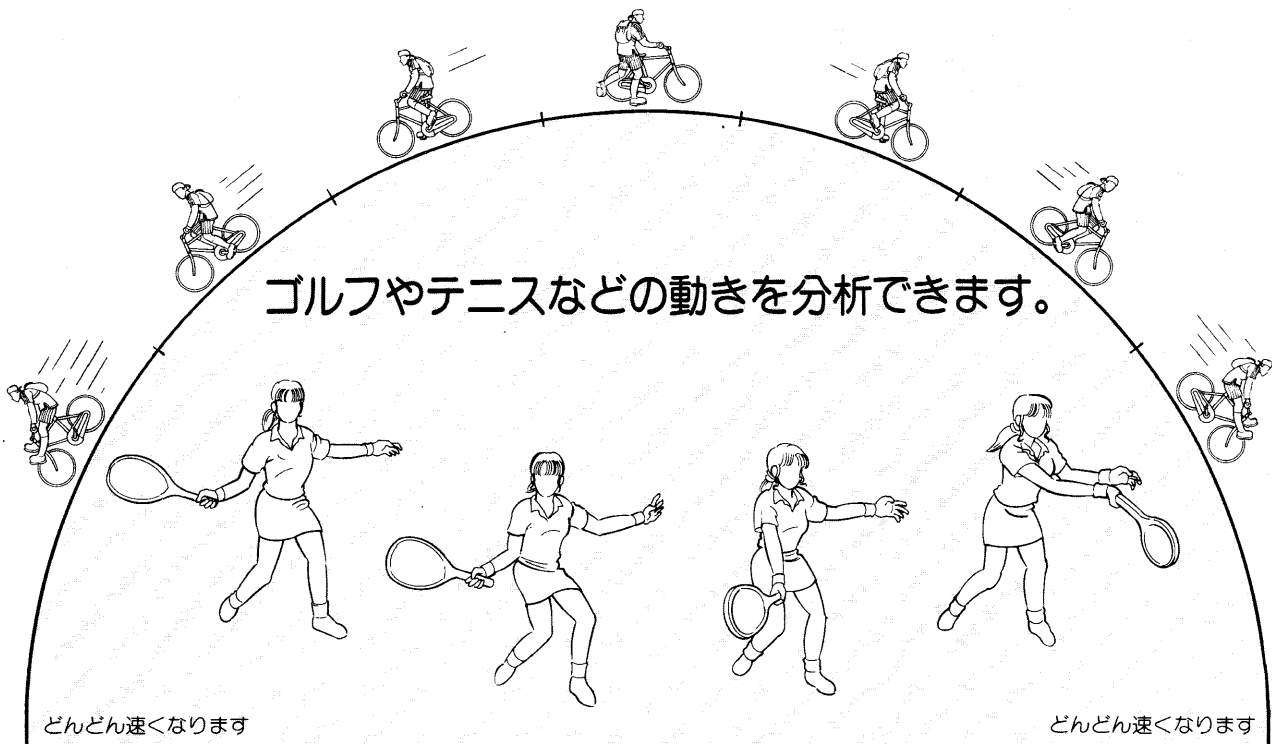
・シャトルリングから手を離すと、静止画再生になります。

バリアブルサーチ再生

シャトルリングを回す角度により、正転、逆転再生とも1/30スローから11倍速（標準モード時、3倍モード時は31倍速）まで8段階で連続的に変化します。

・フレーム再生、バリアブルサーチ再生および可変速サーチ中は音声は出ません。
・テープ保護のため、静止画再生、スロー再生を5分以上続けると自動的に停止状態になります。

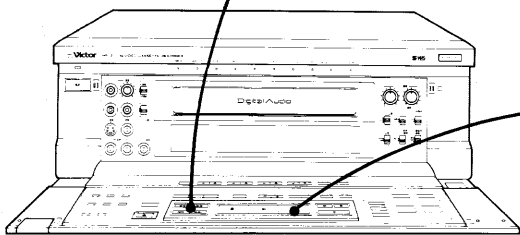
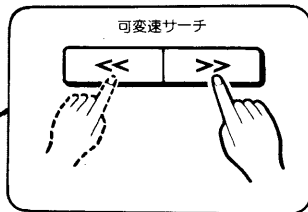
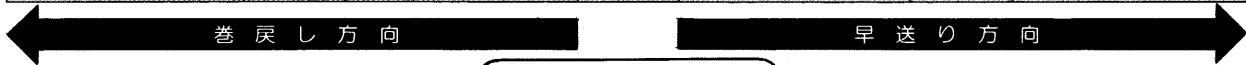
本体で速さを変えてみる　可変速サーチ

ゴルフやテニスなどの動きを分析できます。

どんどん速くなります　　どんどん速くなります

逆転スピード再生（標準：4段階 3倍：5段階）	逆転再生	逆転スロー再生（5段階）	静止画再生	スロー再生（5段階）	通常再生	スピード再生（標準：5段階 3倍：6段階）

← 巻戻し方向　　早送り方向 →

可変速サーチ

<< >>

コマ送りするには

一時停止／静止

押すたびに1コマ動きます。

・シャトルサーチ再生よりも、高速で飛ばし見したいときは、可変速サーチをお使いください。最大スピードは、標準で11倍速、3倍で31倍速です。
・進行方向の逆のボタンを押すと、その場で一時停止状態になります。

録る

テレビ/BS番組を録画する

1

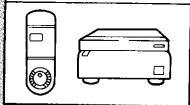
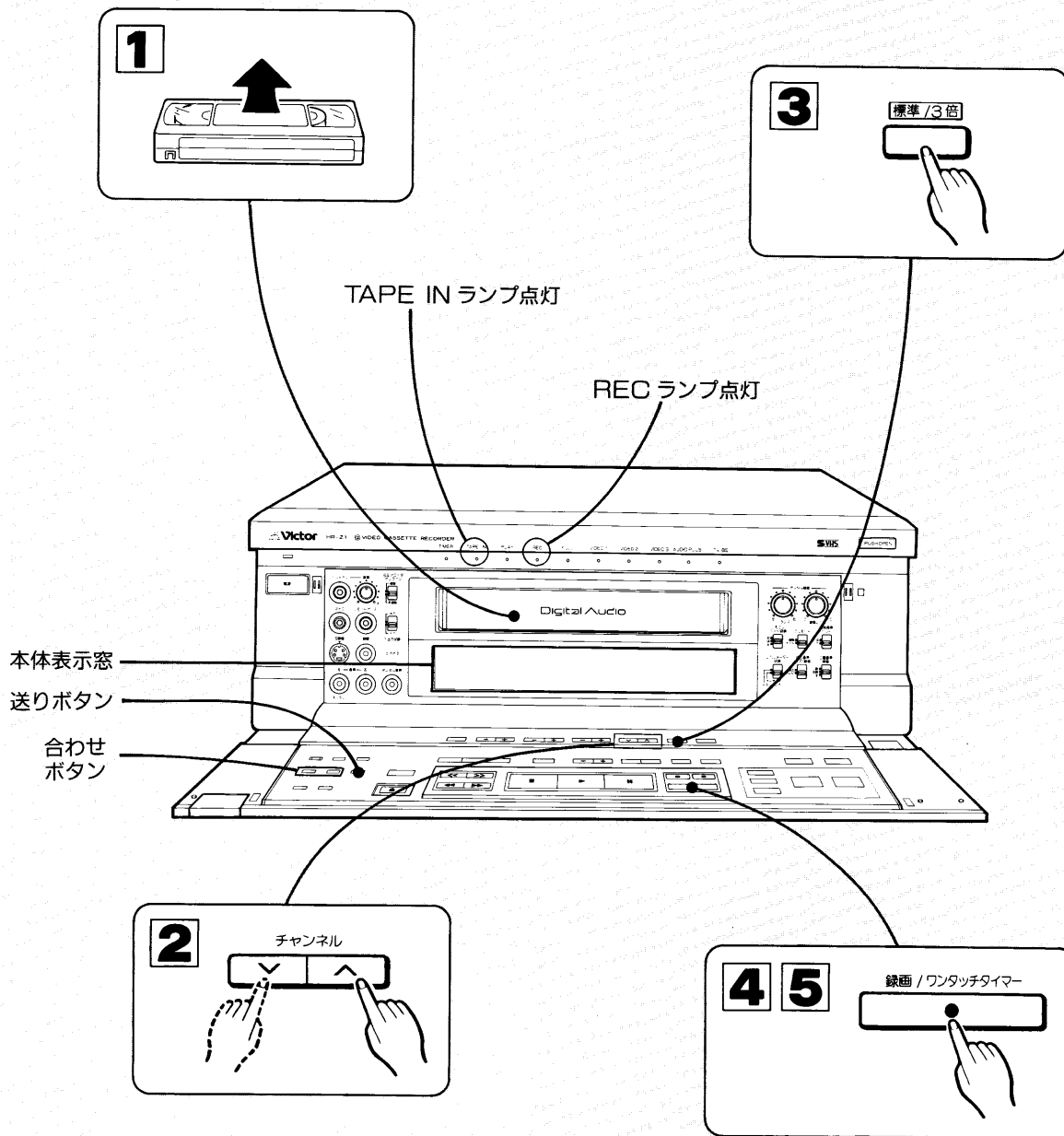
3
標準/3倍

TAPE IN ランプ点灯

REC ランプ点灯

本体表示窓
送りボタン
合わせボタン

2
チャンネル

4 5
録画/ワンタッチタイマー

・録画を始めるとインデックス(頭出し信号)を書き込みます。番組の頭出しに使用します。
・一時停止を5分続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・テープがなくなると、自動的に巻き戻します。ワンタッチタイマーの場合は自動的にカセットが出てきます。
・録画時間を設定していない場合は、電源は切れません。
・録画中に録画スピードを切り換えることはできません。一時停止ボタンで録画一時停止にしたのち切り換えてください。
・録画するテープは、あらかじめオートキャリブレーションボタンを押して最適状態に設定しておくことをおすすめします。設定方法は、68 ページを参照してください。

本体表示窓

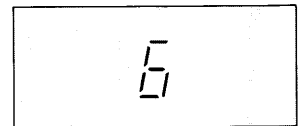
準備 テレビの準備
①電源を入れます。
②ビデオチャンネル(1か2,ビデオ)にします。

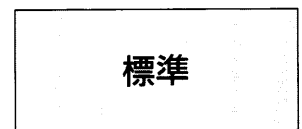
1 テープを入れる

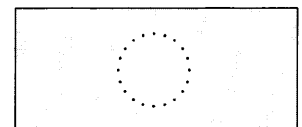
・つめがあることを確認します。
・TAPE IN ランプが点灯します。

2 **チャンネルボタン**でチャンネルを選ぶ

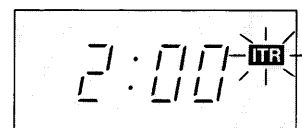
・衛星放送も選べます。

6

3 **標準/3倍ボタン**で録画スピードを選ぶ

標準

録画ボタンで録画を始める

・REC ランプが点灯します。

つめのないテープには録画できません。

5 **録画ボタン**で録画時間をきめる
～ワンタッチタイマー～

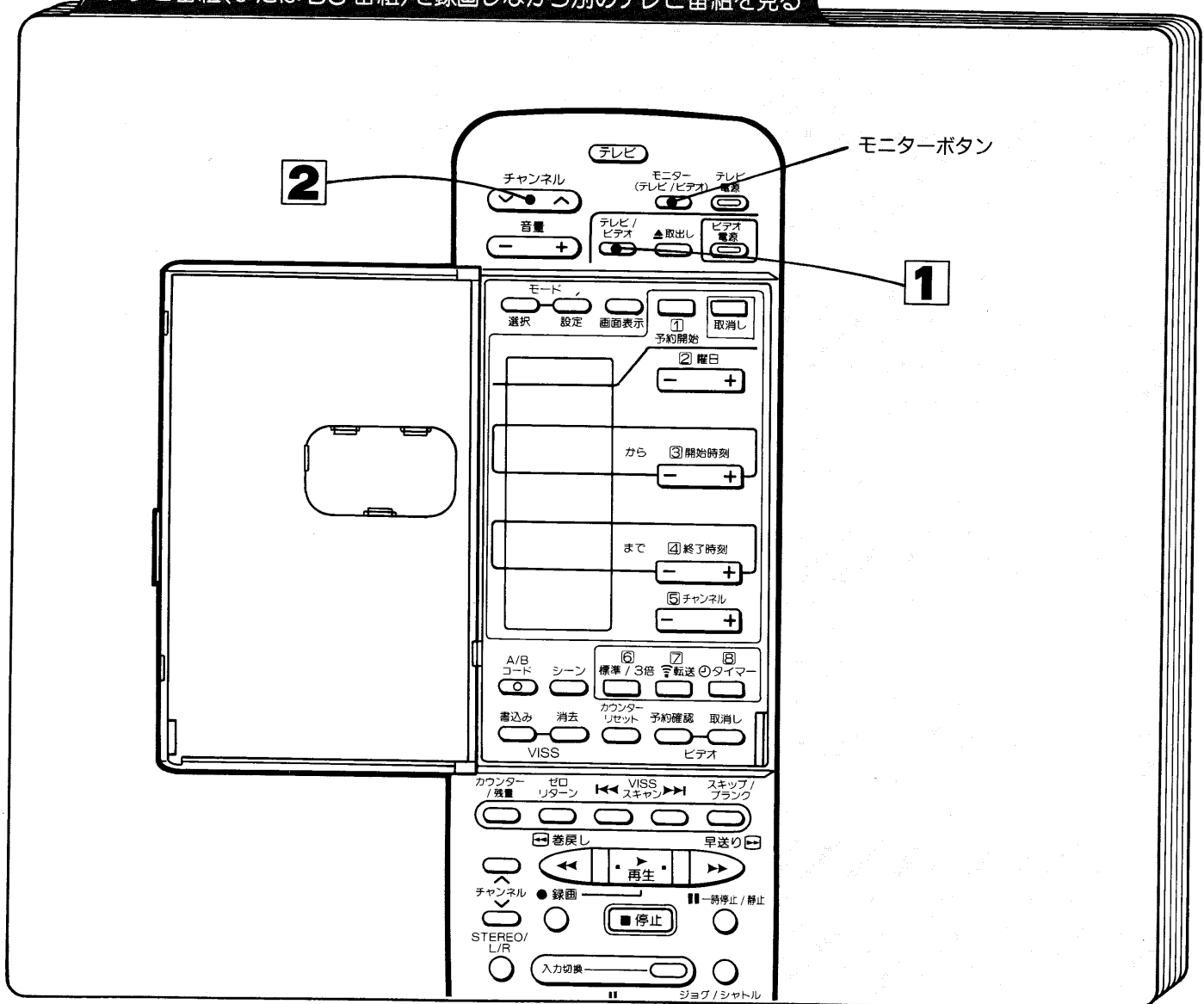
・録画ボタンを押すたびに、30 分刻みで 4 時間まで設定できます。
・録画を終了すると、電源が切れます。
・ワンタッチタイマー録画中は、ITR 表示が点滅します。

録画をやめるには、**停止ボタン**を押します。

録画を一時的に止めるには、**一時停止ボタン**を押します。
・再生ボタンで、また録画を始めます。
・リテイク機能を使うと、つなぎ録りに便利です。(66ページ参照)

・録画時間を4時間以上または分刻みで合わせたいときは
(例)録画時間を5時間15分にする
①5の操作後、送りボタンを押します。
(以後10秒以内に各操作を行います)
②合わせボタンで5時間にします。
③送りボタンを押します。
④合わせボタンで15分にします。
⑤送りボタンを押します。(設定完了)
・最大9時間59分まで設定できます。

録画中に別の番組を見る

テレビ番組(またはBS番組)を録画しながら別のテレビ番組を見る

テレビ画面　本体表示窓

1 テレビ/ビデオボタンで、ビデオ 表示を消す

・AV接続の場合は、モニターボタンでテレビの入力切換をテレビにします。

ビデオ

・AV接続でない場合

2 チャンネルボタンでテレビのチャンネルを、見たい番組にする

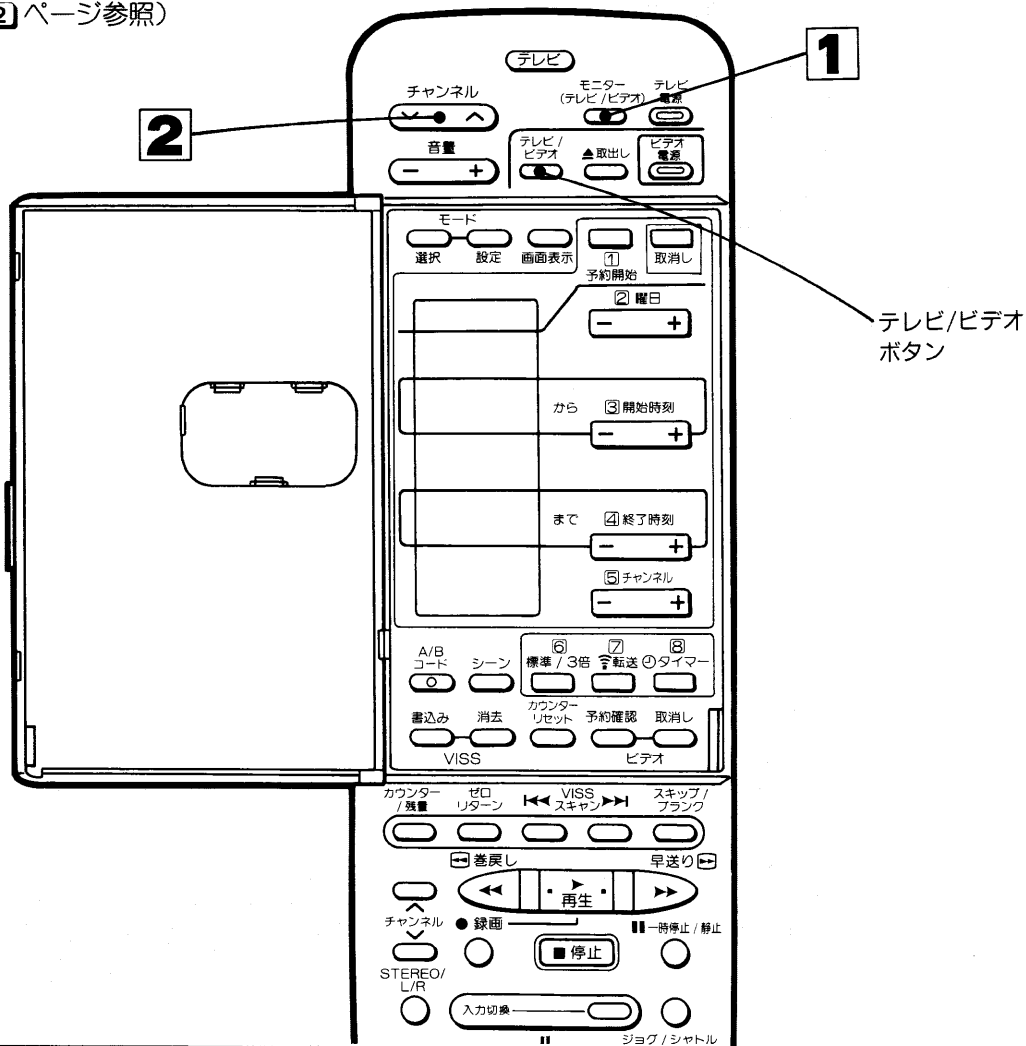
・録画には影響しません。
・リモコンでテレビを操作するために“リモコンの設定”をしてください。(20ページ参照)

10

(テレビにより異なります)

メモ
・AV接続とは
付属のビデオ、オーディオケーブルを使って、テレビとビデオを接続していることです。(98ページ参照)

BS番組（またはテレビ番組）を録画しながら別のBS番組を見る

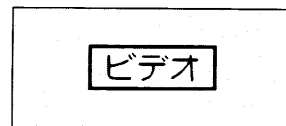
この操作を行うにはＢＳチューナー内蔵テレビとの接続が必要です。
（接続方法 102 ページ参照）

テレビ/ビデオボタン

（表示例）

テレビ画面　本体表示窓

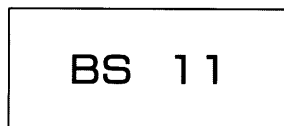
1 BS番組を録画中に、
AV接続の場合は **モニターボタン**で
テレビの入力切換をテレビにします

・AV接続でない場合は、テレビ/ビデオボタンで、ビデオ 表示を消す。

ビデオ

・AV接続でない場合

2 **チャンネルボタン**でテレビのチャンネルを、見たいBS番組にする

・リモコンでテレビを操作するために“リモコンの設定”をしてください。（20 ページ参照）
・録画には影響しません。

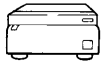
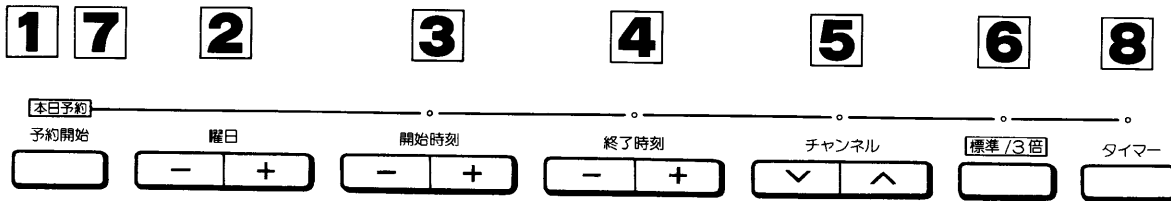
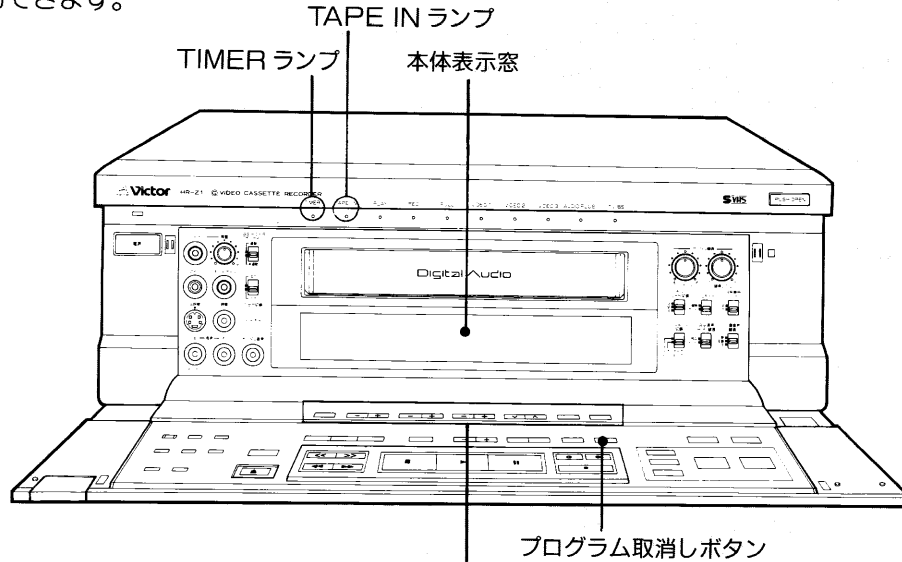
BS　11

（テレビにより異なります）

・VHF/UHF放送番組を、テレビ番組と説明しています。
・衛星放送番組を、BS番組と説明しています。

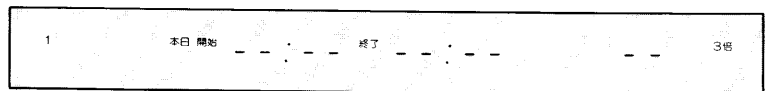
快速本日予約

8番組まで予約できます。

TAPE IN ランプ
TIMER ランプ
本体表示窓
プログラム取消しボタン

1 7 2 3 4 5 6 8
本日予約
予約開始
曜日
開始時刻
終了時刻
チャンネル
標準/3倍
タイマー

（例）今日、午後7時から8時30分まで、BS5チャンネルを標準モードで予約します。

本体表示窓

1 予約開始
予約開始ボタンを押す

1 本日 開始 --:-- 終了 --:-- -- 3倍

快速本日予約
本日または**深夜予約**
（開始時刻が現在時刻から24時間以内）の場合

3 へ進みます。

2 曜日
曜日ボタンを押す

・毎日または毎週予約をする場合、
－ ボタンを押し続けると早く呼び出せます。（45 ページ参照）

3 開始時刻
開始時刻ボタンを押す

1 本日 開始 19:00 終了 --:-- -- 3倍

・押し続けると、30分刻みで変わります。
・1回ずつ押すと、1分刻みで変わります。

開始時刻

夜の番組を予約するとき（12時～24時）－ボタンを押します。

深夜または午前中の番組を予約するとき（0時～12時）＋ボタンを押します。

終了時刻ボタンを押す

・押し続けると、30 分刻みで変わります。
・1 回ずつ押すと、1 分刻みで変わります。

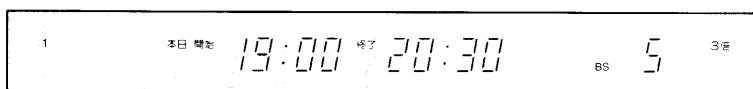
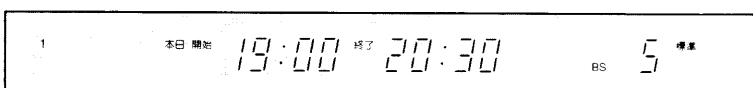
1　本日 開始 19:00 終了 20:30　- -　3倍

チャンネルボタンを押す

・外部入力は、入力切換ボタンで L1（または L2, L3）にします。
・BS 番組を予約するときは、チャンネル V ボタンを押します。

1　本日 開始 19:00 終了 20:30　BS 5　3倍

録画スピード 標準/3倍ボタンで選ぶ

1　本日 開始 19:00 終了 20:30　BS 5　標準

・まちがえたときは、変更したい項目に対応するボタンを押して変更してください。

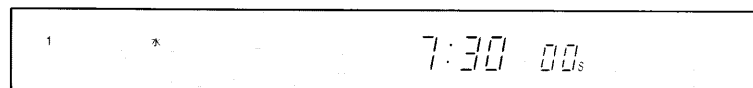
予約開始ボタンで時計とカウンター表示に戻す

・さらに予約したいときは、1～7の操作をくり返します。
・途中で取消すときは、プログラム取消しボタンを押してください。

設定が終わったら/お出かけ前に

タイマーボタンで タイマースタンバイにする

・TIMER、TAPE INランプが点灯し、電源が切れます。

1　水　7:30 00s

これで準備OKです。

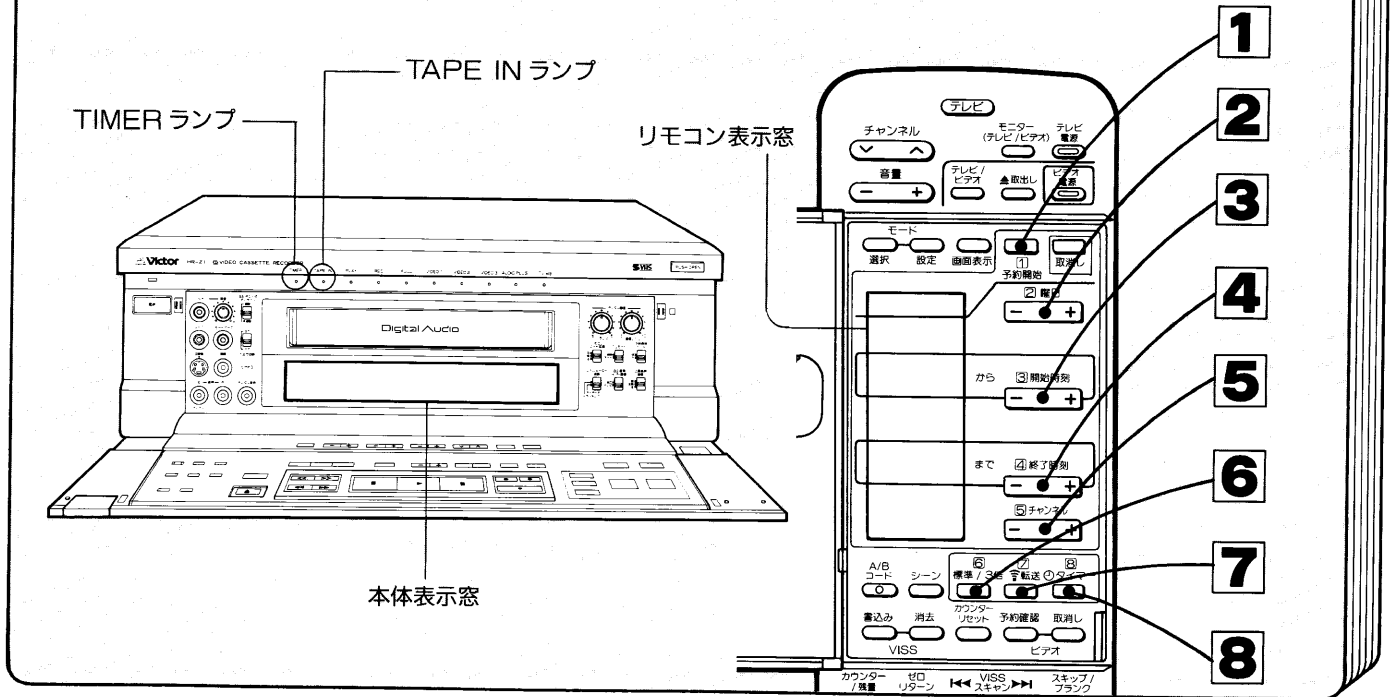
予約の確認/取消しをするには
42 ページをご覧ください。

予約の操作で困ったときは
44 ページをご覧ください。

・快速本日予約をした場合、開始時刻が深夜 0 時を過ぎると明日を表示します。

タイマー予約

リモコンでタイマー予約する

リモコンに予約を入れ、好きなときに本体へ送ります。リモコンには、２週間先まで４つの番組が記憶できます。本体では８番組まで予約できるので、５つ以上転送するときは、１つ取消してから転送してください。

（例）木曜日、午後５時から６時まで、BS11チャンネルを３倍モードで予約します。

準備 ①つめのついたカセットを入れます。
②現在時刻を確認します。

1 予約開始
予約開始ボタンでＡからＤのどれかを選ぶ

快速本日予約
本日または**深夜予約**
（開始時刻が現在時刻から24時間以内）の場合
3へ進みます。

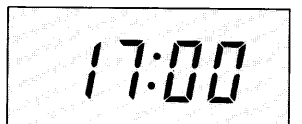
2 曜日
曜日ボタンを押す

・毎日または毎週予約をする場合、－ボタンを押し続けると早く呼び出せます。（45 ページ参照）

木

3 開始時刻
開始時刻ボタンを押す

・押し続けると、30 分刻みで変わります。
・１回ずつ押すと、１分刻みで変わります。

17:00

3 開始時刻

夜の番組を予約するとき（12 時～24 時）－ボタンを押します。

深夜または午前中の番組を予約するとき（0 時～12 時）＋ボタンを押します。

終了時刻ボタンを押す

・押し続けると、30 分刻みで変わります。
・1回ずつ押すと、1分刻みで変わります。

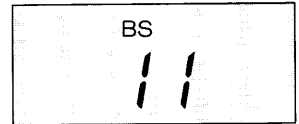
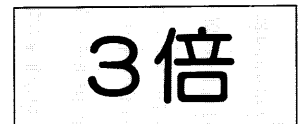
18:00

チャンネルボタンを押す

・BS 番組を予約するときは、－ ボタンを押します。
・早く呼び出すときは、押し続けます。
・外部入力を予約するときは、リモコンの入力切換ボタンでLにします。
(外部入力の選択は、本体側の入力切換ボタンでL１～L３を選択してください)

BS 11

録画スピード 標準/3倍ボタンで選ぶ

3倍

転送 表示が出たら

本体表示窓

転送ボタンで本体へ転送します。

・リモコンに表示している予約(1番組)が転送されます。
・本体が正しく受け取ると、本体表示窓に予約内容を5秒間表示します。

・さらに予約したいときは、1～7の操作をくり返します。

設定が終わったら/お出かけ前に

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

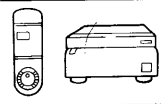
・本体ランプ表示部のTIMER、TAPE INランプが点灯し、電源が切れます。

これで準備OKです。

リモコンの予約を取消すには
①予約開始ボタンで、取消す予約を出します。
②取消しボタンで、取消します。

本体へ転送した予約を取消すには
43 ページをご覧ください。

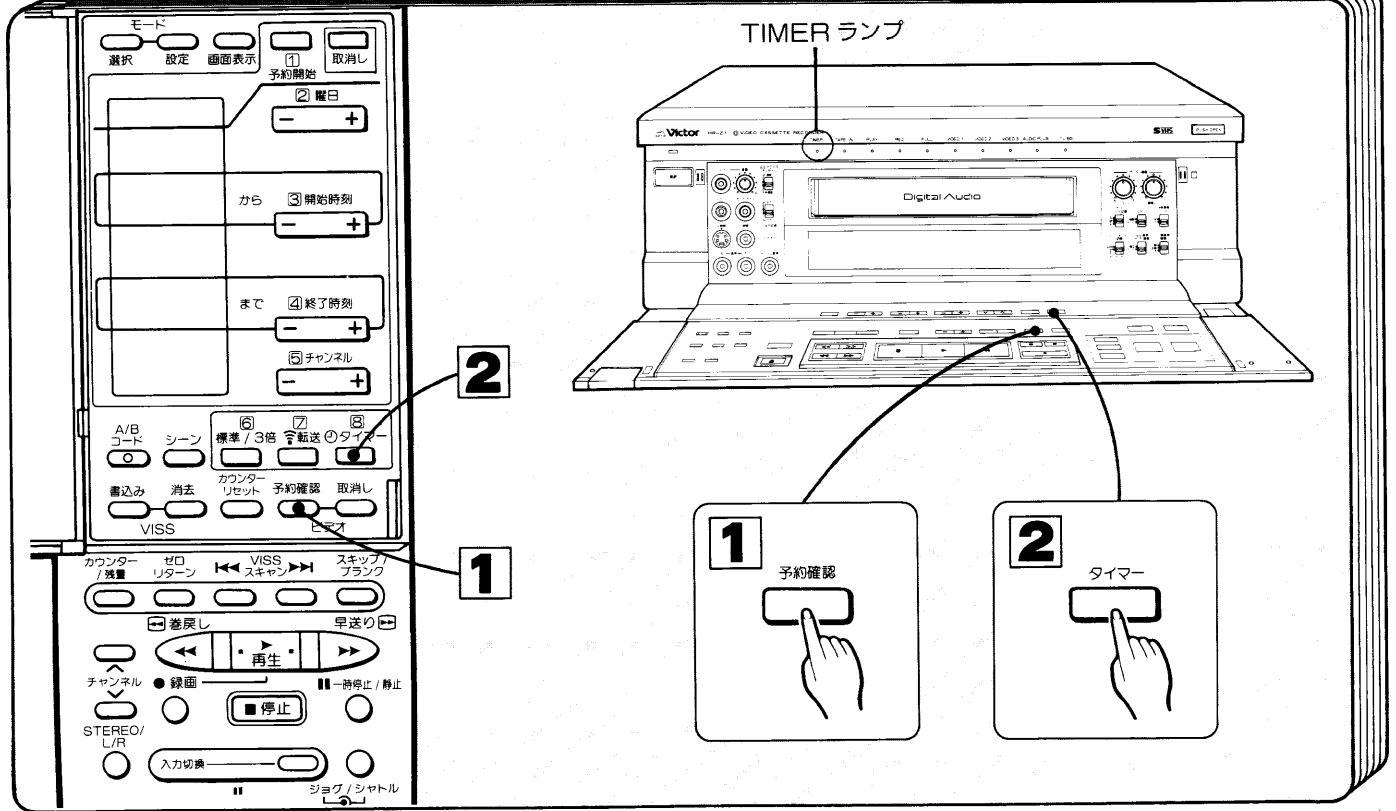
・その日(24時間先まで)の番組を予約するときは、本体予約と同じように、操作2の曜日入力の設定を飛ばして操作することもできます。

・本体へ転送したとき、本体表示窓に "Err" を表示したら、
①時刻合わせが行われていない
②誤った予約を転送した
・本体へ転送したとき、本体表示窓に "FULL" を表示したら、
①本体の予約がいっぱい
このような場合は、予約内容をもう一度確認し、正しく転送をやり直してください。

予約の確認/取消し

予約の確認をする

TIMERランプ

1 予約確認

2 タイマー

・本体ランプ表示部のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消し電源を入れます。

本体表示窓

予約確認ボタンで予約内容を確認する

・本体のボタンで2番目以降を確認するときは、
予約確認ボタンを押して予約番号を選びます。

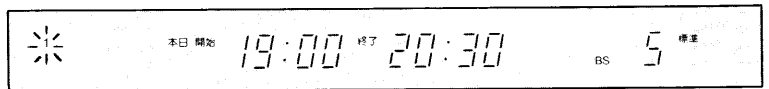
現在時刻を水曜日午前8時とします。

予約確認リスト

1	本日	19:00~20:30	BS	5	標準
2	本日	23:00~23:30		12	3倍
3	明日	12:00~13:00		8	3倍
4	日曜	--:--~--:--		--	3倍
5	日曜	--:--~--:--		--	3倍
6	日曜	--:--~--:--		--	3倍
7	日曜	--:--~--:--		--	3倍
8	日曜	--:--~--:--		--	3倍

本日TOTAL時間　100分

録画時間		標準モードに換算すると
90分	⇨	90分
30分	⇨	10分
60分	⇨	20分

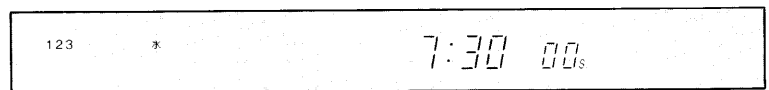
本日 開始 19:00 終了 20:30 BS 5 標準

・本体表示窓ではTOTAL時間を表示しません。

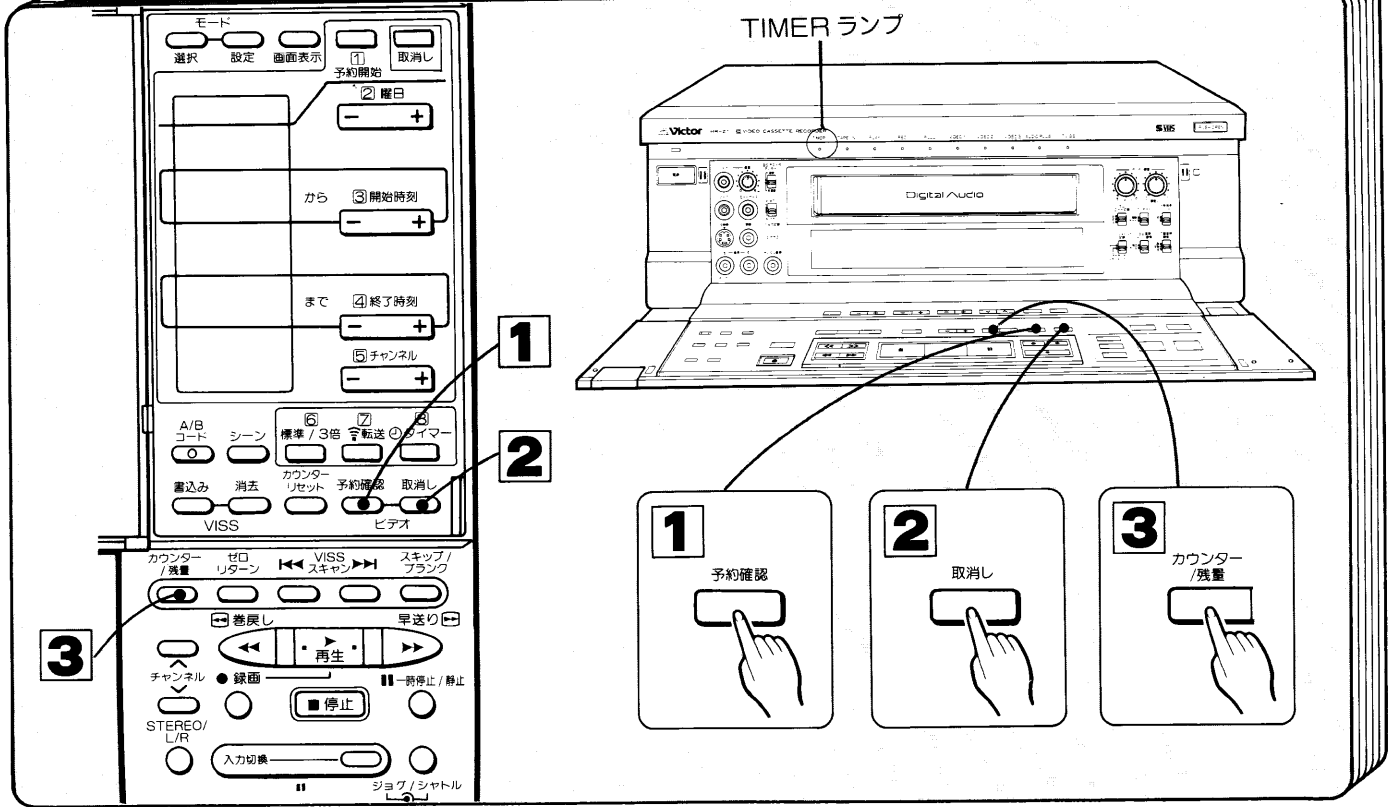
曜日が本日と表示されるものの合計を出します。

標準モードに換算してTOTAL時間を表示します。

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

・TIMERランプが点灯します。

123　水　7:30 00s

・TOTAL(トータル)時間は、予約確認ボタンで予約番号の点滅部を移動すると、上から点滅している部分までの録画時間を合計し、表示します。

予約を取消す

TIMERランプ

本体表示窓

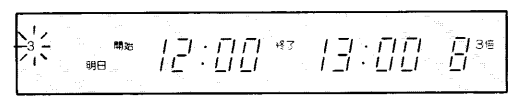
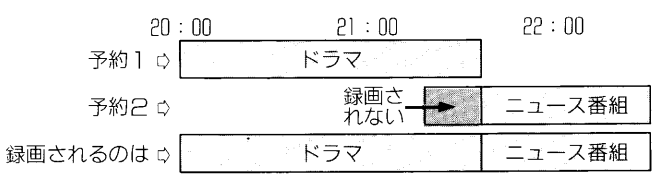
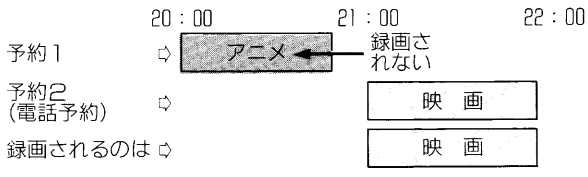
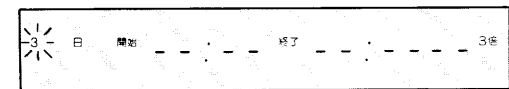
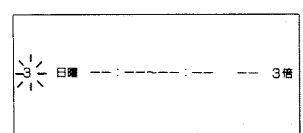
1 予約確認ボタンで予約内容を表示する

・予約確認ボタンで取消したい予約番号を点滅させます。
・本体ランプ表示部のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消します。

＊予約確認リスト＊

1	本日	19：00～20：30	BS 5	標準
2	本日	23：00～23：30	12	3倍
3	明日	12：00～13：00	8	3倍
4	日曜	--：-----：--	--	3倍
5	日曜	--：-----：--	--	3倍
6	日曜	--：-----：--	--	3倍
7	日曜	--：-----：--	--	3倍
8	日曜	--：-----：--	--	3倍

TOTAL時間　120分

3 開始 明日 12:00 終了 13:00 8 3倍

2 取消しボタンで予約を取消す

3 カウンターボタンで表示を戻す

・タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンで本体のTIMERランプを表示させてください。

タイマー予約のこんなときは/Q&A

こんなときは	こうしてください
TIMERランプが点滅する	予約内容を確認してください。
TIMERランプとTAPE INランプが点滅する	つめのついたカセットを入れてください。
本体表示部の 0:00 が点滅している	停電がありました。もう一度時刻合わせをしてください。
タイマー録画が始まるまでの間、テープを見たい。	タイマーボタンを押してTIMERランプを消してから操作します。 操作終了後は、タイマーボタンを押してTIMERランプを点灯させます。
タイマー録画中に停止するには	タイマーボタンを押してTIMERランプを消してから操作します。
リモコン予約で、深夜0時をまたぐタイマー録画では (例)月曜日、午後11時から翌日(火曜日)午前1時まで予約する場合	開始時刻の曜日(月曜日)にします。
タイマー予約設定中に予約表示が消えた	リモコン及び本体とも、予約設定中に約1分間放置すると表示内容は消えます。 もう一度やり直してください。
タイマー録画中にカセットが出て、TIMERとTAPE INランプが点滅している。	テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 タイマーボタンを押すと、TIMER、TAPE INランプは消えます。 タイマー録画するときは、TOTAL時間を確認し、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。
電話予約を取消すには	①タイマーボタンを押してTIMERランプを消す。 ②予約確認ボタンを押して、本体表示部に電話予約を表示する。 ③予約取消しボタンを押す。 ④カウンター/残量ボタンを押して、通常の表示に戻す。
予約が重なったら	・録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 20：00　21：00　22：00 予約1 ⇨ ドラマ 予約2 ⇨ 録画されない ニュース番組 録画されるのは ⇨ ドラマ ニュース番組 ・電話予約した録画を終了するまで、ほかのタイマー録画は行いません。 20：00　21：00　22：00 予約1 ⇨ アニメ 録画されない 予約2(電話予約) ⇨ 映　画 録画されるのは ⇨ 映　画

タイマー予約（40ページ参照）の曜日設定で、リモコンまたは本体の曜日ボタンを押すごとに、毎日、毎週予約などの設定ができます。
・毎日予約をするときは、曜日（－）ボタンを押し続けると早く呼び出せます。

こんなときは		こうしてください
月～木曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します （リモコン表示窓） 月火水木 毎週
月～金曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します 月火水木金 毎週
月～土曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します 月火水木金土 毎週
毎日予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します 日月火水木金土 毎週
毎週予約 ・毎週金曜日の番組を録画したい	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します 金 毎週
2週目予約 ・来週の水曜日の番組を録画したい	日 月 火 水 木 金 土 今日→1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコンの曜日ボタンで設定します 水 2週

衛星放送を楽しむには

衛星放送の特長としくみ

衛星放送の特長

■鮮明な映像
地上放送がAMであるのに対して、FMで伝送するためノイズやひずみを受けにくく、映像周波数帯域が地上放送に対して広いため水平解像度が良く、細やかな画像を再現できます。
また、衛星からBSアンテナに直接電波が送られてくるため、ゴーストのない美しい映像がご覧になれます。

■迫力あるPCM音声
衛星放送の音声はデジタル音声で送信されていますので、ダイナミックレンジの広い、ピュアなサウンドが楽しめます。

■バラエティーに富んだニューメディア放送
ハイビジョン放送や、有料放送などでホットなニュース、スポーツ、ミュージック番組などをリアルタイムでお楽しみいただけます。

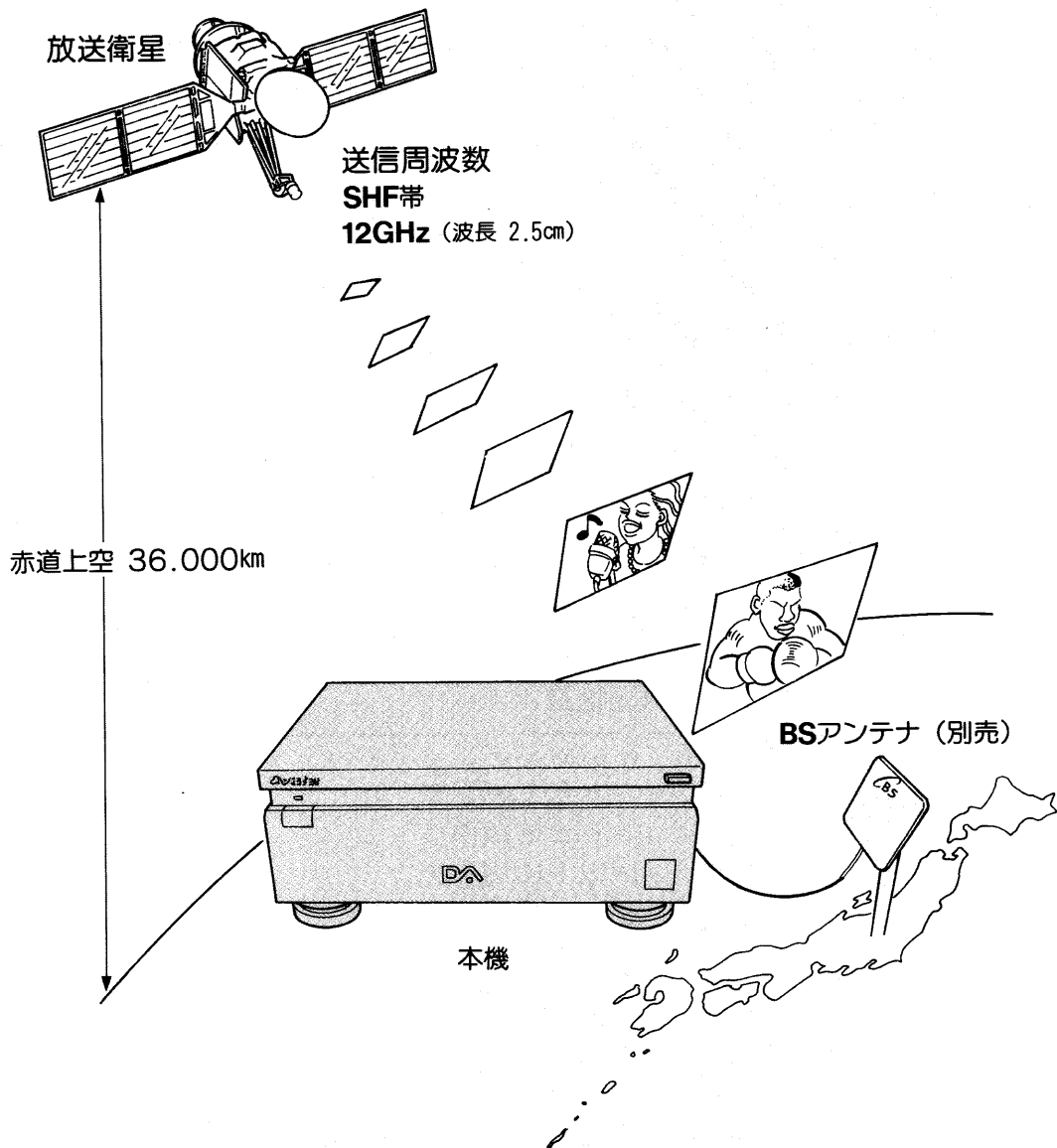
衛星放送のしくみ

放送衛星

送信周波数
SHF帯
12GHz（波長 2.5cm）

赤道上空 36.000km

BSアンテナ（別売）

本機

天気による影響
放送衛星は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやビデオの故障ではありません。

“食”による影響
衛星放送は、太陽電池で動作するため太陽光線が当たらなくなると放送を行うことができなくなることがあります。この時の状態を「食に入った」と言います。“食”については番組表やテレビ局でお確かめください。

音声モードと表示について

音声について

Aモード とBモードの2種類があり、放送の内容によって自動的に切り換わります。

FM放送並みの**音質** (Aモード)	**CD**並みの**音質** (Bモード)
音声出力切換ボタン(4CH切換、テレビ/独立)で2種類の音声が楽しめます。	Aモードよりも高音質のテレビ音声が楽しめます。
Aモード放送受信中は本体表示窓の"A MODE"が点灯。	Bモード放送受信中は本体表示窓の"B MODE"が点灯。

B MODE表示
A MODE表示
音声出力切換ボタン

二重音声(録音)スイッチ

二重音声(録音)

副音声(外国語など)で録音されます。— 副
主音声+副音声で録音されます。— 主副
主音声(日本語など)で録音されます。— 主

BS音声モード表示について

A MODE B MODE
STEREO BILINGUAL
ADD MUSE

放送がAモードまたはBモードのときに、自動的に点灯します

BS番組、テレビ番組ともにテレビ音声がステレオか、二重音声のときに点灯します

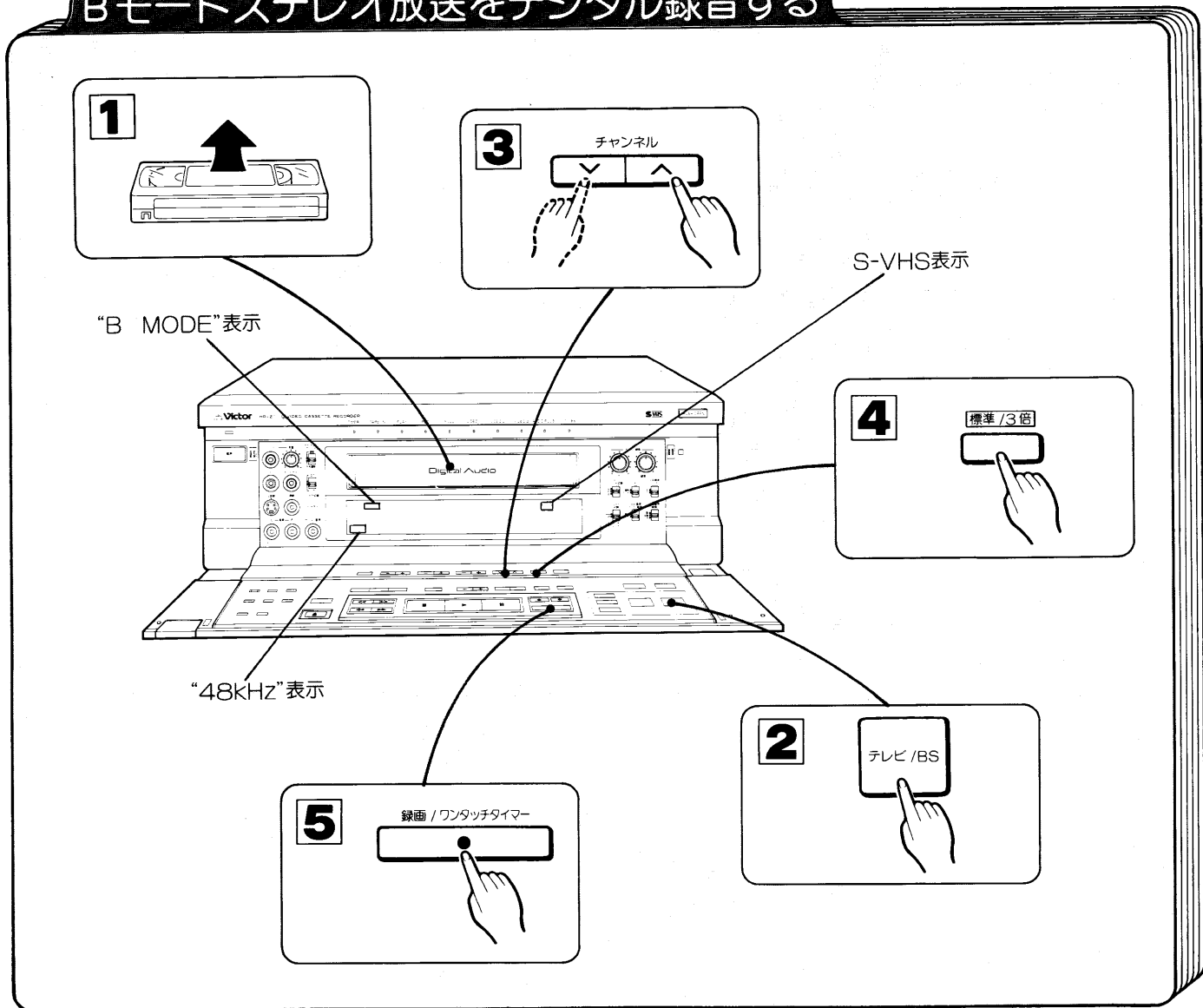
独立音声がある放送を受信したときに、自動的に点灯します

MUSE/NTSCコンバータを接続してハイビジョン放送を受信したときに点灯します

音声出力切換ボタン
独立音声のない放送の場合は、ボタンが"独立・CD"側になっていると無音となります。

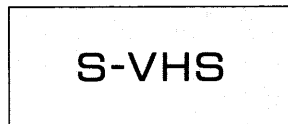
衛星放送を楽しむには

Bモードステレオ放送をデジタル録音する

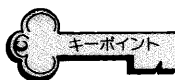
1
3 チャンネル
S-VHS表示
"B MODE"表示
4 標準/3倍
"48kHz"表示
2 テレビ/BS
5 録画/ワンタッチタイマー

準備
①テレビの電源を入れます。
②テレビをビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。
③番組表でBモード放送を確認します。

本体表示窓

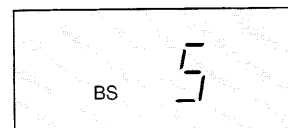
1 S-VHSテープを入れる

・つめがあることを確認します。
・テープを入れたら"S-VHS"表示が点灯していることを確認します。
(点灯しないときは122ページを参照してS-VHS記録を"オート"にします。)
・"DA"マークの付いたテープをおすすめします。

S-VHS

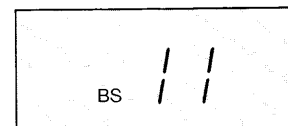
S-VHSテープ使用時

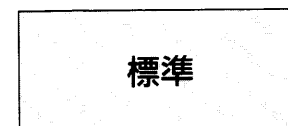
・Bモード放送は48KHzのサンプリング周波数でデジタル録音されます。
・Aモード放送は32kHzのサンプリング周波数でデジタル録音されます。

・録音するテープは、あらかじめオートキャリブレーションボタンを押して最適状態に設定しておくことをおすすめします。設定方法は68ページを参照してください。

2 テレビ/BSボタンで BS表示を点灯させる

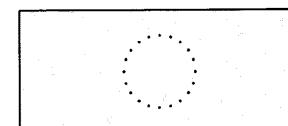
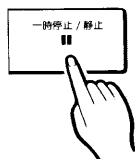
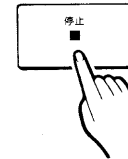
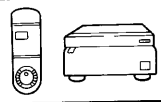
BS 5

3 チャンネルボタンでBモード放送を選ぶ

・“B MODE”表示、“48KHz”表示が点灯します。

BS 11

4 標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

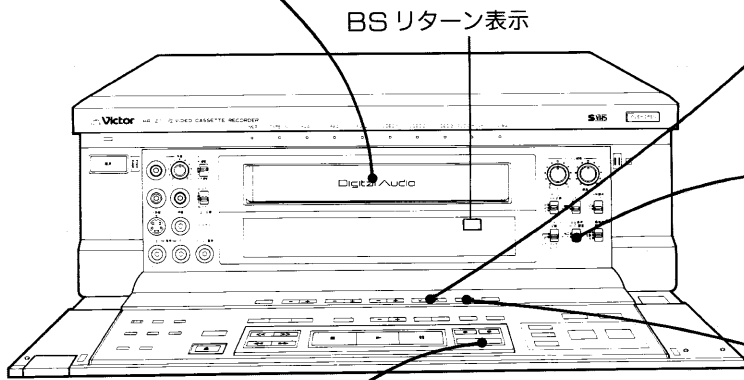
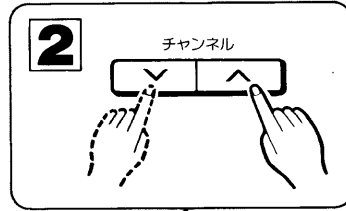
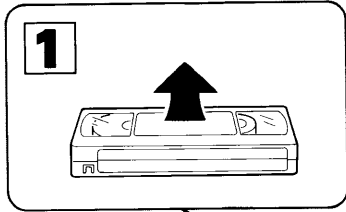
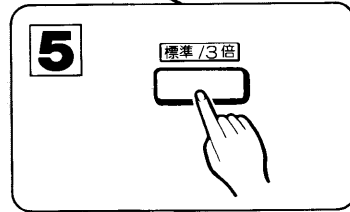
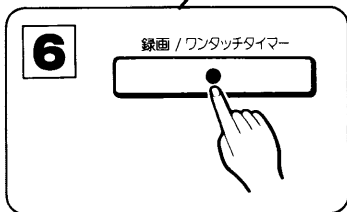
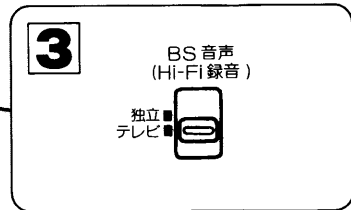
標準

5 録画ボタンで録画を始める

・ワンタッチタイマー機能を使うと便利です。
(35 ページ参照)

つめのないテープには録画できません。

録画を一時的に止めるには、**一時停止ボタン**を押します。
・再生ボタンで、また録画を始めます。

録画をやめるには、**停止ボタン**を押します。

・音声はHi-Fiトラックにも記録されますので通常のS-VHS対応ビデオまたはSQPB(S-VHS簡易再生機能)付きビデオでご覧になれます。
・デジタル音声出力端子からデジタルアンプなどへ接続してください。

衛星放送を楽しむには

WOWOW や St.GIGA を録画する

WOWOW や St.GIGA を録画するには、BS デコーダが必要です。
放送局との所定の手続きを行ってください。

1
2 チャンネル
3 BS 音声 (Hi-Fi 録音) 独立 テレビ
BS リターン表示
5 標準/3倍
6 録画/ワンタッチタイマー

■ スクランブル放送でない場合は、4の操作を飛ばしてください。

準備
①102 ～ 105 の接続と設定を行ってください。
②テレビの電源を入れます。
③テレビをビデオチャンネル(1か2, ビデオ)にします。

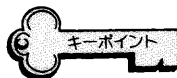
本体表示窓

1 テープを入れる

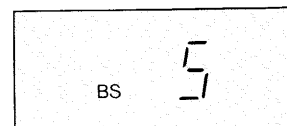
・本機と BS デコーダーの電源が入ります。
・つめがあることを確認します。
ご使用になるテープによって録音のしかたが異なります。
VHSテープ：Hi-Fi 録音(VHS録画時)
S-VHSテープ：Hi-Fi 録音+デジタル録音(S-VHS録画時のみ)
S-VHSテープ：Hi-Fi 録音(VHS録画時のみ)

S-VHS

S-VHSテープ使用時

・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
・高画質・高音質でお楽しみ頂くにはS-VHSテープのご使用をおすすめします。特に"DA"マークの付いたテープはデジタル録音に最適です。

・スクランブル放送でない場合、S-VHS テープで S-VHS 録画するとデジタルトラックには、BS 音声スイッチの位置にかかわらず、テレビ音声、独立音声が記録されます。

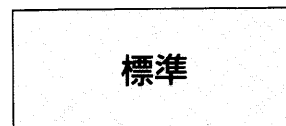
チャンネルボタンでBS5チャンネルを選ぶ

BS 5

BS 音声スイッチで録音音声を選ぶ

・WOWOW の場合は、テレビにします。
・St.GIGA の場合は、独立にします。(29ページ参照)
・スクランブル放送の場合は、BSリターン表示が点灯します。

4

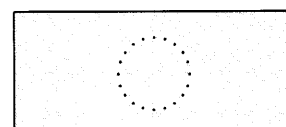
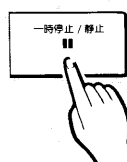
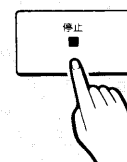
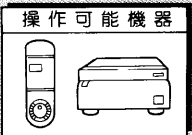
BS デコーダの音声選択ボタンで録音音声を選ぶ

・WOWOW の場合は、テレビにします。
・St.GIGA の場合は、独立にします。
・二ヶ国語放送の場合は、BS デコーダの二重音声選択ボタンで録音音声を選んでください。

標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

標準

録画ボタンで録画を始める

・ワンタッチタイマー機能を使うと便利です。
(35ページ参照)

つめのないテープには録画できません。

録画を一時的に止めるには、**一時停止ボタン**を押します。
・再生ボタンで、また録画を始めます。

録画をやめるには、**停止ボタン**を押します。

・スクランブル放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
・WOWOW のタイマー録画で、録画開始時に BS デコーダの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、BS デコーダの電源が "入" であることを確認してください。
・画面が乱れていても、独立音声は正常に録音できます。
・独立音声放送がないときにBS音声スイッチを"独立"にすると、音声は出ません。
・スクランブル放送時、BS デコーダを接続していないと、音声は出ません。
・BS デコーダからの音声はデジタル，アナログを選択できます。BS チャンネルにして、録音モードボタン（75ページ参照）で設定してください。

衛星放送を楽しむには

ハイビジョン放送を録画する

ハイビジョン放送を見るには、MUSE-NTSC
コンバーターが必要です。

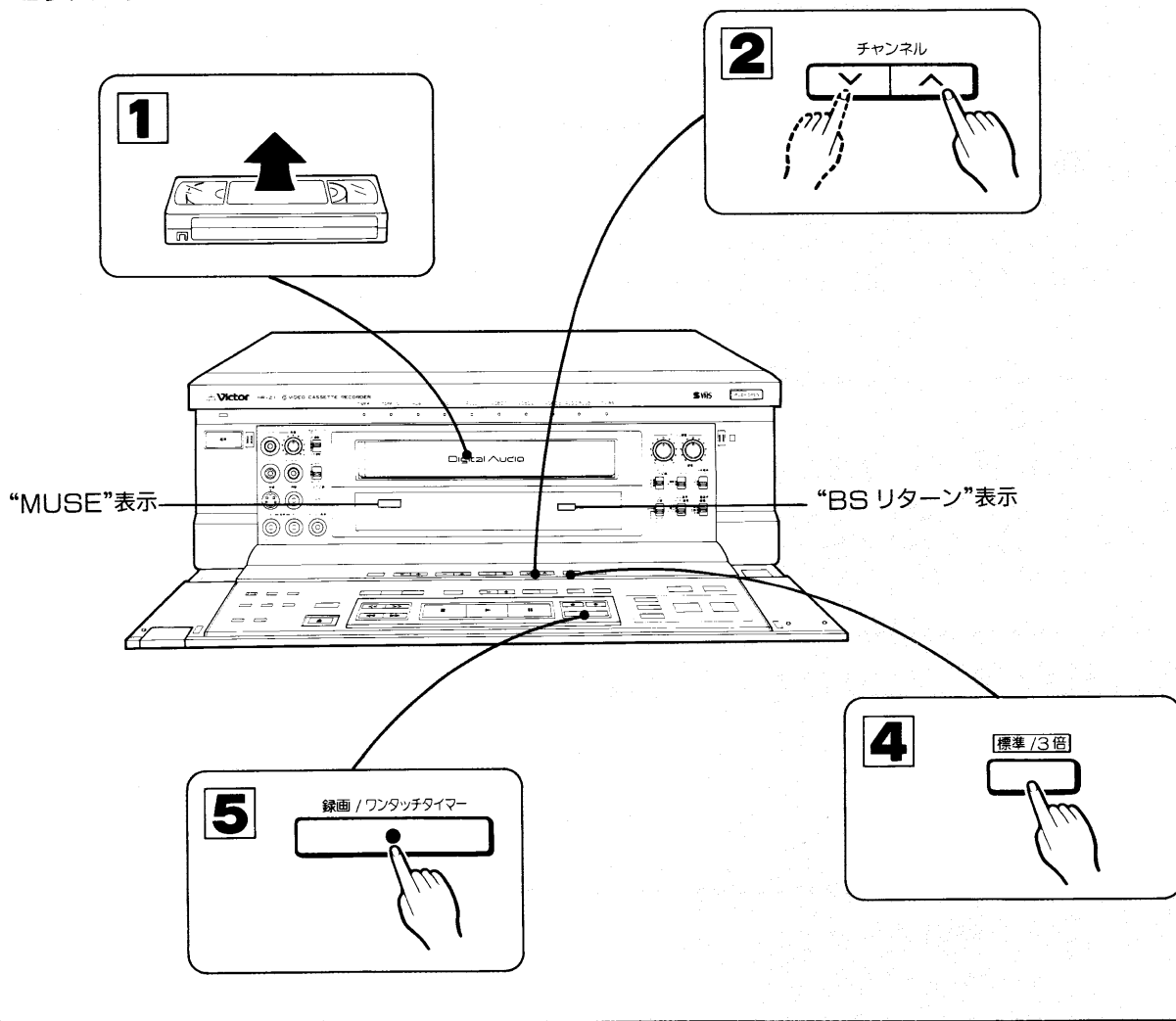
1

2 チャンネル

“MUSE”表示

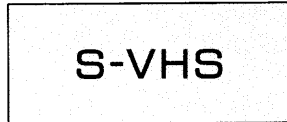
“BS リターン”表示

4 標準/3倍

5 録画/ワンタッチタイマー

準備 ① 106 ～ 109 の接続と設定を行ってください。
②テレビの電源を入れます。
③テレビをビデオチャンネル(1か2, ビデオ)にします。

本体表示窓

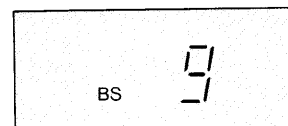
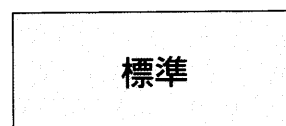
1 テープを入れる

・本機とMUSE-NTSCコンバーターの電源が入ります。
・つめがあることを確認します。
ご使用になるテープによって録音のしかたが異なります。
VHSテープ：Hi-Fi録音(VHS録画時)
S-VHSテープ：Hi-Fi録音+デジタル録音(S-VHS録画時のみ)
S-VHSテープ：Hi-Fi録音(VHS録画時のみ)

S-VHS

S-VHSテープ使用時

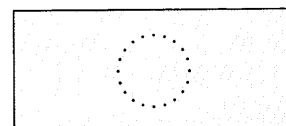
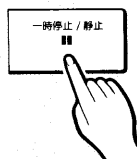
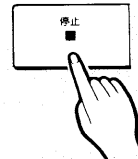
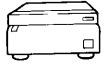
・MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もお読みください。
・高画質・高音質でお楽しみ頂くにはS-VHSテープのご使用をおすすめします。特に“DA”マークの付いたテープはデジタル録音に最適です。

チャンネルボタンで
ハイビジョン放送を選ぶ
・"MUSE"表示と"BS リターン"表示が点灯します。

BS 9

MUSE-NTSC コンバーター側で
録音音声を選ぶ

標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

標準

録画ボタンで録画を始める
・ワンタッチタイマー機能を使うと便利です。
（35 ページ参照）

つめのないテープには録画できません。

録画を一時的に止めるには、
一時停止ボタンを押します。
・再生ボタンで、また録画を始めます。

録画をやめるには、**停止ボタン**を押します。

・MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もお読みください。
・デジタル音声出力端子からデジタルアンプなどへ接続してください。
・本機ではハイビジョン放送の4チャンネルステレオ音声は録音出来ません。2チャンネル分のみ記録出来ます。
・MUSE-NTSC コンバーターとの接続はオーディオケーブルを使用し、録音モードを ANALOG IN にすることをおすすめします。（75 ページ参照）

デジタル音声を楽しむには

聞きたい音声を選ぶには

テレビ番組、衛星放送や再生時の音声は音声出力切換ボタンで切り換えます。

音声トラックについて

本機はビデオテープ上に3つの音声トラックをもうけて記録・再生を行います。

1 . NORMALトラック
モノラルVHSビデオでも音声を再生可能にするために記録します。このトラックの音声出力時は、NORMAL 表示が点灯します。

2 . Hi-Fiトラック
BS音声スイッチと二重音声スイッチで設定された音声が記録されます。このトラックの音声出力時は Hi-Fi 表示が点灯します。

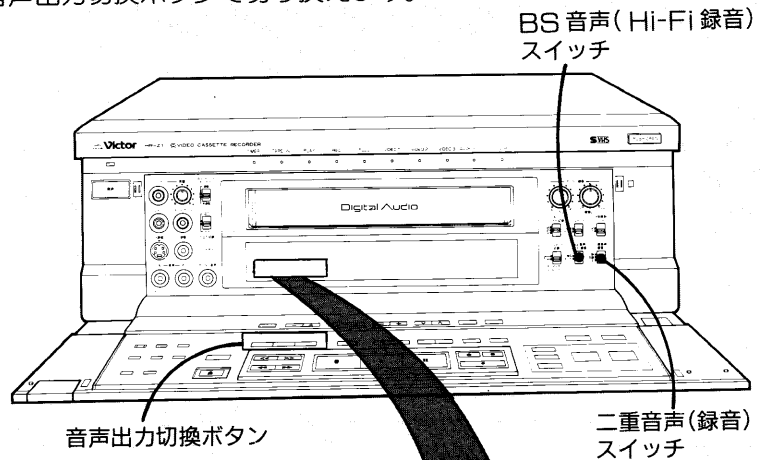
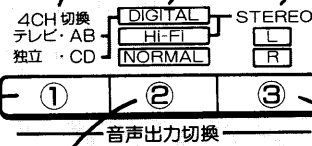
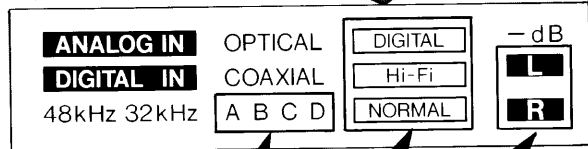
3 . DIGITALトラック
S-VHS録画時のみデジタル録音されます。テレビ放送の音声はA/D変換されたのち、2チャンネル48KHzのサンプリング周波数でデジタル録音されます。衛星放送録画時は、Aモード音声は32KHz 4チャンネル(スクランブル放送を除き)，Bモード音声は48KHz 2チャンネルのサンプリング周波数で、デジタル録音されます。このトラックの音声出力時は DIGITAL 表示が点灯します。そして同時に出力中の音声チャンネル(ABまたはCD)を表示します。

各トラックの音声を聞くには音声出力切換ボタンを押します。

音声出力表示

4CH切換 テレビ・AB 独立・CD ｜ DIGITAL Hi-Fi NORMAL ｜ STEREO L R

① ② ③

音声出力切換

このボタンはテレビ音声または独立音声の切り換え及び再生時のデジタルトラックのチャンネルを切り換えます。

操作方法は

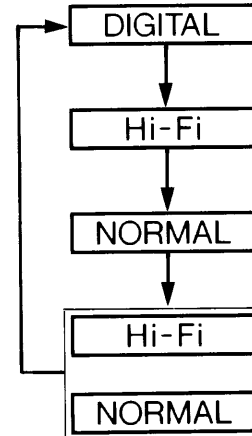
1. ②のボタンを押す
DIGITAL 表示を点灯させせます。

2. ①のボタンを押す
"AB"または"CD"を点灯させせます。

AB点灯：**テレビ音声を出力します。再生時は、ABチャンネルの音声を出力します。**

CD点灯：**独立音声を出力します。再生時は、CDチャンネルの音声を出力します。**

このボタンは音声トラックを切り換えます。押すたびに次のように切り換わります。

DIGITAL → Hi-Fi → NORMAL → Hi-Fi / NORMAL → DIGITAL

このボタンは DIGITAL または Hi-Fi 音声のL、Rを切り換えます。NORMAL 音声のときは点灯しません。

メモ

- 音声出力切換ボタンで切り換えた音声が音声出力端子から出力されます。
- デジタル録音されていないテープの再生時はデジタル出力端子からの出力はありません。
- 再生中に画面が急に切り変わるような場面で、デジタル音声が一瞬とぎれる場合があります。
- テレビ放送、衛星放送受信時はデジタル出力端子からも常時出力されます。
- VHS録画中でもデジタル音声出力端子からの音声をモニターすることができますが、デジタル音声の記録はされません。

デジタル音声とデジタル信号処理

本機ではS-VHS録画を行うと、自動的にデジタル録音を行います。
通常のテレビ番組の録画の場合は、アナログ音声をデジタル音声に変換して録音します。
この変換のことをA/D(アナログからデジタルに)変換とよびます。

デジタル信号処理

テレビ番組のアナログ音声

サンプリング(標本化)

録音するアナログ音声を1秒間に48,000回検出することによって細分化します。
これを48 kHzでサンプリング(標本化)するといいます。

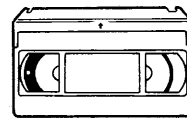
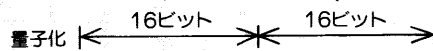
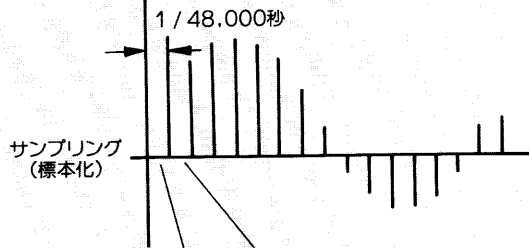
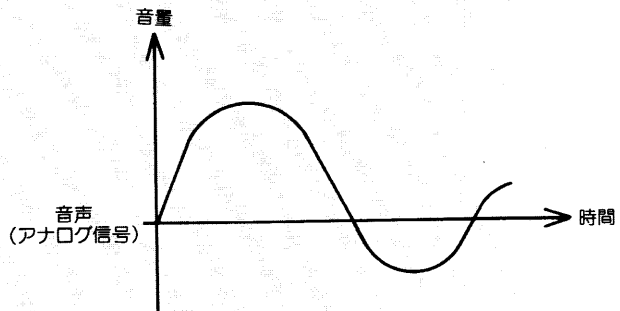
量子化

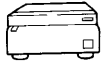
サンプリングしたひとつひとつの音の大きさを16ビットのデーターに変換します。
これを16ビットに量子化するといいます。

量子化 16ビット 16ビット

(デジタル信号)

デジタル記録

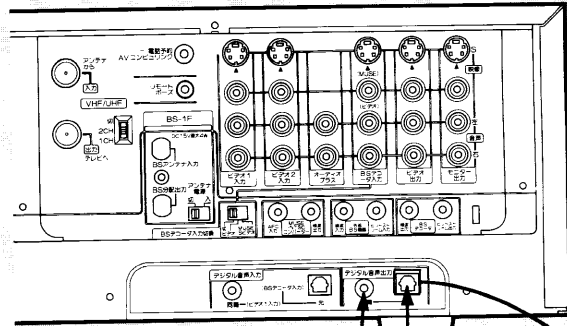
量子化した音声データーを0と1に符号化してデジタルトラックに記録します。

S-VHS カセット

・衛星放送のAモード録画の時は32 KHzのサンプリング周波数で12ビットに量子化してデジタル録音を行います。

デジタル音声を楽しむには

デジタルアンプで楽しむには

本機の音声をデジタルアンプで聞いたりするには、
音声出力切換ボタンでデジタル音声に切り換えます。

本機背面

デジタル音声(同軸)出力端子へ

デジタル音声(光)出力端子へ

デジタルアンプのデジタル(光または同軸)入力端子に接続します。

同軸ケーブル **VX-100**、**VX-710PRO**(別売)

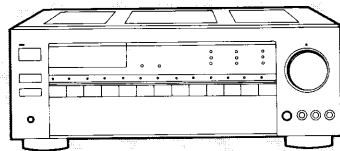
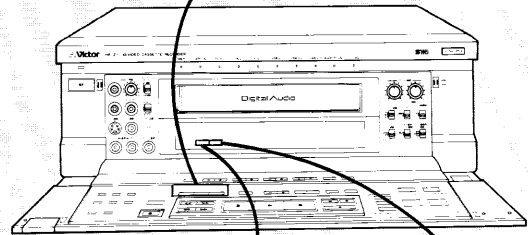
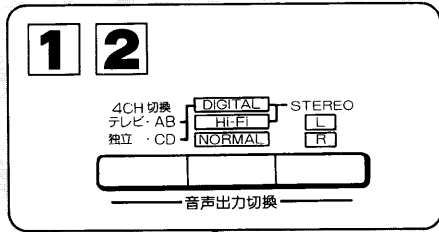
光ファイバーケーブル **XN-110HF**、**XN-710PRO**(別売)

デジタル音声(同軸)入力端子へ

デジタル音声(光)入力端子へ

デジタルアンプ

1 2

4CH切換 テレビ・AB 独立・CD　DIGITAL　Hi-Fi　NORMAL　STEREO　L　R

音声出力切換

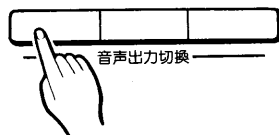
ABまたはCD表示　DIGITAL 表示

●端子カバーを外し、ケーブルの保護キャップを取り外してから接続します。

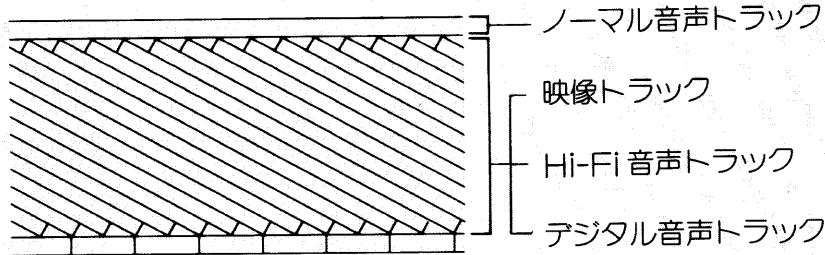
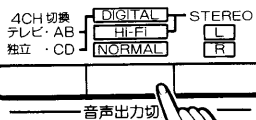
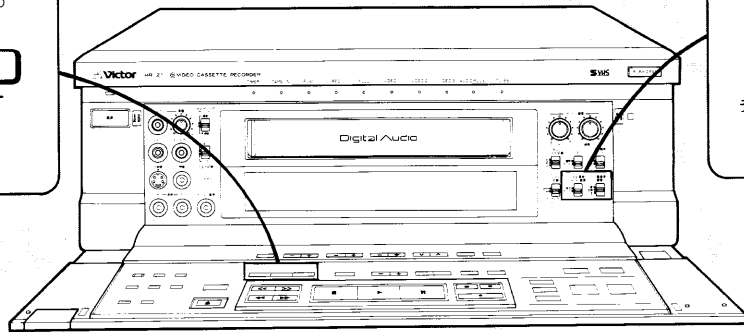
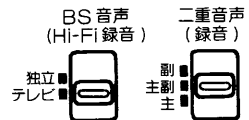
1 音声出力切換ボタンを押す

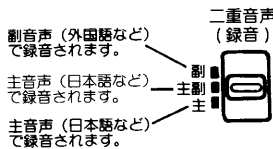
DIGITAL 表示を点灯させます。

2 音声出力切換ボタンを押す

ABまたはCDを点灯させます。

・光ファイバーケーブルは折り曲げないでください。
・本機のデジタル同軸出力は、アンプなどのデジタル入力端子以外には接続しないでください。
・デジタル音声出力(光)端子をご使用の際は、キャップを手前に引いて取りはずしてから接続してください。
・他社のデジタルアンプの中には、当社製光ファイバーケーブルで接続できないものがあります。詳しくはお買い上げ販売店もしくはビクターサービス窓口にご相談ください。
・デジタル録音されていないビデオテープを再生してもデジタル出力はありません。

音声トラックに記録される音声について

本機では、ビデオテープに音声と映像を下図のように記録します。音声については、3つのトラックに記録しています。各トラックに記録された音声は音声出力切換ボタンで切り換えて聞くことができます。(54 ページ参照)

ノーマル音声トラック

Hi-Fiトラックに記録される音声をモノラルにして記録します。二重音声の場合は二重音声（録音）スイッチが主副のときは主音声が記録されます。

Hi-Fi 音声トラック

テレビ放送のとき
モノラルまたはステレオ音声はそのまま記録します。二重音声のときは二重音声(録音)スイッチで設定された音声が録音されます。

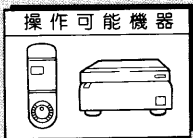
衛星放送のとき
BS音声（Hi-Fi）スイッチで設定した音声（独立またはテレビ）を記録します。その音声がモノラル、ステレオまたは二重音声のときはテレビ放送と同じです。

デジタル音声トラック

テレビ放送・B モード衛星放送のとき
48 KHz のサンプリング周波数で記録します。テレビ放送の音声は A/D 変換されたのち、デジタル音声トラックに記録されます。

A モード衛星放送のとき
テレビ音声はABチャンネルに独立音声はCDチャンネルに32kHz のサンプリング周波数で記録されます。

衛星放送の独立またはテレビ音声が二重音声のときは、二重音声(録音)スイッチで設定された音声が記録されます。

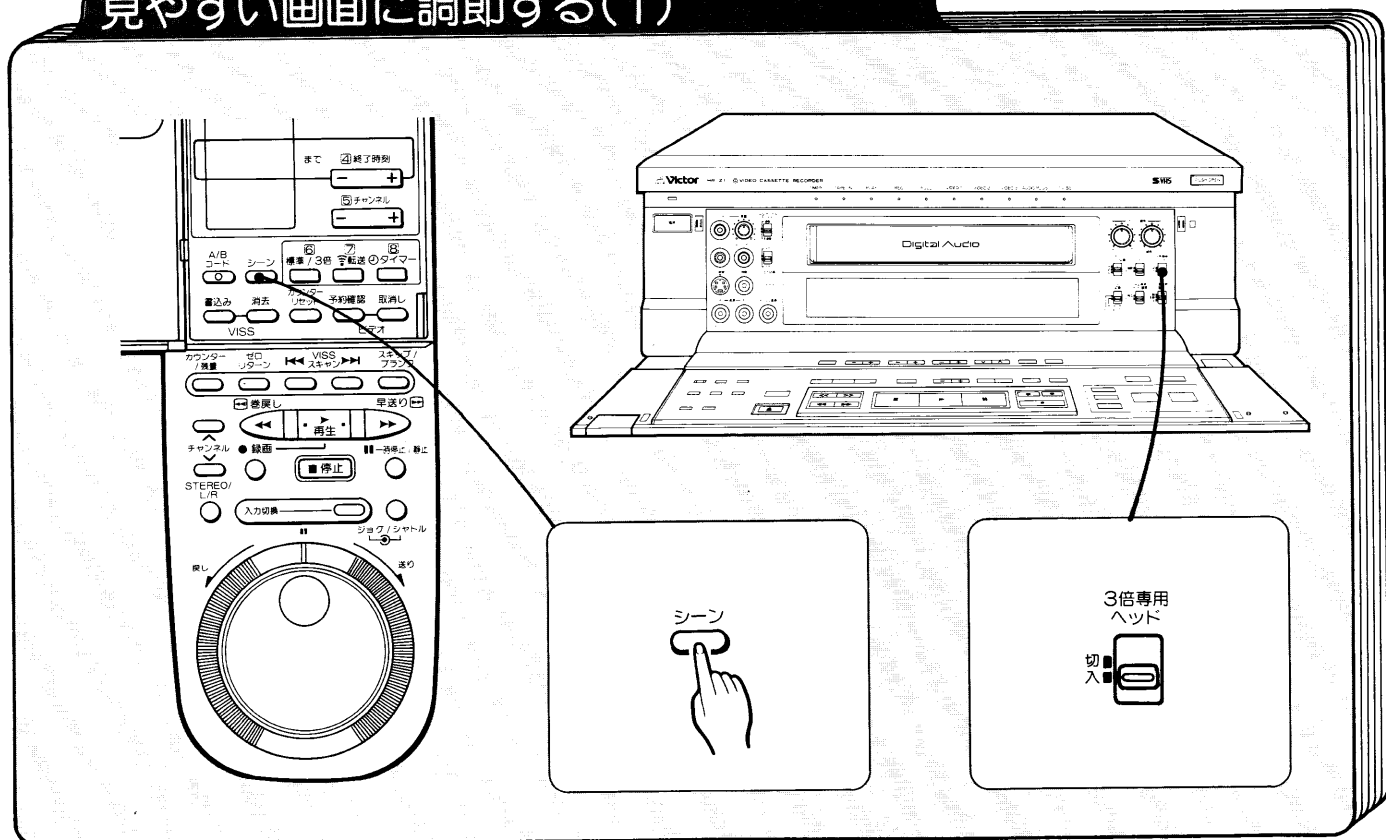
・外部入力による音声トラックの記録については、74 ページを参照してください。

再生画面の調節

見やすい画面に調節する(1)

シーン

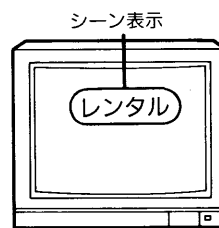
3倍専用ヘッド

切

入

テープに合わせた画質調節　シーンコントロール

シーンボタンで画質を選びます。

・ボタンを押すごとに、現在の状態をテレビ画面に表示します。

→ レンタル：レンタルビデオ再生時
↓
ダビング：ダビングするとき
↓
ソ フ ト：ノイズの目立たないやわらかな画像になります
↓
シャープ：輪郭のはっきりした画像になります
↓
スタンダード：標準

3倍モード再生時の画質調節　3倍専用ヘッド

3倍専用ヘッドスイッチで合わせます。

入：3倍モードが高画質で楽しめます。通常はこの位置で使用してください。 切：他のビデオで録画したテープを再生して、ざらつきがある場合はこの位置で使用してください。

・3倍モード録画時は、3倍専用ヘッドで録画します。

・3倍モード専用ヘッドで再生中、いろいろな速さに変えるときや再生に戻すときに、ノイズやゆれが出ることがあります。

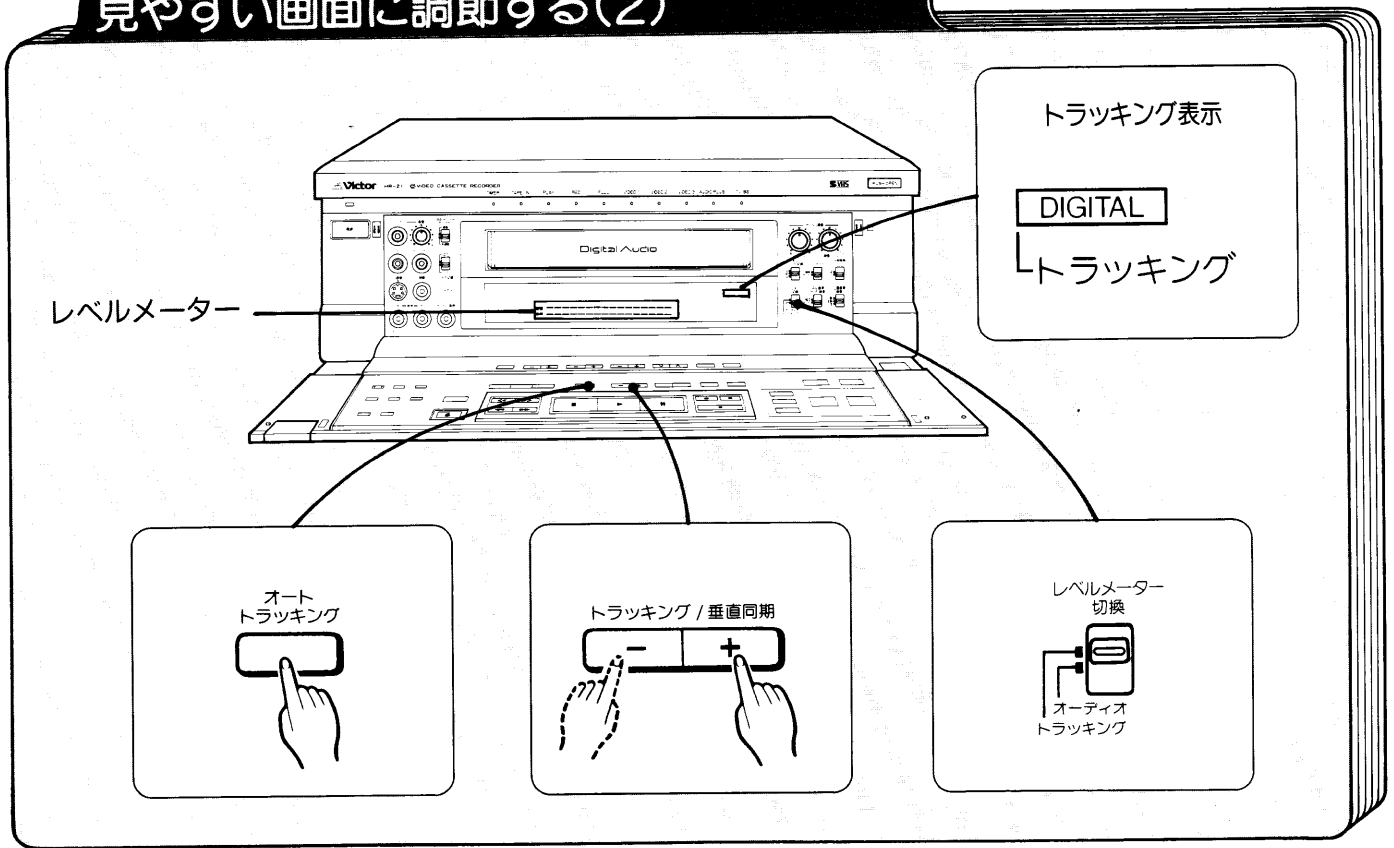
見やすい画面に調節する(2)

トラッキング表示
DIGITAL
トラッキング

レベルメーター

オート
トラッキング

トラッキング／垂直同期

レベルメーター
切換
オーディオ
トラッキング

ノイズで見づらいとき　トラッキング調節

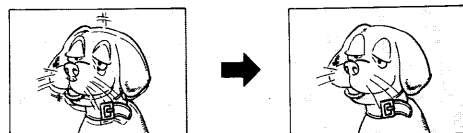
本機は、オートトラッキング機能付きです。
“トラッキング” 表示が点灯中は、オートトラッキング機能が働きます。
他のビデオで録画したテープを再生すると出るノイズを、自動的に消します。

(トラッキングが合っていない場合)

●調節されないとき・・・・
①オートトラッキングボタンを押し、“トラッキング”表示を消します。
②レベルメーター切換スイッチを“トラッキング”にします。
③トラッキングボタンでレベルメーターのR側が最大になる位置に合わせます。

●トラッキングをもとの状態(自動調節)に戻すには
オートトラッキングボタンを押して“トラッキング”表示を点灯させます。

動きをとめると、上下にゆれるとき　垂直同期(静止画)調節

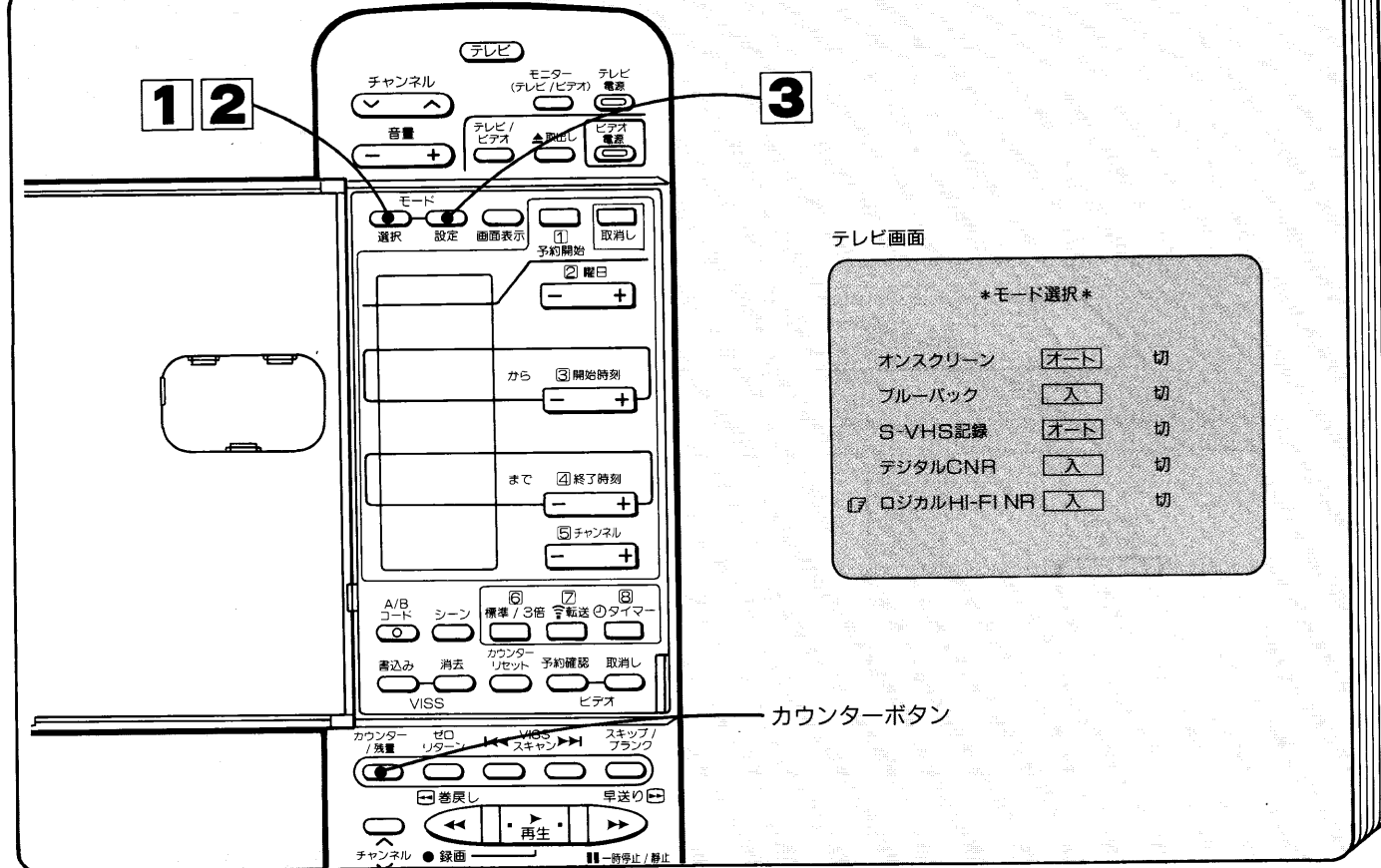
垂直同期ボタンを押して、ゆれを止めます。

・テレビの種類によっては、ゆれを止めることができない場合があります。

再生画面の調節

Hi-Fi音声にノイズが出るとき　ロジカル HI-FI NR

テレビ画面

＊モード選択＊		
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
S-VHS記録	オート	切
デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

カウンターボタン

1 モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

2 モード選択ボタンでロジカル HI-FI NRを選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、
下の項目へ進みます。

3 モード設定ボタンで設定する

ロジカル HI-FI NR

入　：　ビデオソフトや他のビデオで記録したテープを再生中 Hi-Fi 音声にノイズ(雑音)が出るときは“入”にします。通常も“入”をおすすめします。

切　：　音の比較などで再生の音をそのまま聞きたい時は “切” にします。

■モード選択画面を消すには、カウンターボタンを押します。

・Hi-Fi 音声の記録されているテープのみ調節します。

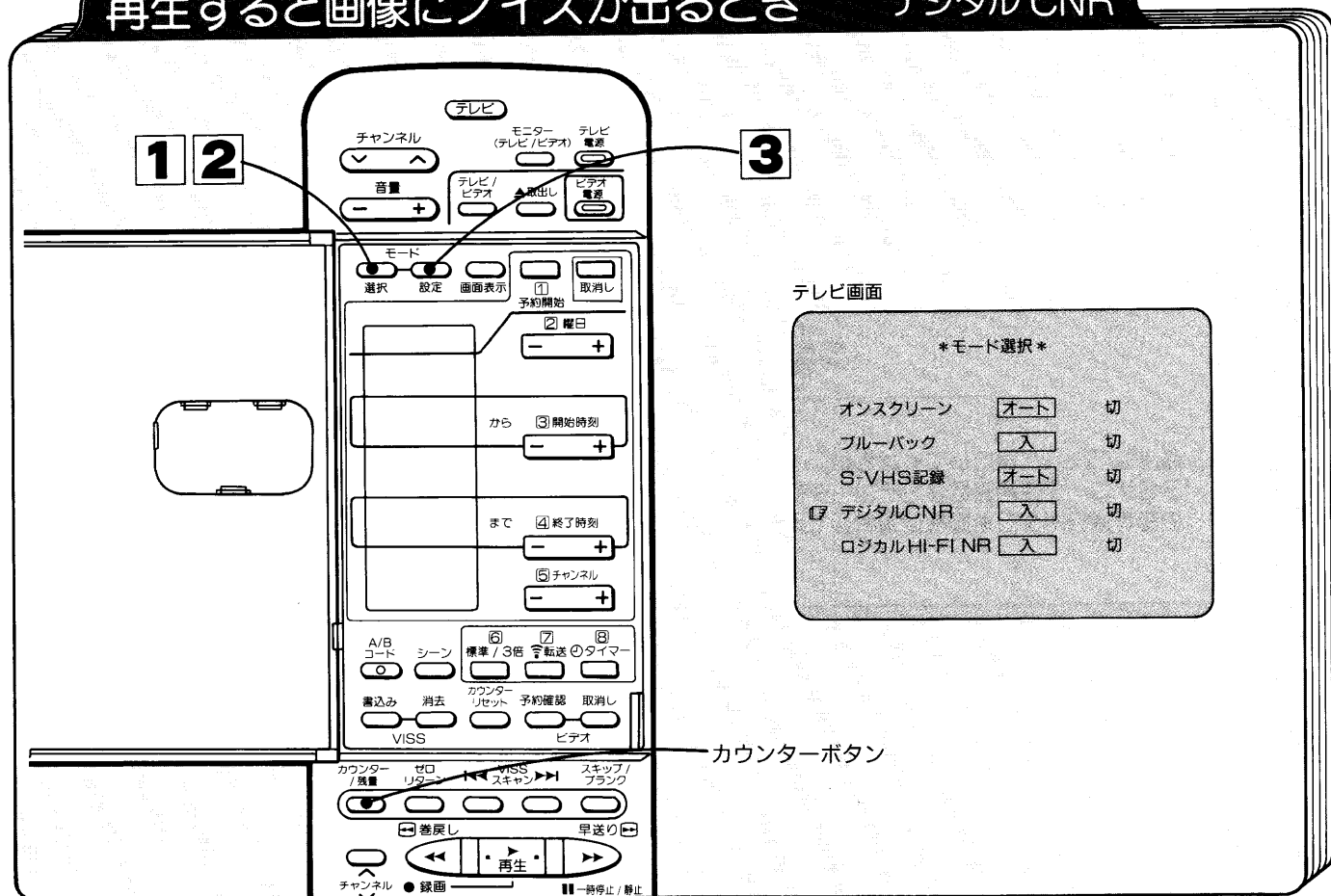
再生すると画像にノイズが出るとき　デジタルCNR

1 2　3

テレビ画面

＊モード選択＊

オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
S-VHS記録	オート	切
☞ デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

カウンターボタン

1 モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

2 モード選択ボタンでデジタルCNRを選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、下の項目へ進みます。

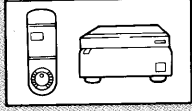
3 モード設定ボタンで設定する

デジタル CNR

入　：　2次元及び3次元のデジタルカラーノイズリダクション回路の働きで、赤や青などの色の濃い部分での色ノイズ(色ダレ、色ニジミ)を解消します。ダビング時の再生側に本機を使用するときは"入"にしてください。通常は"入"にします。

切　：　録画状態が良くないテープ、ゆっくりした動きの画像や、ズームアップ/ダウン等がたくさんあるテープは"切"にした方が見やすい場合があります。

■モード選択画面を消すには、カウンターボタンを押します。

・テープ再生時デジタルCNRが"入"になっていると、録画のつなぎ目で画面が乱れることがあります。

録音音声の調節

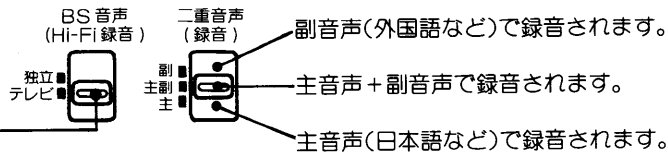
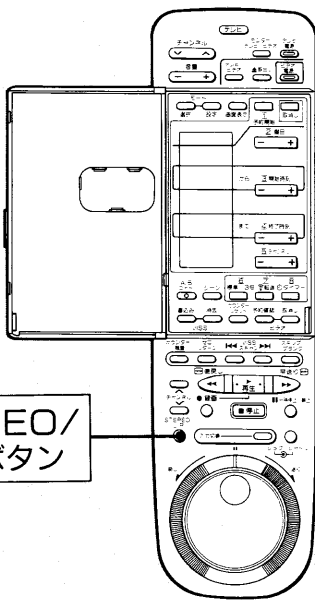
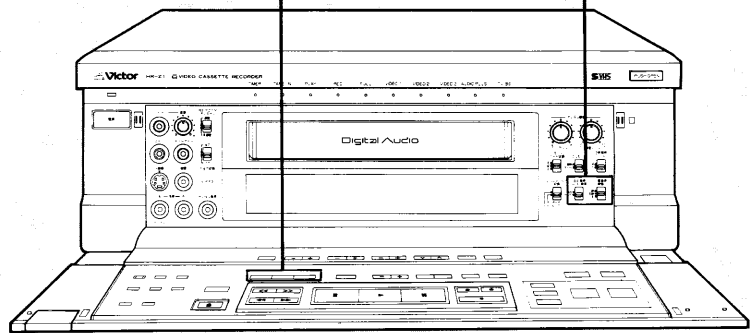
衛星放送の音声を選ぶには

衛星放送を録画するときは

下図のスイッチの位置に従って録音されます。

BS音声（Hi-Fi 録音）
独立
テレビ

二重音声（録音）
副
主副
主

副音声(外国語など)で録音されます。
主音声＋副音声で録音されます。
主音声(日本語など)で録音されます。

通常は“テレビ”側にしてください。
BSデコーダ使用時はBSデコーダ側
の音声選択ボタンも同様に選択してください。

録音したテープの音声を選ぶには

・音声出力切換ボタンで選択します。
（54 ページ参照）

・日本語と外国語の両方を録音したテープを聞くときは（Hi-Fi または DIGITAL 表示が点灯しているときは）リモコンの STEREO/ L / Rボタンでも聞きたい音声を選べます。録画中に押しても大丈夫です。

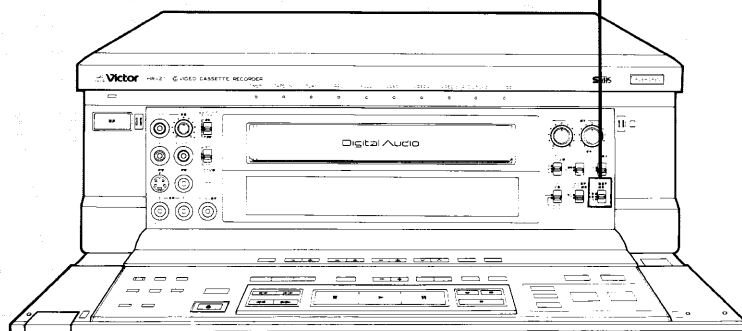
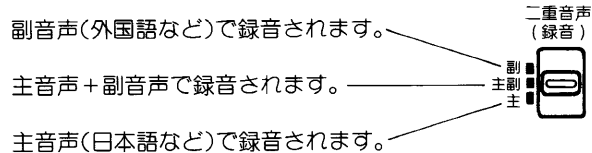
・衛星放送録画時、デジタル/Hi-Fi/ノーマルトラックには二重音声(録音)スイッチで設定された音声が記録されます。
・二重音声(録音)スイッチを主副にしたとき、ノーマルトラックには主音声が記録されます。
・スクランブル放送で二ヶ国語放送を聞く場合は、BSデコーダの二重音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

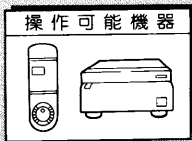
テレビ放送の音声を選ぶには

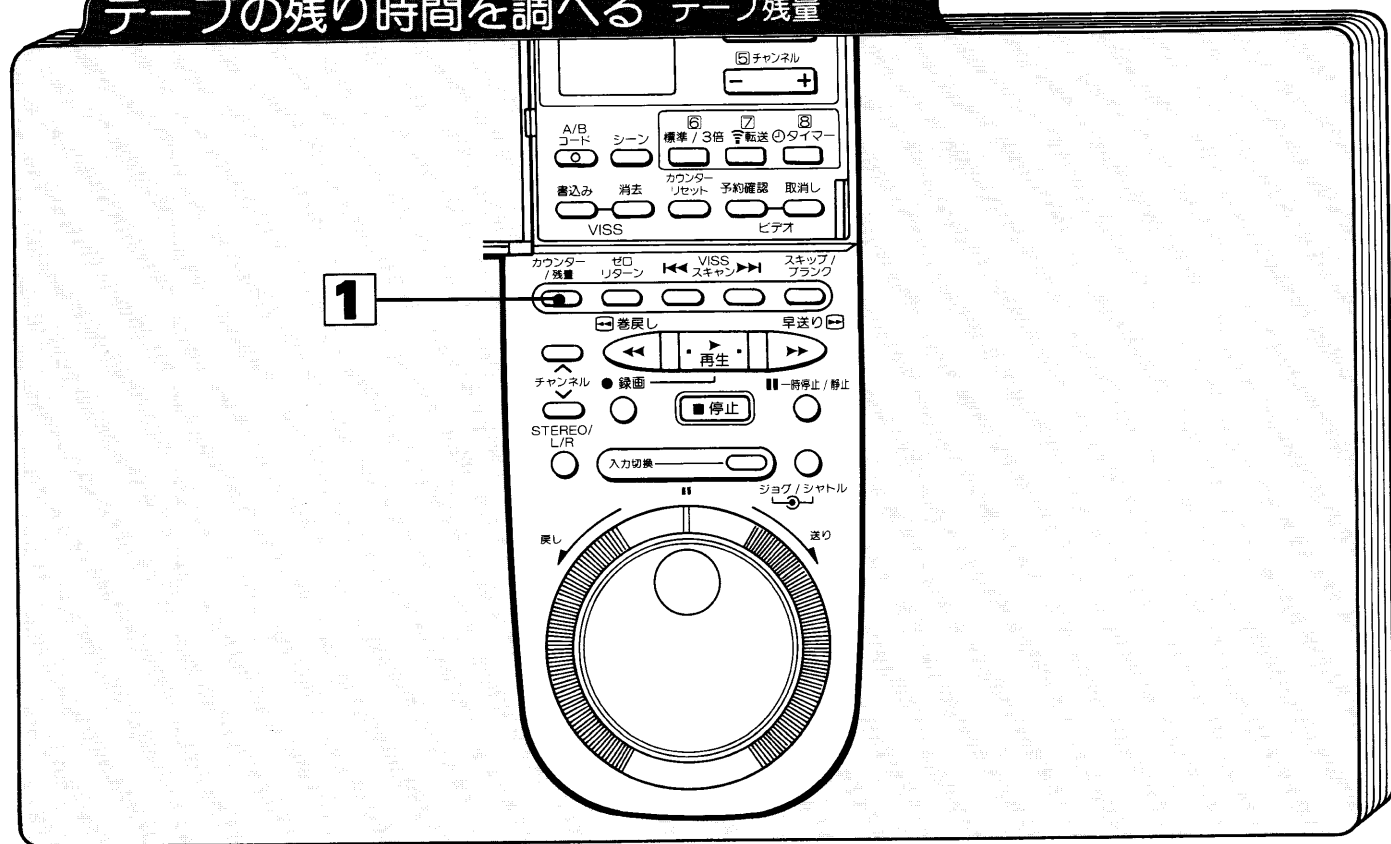
テレビ放送を録画するときは

二重音声(録音)スイッチの位置に従って録音されます。

二重音声
(録音)

副音声(外国語など)で録音されます。 — 副
主音声+副音声で録音されます。 — 主副
主音声(日本語など)で録音されます。 — 主

ステレオ放送の場合は二重音声(録音)スイッチの位置に関係なく自動的にステレオでデジタル/Hi-Fiトラックに記録されます。

・テレビ放送録画時、デジタル/Hi-Fi/ノーマルの各トラックには二重音声(録音)スイッチで設定された音声が記録されます。
・二重音声(録音)スイッチを主副にしたとき、ノーマルトラックには主音声が記録されます。

テープ残量の確認

テープの残り時間を調べる テープ残量

テレビ画面　本体表示窓

1 残量ボタンを押す

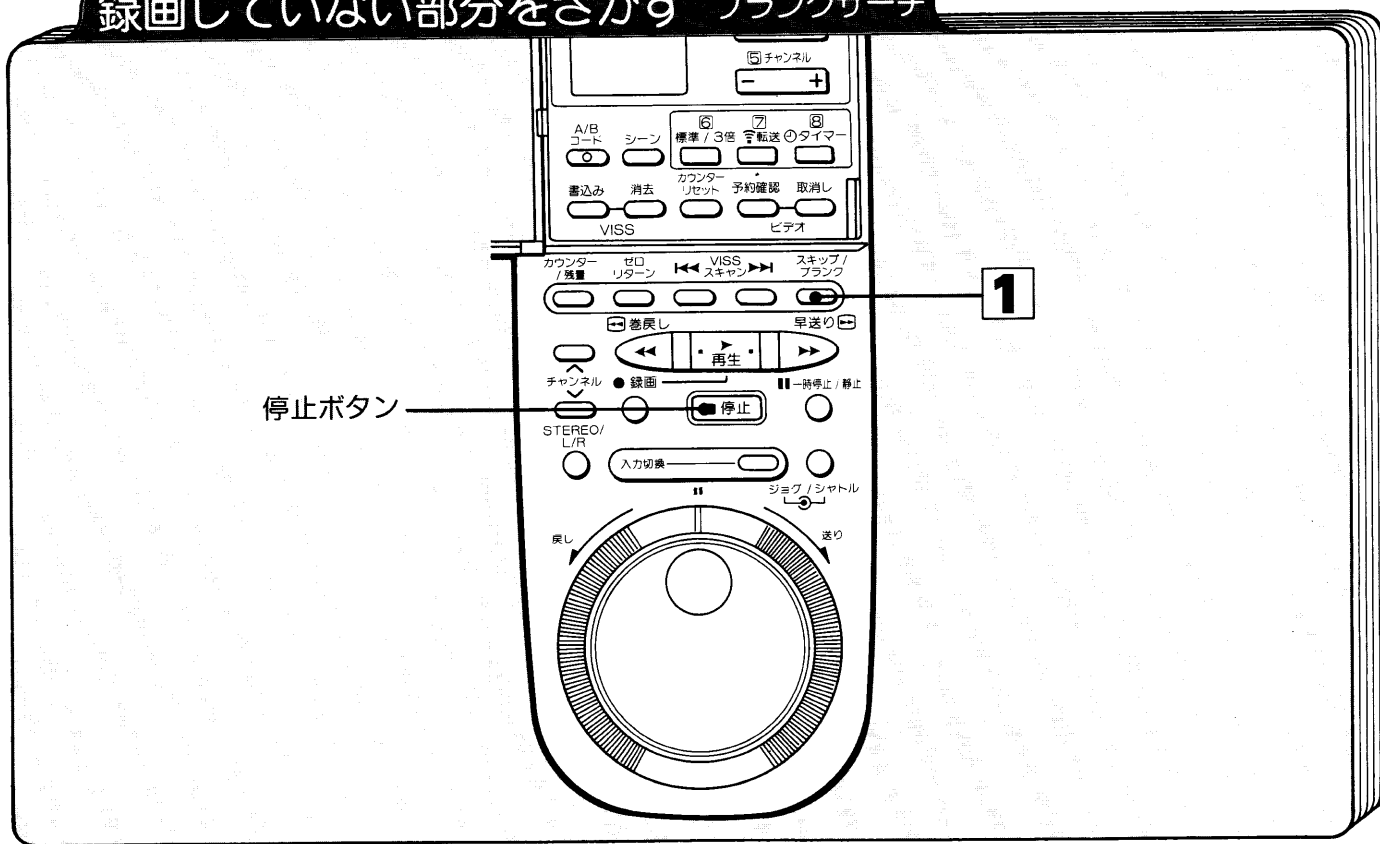
・表示している録画スピード（標準/3倍）で、計算します。
・表示を戻すときは、残量ボタンを押します。

テレビ画面	本体表示窓
3倍 残量　1：35	残量　1:35

・録画や再生した直後は、残量計算に多少時間がかかります。
計算中は右のような表示になります。

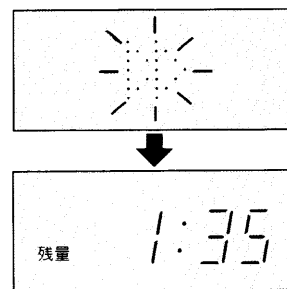
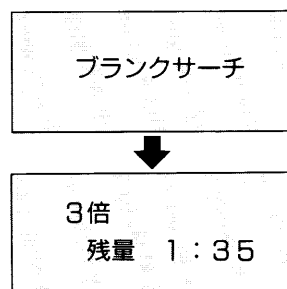
テレビ画面	本体表示窓
3倍 残量－－：－－	残量　－－：－－

・残量時間は目安です。
・使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。

録画していない部分をさがす ブランクサーチ

停止ボタン

1

停止状態で**ブランクボタン**を押す

・未録画部分をさがし、停止します。
・テープ残量を表示します。
・表示を戻すときは、残量ボタンを押します。

■途中でやめるには、**停止ボタン**を押します。

・録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

録画に便利な機能

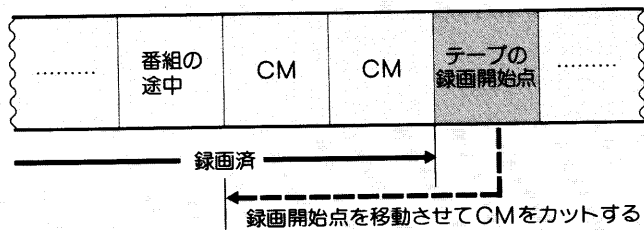
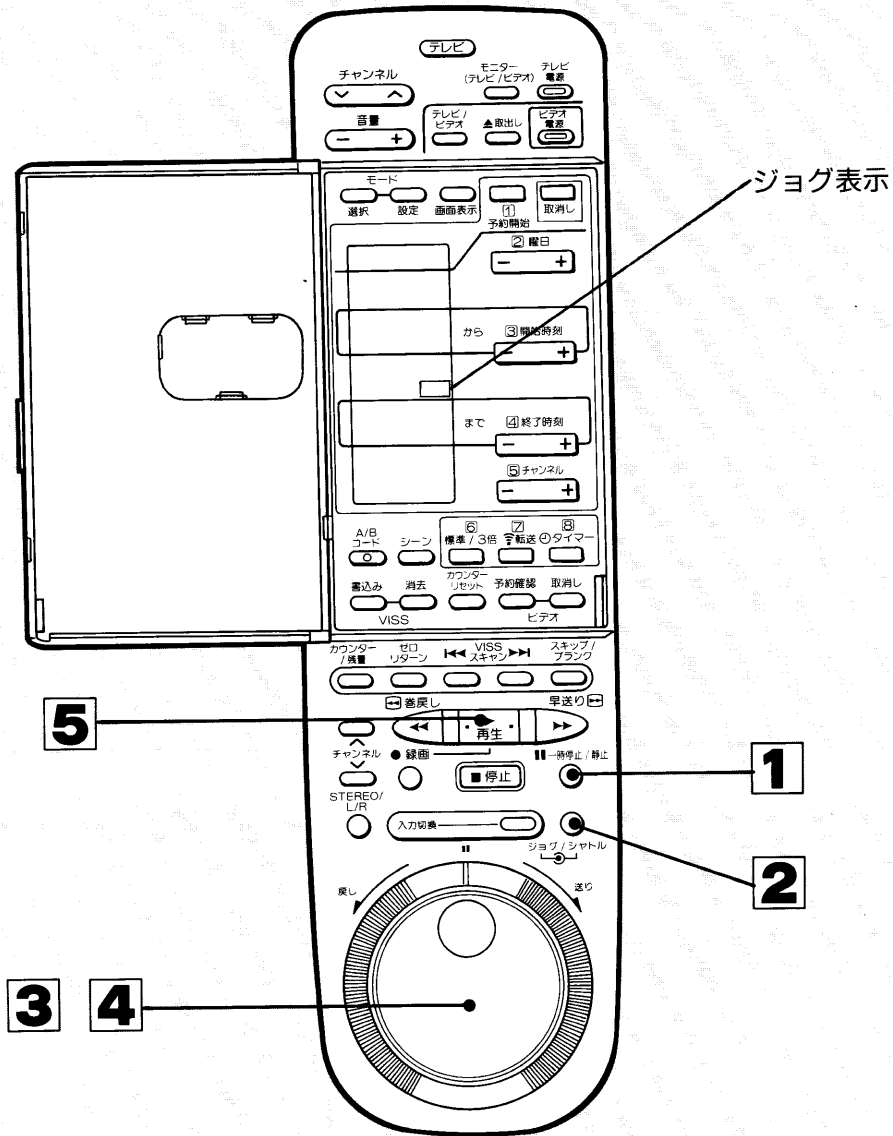
録画中不要な部分をカットし、続けて録画する リテイク機能

ジョグ表示

1
2
3 4
5

……	番組の途中	CM	CM	テープの録画開始点	……

録画済

録画開始点を移動させてCMをカットする

録画一時停止状態からジョグダイヤルで番組の終わりをさがし、
録画してしまったCMなどをカットし、番組録画の終わりから
続きをピタリ録画できます。

1 録画中CMの部分で **一時停止ボタン**を押す

・録画一時停止状態になります。

2 **ジョグ/シャトルボタン**を押す

・リモコン表示窓に“ジョグ”表示が点灯します。

3 **ジョグダイヤル**で番組の終わりをさがす

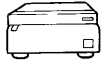
4 終わりが見つかったら **手を離す**

・静止画再生の後、 録画一時停止状態になります。

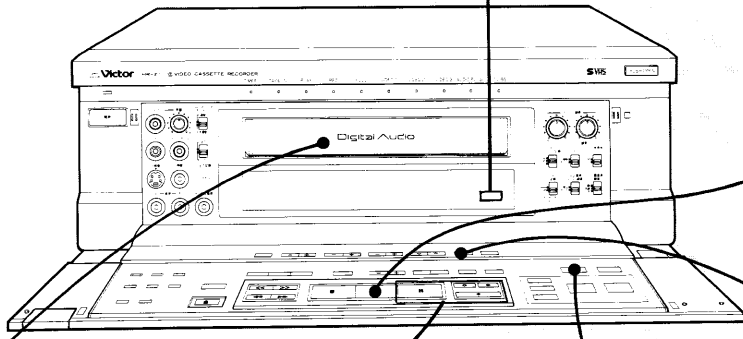
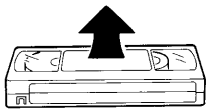
5 **再生ボタン**を押す

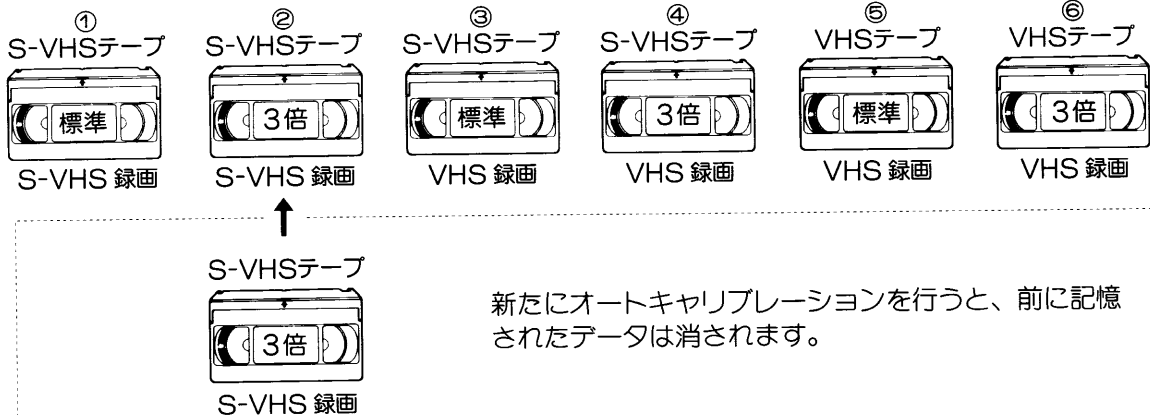
・録画を開始します。

●本体で操作する場合は

❶録画一時停止状態から、巻戻し◀◀〔早送り▶▶〕ボタンを押すと、正逆１倍速でテープを再生します。
❷頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
❸録画したい場面で再生▶ボタンを押す。
録画を開始します。
・リモコンの巻戻し◀◀〔早送り▶▶〕ボタンでもできます。

録画に便利な機能

テープの特性に合わせて録画するには　オートキャリブレーション機能

オートキャリブレーション機能とは
使用するテープの特性を調べて、録画レベルを最適状態に設定し録画します。
設定されたデータは本体に記憶され、ボタンひとつですぐに呼び出せます。
同じテープをよく使用するときに便利です。

オートキャリブレーションと使用テープについて
■テープの録画方式と録画スピードの組み合わせには下の6通りがあります。この6通りのデータをすべて記憶できます。ただし、記憶できるのは各々について1つです。

新たにオートキャリブレーションを行うと、前に記憶されたデータは消されます。

・テープの種類が異なる場合は再度オートキャリブレーションを行ってください。
・テープに傷がある場合は、オートキャリブレーションが正しく動作しないことがあります。
・つなぎ録りする場合は、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

1 テープを入れる

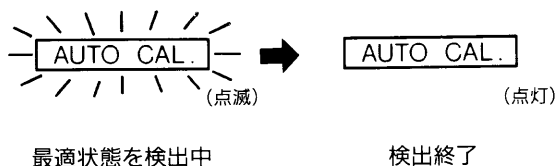
・つめがあることを確認します。

2 標準/3倍ボタンで 録画スピードを選ぶ

3 録画ボタンと一時停止ボタン を同時に押し、録画一時停止にする

4 AUTO CAL. 表示が点滅するまで オートキャリブレーションボタンを押す

・自動的にテープの特性を調べます。(約50秒かかります)
・動作内容：録画一時停止→録画→巻き戻し→再生
　　　　　→巻戻し→録画一時停止
・オートキャリブレーションの動作中は音声は出ません。

最適状態を検出中　　　検出終了

5 録画するときは 再生ボタンを押す

・録画を始めます。

・1つのテープに“標準”、“3倍”両方のスピードで録画するときは、**2**～**4**の操作を繰り返し、“標準”、“3倍”についてそれぞれオートキャリブレーションを行った後、録画やタイマー録画を行います。

■すでにオートキャリブレーションしたテープを使用するときは

①オートキャリブレーションしたテープを入れます。

②オートキャリブレーションボタンを押します。
・AUTO CAL. 表示が点灯します。

③録画をします。

■タイマー録画するときは

①オートキャリブレーションしたテープを入れます。

②オートキャリブレーションボタンを押します。
・AUTO CAL. 表示が点灯します。

③タイマー予約を行います。
・38～41ページをご覧ください。

・テープを取り出すと AUTO CAL. 表示が消え、オートキャリブレーションモードは解除されます。
・オートキャリブレーションを行う場合は、未録画部分または消してもよい部分で行うことをおすすめします。

・使用するテープがオートキャリブレーションを行ったかどうか定かでない場合は、再度オートキャリブレーションを行ってください。

操作可能機器

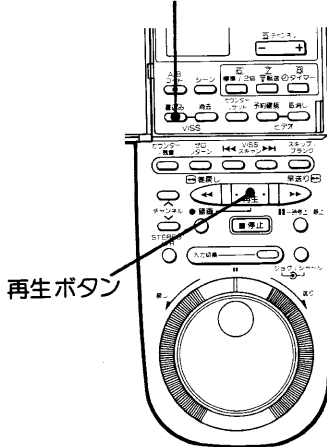
見たい場面をさがす

インデックスについて

VISS（VHS INDEX SEARCH SYSTEM）とはテープに目印（インデックス）を書込み、その目印を探す（サーチする）ことにより自動的に頭出しをする機能です。

録画の開始部分には自動的にインデックスが書込まれる。	録画または再生中でも好きなところに書込める。	再生しながらインデックスだけ消すことができる。

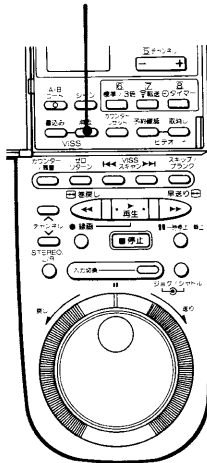
インデックスの書込みかた

録画およびタイマー録画の開始部分には自動的にインデックスが書込まれます。

録画中または再生中に書込むには	録画一時停止または静止画再生させてから書込むには
書込みボタンを押します。	書込みボタンを押してから再生ボタンを押します。

こんなときは書込めません。

●誤消去防止の「つめ」が折れているカセット。
●何も記録されていないところ（未録画部分）。

インデックスの消しかた

VISS 消去ボタン

1 取消したいインデックスの数秒前からテープを再生または静止画再生にする。

2 消去ボタンを押す。

自動的にテープを送り、書込まれているインデックスを消去します。

3 本体のVISS表示が消えると取消し終了。

テープはそのまま再生を続けます。

書込みのご注意

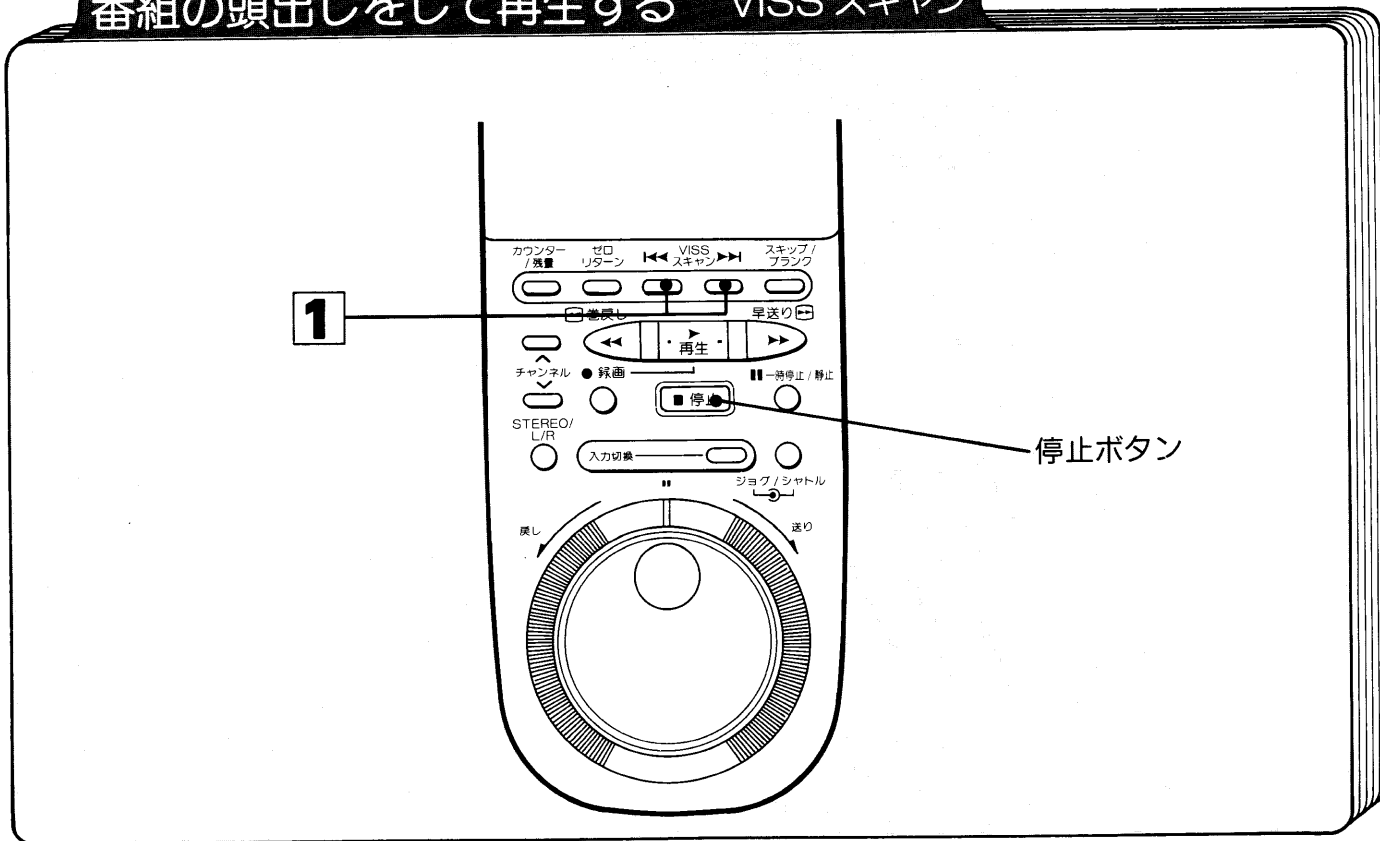
●インデックスを書込むときは、再生状態で行ってください。録画状態では前の画像、音声が消されます。
●となりのインデックスとは多少離して書込んでください。近すぎると誤動作することがあります。

・本体のVISS表示が点灯、点滅しているときは、他のボタンの操作はしないでください。
・インデックスのそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、インデックスの書込みや消去をしたあとで画面が乱れることがあります。

番組の頭出しをして再生する　VISSスキャン

カウンター/残量　ゼロリターン　VISSスキャン　スキップ/ブランク

巻戻し　早送り　再生　チャンネル　録画　一時停止/静止　停止　STEREO/L/R　入力切換　ジョグ/シャトル　戻し　送り

1

停止ボタン

テレビ画面　本体表示窓

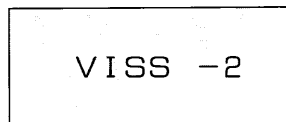
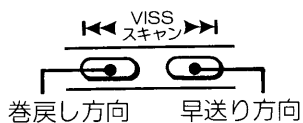
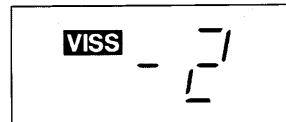
1 停止または再生中に **VISSスキャンボタン**で番地を選ぶ

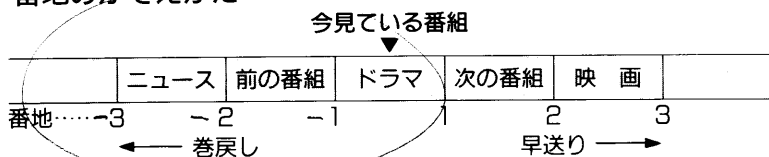
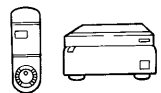
VISSスキャン

巻戻し方向　早送り方向

VISS -2

・2つ前の番地を選ぶ

VISS -2

・2つ前の番地を選ぶ

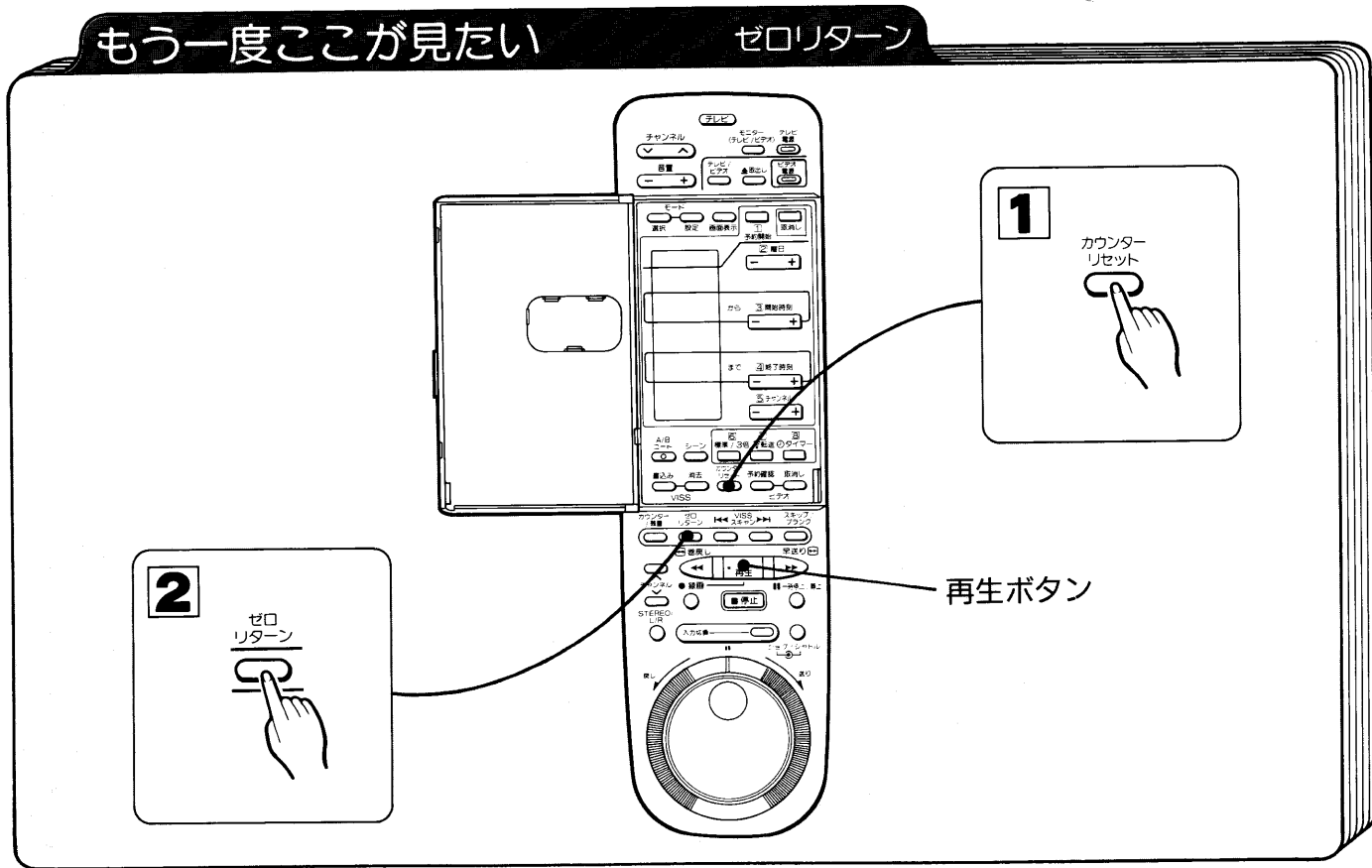
・VISSスキャンボタンを押すと、希望の番地をさがし自動的に再生します。
・押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと、数字が減ります。
・最高9番地まで指定できます。
・本体表示部のᐅᐅは早送り方向、ᐊᐊは巻戻し方向です。

■途中でやめるには、**停止ボタン**を押します。

見たい場面をさがす

もう一度ここが見たい　ゼロリターン

1 カウンターリセット

2 ゼロリターン

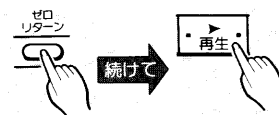
再生ボタン

---

1 再生中に再度見たい場面で
カウンターリセットボタンを押す
・リニアタイムカウンターは 0H 00M 00S になります。

---

2 停止または再生中に
ゼロリターンボタンを押す
・自動的に 0H 00M 00S の位置まで巻戻し または
早送りして停止します。

0H 00M 00S で自動的に再生させる

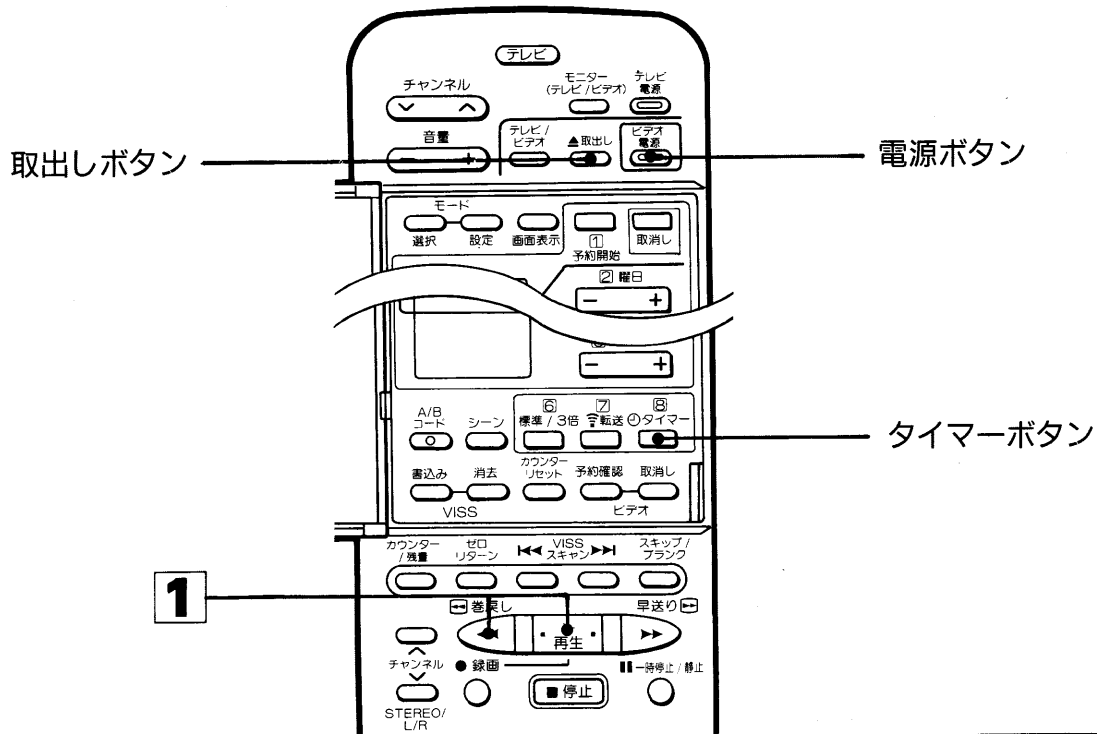
ゼロリターンボタンを押したあとに
再生ボタンを押します。

テープの始めから自動的に再生する　ネクストファンクションメモリー

タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときに便利です。

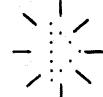
取出しボタン

電源ボタン

タイマーボタン

1

テレビ画面　本体表示窓

1 **巻戻しボタン**を押したあとに、再生ボタンを押す

・テープの始めから自動的に再生します。

テープの始めで自動的にカセットを出すには

巻戻しボタンを押したあとに
取出しボタンを押します。

テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには

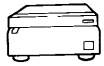
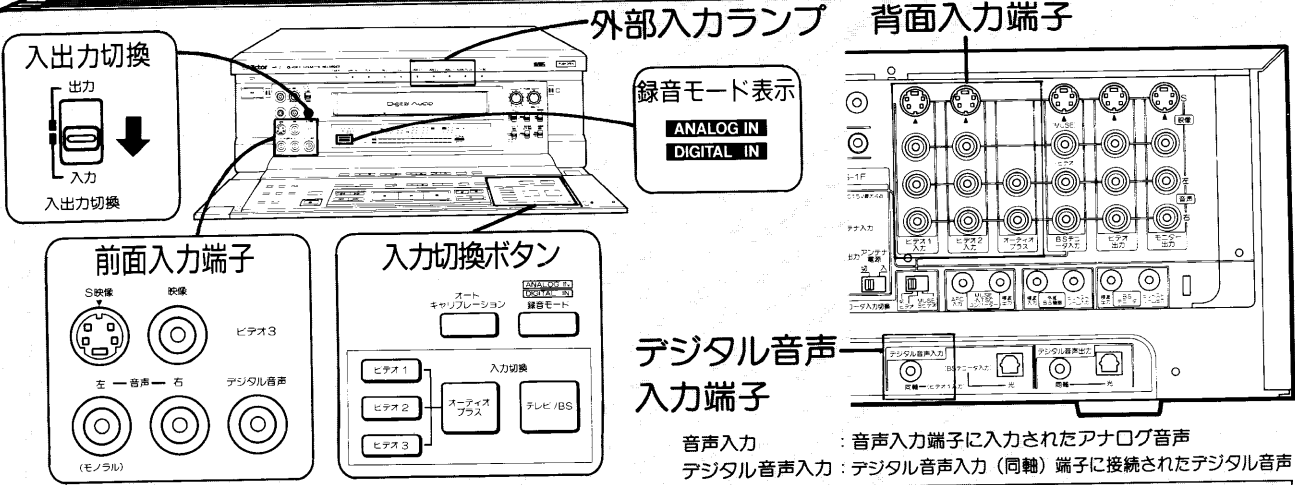
巻戻しボタンを押したあとに
タイマーボタンを押します。

テープの始めで自動的に電源を切るには

巻戻しボタンを押したあとに
電源ボタンを押します。

入出力端子について

入力選択と録音モード

外部入力ランプ
背面入力端子
入出力切換
出力
入力
入出力切換
録音モード表示
ANALOG IN
DIGITAL IN
前面入力端子
S映像
映像
ビデオ3
左 ―音声― 右
デジタル音声
(モノラル)
入力切換ボタン
オート キャリブレーション
録音モード
入力切換
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
オーディオ プラス
テレビ/BS
デジタル音声入力端子

音声入力　　　　　　：音声入力端子に入力されたアナログ音声
デジタル音声入力：デジタル音声入力（同軸）端子に接続されたデジタル音声

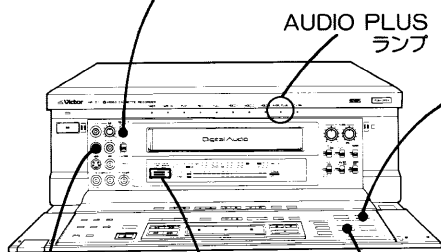
入力切換	入出力切換	録音モードと入力端子			記録される各トラックの音声		
					DIGITAL	Hi-Fi	NORMAL
VIDEO1 ランプ点灯 ビデオ1		ANALOG IN DIGITAL IN 録音モード	① ANALOG IN	✕印は入力不可 ① ② ③ ビデオ1入力	音声入力 ↓ A/D 変換 ↓ デジタル音声 (48 KHz)	音声入力 (ステレオ)	音声入力 (右+左)
			② DIGITAL IN		デジタル音声入力 (32 or 48 KHz)	デジタル音声入力 ↓ D/A 変換 ↓ アナログ音声 (ステレオ)	デジタル音声入力 ↓ D/A 変換 ↓ アナログ音声 (右+左)
			③ ANALOG IN DIGITAL IN	デジタル音声入力 同軸―ビデオ	デジタル音声入力 (32 or 48 KHz)	音声入力 (ステレオ)	音声入力 (右+左)
VIDEO2 ランプ点灯 ビデオ2			ANALOG IN	ビデオ2入力 デジタル音声入力 同軸―ビデオ1入力	音声入力 ↓ A/D 変換 ↓ デジタル音声 (48 KHz)	音声入力 (ステレオ)	音声入力 (右+左)
VIDEO3 ランプ点灯 ビデオ3	出力 入力 入出力切換 出力側になっているとビデオ3は選べません。	ANALOG IN DIGITAL IN 録音モード	ANALOG IN		音声入力 ↓ A/D 変換 ↓ デジタル音声 (48 KHz)	音声入力 (ステレオ)	音声入力 (右+左)
			DIGITAL IN		デジタル音声入力 (32 or 48 KHz)	デジタル音声入力 ↓ D/A 変換 ↓ アナログ音声 (ステレオ)	デジタル音声入力 ↓ D/A 変換 ↓ アナログ音声 (右+左)
			ANALOG IN DIGITAL IN		デジタル音声入力 (32 or 48 KHz)	音声入力 (ステレオ)	音声入力 (右+左)

・VHS カセットテープを使用したときは DIGITAL トラックにはデジタル音声は記録されません。
デジタル記録するには S-VHS カセットテープで S-VHS 録画してください。

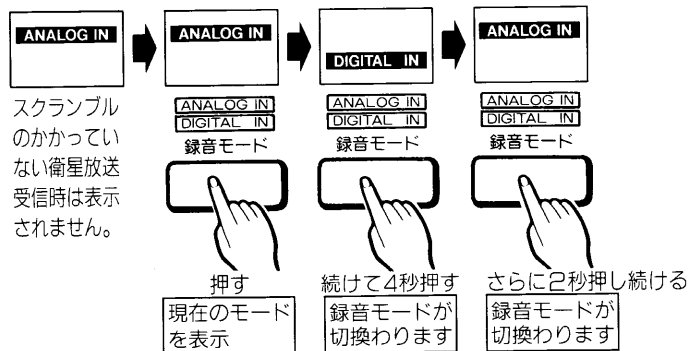
その他の入出力端子について

BSデコーダオンラインスイッチ

連動　:下記の条件のときに本機背面のACアウトレットに電源が入ります。
- 他のBS内蔵テレビ・BSチューナー等からビットストリーム入力端子に入力があった時
- 本機の電源がオンになった時

非連動:常に BSデコーダ用コンセントに電源が供給されます。

マイク入力端子
マイク音声はノーマルトラックにのみ記録されます。

BSデコーダ入力端子

- BS デコーダからの音声（デジタルまたはアナログ）は録音モードボタンで選ぶことができます。
- BS デコーダ入力端子からの録音モードを変えるには

オーディオプラス入力端子

オーディオプラス入力はビデオ 1~3 の外部入力モードのときのみ選択できます。オーディオプラスボタンで AUDIO PLUS ランプを点灯させて入力を選択します。オーディオプラス入力からの音声は、A/D 変換されデジタルトラックに48 KHz のサンプリング周波数で記録されます。
S-VHS テープで S-VHS 録画時のみデジタル記録を行います。

BSデコーダ入力切換スイッチ

BSデコーダ入力端子の入力モードを切換ます。

切	:BSデコーダを使用しないとき
ビデオ	:BSデコーダのみ使用するとき S映像入力端子は受けつけません。
MUSE Sビデオ	:MUSE-NTSCコンバーターと BSデコーダを使用するとき

Wデコーダ端子

本機はBSデコーダ用スルー入力端子（検波入力、ビットストリーム入力）を装備しています。他のBS内蔵テレビやBSチューナー等とBSデコーダを共用することができます。
接続方法は 102 ページをご覧ください。

デジタル音声入力・出力端子

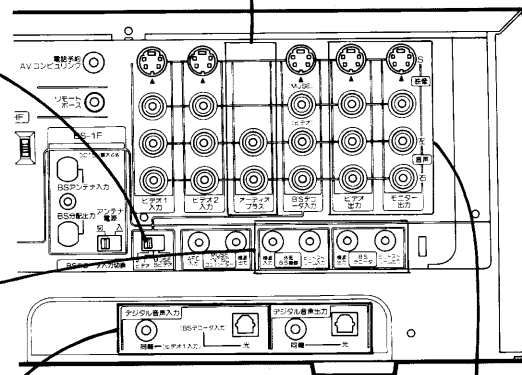
他のデジタル音声入力･出力端子を持つ機器との接続に使用します。
デジタル音声入力端子からの音声を選ぶときは、録音モードボタンで **DIGITAL IN** 表示を点灯させます。
このとき、映像入力も接続してください。
映像入力がない場合、デジタル音声は記録されません。

ビデオ出力端子

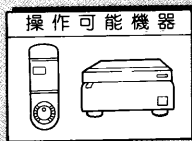
ダビング時は、この端子に接続してください。

モニター出力端子

モニターテレビ等に接続してください。

注意

- アフレコ編集（83 86ページ参照）をしない場合でも、録画時にマイク入力端子にマイクが接続されているときは、マイク音声はノーマルトラックに記録されます。

メモ

- ビデオ 1、ビデオ 3（前面）入力を選択中に、録音モードボタンでデジタル音声入力を選ぶと“COAXIAL”が本体表示窓に表示されます。
- BSデコーダを使ってスクランブル放送を受信しているときやMUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン放送を受信しているときに録音モードボタンでデジタル音声入力を選ぶと“OPTICAL”が本体表示窓に表示されます。

テープのコピー〔ダビング〕1

他のビデオで再生、本機で録画する場合

ビデオムービーとダビングするときは、前面入力端子(ビデオ３ボタンで選択)をお使い下さい。

5

再生側

音声出力端子へ

S映像出力端子へ

⇨信号の流れ

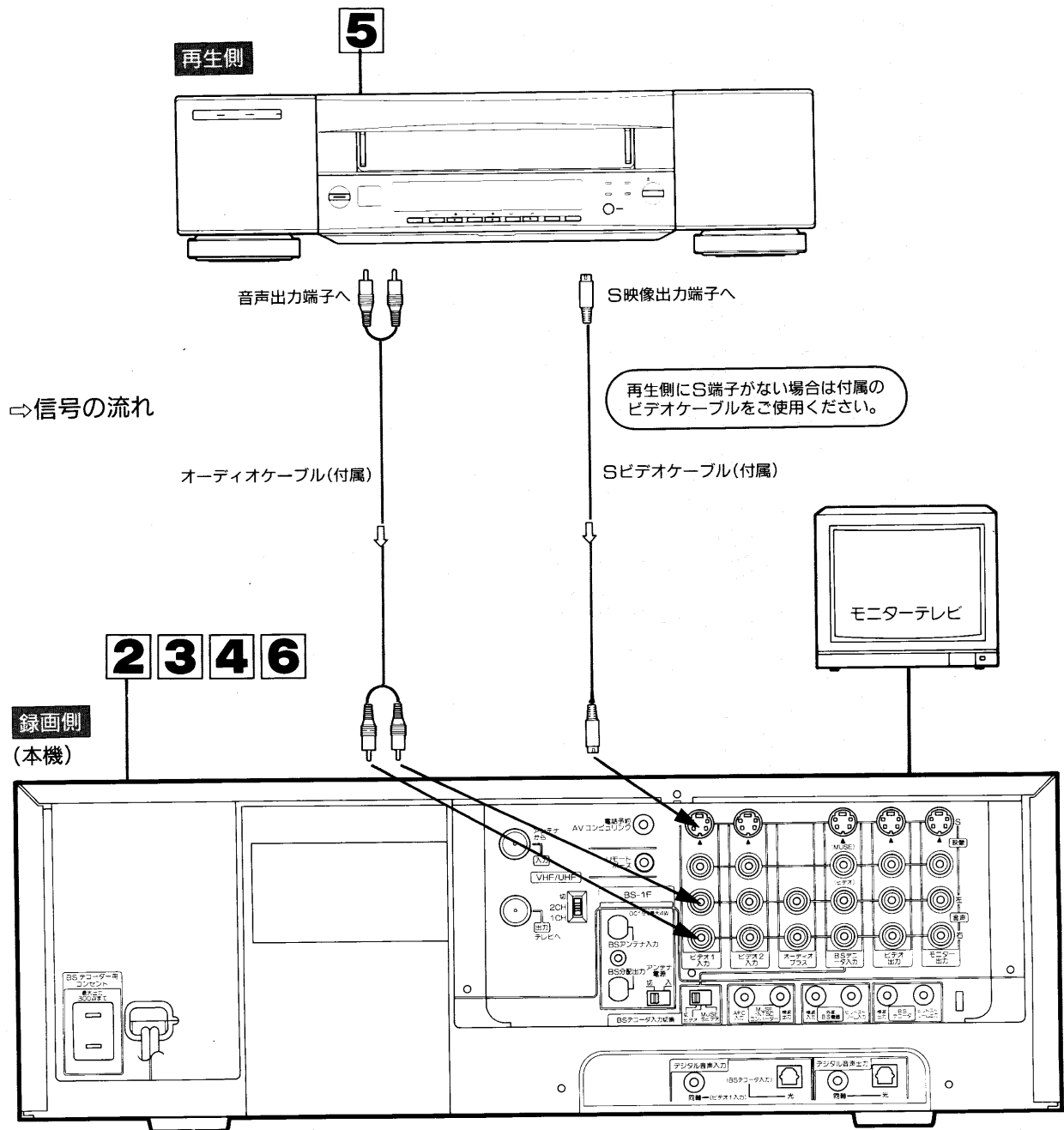
再生側にS端子がない場合は付属のビデオケーブルをご使用ください。

オーディオケーブル(付属)

Sビデオケーブル(付属)

モニターテレビ

2 3 4 6

録画側
(本機)

・入力端子の選択のしかたは 74 、75 ページをご覧ください。
・S映像入力端子と映像入力端子に同時に接続すると、S映像入力端子が優先します。

テレビ画面　本体表示窓

本機

1 リモコンの**シーンボタン**で ダビングポジションにする

（58 ページ参照）

ダビング

2 **ビデオ1ボタン**を押す

・"VIDEO1"ランプが点灯します。
・リモコンの入力切換ボタンでも選択できます。

ビデオ1

3 **録音モードボタン**を押す

・ **ANALOG IN** を点灯させます

ANALOG IN

4 **録画ボタン**と**一時停止ボタン**を同時に押し、録画一時停止にする

録画　ポーズ

再生側

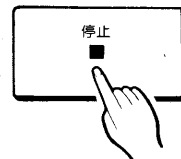
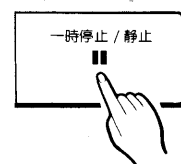
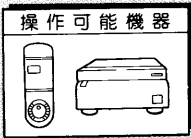
5 ダビングしたい部分のすこし前から再生する

本機

6 ダビングしたい場面で**再生ボタン**を押す

・録画を始めます。

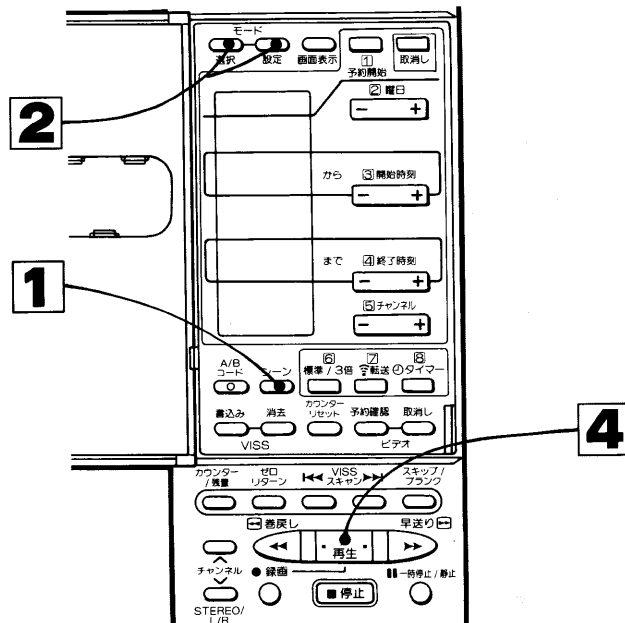
録画

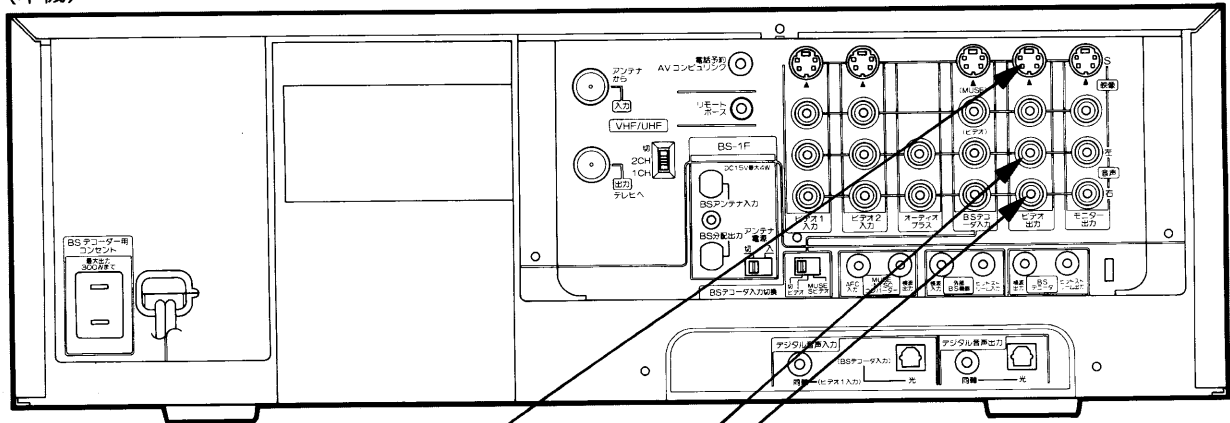
終了するときは、**停止ボタン**を押します。
・本機→再生側の順に停止ボタンを押します。

録画を一時的に止めるには、**一時停止ボタン**を押します。
・テープ保護のため約5分で自動的に解除され停止します。

・あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

テープのコピー(ダビング)2

本機で再生、他のビデオで録画する場合

2

1

4

再生側

(本機)

⇨信号の流れ

録画側にS端子がない場合は付属のビデオケーブルをご使用ください。

Sビデオケーブル(付属)

オーディオケーブル(付属)

3 5

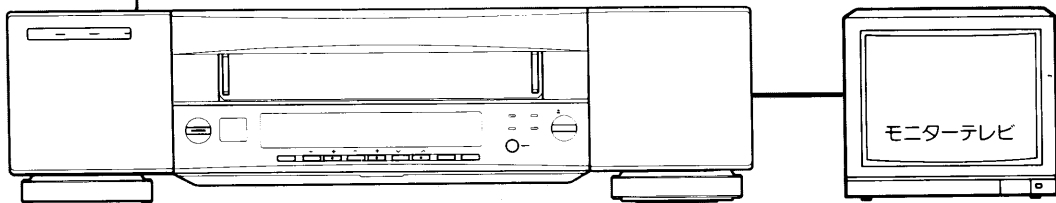
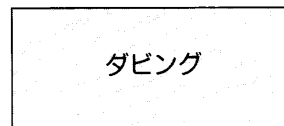
S映像入力端子へ

音声入力端子へ

録画側

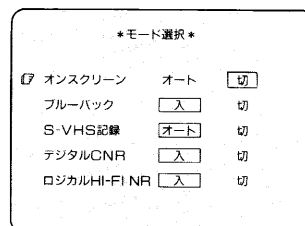
モニターテレビ

テレビ画面　本体表示窓

本機

1 リモコンの**シーンボタン**で
ダビングポジションにする
(58ページ参照)

ダビング

2 モード選択画面のオンスクリーンを
切にする
(122ページ参照)

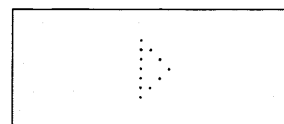
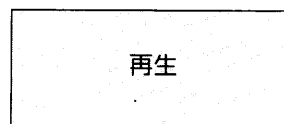
＊モード選択＊

オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
S-VHS記録	オート	切
デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

録画側

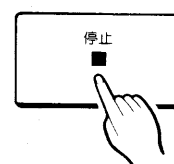
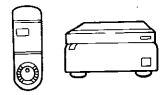
3 ①外部入力にする
②録画一時停止にする

本機

4 ダビングしたい部分のすこし前から
再生する

再生

録画側

5 ダビングしたい場面で録画する

終了するときは、**停止ボタン**を押します。
・録画側→本機の順に停止ボタンを押します。

・ダビング終了後は、シーンボタンでスタンダードポジションに戻してください。またモード選択画面のオンスクリーンをオートに戻してください。

テープのコピー〔ダビング〕3

ビデオムービーで再生、本機で録画する場合(マスターエディットコントロール)

・マスターエディットコントロール機能とは
　ダビング時、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。
・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。

5 6

再生側

ビクタービデオムービー

S出力端子へ

AV出力端子へ

AV出力ケーブル
(ビデオムービー付属)

Sビデオケーブル(付属)

⇨信号の流れ

ビデオムービーにS出力端子がある場合に接続します。

ビデオムービーの音声がステレオの場合は、音声入力端子の左右共に接続します。

3 ANALOG IN / DIGITAL IN 録音モード

映像入力端子へ

音声入力端子へ

リモートポーズ端子へ

VIDEO 3 ランプ

録画側
(本機)

モニターテレビ

・S映像入力端子が優先です。

ANALOG IN 表示

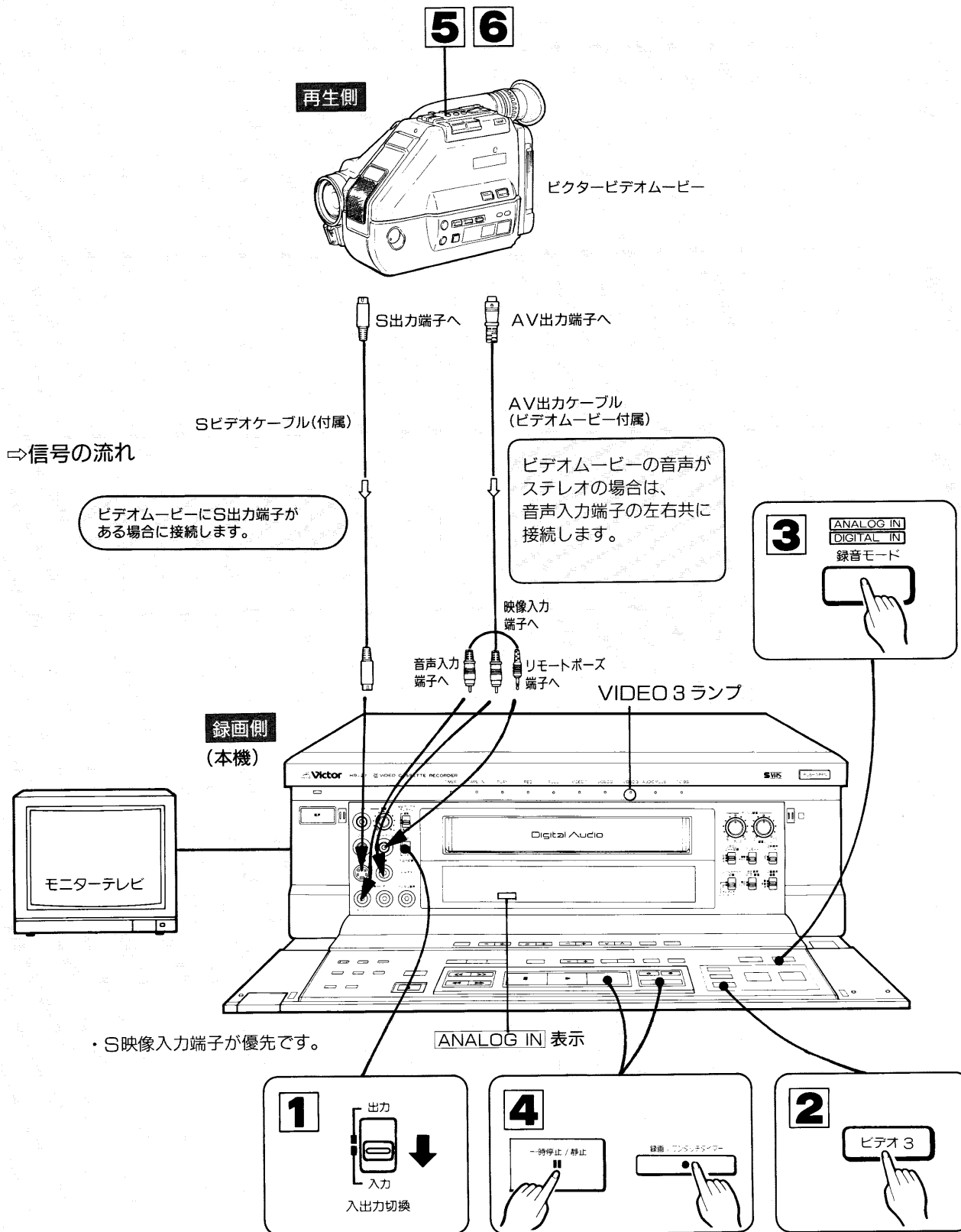
1 出力 入力 入出力切換

4 一時停止／静止 録画／ワンタッチタイマー

2 ビデオ 3

・入力端子の選択のしかたは 74 、 75 ページをご覧ください。

テレビ画面　本体表示窓

本機

1 入出力切換スイッチを“入力”にする

2 ビデオ3ボタンを押す
・“VIDEO3”ランプが点灯します。

ビデオ3

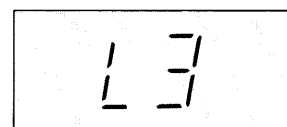
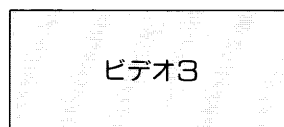
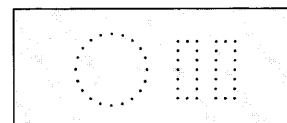
L 3

3 録音モードボタンを押す
・**ANALOG IN** を点灯させます。

ANALOG IN

4 録画ボタンと一時停止ボタンを同時に押し、録画一時停止にする

録画　ポーズ

再生側

5 ダビングしたい場面で静止画再生にする

6 エディットボタンを押す
・自動的に録画を始めます。

終了するときは、ビデオムービーの**停止ボタン**を押します。
・本機は録画一時停止になります。

録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの**一時停止ボタン**を押します。
・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押す。

テレビ番組のチャンネルに戻すときは、**テレビ/BS**を押します。

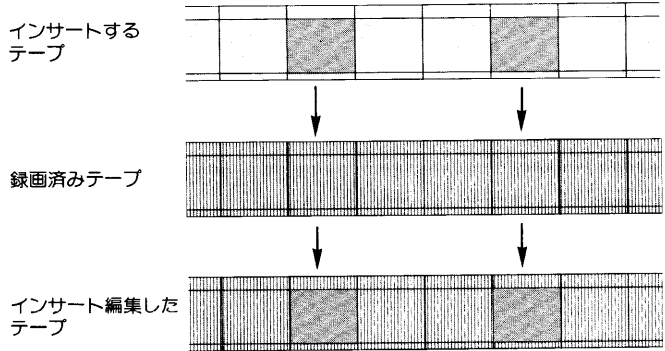
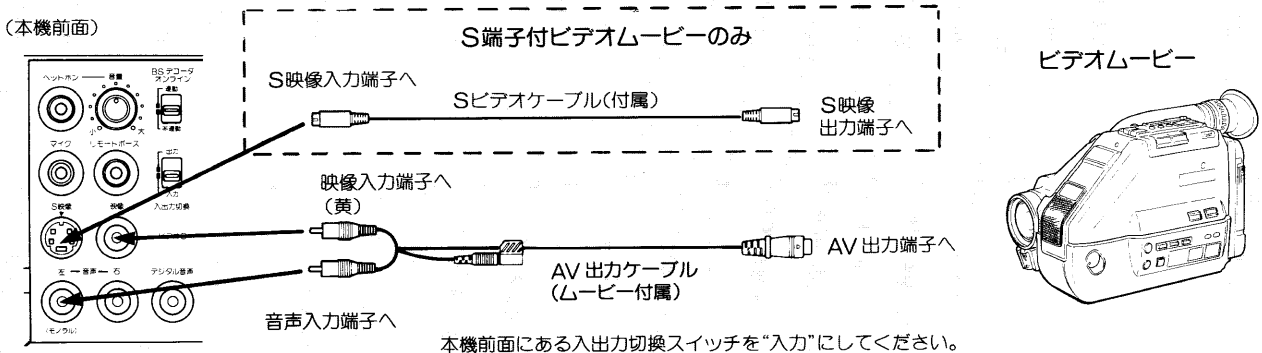
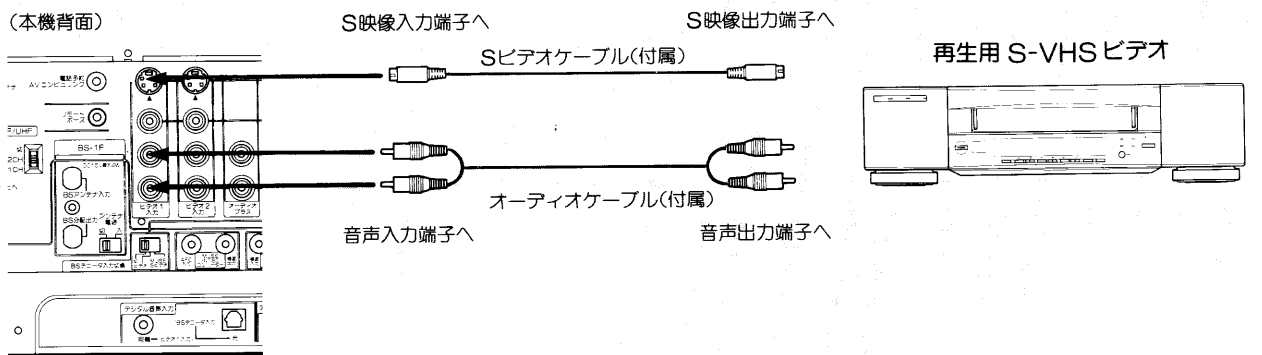
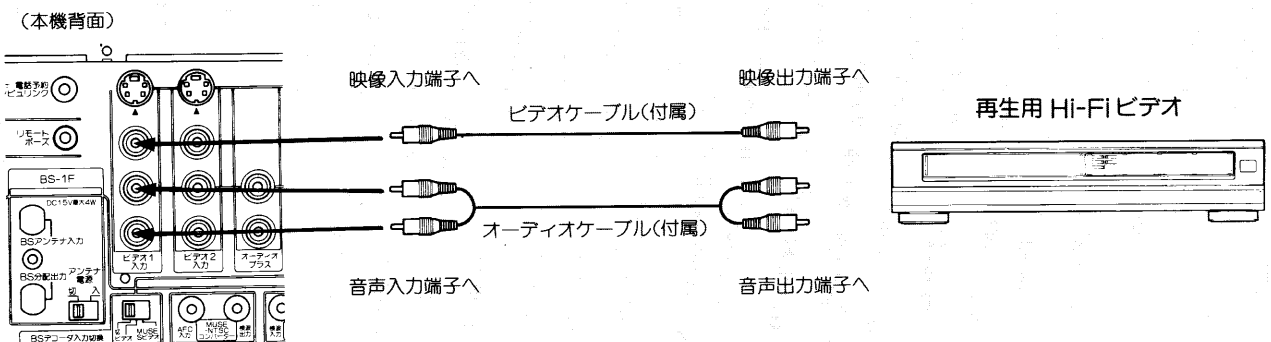
・録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・リモコンのシーンボタンで“ダビング”を選んでください(58 ページ参照)

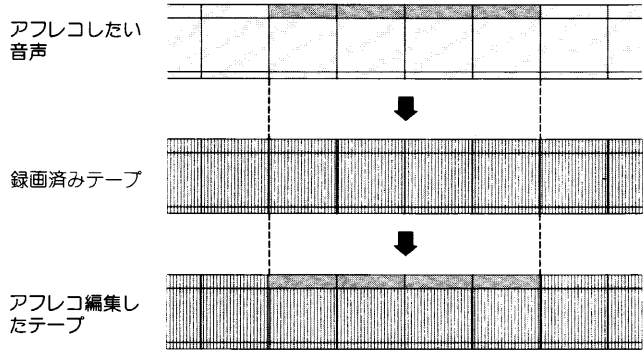
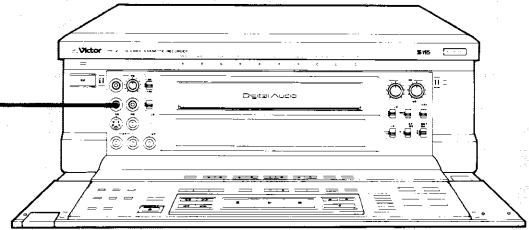
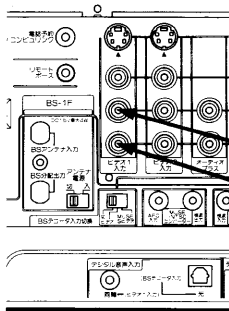
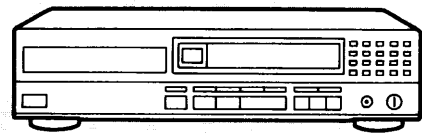
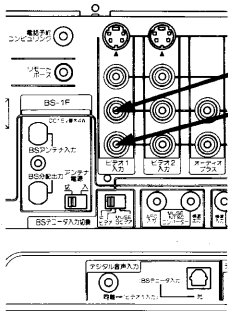
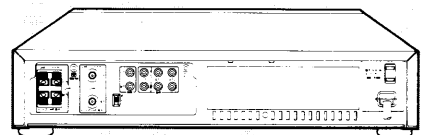
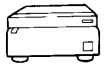
ビデオ編集

インサート編集の接続　音声と映像を入力する接続です。

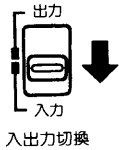
録画済みテープのある部分に、新しい映像と音声を入れかえることをインサート編集といいます。
インサート編集は、映像トラックとHi-Fi/デジタル音声トラックを対にして入れかえるので、インサート前のHi-Fi/デジタル音声は消されてインサートした音声が記録されます。
ノーマル音声はインサート編集する前のまま残ります。
入力端子の選択のしかたは 74 、75 ページをご覧ください。
操作のしかたは 84 ページをご覧ください。

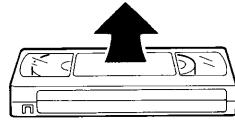
ビデオムービーからインサートする

本機前面にある入出力切換スイッチを"入力"にしてください。

S端子付きビデオからインサートする

Hi-Fiビデオからインサートする

アフレコ編集の接続　音声のみを入力する接続です。

録画済みテープに音声のみをあとから録音することをアフレコ（アフターレコーディング）.編集といいます。
本機のアフレコ編集は、ノーマル音声トラックにのみ働きます。
Hi-Fi/デジタル音声はアフレコできませんので、Hi-Fi/デジタル音声はアフレコ編集する前のまま残ります。
入力端子の選択のしかたは 74 、75 ページをご覧ください。
操作のしかたは 86 ページをご覧ください。

マイクからアフレコする

他のオーディオ機器からアフレコする

他のビデオからアフレコする

ビデオ編集

インサート編集するには

前面から入力するときは
出力
入力
入出力切換

ビデオ表示を点灯させる
テレビ/ビデオ

テープを入れる
(デジタル音声→S-VHSテープ)

入力切換ボタンで接続した入力を選択する
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
入力切換
オーディオプラス
テレビ/BS

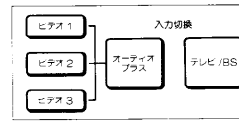
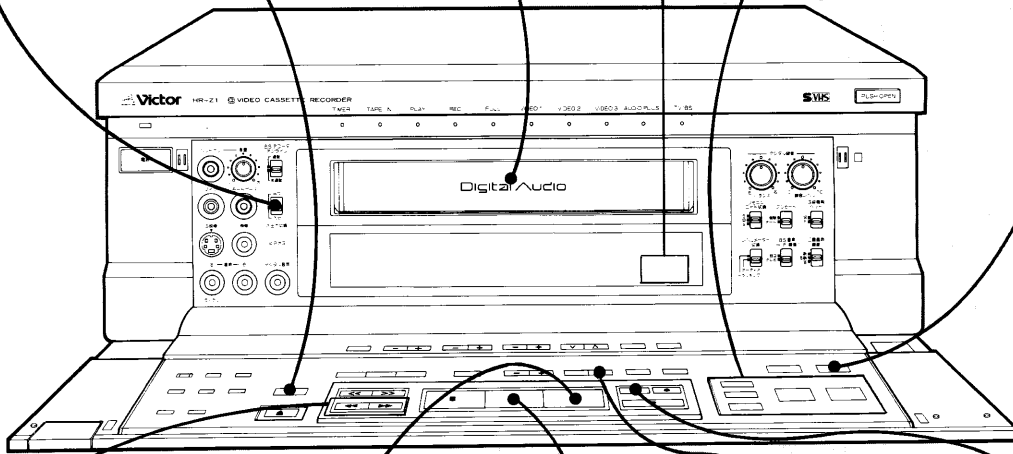
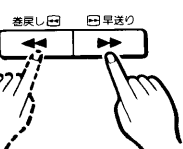
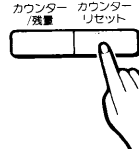
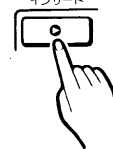
録音モードを選択する
ANALOG IN
DIGITAL IN
録音モード

インサート表示

3 巻戻し 早送り

4 一時停止/静止

1 6 再生

2 カウンター/残量 カウンターリセット

5 インサート

準備 ①テレビの電源を入れます。
②テレビをビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。
③接続のしかたは 82 ページを参照してください。

---

1 再生ボタンを押す

本機のテープを再生します。

・他のビデオ機器の映像をインサート編集する場合は、インサートする再生画像が安定してから行ってください。
・インサート編集中に無記録部分になっても、インサート編集は続行します。
・インサート編集とは、録画済みカセットにあとから映像とHi-Fi/デジタル音声を挿入する手法です。そのため、インサート編集する部分に無記録部分があると、編集終了点がずれますのでご注意ください。
・「つめ」のついていないカセットではインサート編集できません。「つめ」の部分にセロハンテープを貼ってからご使用ください。
・インサートする部分の途中で録画モード(標準/3倍)が変わっている場合は、インサートする場面が乱れますのでご注意ください。

テレビ画面をインサートするときは

接続不要です。
チャンネルボタンで希望のチャンネルを選んで操作してください。

2 インサートしたい場面の終わりをさがして カウンターリセットボタンを押す

カウンターが 0H00M00s になります。

3 インサートする場面のはじめまで シャトルサーチで巻戻す

(リモコンのジョグ/シャトルを使っても便利です。)

4 インサートする場面のはじめにきたら 一時停止/静止ボタンを押す

静止画再生になります。

5 インサートボタン(▶)を押す

テレビの画面は接続した機器の入力画像になります。インサートポーズ表示点灯(▷II)テレビに"インサートポーズ"が表示されます。

6 入力画像が安定し、インサートしたい場面が来たら 再生ボタンを押す

・インサート編集が始まります。
・カウンターが 0H00M00s になると、自動的に終了し、再生状態になります。

インサート編集したテープの再生
(音声出力切換ボタンで音声を選択します。)

インサート前の音声を聞くには、まんなかのボタンを押して NORMAL 表示を点灯させます。

アナログ音声を聞く場合

1. まんなかのボタンを押して Hi-Fi 表示を点灯させる

2. 右側のボタンを押してお好みの音声を選択する

L
R

デジタル音声を聞く場合

1. まんなかのボタンを押して DIGITAL 表示を点灯させる

2. 右側のボタンを押してお好みの音声を選択する

L
R

・本機はフライングイレースヘッドを搭載していますのできれいなつなぎ録り編集を楽しめます。

途中でインサート編集をやめるときは

カウンターリセットボタンを押す。
再生状態になります。

インサート編集と同時にノーマル音声の編集をしたいときは

5のインサートボタンを押した後に、アフレコボタンを押す。
(本体表示部は ▷II ➡ ▷II 表示へと変わります。)

ビデオ編集

アフレコ編集するには

前面から入力するときは

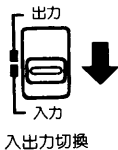
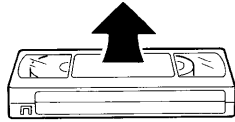
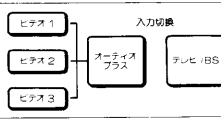
出力
入力
入出力切換

ビデオ表示を点灯させる

テレビ／ビデオ

テープを入れる

入力切換ボタンで接続した入力を選択する

ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
入力切換
オーディオプラス
テレビ／BS

録音モードボタンで ANALOG IN を選択する

ANALOG IN
DIGITAL IN
録音モード

外部入力ランプ

アフレコ表示

2

巻戻し
早送り

6

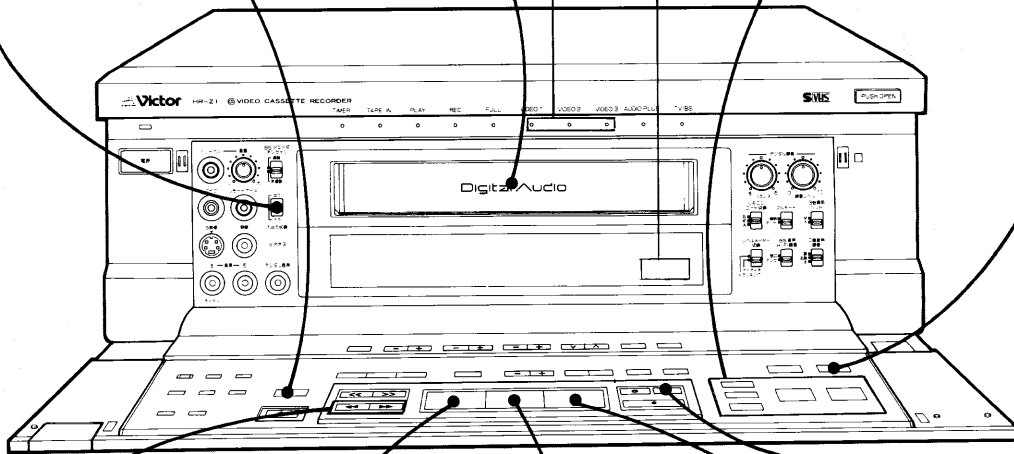
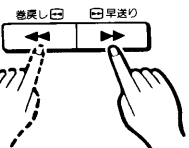
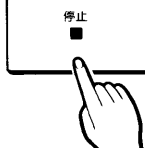
停止

1 5

再生

3

一時停止／静止

4

アフレコ

準備
①テレビの電源を入れます。
②テレビをビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。
③接続のしかたは 83 ページを参照してください。

再生ボタンを押す

・本機のテープを再生します。

アフレコ編集のご注意

・「つめ」のついていないカセットではアフレコできません。
「つめ」がない場合は、セロハンテープを貼ってからご使用ください。
・アフレコ編集中は外部入力ランプは点灯しません。編集を行う前にアフレコ音声の入力を確認してください。
・テレビが「ピー」「ウワーン」というノイズを出すときは、マイクをテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
・オーディオ機器とマイクを同時に接続すると、マイクの音のみ録音されます。
・テレビ音声のアフレコはできません。
・インサート編集と同じようにカウンターが、0H00M00S になると自動的にアフレコ編集を終了し、再生状態になります。
・デジタル音声入力端子からの音声はアフレコできません。

2 シャトルサーチで頭出しする

アフレコしたい場面をおおまかに呼び出します。

3 アフレコしたい場面を呼び出したら 一時停止/静止ボタンを押す

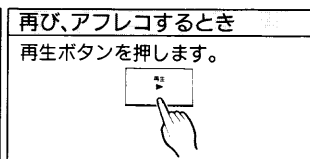
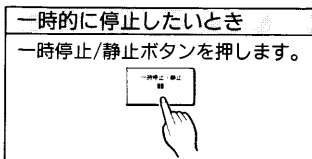
静止画再生になります。

4 アフレコボタン(⊜)を押す

・テレビの音声は接続した機器の入力音声になります。テレビに“アフレコポーズ”が表示されます。
・アフレコポーズ中には入力の切換えはできません。入力を切り換える場合は、停止ボタンを押し停止状態にしてから行なってください。

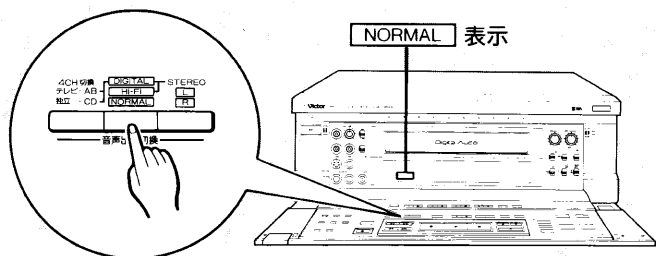
5 アフレコしたいところで 再生ボタンを押す

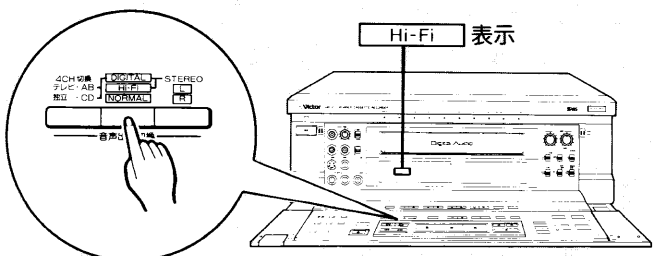
アフレコ編集が始まります。

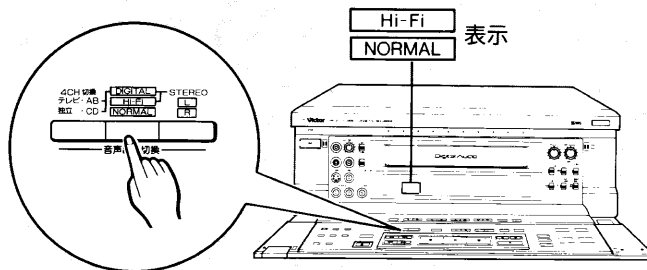
一時的に停止したいとき	再び、アフレコするとき
一時停止/静止ボタンを押します。	再生ボタンを押します。

6 アフレコをやめるとき 停止ボタンを押す

アフレコ編集したテープの再生
（音声出力切換ボタンで音声を選択します。）

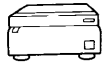
アフレコした音声を聞くには

1. まんなかのボタンを押して NORMAL 表示を点灯させる

アフレコ前の音声を聞くには

1. まんなかのボタンを押して Hi-Fi 表示を点灯させる

アフレコした音声とアフレコ前の音声を同時に聞くには

1. まんなかのボタンを押して Hi-Fi NORMAL 表示を点灯させる

・DIGITAL音声とNORMAL音声をミックスして同時に聞くことはできません。

アフレコ編集と同時に映像および音声も記録したいときは

4のアフレコボタンを押した後に、インサートボタンを押す。
(本体表示部は ⊜▯▯➡⊜▯▯ 表示へと変わります。)

オーディオプラス機能

ダビング時、デジタル音声トラックに別の音声を記録するには

他のビデオやビデオムービーからダビングするときなど、BGM(バックグランドミュージック)としてオーディオプラス端子からの入力音声をデジタルトラックにA/D変換して(48kHz)記録できます。(Hi-Fi音声トラックには、他のビデオからの音声が記録されます。)ただしS-VHS記録するときのみ可能です。

本機背面

ビデオケーブル(付属)

他のビデオの出力端子へ

オーディオケーブル
(他のビデオ付属)

AVアンプのオーディオ出力端子やREC出力端子につなぎます。

オーディオケーブル(付属)

ビデオ1入力　ビデオ2入力　オーディオプラス

S-VHSテープを入れる

4

レベルメーター切換

オーディオトラッキング

AUDIO PLUS 点灯

5

デジタル録音

左　バランス　右

0　録音レベル　10

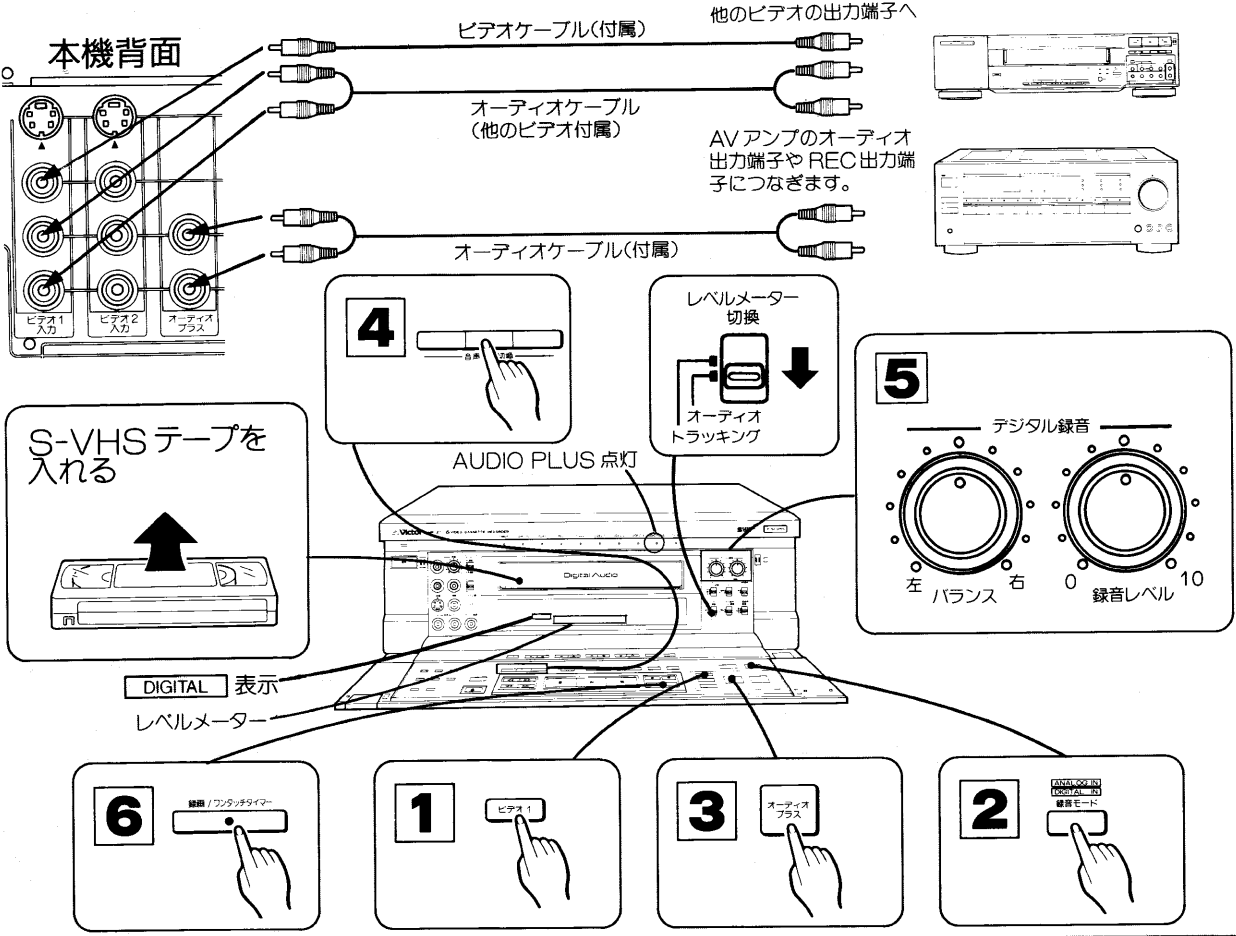
DIGITAL 表示

レベルメーター

6 録画/ワンタッチタイマー

1 ビデオ1

3 オーディオプラス

2 ANALOG IN / DIGITAL IN 録音モード

1 入力切換ボタンで入力を選びます。

ビデオ1ボタンを押します。

2 録音モードボタンを押す

・**ANALOG IN** 表示を点灯させます。

3 オーディオプラスボタンを押す

・"AUDIO PLUS" ランプが点灯します。

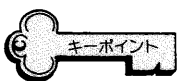
4 音声出力切換ボタンを押す

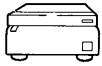
・DIGITAL 表示を点灯させます。

5 オーディオプラス入力の録音レベルを録音レベルつまみとバランスつまみで調節する

レベルメーターを見ながら、最大録音レベルのときにOVER表示が点灯しないように調節します。

6 録音する

35 ページの「テレビ/BS番組を録画する」の4、5の操作を行います。

・オーディオプラス入力はビデオ1～ビデオ3入力に対してのみ可能です。ただし録音モードを"DIGITAL IN"にしてもデジタルトラックにはオーディオプラス入力端子の音声が記録されます。デジタル音声入力端子からの音声はD-A変換されてHi-Fiトラックとノーマルトラックに記録されます。
"DIGITAL IN/ANALOG IN"の録音モードは選べません。

・デジタル録音つまみは、テレビ放送、ビデオ1～ビデオ3の音声入力、BSデコーダ音声入力およびオーディオプラス入力からの音声をデジタルトラックに記録する場合に使用します。BS放送録音時は調節の必要はありません。また Hi-Fi/ノーマルトラックの録音レベルとバランスは自動調節されます。

横長画面の記録と再生

マルチワイドビジョンで横長画面を楽しむには

フルモード画面の録画と再生

●MUSE-NTSCコンバーターからのフルモード画面を本機で録画、マルチワイドビジョンで再生すると16：9のワイド画面が簡単に楽しめます。

フルモード画面

ハイビジョン放送（MUSE）
画面比率（16：9）

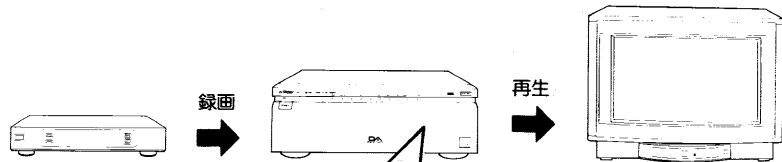
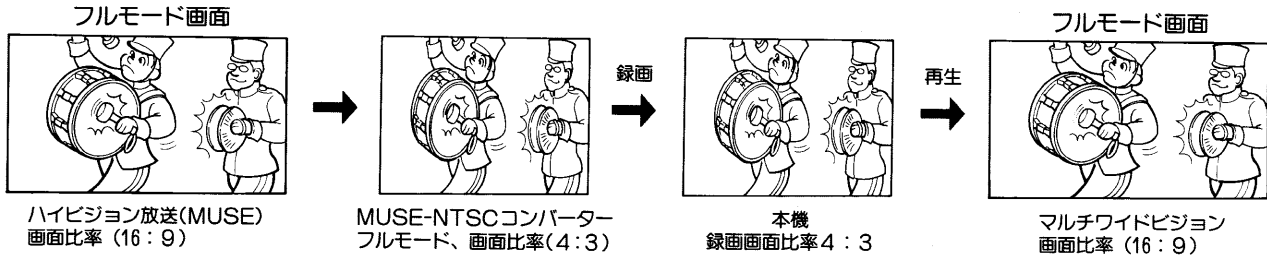
MUSE-NTSCコンバーター
フルモード、画面比率（4：3）

録画

本機
録画画面比率4：3

再生

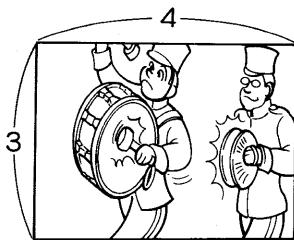
フルモード画面

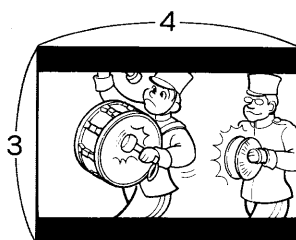
マルチワイドビジョン
画面比率（16：9）

フルモード
強制
オート

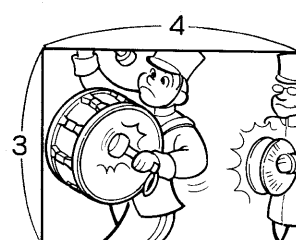
本機前面右側にある
フルモードスイッチを“オート”にする

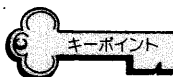
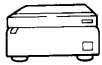
・録画：フルモード判別のための信号を同時に記録します。
・再生：マルチワイドビジョンの画面が自動的にフルモードになります。

フルモードとは

・MUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン放送を本機で録画する場合、次の3つのモードに分けられます。

フルモード

ハイビジョン画像すべてが映ります。縦方向に伸びた絵になります。

ワイドモード

ハイビジョン画像すべてが映ります。上下に灰色の帯がつきます。

ズームモード

ハイビジョン画像の中央部分が映ります。

・MUSE-NTSCコンバーターはハイビジョン放送のMUSE信号を現行方式のNTSC信号に変換する機器で、現行方式のテレビでハイビジョン放送を楽しむことができます。
・S映像入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると、本体の“FULL”ランプが点灯します。
・MUSE-NTSCコンバーター、マルチワイドビジョンの接続については106 ～ 111 を参照してください。

ビデオムービーからの横長画面記録

アナモフィックレンズを使ったムービーからの横長画面記録

本機では、ビクター製のビデオムービー GR-S 707にアナモフィックレンズ（GL-VC 707）を取り付けて撮影した映像に横長信号を追加して記録します。マルチワイドビジョン（AV-36 W 1）やアナモフィックレンズ（GL-VP 2000 J）を取り付けたビデオプロジェクター（LX-2000）と接続しますと映画館と同じようにワイドな画面でお楽しみいただけます。

FULLランプ

4, 5

2

ビデオムービー用アナモフィックレンズ（別売：GL-VC707）

ビクタービデオムービー（別売：GR-S707）

再生側

AV出力端子へ

S映像出力端子へ

AV出力ケーブル（ビデオムービー付属）

3 1

出力

入力

入出力切換

テープを入れる

Sビデオケーブル（ビデオムービー付属）

本機背面

S映像入力端子へ

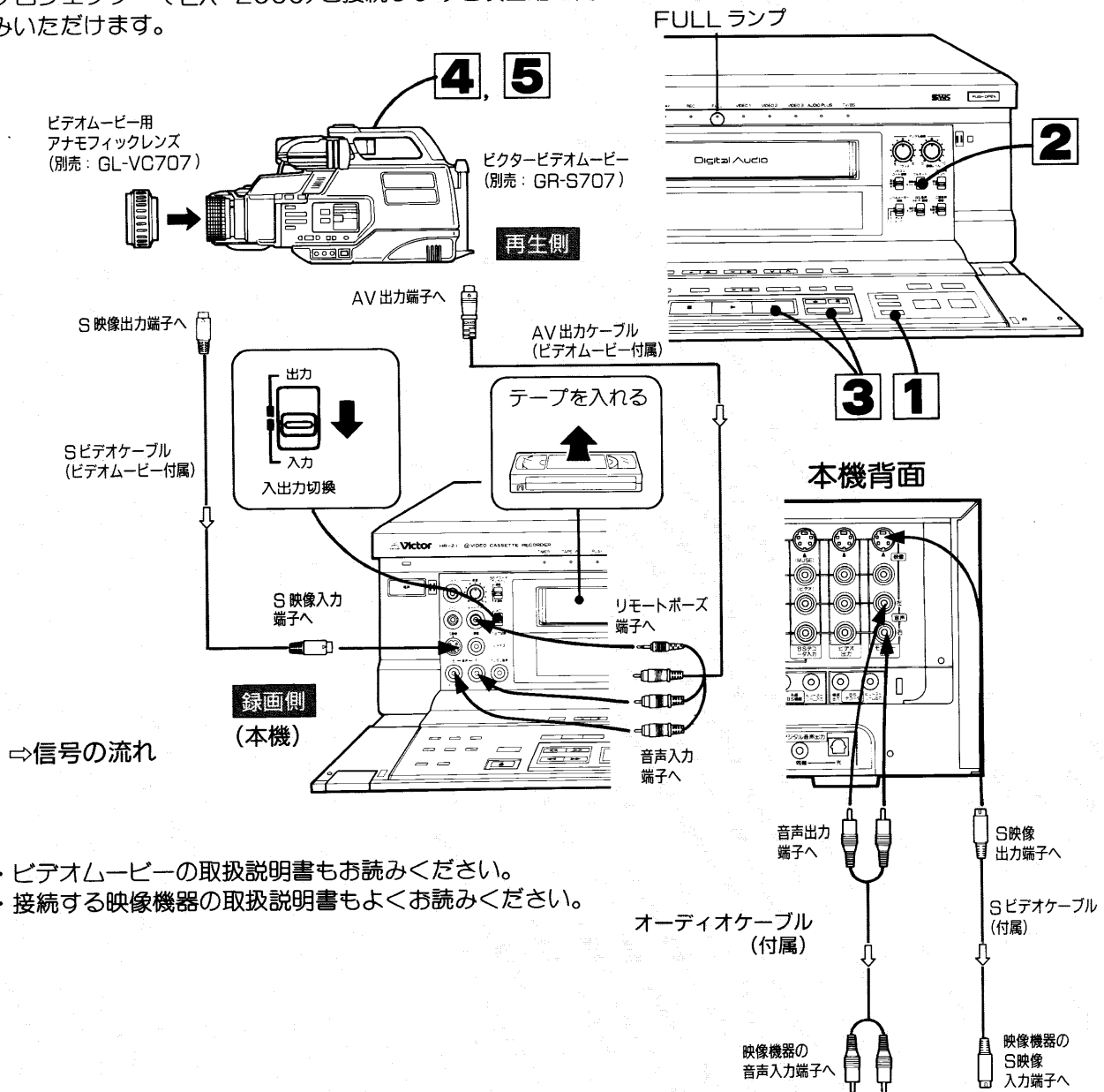
リモートポーズ端子へ

録画側（本機）

音声入力端子へ

⇨信号の流れ

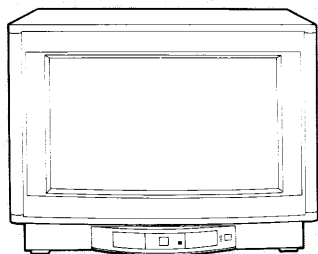
音声出力端子へ

S映像出力端子へ

・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。
・接続する映像機器の取扱説明書もよくお読みください。

オーディオケーブル（付属）

Sビデオケーブル（付属）

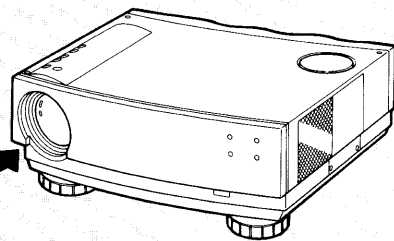
映像機器の音声入力端子へ

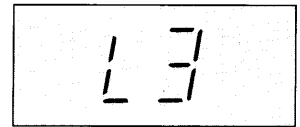
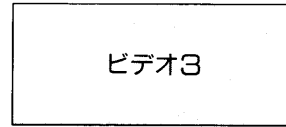
映像機器のS映像入力端子へ

マルチワイドビジョン（AV-36W1）

アナモフィックレンズ（GL-VP2000J）

ビデオプロジェクター（LX-2000）

テレビ画面　本体表示窓

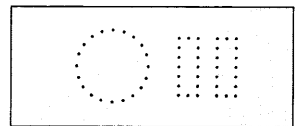
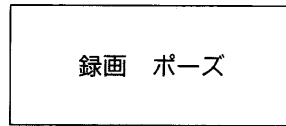
本機

1 ビデオ3ボタンを押す
ビデオ3（前面外部入力）にする

ビデオ3

2 フルモードスイッチを"強制"にする

・FULLランプが点灯します。

3 録画ボタンと一時停止ボタンを同時に押し、録画一時停止にする

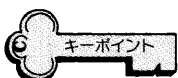
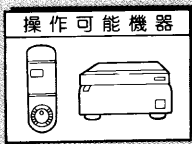
録画　ポーズ

再生側

4 ダビングしたい場面で静止画再生にする

5 エディットボタンを押す
・自動的に録画を始めます。

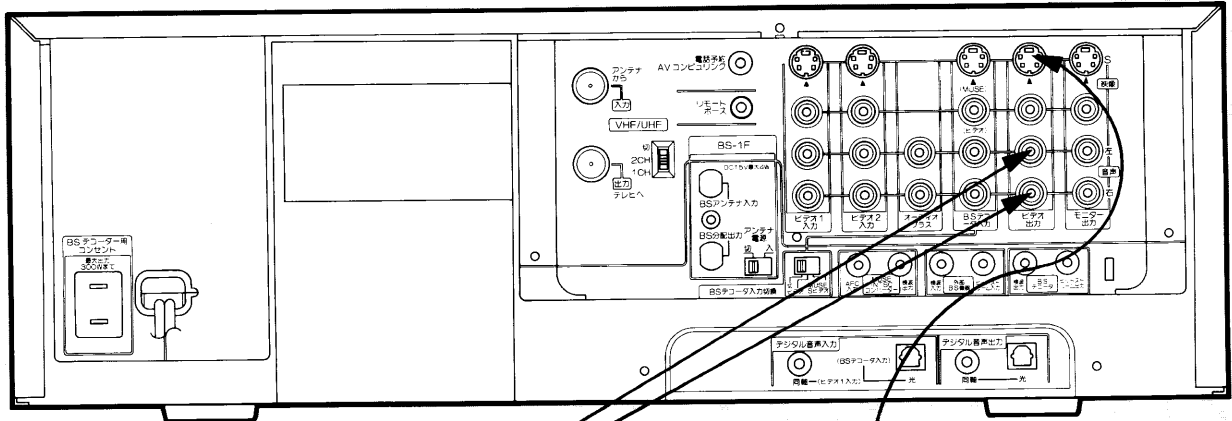
録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの**一時停止ボタン**を押します。
・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

終了するときは、ビデオムービーの**停止ボタン**を押します。
・本機は録画一時停止になります。

テレビ番組のチャンネルに戻すときは、**テレビ/BS ボタン**を押します。

・横長信号の出力は本機のS映像出力端子からのみ出力されます。（ただしビデオ3のS映像出力端子は対応していません。）
・横長画面を楽しむためには必ずSビデオケーブルで映像機器と接続してください。

BSリレーREC（レコ）

長時間のBS番組をタイマー録画する

BSチューナーを独立に使用し、長時間のBS番組を2台のビデオでリレー録画します。

（本機）

オーディオケーブル
（付属）

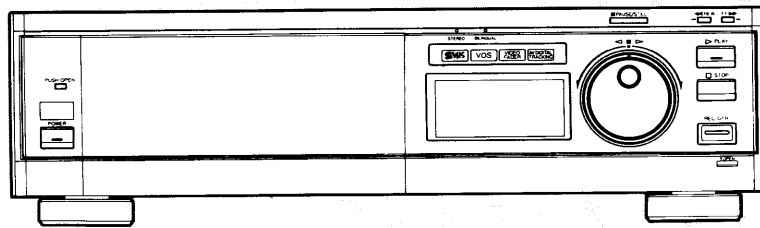
Sビデオケーブル
（付属）

他機にS端子がない場合は付属のビデオケーブルをご使用ください。

⇨信号の流れ

音声入力端子へ

S映像入力端子へ

（他機）

本機のタイマー予約を設定する

・番組の終わりの時刻をタイマー終了時刻にします。

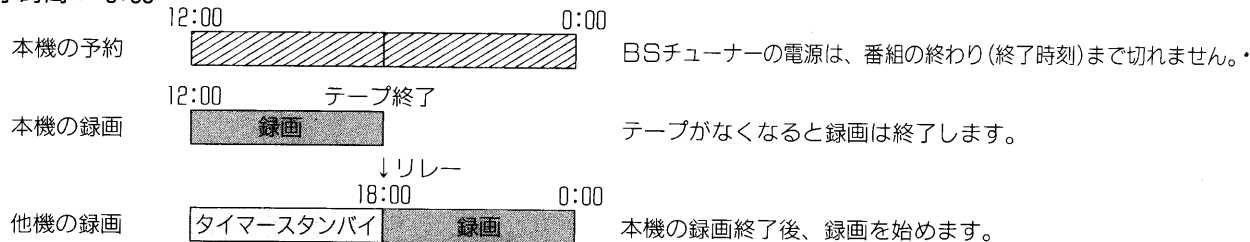
他機のタイマー予約を設定する

・本機のテープがなくなる時刻から番組終了時刻までを設定します。
・外部入力にします。

本機、他機ともタイマースタンバイにする

BSリレーRECのしくみ

(例)120分テープを2本使用して衛星放送の番組を3倍モードで12時間録画する場合
チャンネル：BS11
開始時間：12:00
終了時間： 0:00

本機の予約	12:00 ～ 0:00	BSチューナーの電源は、番組の終わり(終了時刻)まで切れません。
本機の録画	12:00 録画 テープ終了	テープがなくなると録画は終了します。
	↓リレー	
他機の録画	タイマースタンバイ 18:00 録画 0:00	本機の録画終了後、録画を始めます。

・他機で録画中に本機を操作しないでください。
・他機のタイマー録画のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。
・本機のタイマー録画が終了すると、TIMERランプとTV/BSランプが点滅し、カセットが出てきます。
・番組の終わり(終了時刻)になると、本機のTIMERランプとTAPE INランプが点滅します。タイマーボタンを押すと点滅は解除します。

関連システムの接続

テレビ・ステレオアンプとの連携プレー　ＡＶコンピュリンク

当社のＡＶコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。

(例)ワンタッチ再生
　録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと
　コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
　テレビ：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

BSチューナー内蔵テレビ

⇨信号の流れ

AVコンピュリンク端子へ
ミニプラグケーブル(別売)
AVコンピュリンク端子(TV側)へ

映像入力(ビデオ2)端子へ
モニター出力端子へ

音声出力端子へ
音声入力端子へ

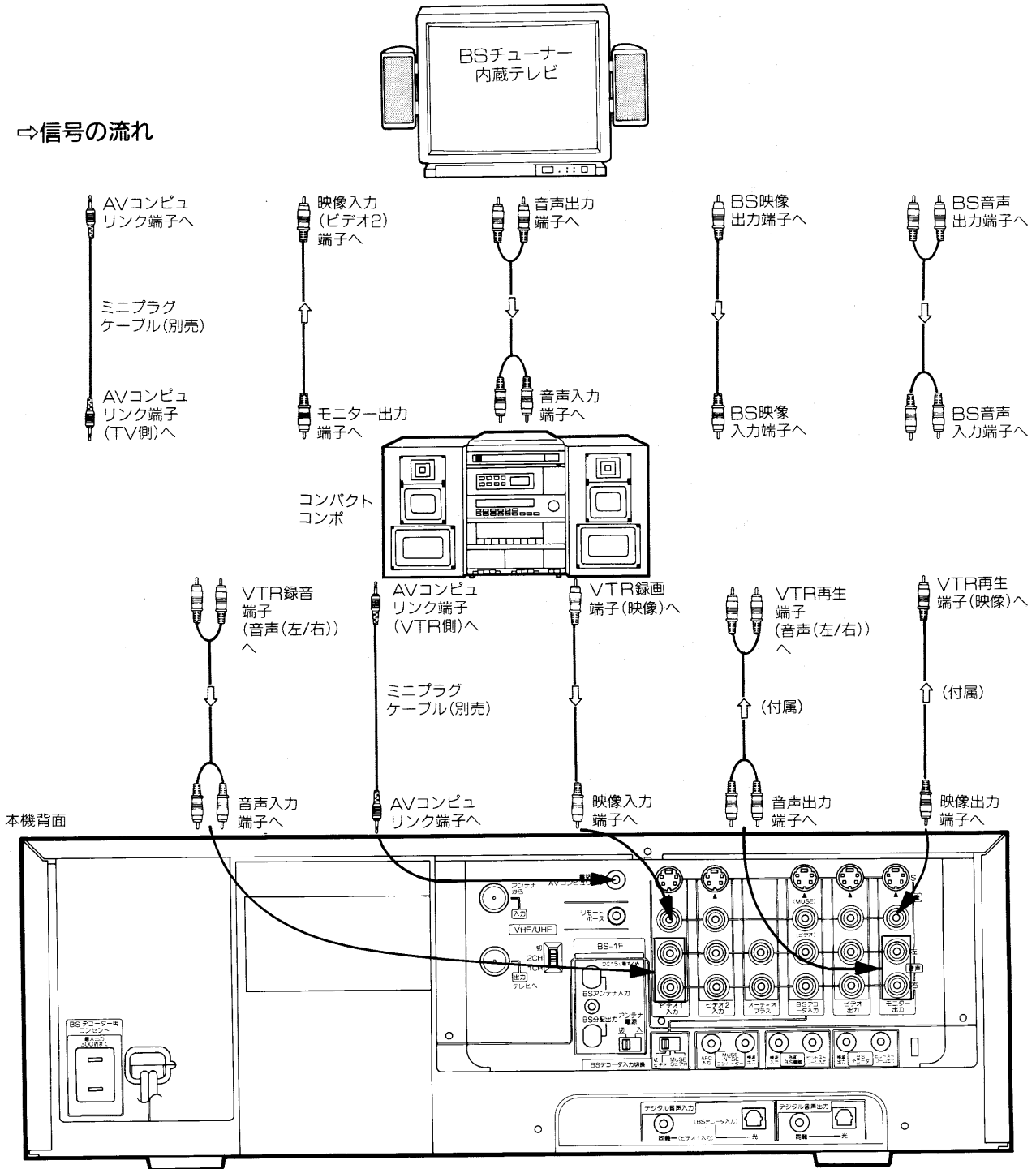
BS映像出力端子へ
BS映像入力端子へ

BS音声出力端子へ
BS音声入力端子へ

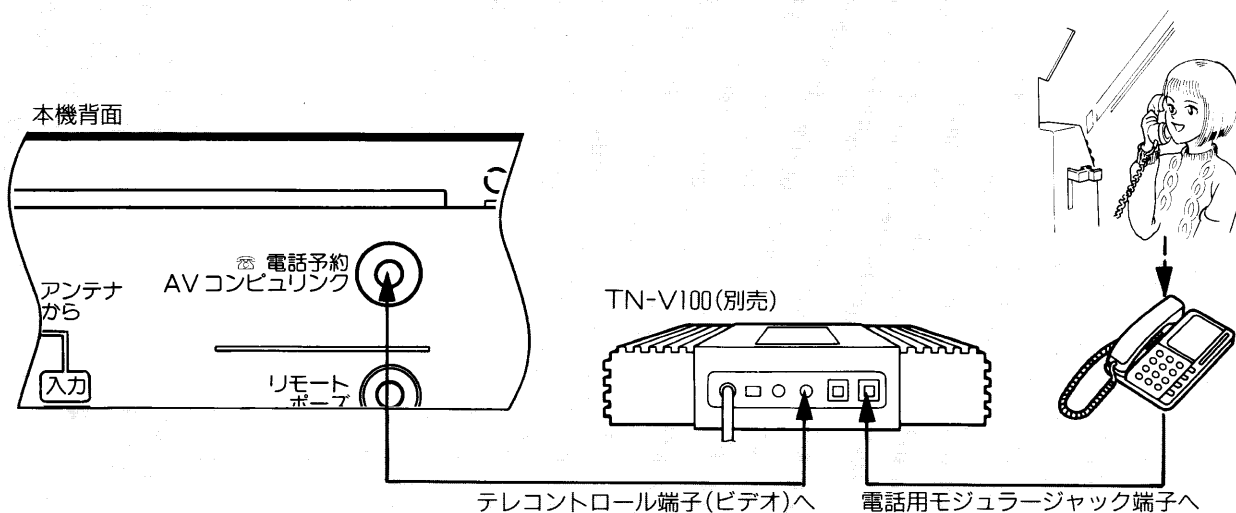
コンパクトコンポ

VTR録音端子(音声(左/右))へ
AVコンピュリンク端子(VTR側)へ
ミニプラグケーブル(別売)
VTR録画端子(映像)へ
VTR再生端子(音声(左/右))へ
(付属)
VTR再生端子(映像)へ
(付属)

本機背面

音声入力端子へ
AVコンピュリンク端子へ
映像入力端子へ
音声出力端子へ
映像出力端子へ

・ミニプラグケーブルは下記の当社製品をご使用ください。
　・CN-120A(1.5 m)
　・CN-125A(3.0 m)
・詳しくは、コンパクトコンポの取扱説明書をお読みください。

外出先から電話でタイマー予約

別売のＡＶテレホンコントローラーＴＮ-Ｖ100と組み合わせて、電話で録画予約、録画スタート、予約取消し、テープの巻戻し、電源ＯＮ/ＯＦＦ、停止、カセット有無の確認、在宅者コールが外出先からできます。

1 AVテレホンコントローラーを準備する

・TN-V100 の「取扱説明書」をよく読んで初期設定を行ってください。

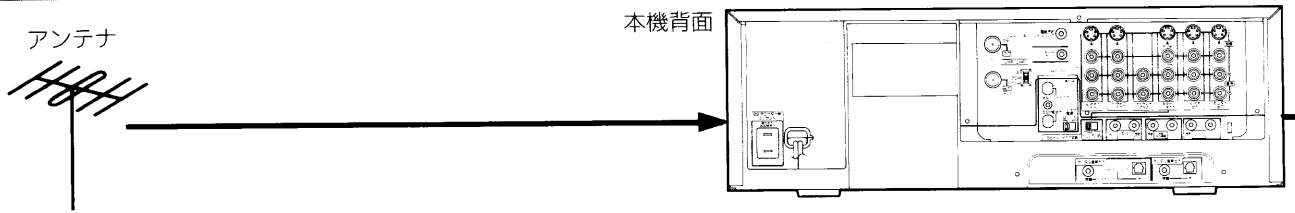
2 ビデオ(本機)を準備する

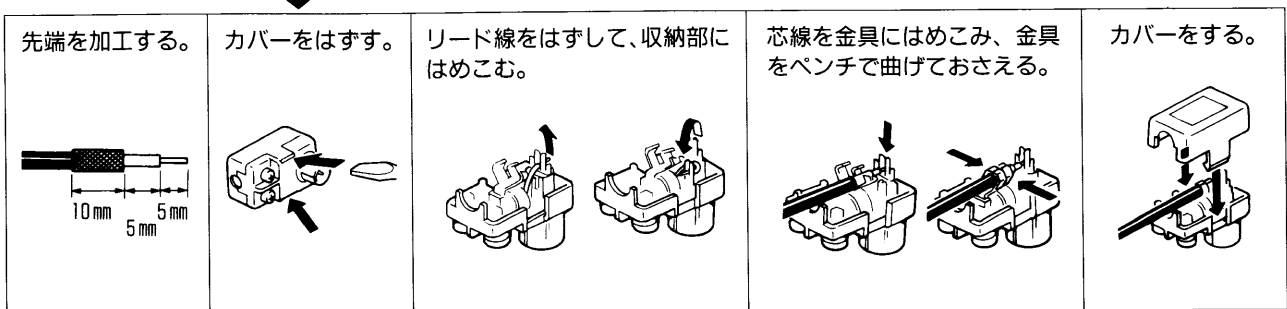
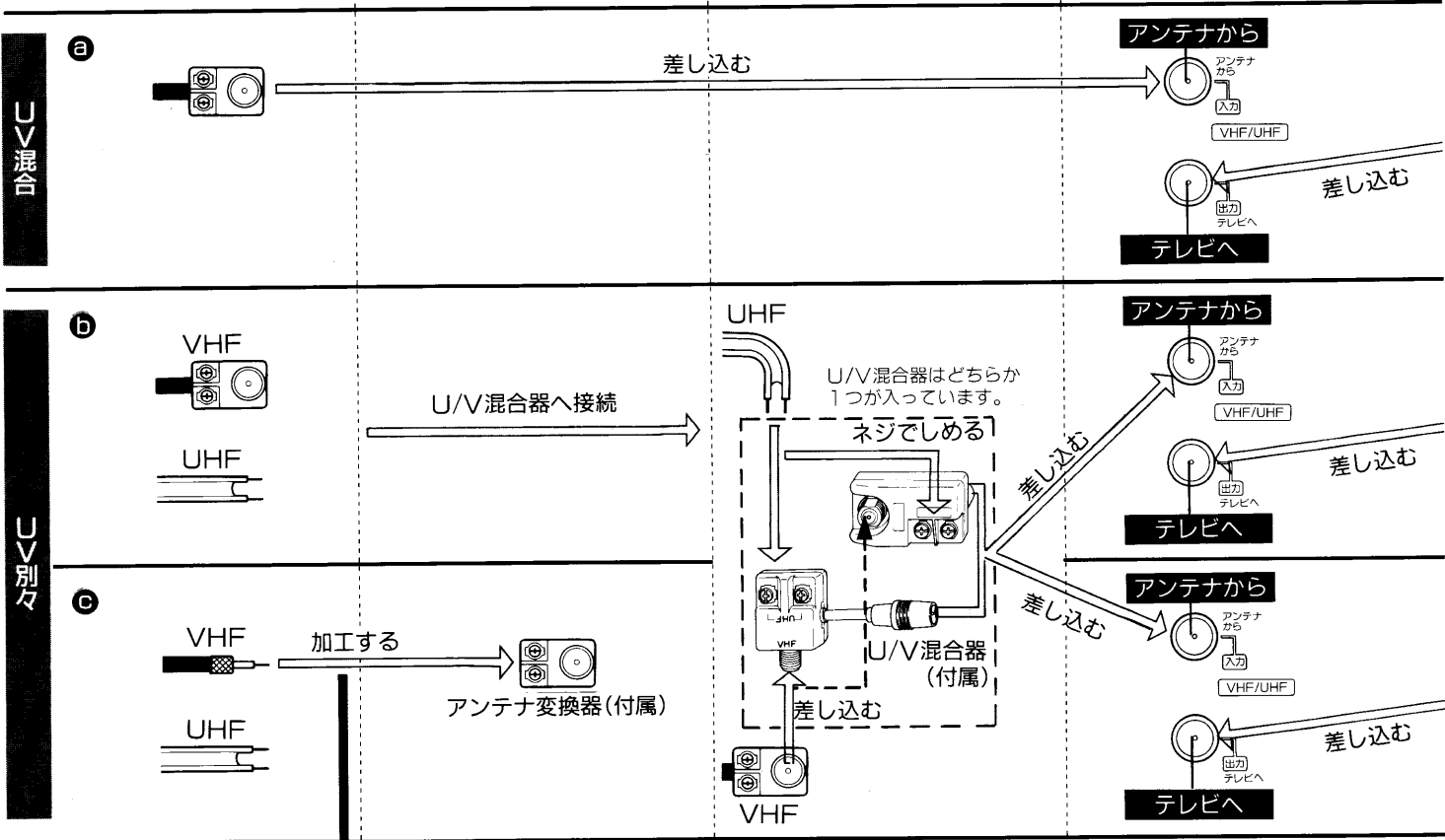
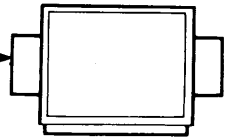
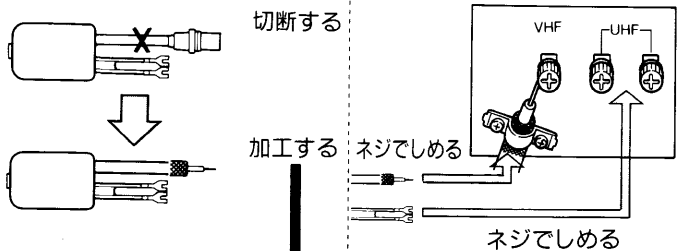
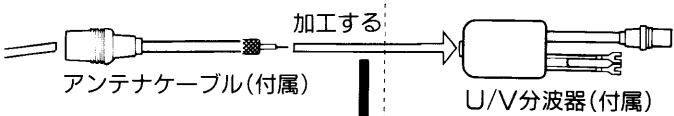
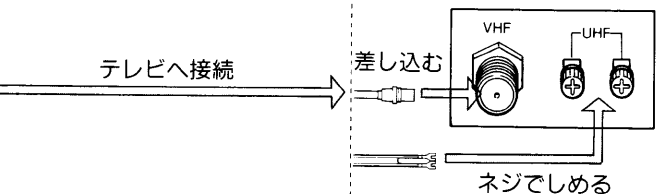
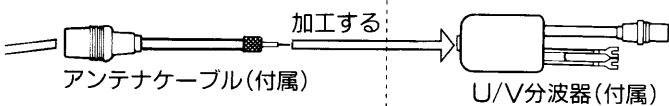
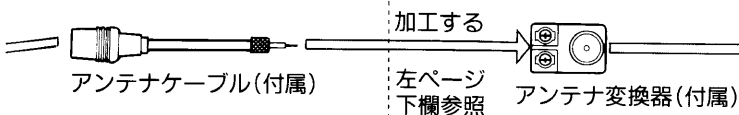
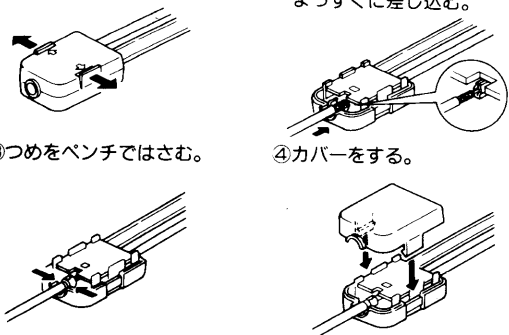
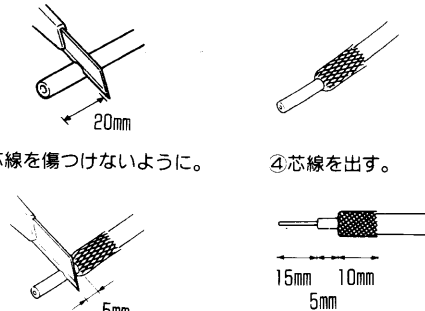
①つめのついたカセットを入れます。
②本体のリモコンコード切換スイッチをAコードにします。
③電源を切ります。

3 電話予約する

・予約が完了すると TELEPHONE(テレフォン) 表示が点灯します。
・TN-V100 (別売)の「取扱説明書」をよくお読みください。
　また、同機はオーディオ機器の電話での操作もできます。

・詳しくは、AVテレホンコントローラーの取扱説明書をお読みください。
・BS番組の予約はできません。

アンテナ、ビデオ、テレビの接続

AVテレビをお持ちのかたへ

AV接続も合わせて行います。
98 ページをご覧ください。

ビデオ←→テレビの接続

AVテレビとの接続

AVテレビとの接続とビデオチャンネルの設定

AV テレビでないかたは接続不要です。ビデオチャンネルの設定だけ行ってください。

1 ビデオチャンネルスイッチ

切
2CH
1CH

AVテレビ

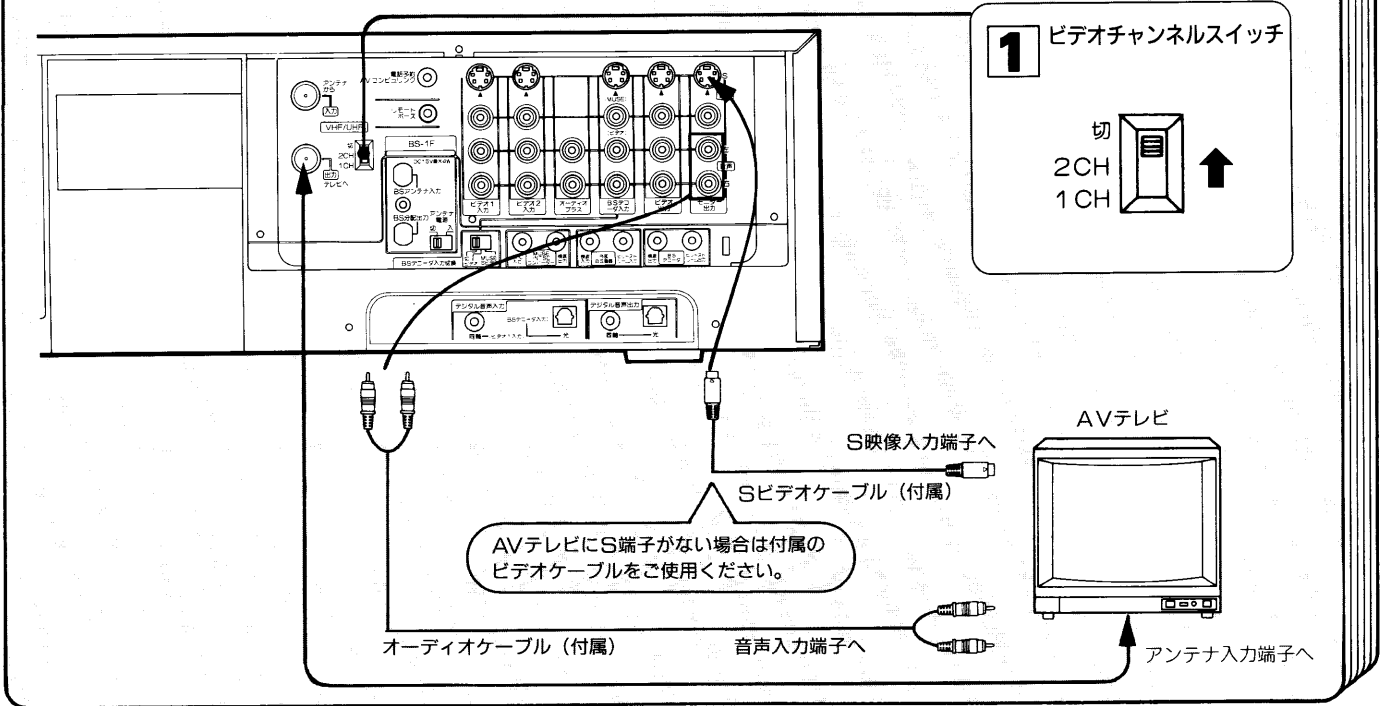
S映像入力端子へ

Sビデオケーブル（付属）

AVテレビにS端子がない場合は付属のビデオケーブルをご使用ください。

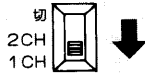
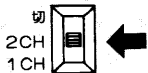
オーディオケーブル（付属）

音声入力端子へ

アンテナ入力端子へ

ビデオチャンネルスイッチを切にする

・録画中に別の番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンで ビデオ 表示を点灯させる必要がありません。

映像/音声入力端子のないテレビの場合

・ビデオチャンネルは放送のない空きチャンネルに合わせます。

・ビデオチャンネルとは
ビデオから出力される信号(映像と音声)をテレビに映して見るとき、テレビのチャンネルを何も放送されていないチャンネルに合わせて見ます。AV接続の場合は、ビデオにします。AV接続でない場合は、1または2チャンネルにします。
(例)東京地区：2チャンネル　大阪地区：1チャンネル

・AVテレビとは
アンテナ入力端子にオーディオ（音声）、ビデオ（映像）入力端子のあるテレビをいいます。

・AV 接続とは
付属のビデオ、オーディオケーブルを使って、テレビとビデオを接続していることです。

BSアンテナの接続1

BSアンテナの接続とアンテナ電源スイッチの設定

・BSアンテナを接続するときは、アンテナ電源スイッチを切にしてください。

BSアンテナ（別売）

コンバーター

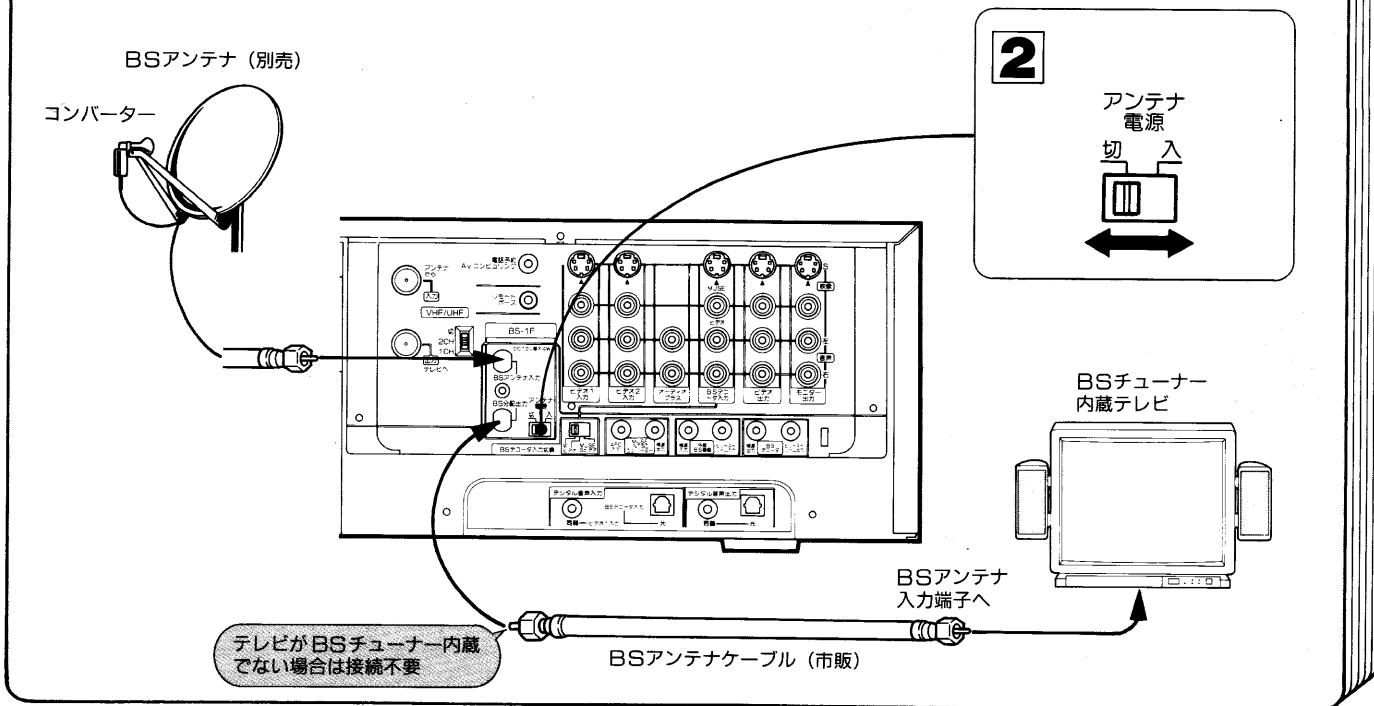
2

アンテナ電源

切　入

BSチューナー内蔵テレビ

BSアンテナ入力端子へ

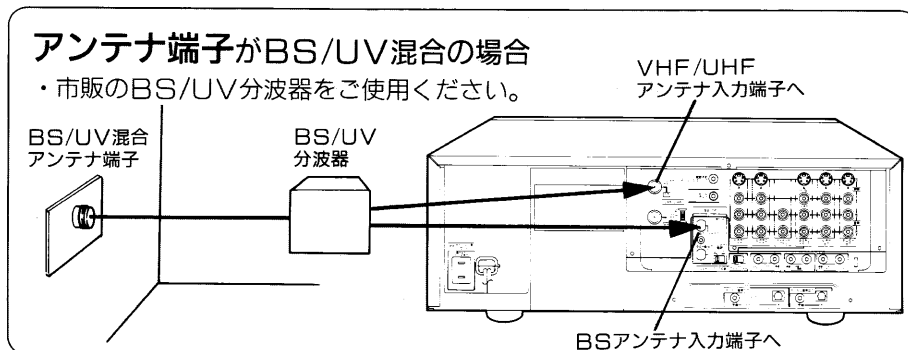
テレビがBSチューナー内蔵でない場合は接続不要

BSアンテナケーブル（市販）

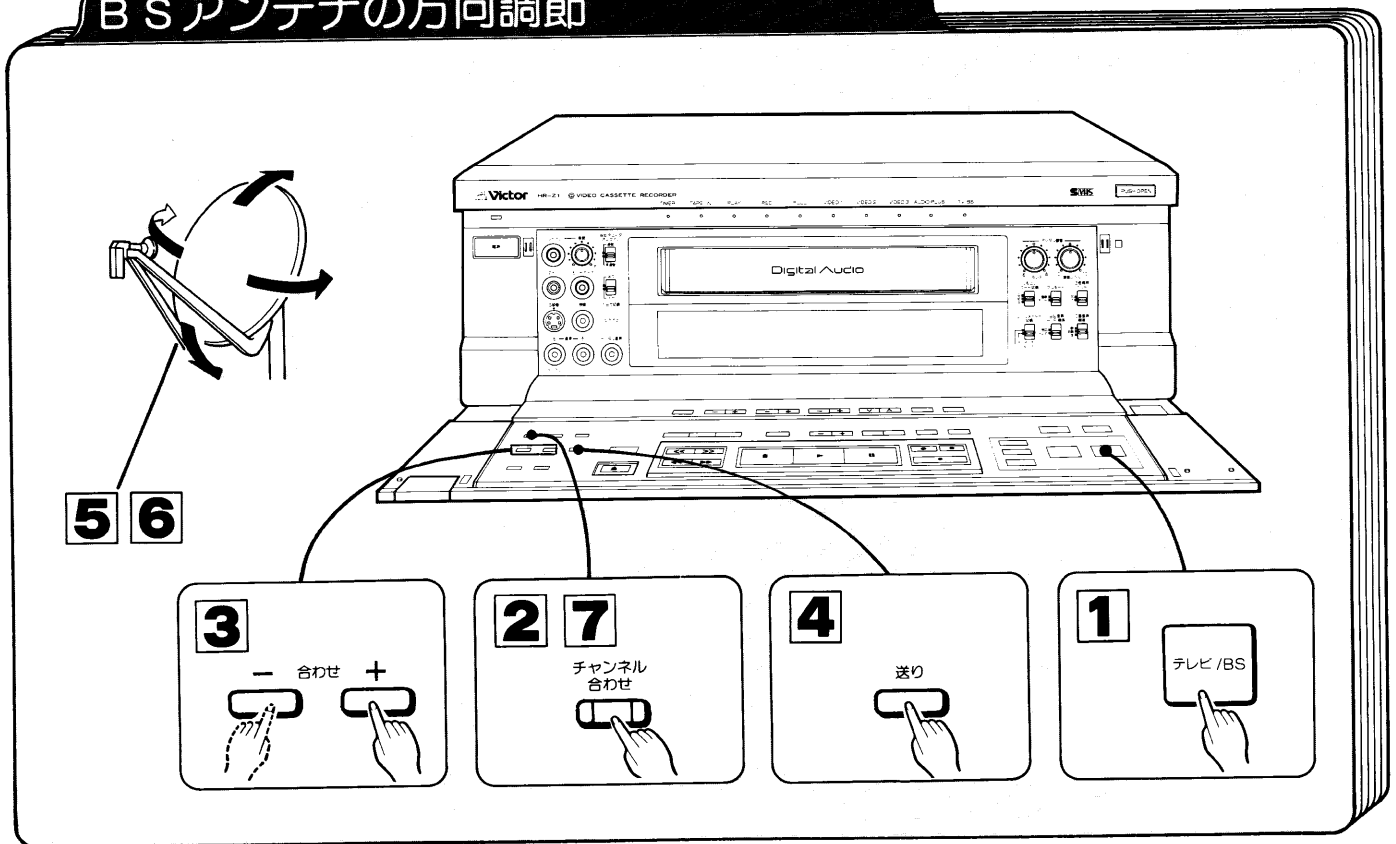
1 BSチューナー内蔵テレビをお持ちのかたは、BSアンテナケーブルでビデオの**BS分配出力端子**とテレビの**BSアンテナ入力端子**を接続する

2 **アンテナ電源スイッチ**を設定する

切	共同受信している場合(マンションなど) ・本機からBSアンテナに電源は供給されません。
入	本機とBSアンテナを接続する場合 本機以外にもBS機器があり、分配器を使用する場合 ・常にBSアンテナに電源が供給されます。

アンテナ端子がBS/UV混合の場合

・市販のBS/UV分波器をご使用ください。

BSアンテナの接続 2

BSアンテナの方向調節

準備
①テレビとビデオの電源を入れます。
②テレビをビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。
③本機のBSアンテナ電源スイッチを確認します。(前ページ参照)

テレビ画面　本体表示窓

1 テレビ/BSボタンを押し
BSチャンネルを選ぶ

BS　1CH

BS 1

2 チャンネル合わせボタンを押す
・BSチャンネル合わせ画面を表示します。

＊BSチャンネル合わせ＊

BSチャンネル　1CH　スキップ

◆BSオートチャンネル合わせ（オートチャンネル）
◆チャンネルをえらぶ（−／＋）
◆スキップをやめる（記憶）
＊BSアンテナ合わせへ（送り）
＊終了（チャンネル合わせ）

ch: 1 BS 1

3 合わせボタンで放送があるチャンネルを選ぶ

・この段階では、まだ映像が出ません。

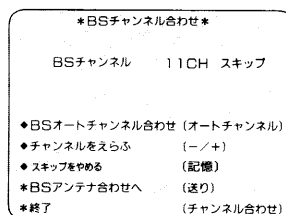
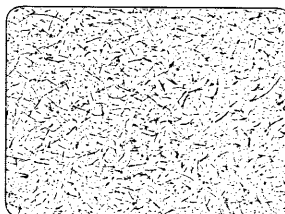
＊BSチャンネル合わせ＊

BSチャンネル　11CH　スキップ

◆BSオートチャンネル合わせ〔オートチャンネル〕
◆チャンネルをえらぶ　〔－／＋〕
◆スキップをやめる　〔記憶〕
＊BSアンテナ合わせへ　〔送り〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

ch:11　BS 11

4 送りボタンを押す

30　BS 11

5 BSアンテナを動かして、BS番組が映るようにする

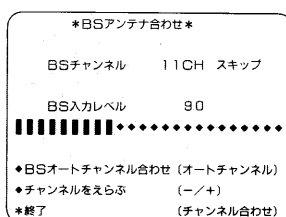
・BSアンテナ合わせ画面を表示します。

＊BSアンテナ合わせ＊

BSチャンネル　11CH　スキップ

BS入力レベル　90

◆BSオートチャンネル合わせ〔オートチャンネル〕
◆チャンネルをえらぶ　〔－／＋〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

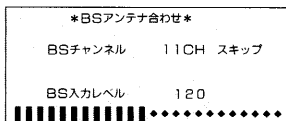
90　BS 11

6 BS入力レベルの数値が最大になるように、BSアンテナを動かして微調整する

・数値が小さくても、画面がきれいに映っていれば大丈夫です。

＊BSアンテナ合わせ＊

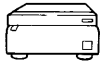
BSチャンネル　11CH　スキップ

BS入力レベル　120

120　BS 11

7 チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

〔設置完了〕

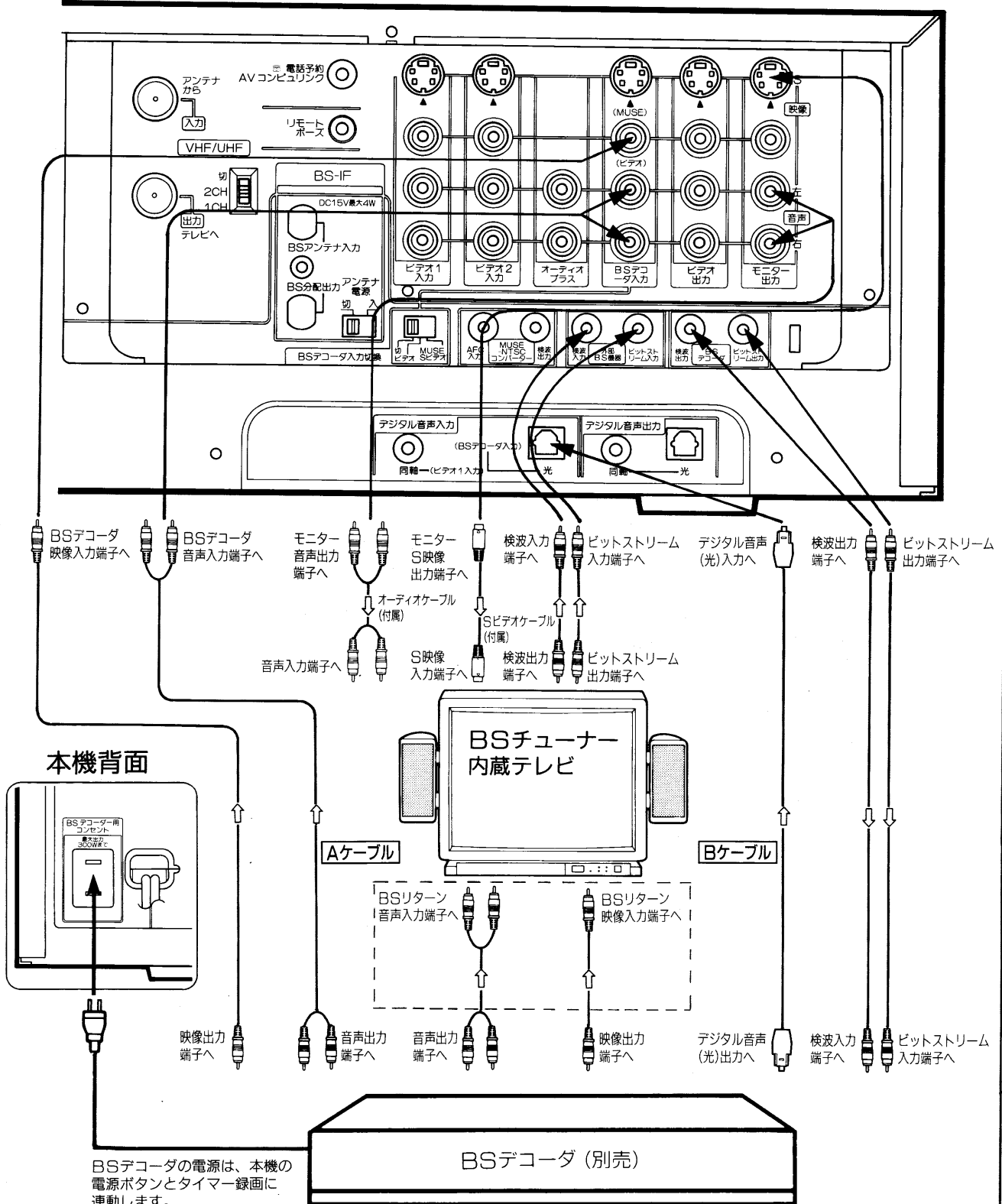
■設置完了後、113ページのBSオートチャンネル設定を行ってください。

・BS入力レベルは雨、雪、温度、アンテナケーブルの長さなどの影響を受け、時間によって数値が増えたり、減ったりすることがあります。この数値はアンテナ設置のために目安とするものであり、画質や音質のレベルとは関係ありません。
・BSアンテナの設置についてはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

BSデコーダとの接続

BSチューナー内蔵テレビとBSデコーダを共用する場合

この接続では、本機とBSチューナー内蔵テレビ両方で1台のBSデコーダを共用できます。

⇨信号の流れ

本機背面

BSデコーダ映像入力端子へ
BSデコーダ音声入力端子へ
モニター音声出力端子へ
モニターS映像出力端子へ
検波入力端子へ
ビットストリーム入力端子へ
デジタル音声(光)入力へ
検波出力端子へ
ビットストリーム出力端子へ
オーディオケーブル(付属)
Sビデオケーブル(付属)
音声入力端子へ
S映像入力端子へ
検波出力端子へ
ビットストリーム出力端子へ

BSチューナー内蔵テレビ

本機背面

Aケーブル
Bケーブル
BSリターン音声入力端子へ
BSリターン映像入力端子へ
映像出力端子へ
音声出力端子へ
音声出力端子へ
映像出力端子へ
デジタル音声(光)出力へ
検波入力端子へ
ビットストリーム入力端子へ

BSデコーダ(別売)

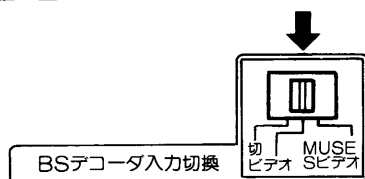
BSデコーダの電源は、本機の電源ボタンとタイマー録画に連動します。

・BSデコーダ用コンセントに他の機器は接続しないでください。
・消費電力は最大300Wまでです。

1 左ページの接続をしてから、本機前面左にある **BSデコーダオンラインスイッチを"連動"**にする

2 本機の電源を入れたあとに **BSデコーダの電源**を入れる

・本機の電源を入・切すると、BSデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

3 本機背面の **BSデコーダ入力切換スイッチを"ビデオ"**にする

BSデコーダをお持ちでないかたは、BSデコーダ入力切換スイッチを"切"にします。

左接続図の説明

BSチューナー内蔵テレビは、本機を通して(スルー接続)BSデコーダを共用できます。

■録音モードと接続ケーブルについて

録音モードの選択によって左図のA/Bケーブルの接続が不要になる場合があります。

	録音モード	
	ANALOG IN	DIGITAL IN
Aケーブル (オーディオケーブル)	必要	不要
Bケーブル (デジタル音声光ケーブル)	不要	必要

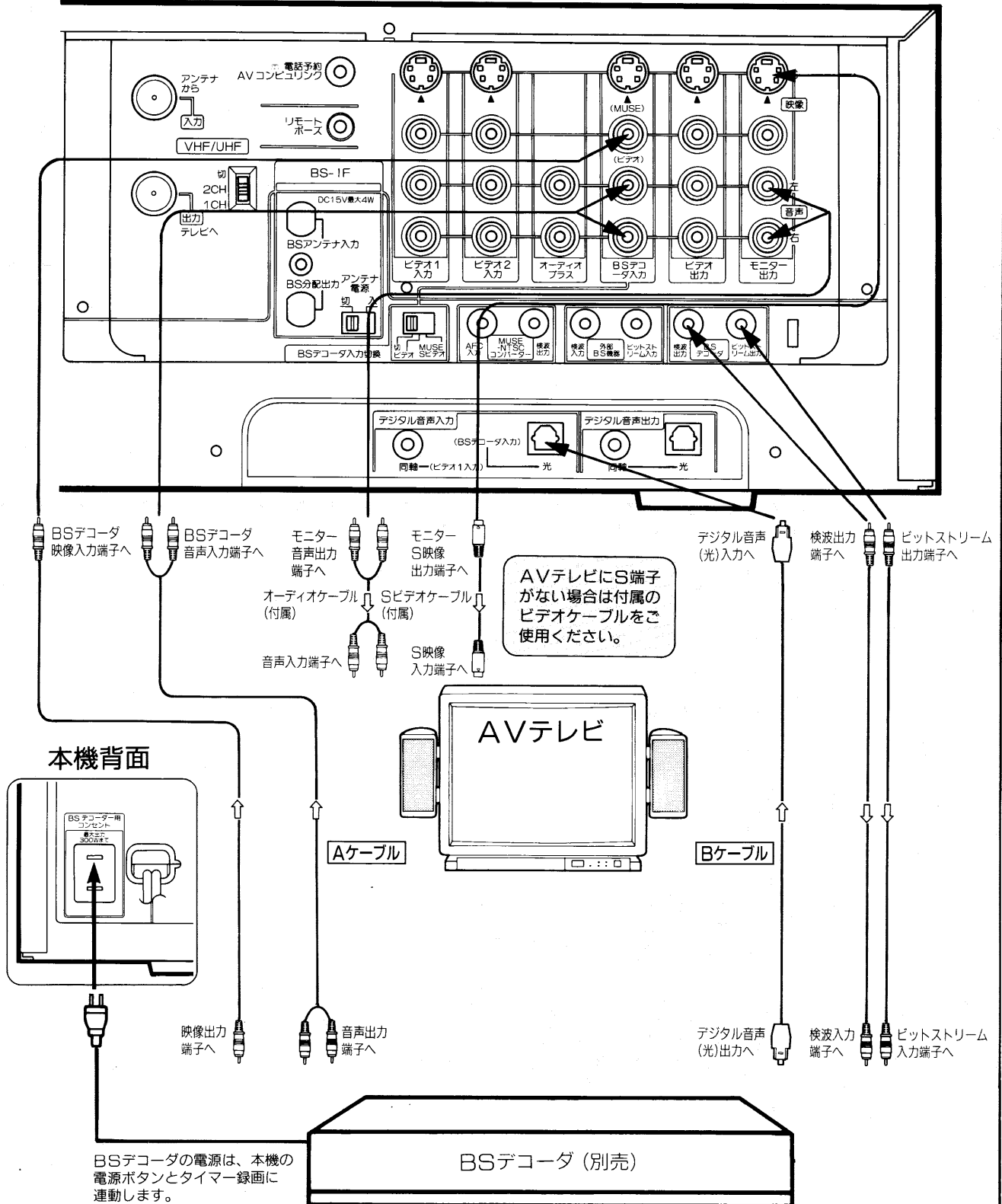
各トラックに記録される音声については 74 ページを参照してください。
録音モードボタンの押し方は4秒以上押して切り換えてください。(75 ページ参照)
リターン入力中は ANALOG IN/DIGITAL IN の録音モードはありません。

■テレビでNHKのBS番組を見ているときに、BSデコーダの電源が入っているかたへ
左ページの点線部分の接続を次のように変更してください。
・テレビの映像・音声のBSリターン入力端子からケーブルを抜き、映像・音声入力端子に接続してください。
・ビデオで WOWOW/St.GIGA を録画しながらテレビでNHKのBS番組を見るときまたは、ビデオ電源「切」の状態でテレビで WOWOW/St.GIGA を見るときは
①テレビ側で見たいBS番組を選びます。
②テレビの入力切換をビデオにします。

BSデコーダとの接続

AVテレビでBSデコーダをモニターするには

この接続では、本機を通してＢＳデコーダからの映像をＡＶテレビにモニターできます。

⇨信号の流れ

・ＢＳデコーダ用コンセントに他の機器は接続しないでください。
・消費電力は最大３００Ｗまでです。

1 左ページの接続をしてから、本機前面左にある
BSデコーダオンラインスイッチを“連動”にする

BS デコーダ
オンライン
連動
非連動

2 本機の電源を入れたあとに
BSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、BSデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

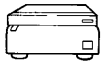
3 本機背面の
BSデコーダ入力切換スイッチを“ビデオ”にする

BSデコーダをお持ちでないかたは、BSデコーダ入力切換スイッチを“切”にします。

■録音モードと接続ケーブルについて

録音モードの選択によって左図のA/Bケーブルの接続が不要になる場合があります。

	録音モード	
	ANALOG IN	DIGITAL IN
Aケーブル (オーディオケーブル)	必要	不要
Bケーブル (デジタル音声光ケーブル)	不要	必要

各トラックに記録される音声については 74 ページを参照してください。
録音モードボタンの押し方は４秒以上押して切り換えてください。（75 ページ参照）
リターン入力中は ANALOG IN/DIGITAL IN の録音モードはありません。

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

ハイビジョン放送を見るための接続

本機のオートワイドシステムを使用する場合は、MUSE-NTSC コンバーターとの接続(映像)は必ずSビデオケーブルをご使用ください。(ビデオケーブルで接続した場合はオートワイドシステムは使用できません。)

⇨信号の流れ

本機背面

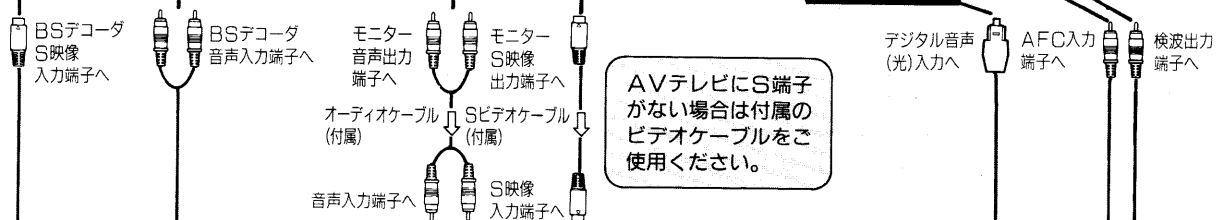
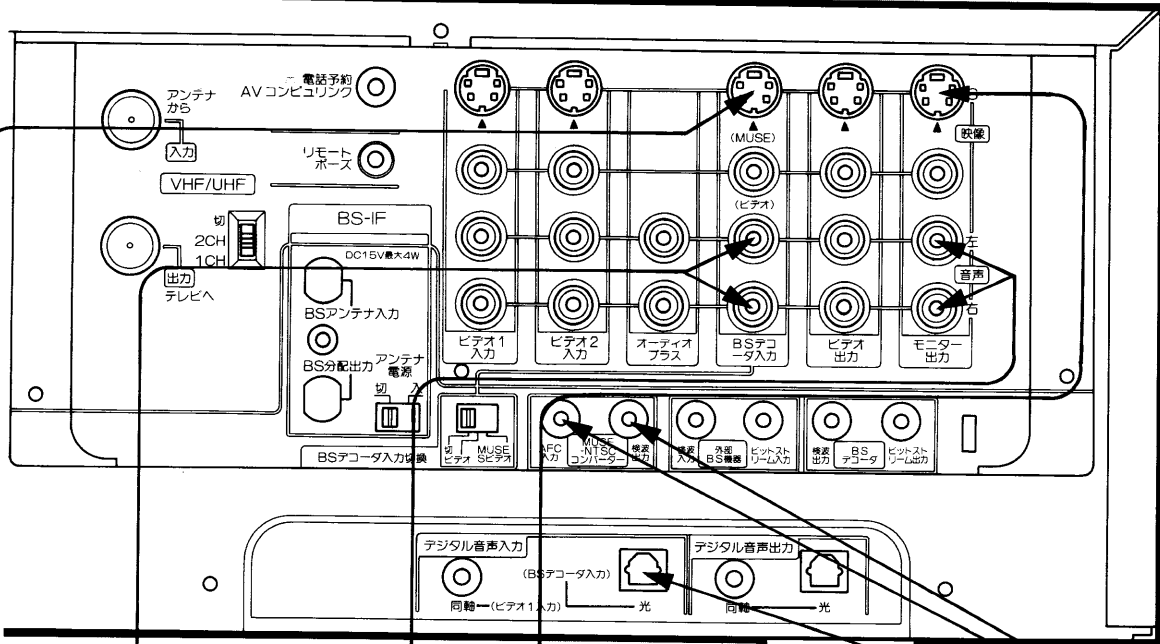
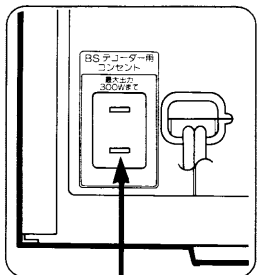
BSデコーダ S映像 入力端子へ
BSデコーダ 音声入力端子へ
モニター 音声出力 端子へ
モニター S映像 出力端子へ
オーディオケーブル (付属)
Sビデオケーブル (付属)
音声入力端子へ
S映像 入力端子へ

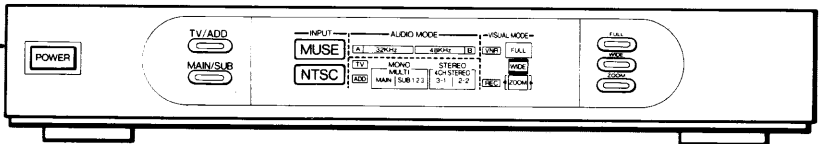
AVテレビにS端子がない場合は付属のビデオケーブルをご使用ください。

デジタル音声 (光)入力へ
AFC入力 端子へ
検波出力 端子へ

AVテレビ

Aケーブル

Bケーブル

本機背面

S映像出力 端子へ
音声出力 端子へ
デジタル音声 (光)出力へ
AFC出力 端子へ
検波入力 端子へ

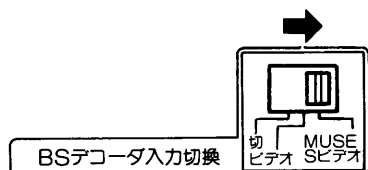
MUSE-NTSCコンバーターの電源は、本機の電源ボタンとタイマー録画に連動します。

MUSE-NTSCコンバーター(別売)

・BSデコーダ用コンセントに他の機器は接続しないでください。
・消費電力は最大300Wまでです。

1 左ページの接続をしてから、本機前面左にある BSデコーダオンラインスイッチを“連動”にする

2 本機の電源を入れたあとに MUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、MUSE-NTSCコンバーターの電源も連動して入・切することを確認します。

3 本機背面の BSデコーダ入力切換スイッチを“MUSE Sビデオ”にする

・MUSE-NTSCコンバーターとの接続(映像)にビデオケーブルを使用する場合は、BSデコーダ入力切換スイッチを“ビデオ”にします。

4 本機前面右側にある フルモードスイッチを“オート”にする

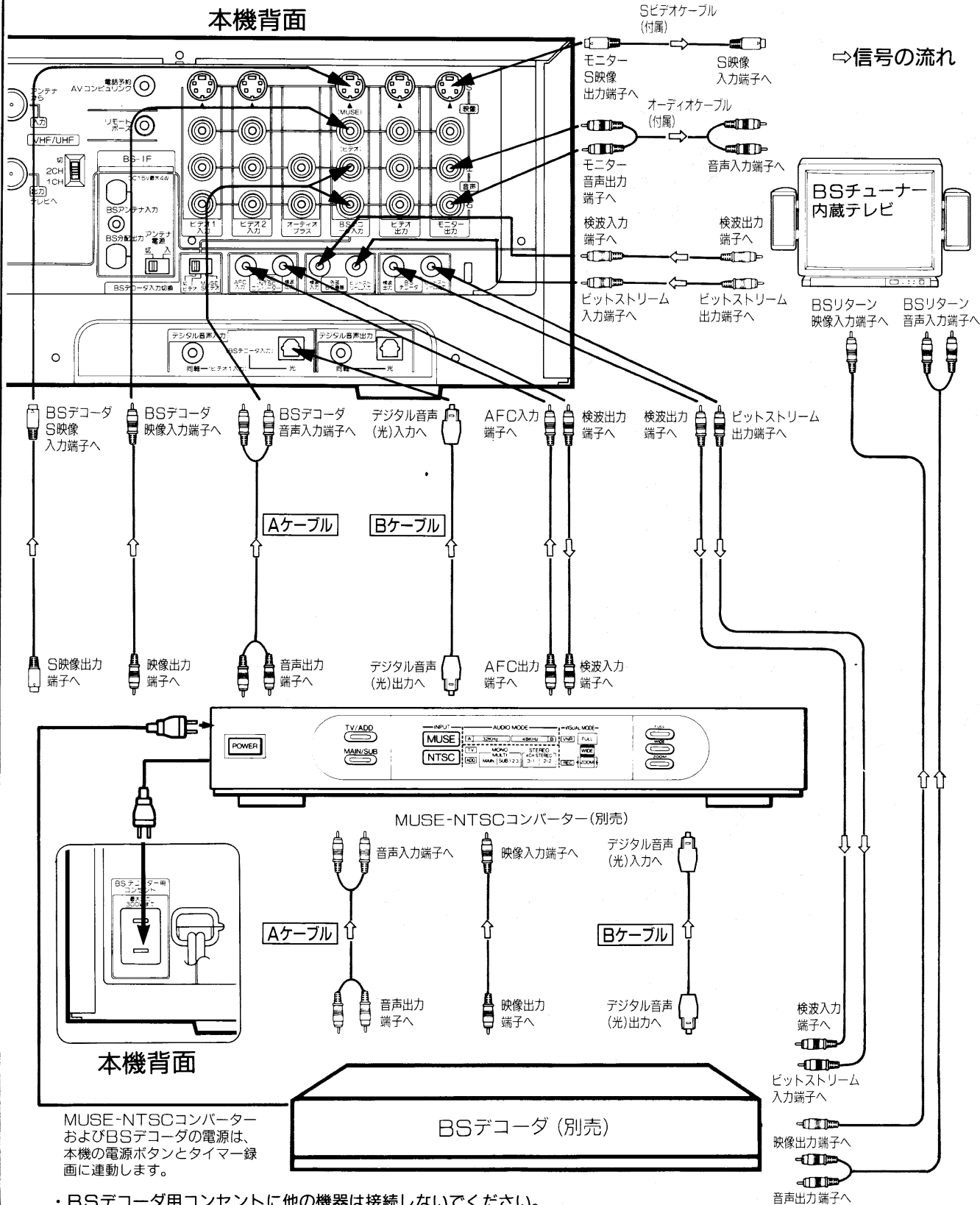
・S映像入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると、“FULL”ランプが点灯します。
・他社のNTSCコンバーターにはS端子からのフルモードコントロール出力がないものがあります。

Aケーブル/Bケーブルについては 105 ページと同様です

・MUSE-NTSCコンバーターのデジタル音声出力端子と本機のデジタル音声入力端子を接続する場合は光ケーブルを使用してください。同軸ケーブルは使用できません。

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

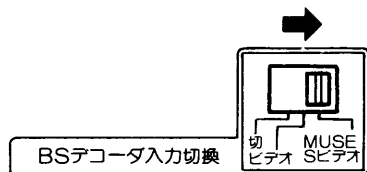
ハイビジョン放送および$\overset{ワウワウ}{\text{WOWOW}}$、$\overset{セント　ギガ}{\text{St.GIGA}}$を見るための接続

本機のオートワイドシステムを使用する場合は、MUSE-NTSCコンバーターとの接続(映像)は必ずSビデオケーブルをご使用ください。ビデオケーブルはWOWOWを見るときに必要となりますので、Sビデオケーブルと合わせて接続してください。

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダの電源は、本機の電源ボタンとタイマー録画に連動します。

・BSデコーダ用コンセントに他の機器は接続しないでください。
・消費電力は最大300Wまでです。

1 左ページの接続をしてから、本機前面左にある BSデコーダオンラインスイッチを“連動”にする

2 本機の電源を入れたあとに MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

3 本機背面の BSデコーダ入力切換スイッチを“MUSE Sビデオ”にする

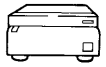
4 本機前面右側にある フルモードスイッチを“オート”にする

・S映像入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると、“FULL”ランプが点灯します。
・他社のNTSCコンバーターにはS端子からのフルモードコントロール出力がないものがあります。

左接続図の説明

BSチューナー内蔵テレビからBSデコーダを利用できます。
AVテレビをご使用のお客様は検波出力、ビットストリーム出力、BSリターン（映像・音声）端子がありませんので紫色( )部分の接続は不要です。
Aケーブル/Bケーブルについては 105 ページと同様です。

・MUSE-NTSCコンバーターのデジタル音声出力端子と本機のデジタル音声入力端子を接続する場合は光ケーブルを使用してください。同軸ケーブルは使用できません。

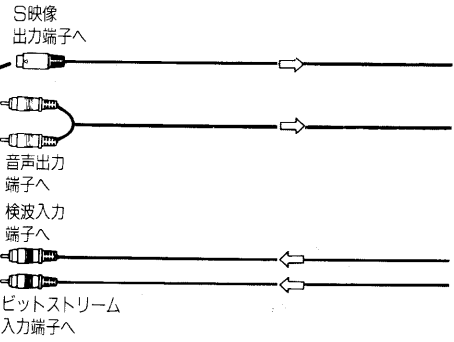
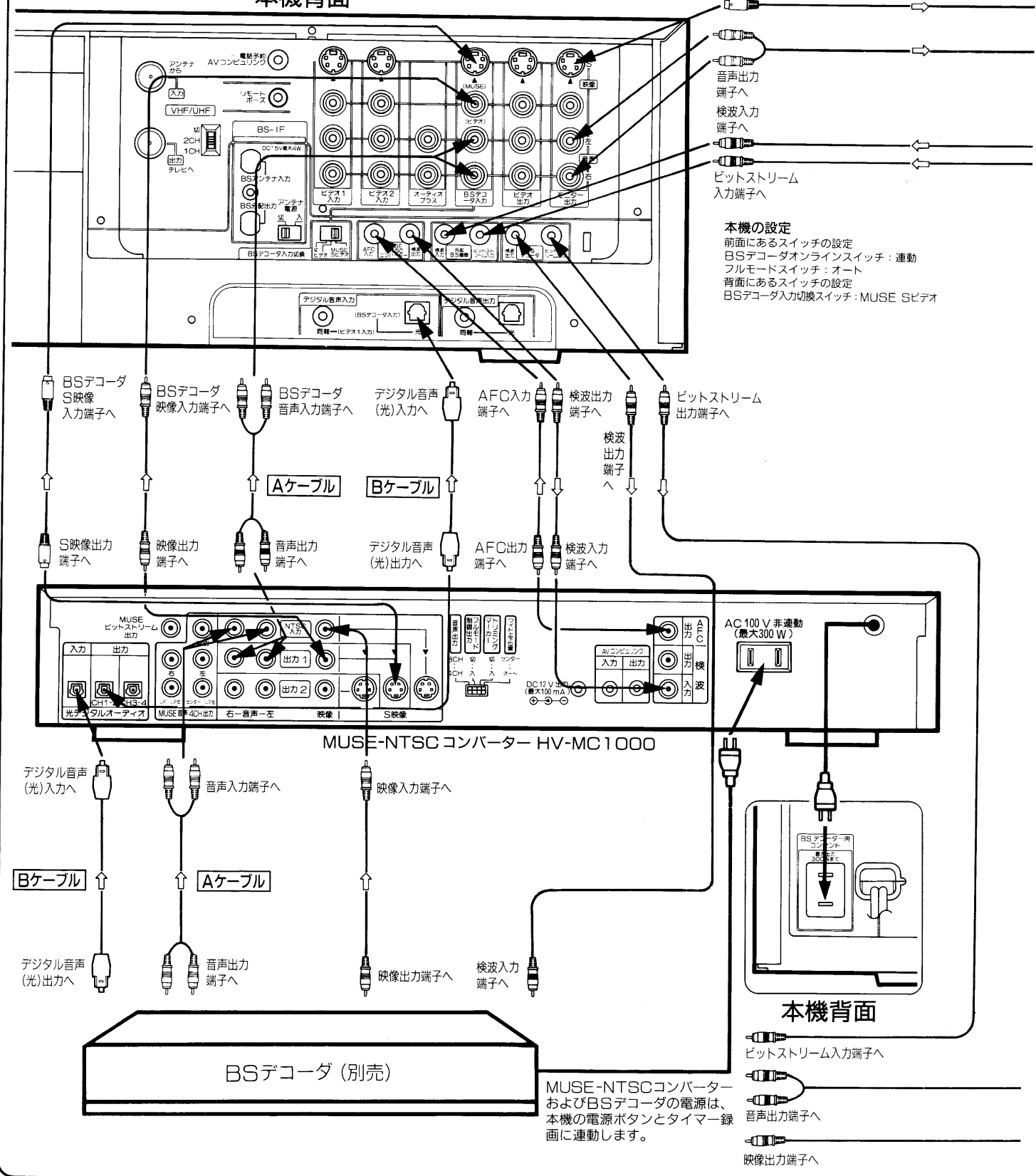
操作可能機器

マルチワイドビジョンとの接続

横長画面を楽しむために

ビクター製のマルチワイドビジョン **AV-36W1** と MUSE-NTSC コンバーター **HV-MC1000** を接続すると １６：９の画面いっぱいにハイビジョン放送を楽しめます。（接続機器の取扱説明書もお読みください。）

⇨信号の流れ

本機背面

S映像出力端子へ
音声出力端子へ
検波入力端子へ
ビットストリーム入力端子へ

本機の設定
前面にあるスイッチの設定
BSデコーダオンラインスイッチ：連動
フルモードスイッチ：オート
背面にあるスイッチの設定
BSデコーダ入力切換スイッチ：MUSE Sビデオ

BSデコーダS映像入力端子へ
BSデコーダ映像入力端子へ
BSデコーダ音声入力端子へ
デジタル音声(光)入力へ
AFC入力端子へ
検波出力端子へ
ビットストリーム出力端子へ
検波出力端子へ

Aケーブル
Bケーブル

S映像出力端子へ
映像出力端子へ
音声出力端子へ
デジタル音声(光)出力へ
AFC出力端子へ
検波入力端子へ

MUSE-NTSC コンバーター HV-MC1000

デジタル音声(光)入力へ
音声入力端子へ
映像入力端子へ

Bケーブル
Aケーブル

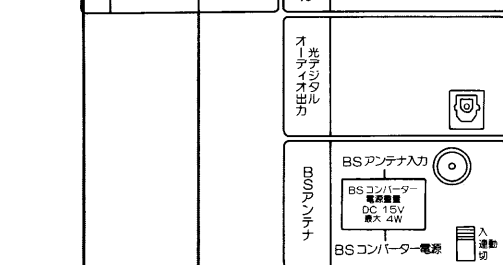
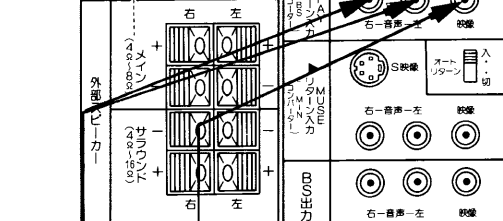
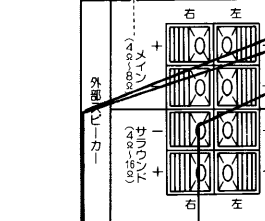
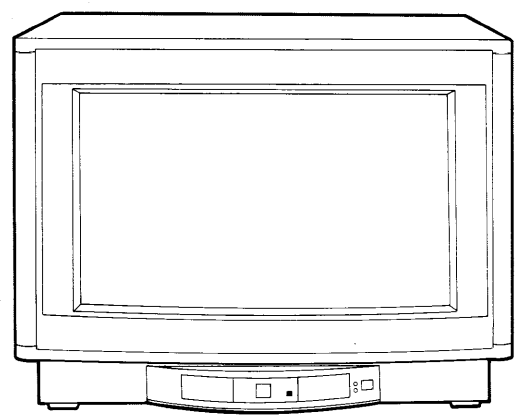
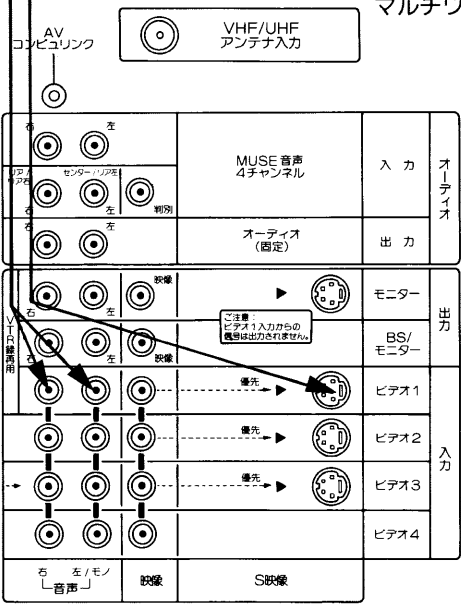
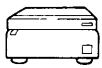
デジタル音声(光)出力へ
音声出力端子へ
映像出力端子へ
検波入力端子へ

BSデコーダ（別売）

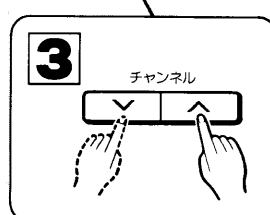
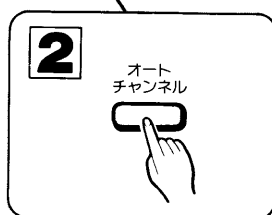
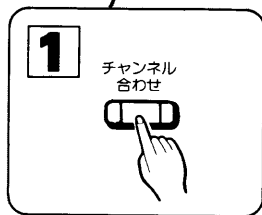
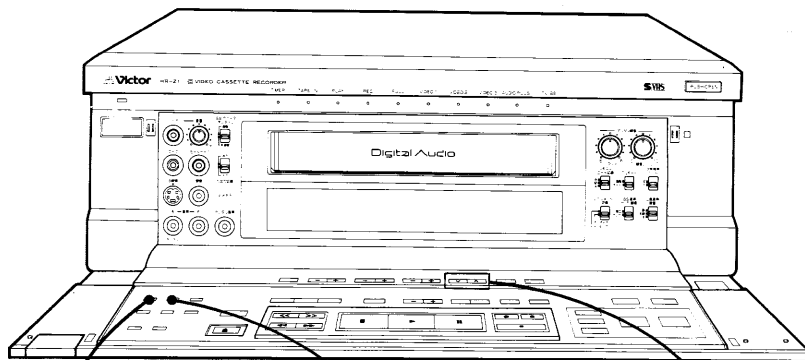
本機背面

ビットストリーム入力端子へ
音声出力端子へ
映像出力端子へ

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダの電源は、本機の電源ボタンとタイマー録画に連動します。

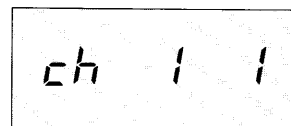
Aケーブル/Bケーブルについては 105 ページと同様です。

チャンネル設定1

オートチャンネル設定

オートチャンネルボタンで、チャンネルを自動選局します。ＢＳアンテナを接続していれば、ＢＳ番組も自動的に選局します。あとで、ＢＳアンテナを接続する方は右ページのＢＳオートチャンネル設定を行います。

準備　テレビの準備
①電源を入れます。
②ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。

テレビ画面　本体表示窓

1 チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

2 オートチャンネルボタンを押す

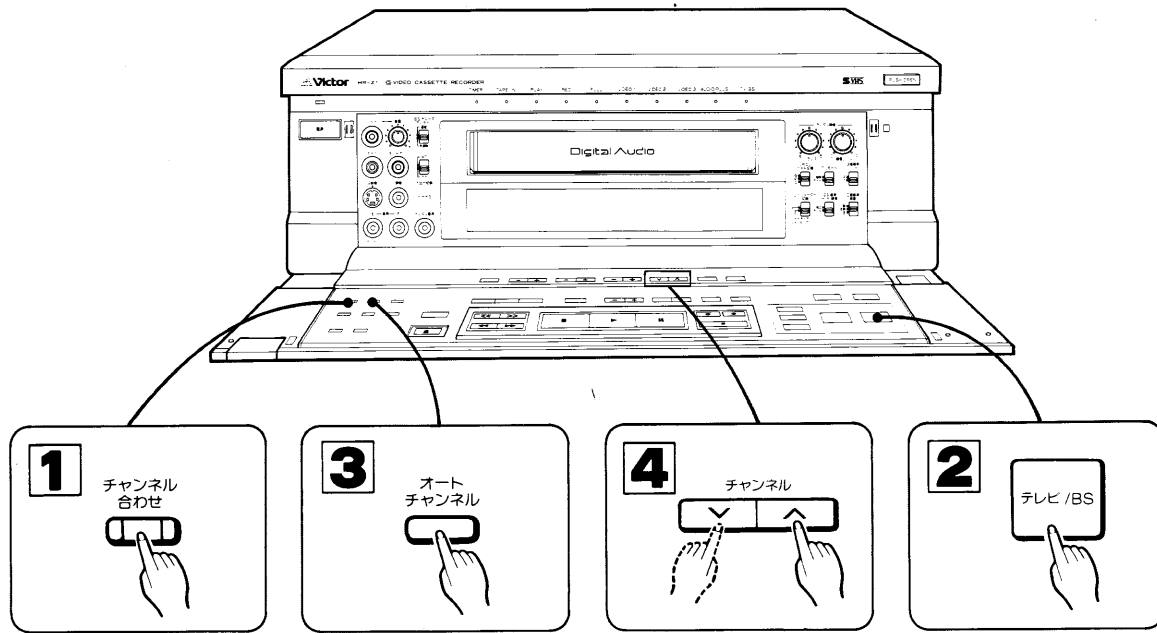
・選局が始まり、放送のあるチャンネルを記憶し、ないチャンネルは飛ばします。
・終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。

Auto ch 1 1

3 チャンネルボタンで、選局されたチャンネルを確認する

・不要なチャンネルを飛ばすときは、114ページをご覧ください。
・チャンネル表示を変更するときは、116ページをご覧ください。
・きれいに映らないときは、118ページをご覧ください。

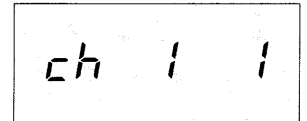
ＢＳオートチャンネル設定

あとからＢＳアンテナを購入し接続した方は、ＢＳ番組のチャンネル設定を行います。
オートチャンネルボタンで、ＢＳチャンネルを自動選局します。

テレビ画面　　本体表示窓

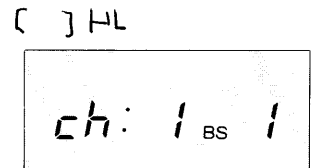
1 チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1
◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルをえらぶ　(－／＋)
◆選局をとばす　(スキップ)
＊チャンネル表示変更へ　(送り)

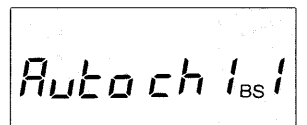
ch 1 1

2 テレビ/BSボタンを押す

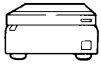
・ＢＳチャンネル合わせ画面を表示します。

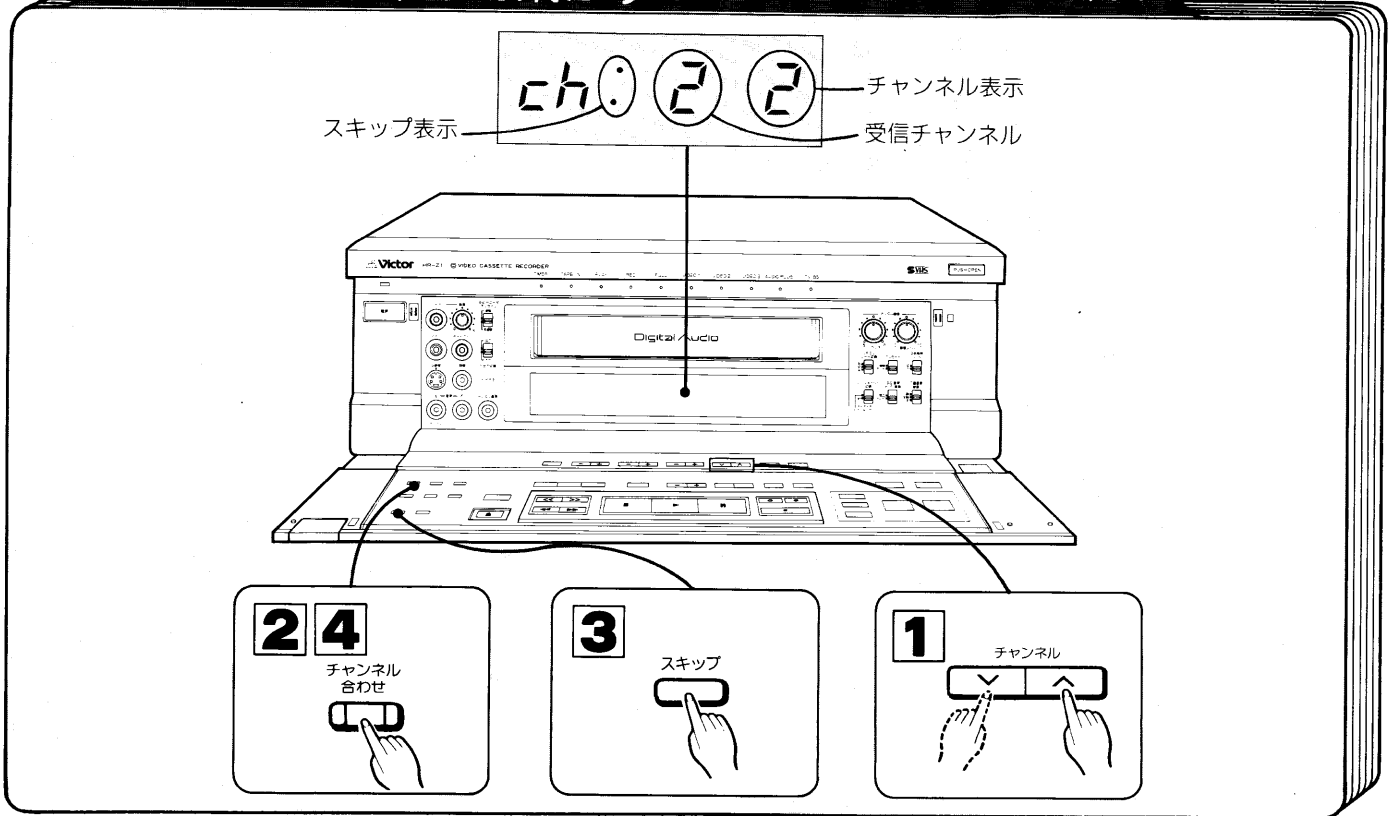
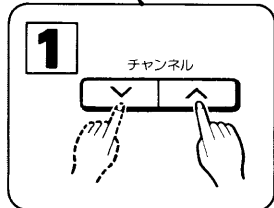
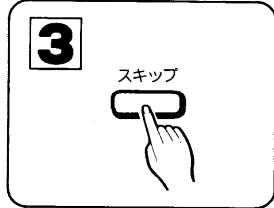
＊BSチャンネル合わせ＊
BSチャンネル　1CH (スキップ)
◆BSオートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルをえらぶ　(－／＋)
◆スキップをやめる　(記憶)
＊BSアンテナ合わせへ　(送り)
＊終了　(チャンネル合わせ)

3 オートチャンネルボタンを押す

・放送されているＢＳチャンネルを自動的に登録します。
・終了すると、一番小さい数字のＢＳチャンネルが映ります。

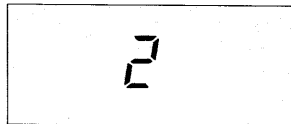
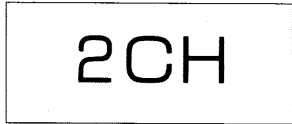
＊オートチャンネル合わせ＊
チャンネル表示　BS　1CH
受信チャンネル　BS　1
— オートチャンネル合わせ実行中 —

Auto ch 1 BS 1

4 チャンネルボタンで選局されたチャンネルを確認する

・不要なチャンネルを飛ばすときは、次ページをご覧ください。

チャンネル設定2

不要なチャンネルを飛ばす　チャンネルスキップ

テレビ画面　本体表示窓

1 テレビ画面を見ながら、**チャンネルボタン**で、飛ばしたいチャンネルに合わせる

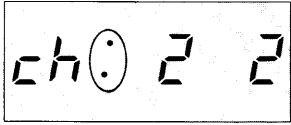
2CH　2

2 **チャンネル合わせボタン**を押す
・チャンネル合わせ画面を表示します。

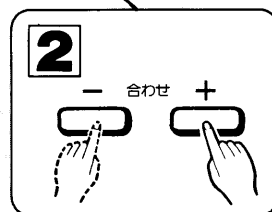
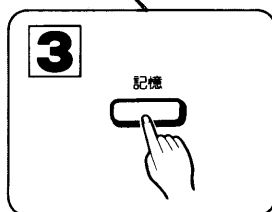
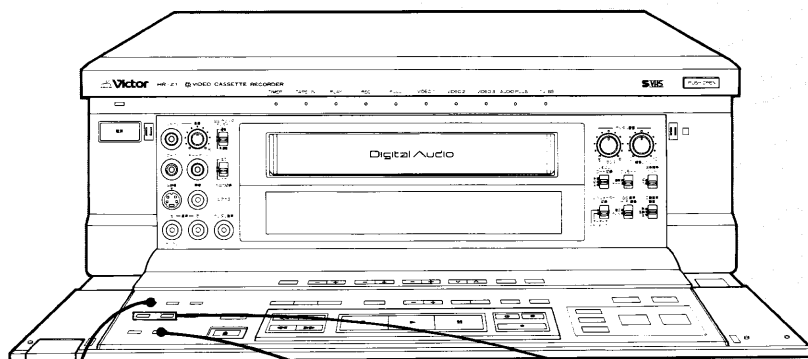
チャンネル合わせ
チャンネル表示　2CH 記憶
受信チャンネル　2
◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルをえらぶ　(−／＋)
◆選局をとばす　(スキップ)
*チャンネル表示変更へ　(送り)
*終了　(チャンネル合わせ)

ch 2 2

3 **スキップボタン**を押す
・スキップを表示します。
・本体表示窓では、：を表示します。

チャンネル合わせ
チャンネル表示　2CH (スキップ)
受信チャンネル　2

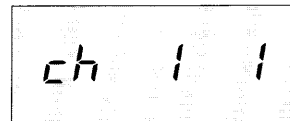
ch: 2 2

4 **チャンネル合わせボタン**で表示を戻す
・他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、
1～4をくり返します。

誤ってチャンネルを飛ばしたときに元に戻す

テレビ画面　本体表示窓

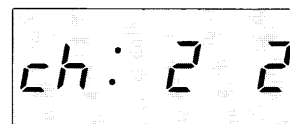
1 チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1
◆オートチャンネル合わせ　（オートチャンネル）
◆チャンネルをえらぶ　（−／＋）
◆選局をとばす　（スキップ）
＊チャンネル表示変更へ　（送り）

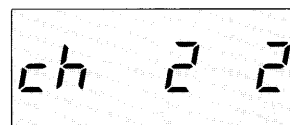
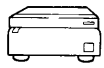
ch 1 1

2 合わせボタンで復帰したいチャンネルに合わせる

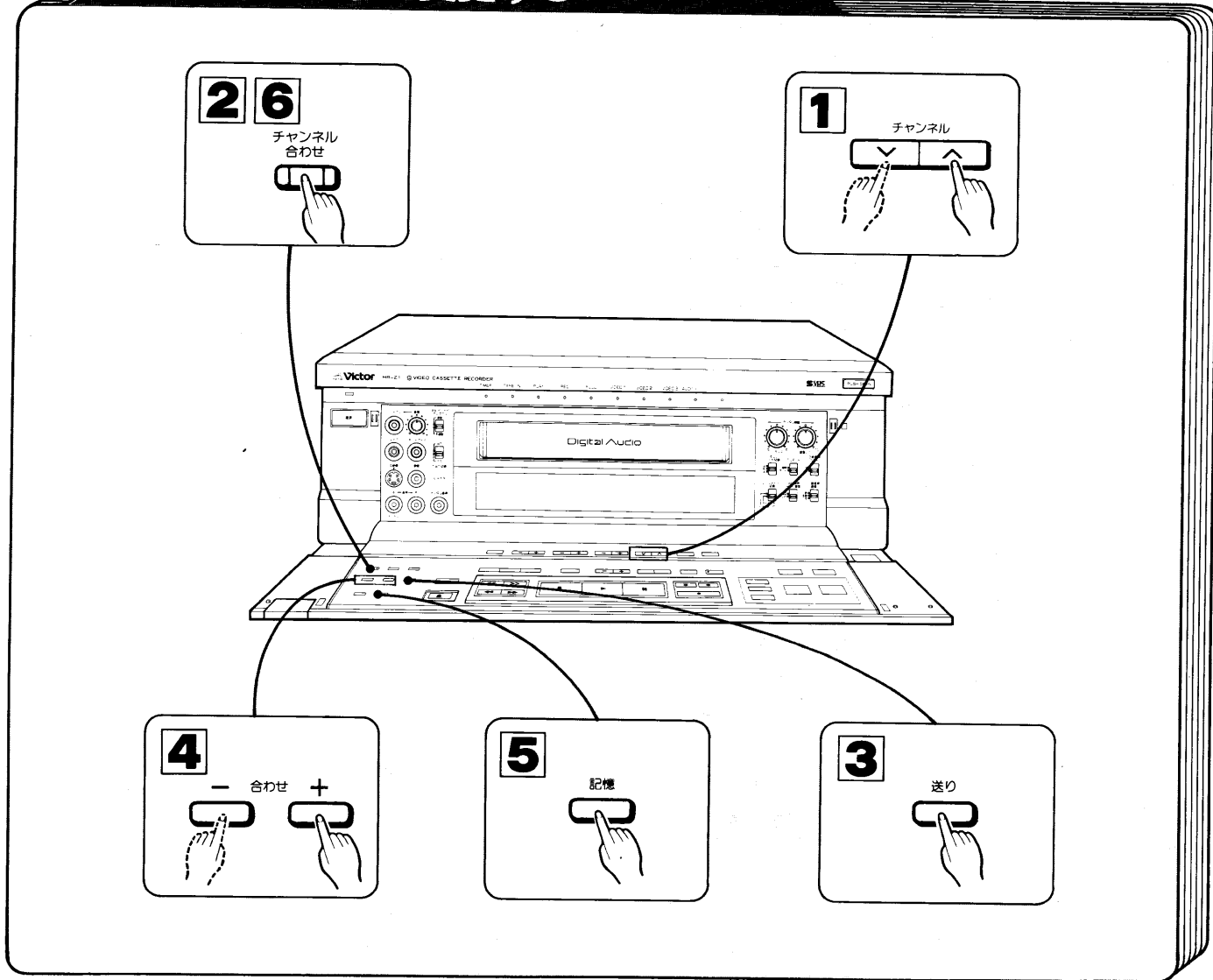
＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　2CH　スキップ
受信チャンネル　2

ch: 2 2

3 記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、：が消えます。
・他にも復帰したいチャンネルがあるときは、2～3をくり返します。

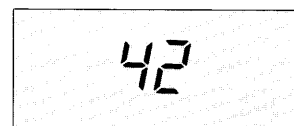
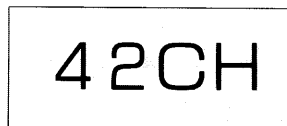
＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　2CH 記憶
受信チャンネル　2

ch 2 2

4 チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

チャンネル設定3

チャンネル表示を変更する

(例)テレビ神奈川(42チャンネル)のチャンネル表示を5にする

テレビ画面　本体表示窓

1 チャンネルボタンで変更したいチャンネルにする

42CH　42

2 チャンネル合わせボタンを押す

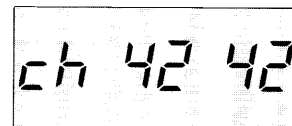
・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　42CH　記憶
受信チャンネル　42

◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルをえらぶ　(−／+)
◆選局をとばす　(スキップ)
＊チャンネル表示変更へ　(送り)
＊終了　(チャンネル合わせ)

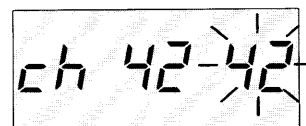
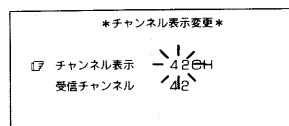
ch 42 42

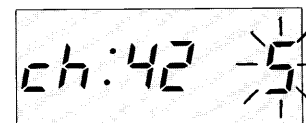
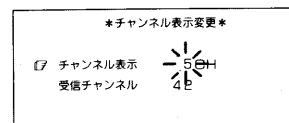
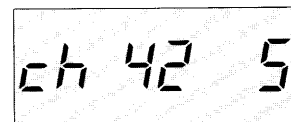
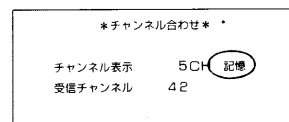
テレビ画面　本体表示窓

3 送りボタンを押す

・チャンネル表示変更画面を表示します。

＊チャンネル表示変更＊
チャンネル表示　42CH
受信チャンネル　42

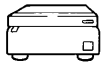
4 合わせボタンでチャンネル表示を変更する

＊チャンネル表示変更＊
チャンネル表示　5CH
受信チャンネル　42

5 記憶ボタンを押す

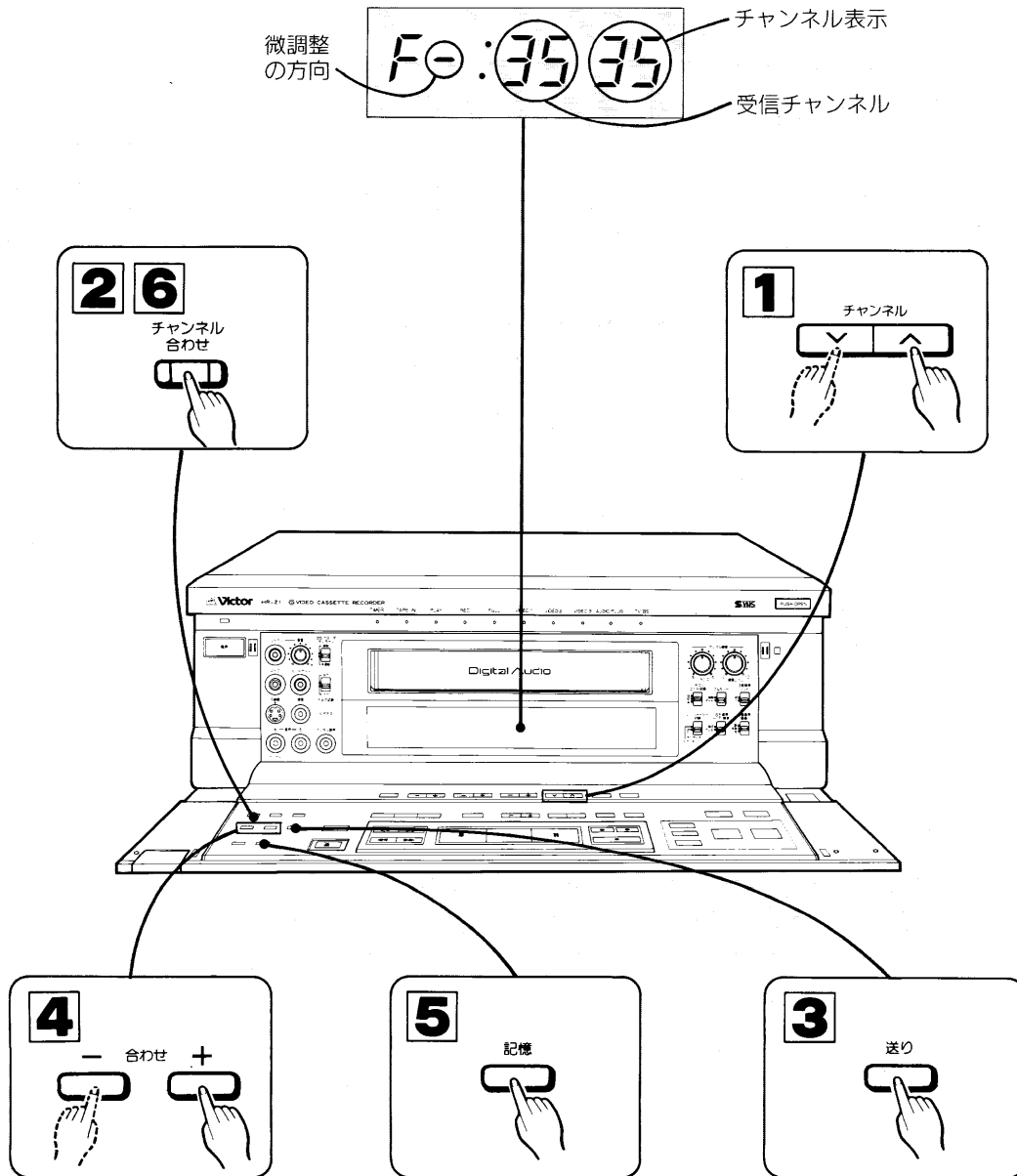
・記憶を表示します。
・本体表示窓では：表示が消えます。

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　5CH　記憶
受信チャンネル　42

6 チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

・タイマー予約するときは、チャンネル表示の数字で予約します。
・他にも変更したいチャンネルがあるときは、1～6をくり返します。

■チャンネル表示を変更した後、不要なチャンネルがある場合は、
『チャンネル設定2』（114ページ参照）にしたがって不要なチャンネルを飛ばしてください。

・チャンネル表示の変更をまちがえたときは、112ページのオートチャンネル設定をやり直してください。
ただし、チャンネル表示の変更や微調整したチャンネルも前の状態に戻りますので注意してください。

チャンネル設定4

チャンネルの微調整をする

受信したチャンネルが白黒画面のときや、しま模様の画面になっているときは
微調整が必要です。

テレビ画面　本体表示窓

1 **チャンネルボタン**で微調整したい
チャンネルに合わせる

テレビ画面	本体表示窓
35CH	35

テレビ画面　本体表示窓

2 チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　35CH　記憶
受信チャンネル　35

◆オートチャンネル合わせ　〔オートチャンネル〕
◆チャンネルをえらぶ　〔－／＋〕
◆選局をとばす　〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ　〔送り〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

ch 35 35

3 送りボタンを3回押す

・チャンネル微調整表示になります。

＊チャンネル微調整＊

チャンネル表示　35CH
受信チャンネル　35
☞ 微調整　－＊－

◆微調整する　〔－／＋〕
◆変えた内容を記憶する　〔記憶〕
＊終了　〔チャンネル合わせ〕

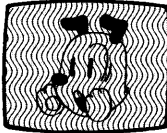
F- 35 35

合わせボタンで微調整する

●しま模様の画面のときは、
合わせ(－)ボタンを押します。

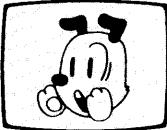
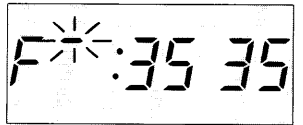
＊チャンネル微調整＊

チャンネル表示　35CH
受信チャンネル　35
☞ 微調整　＊－

F :35 35

●白黒画面のときは、合わせ(＋)
ボタンを押します。

＊チャンネル微調整＊

チャンネル表示　35CH
受信チャンネル　35
☞ 微調整　－＊

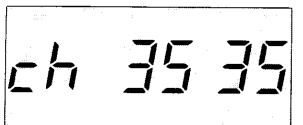
F :35 35

・調整前の状態に戻したいときは、合わせ(－)と(＋)ボタンを同時に押します。

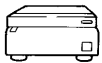
5 記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、：表示が消えます。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　35CH　記憶
受信チャンネル　35

ch 35 35

チャンネル合わせボタンで表示を戻す

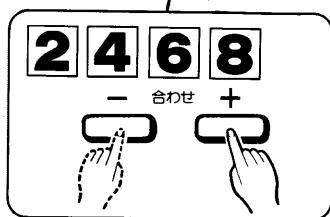
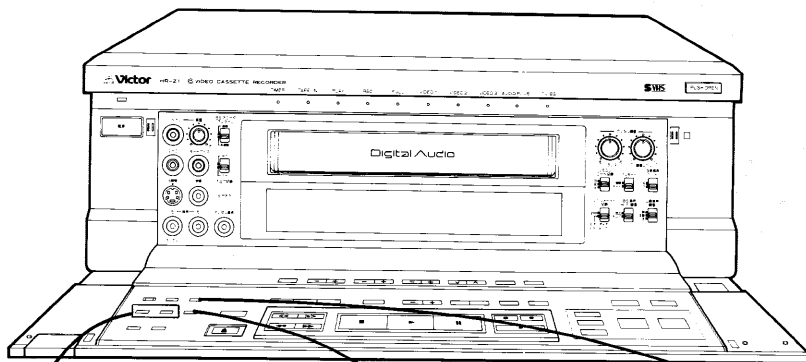
・他にも微調整したいチャンネルがあるときは、1～6をくり返します。

時刻合わせ/ぴったりクロック

時刻合わせをする

タイマー録画を正しく行うために、時刻を正確に合わせましょう。

2 4 6 8　－ 合わせ ＋

3 5 7　送り

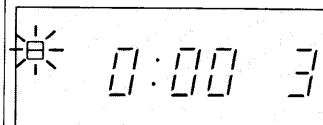
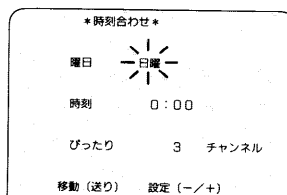
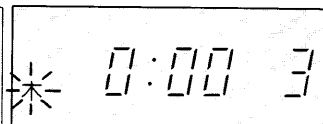
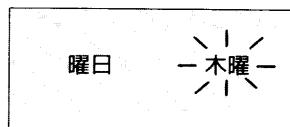
1 9　時刻合わせ

(例)時刻を木曜日午後3時35分(15：35)にぴったりクロックをチャンネル12(関西地区)に合わせるとき

準備　テレビの準備

①電源を入れます。

②ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。

1 時刻合わせボタンで 時刻合わせ画面を表示する

約10秒以内

2 合わせボタンで曜日を合わせる

・ぴったりクロックとは

自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。

NHK教育テレビの時報で1日3回(7、12、19時)時計を修正します。ただし、ビデオ使用中は動作しません。

※NHK教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認のうえチャンネルを設定してください。

テレビ画面　本体表示窓

3 送りボタンを押す

テレビ画面	本体表示窓
時刻　0÷00	木　0:00　3

4 合わせボタンで時を合わせる

テレビ画面	本体表示窓
時刻　15÷00	木　15:00　3

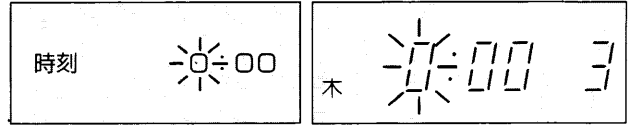
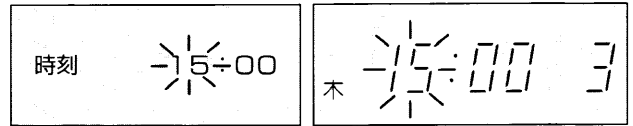
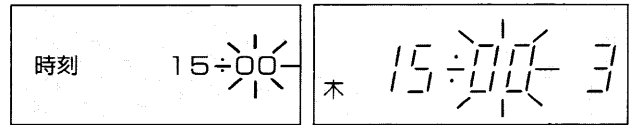
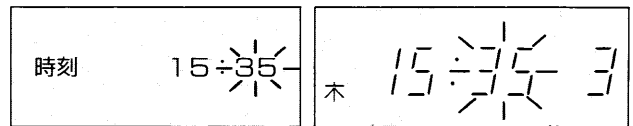
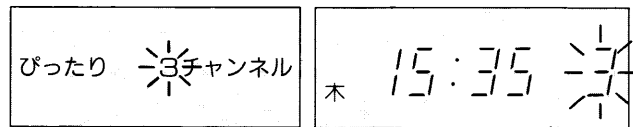
5 送りボタンを押す

テレビ画面	本体表示窓
時刻　15÷00	木　15:00　3

6 合わせボタンで分を合わせる

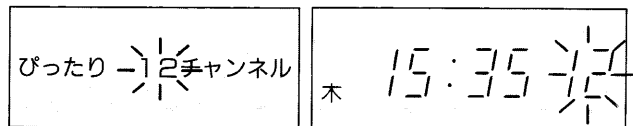
テレビ画面	本体表示窓
時刻　15÷35	木　15:35　3

7 送りボタンを押す

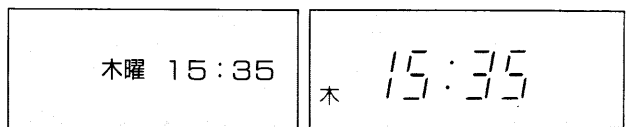
テレビ画面	本体表示窓
ぴったり　3チャンネル	木　15:35　3

8 合わせボタンでぴったりクロックのチャンネルを設定する

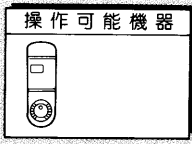
・NHK教育テレビのチャンネルに合わせます。

NHK教育テレビが3チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

テレビ画面	本体表示窓
ぴったり　12チャンネル	木　15:35　12

9 時刻合わせボタンを押す

・時計が動き始めます。
・正確に合わせたいときは、時報(☎117)に合わせて時刻合わせボタンを押してください。

テレビ画面	本体表示窓
木曜　15:35	木　15:35

・途中で修正するときは送りボタンで点滅部分を移動させ、合わせボタンで修正します。
・現在時刻とのずれが±3分以上であるときは、ぴったりクロックは働きません。
・音楽入りの時報では機能しないことがあります。

操作可能機器

画面表示1

モード選択画面を表示して設定する

テレビ画面にでる表示項目を見ながら、操作に必要な設定を行います。

テレビ画面

＊モード選択＊

			ご購入時の設定内容
オンスクリーン	オート	切	【 オート 】
ブルーバック	入	切	【 入 】
S-VHS記録	オート	切	【 オート 】
デジタルCNR	入	切	【 入 】
ロジカルHI-FI NR	入	切	【 入 】

(例)S-VHS記録を切にする(デジタル録音できなくなります)

準備 テレビの準備
①電源を入れます。
②ビデオチャンネル(1か2、ビデオ)にします。

テレビ画面

1 モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

＊モード選択＊

☞ オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
S-VHS記録	オート	切
デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

2 モード選択ボタンで変更する項目を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに、下の項目へ進みます。

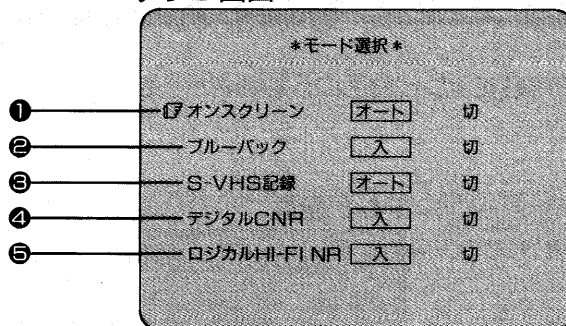
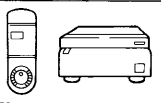
＊モード選択＊

オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
☞ S-VHS記録	オート	切
デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

3 モード設定ボタンで設定する

＊モード選択＊

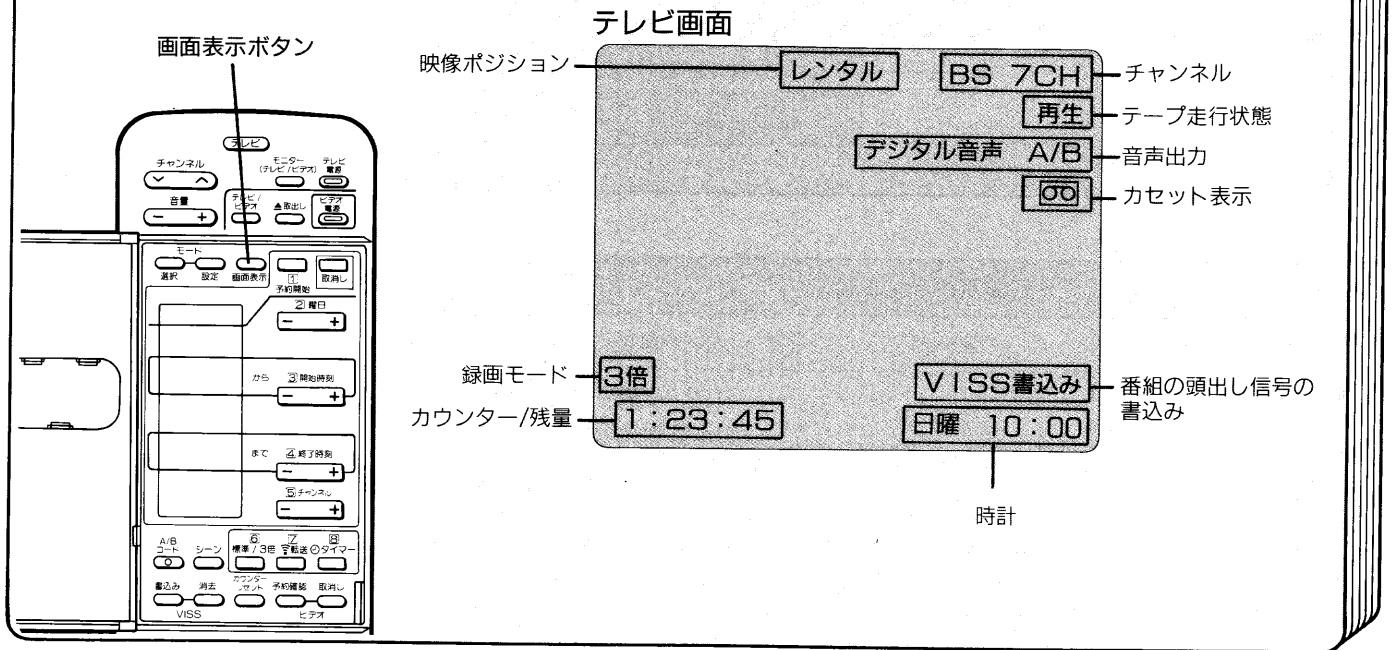
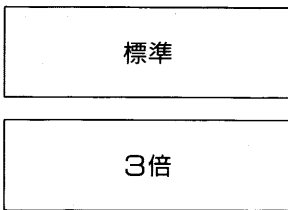
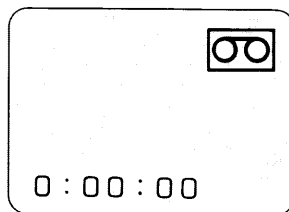
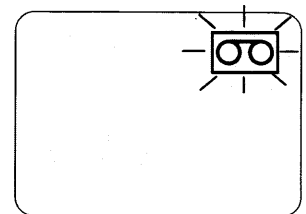
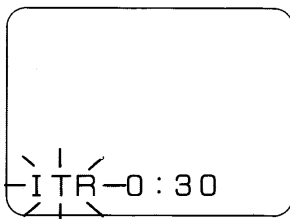
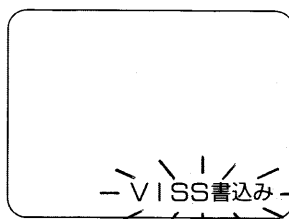
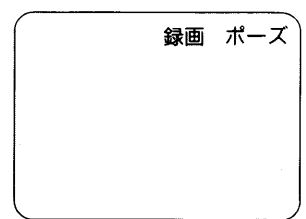
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切
☞ S-VHS記録	オート	切
デジタルCNR	入	切
ロジカルHI-FI NR	入	切

■モード選択画面を消すには、**カウンターボタン**を押します。

モード選択ボタンで選ぶ	モード設定ボタンで選ぶ	各項目の内容
❶オンスクリーン	オート	テレビ画面で文字を表示します。
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように切にします。
❷ブルーバック	入	放送のないチャンネルを青い画面にします。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは切にします。
❸S-VHS記録	オート	S-VHSカセットのときはS-VHS記録、VHSカセットのときはVHS記録します。 デジタル録音するときもオートにします。
	切	S-VHSカセットにVHS記録するときは切にします。
❹デジタルCNR	入	再生時の画面ノイズ(ざらつき)を抑えます。
	切	録画状態のよくないテープを再生するときは切にします。 見やすくなる場合があります。
❺ロジカルHI-FI NR	入	テープを再生中、Hi -Fi 音声にノイズ(雑音)が出るときは入にします。
	切	再生の音をそのまま聞きたいときは、切にします。

画面表示2

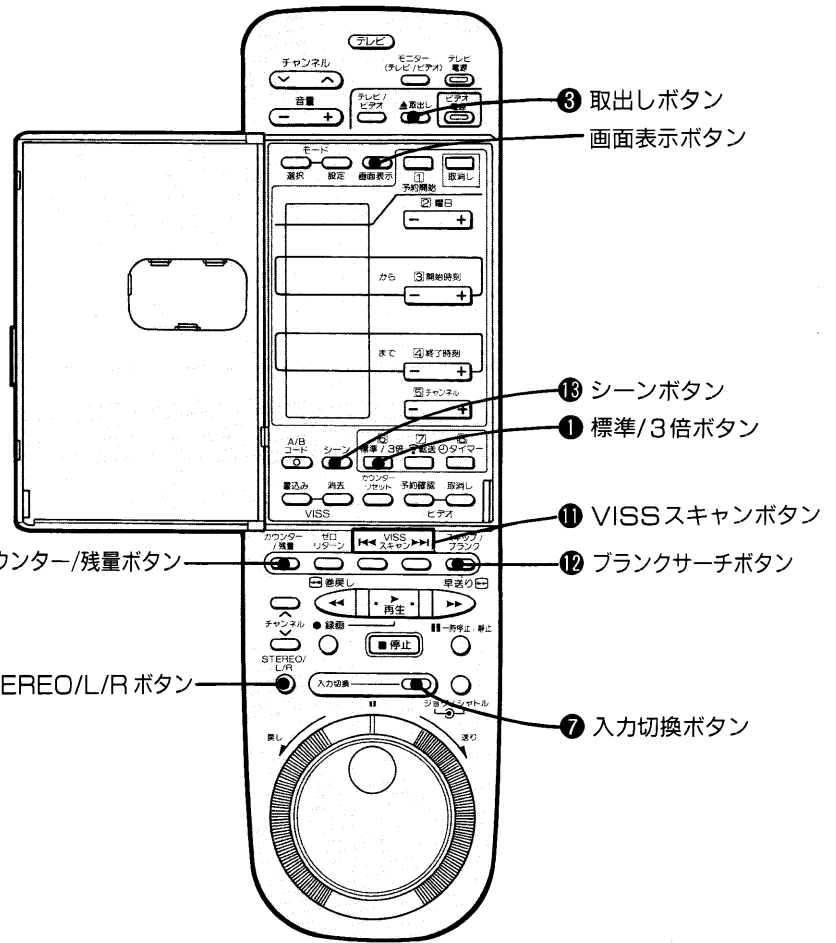
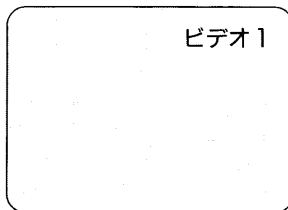
画面表示で動作を確認する

画面表示ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に5秒間表示します。

❶標準/3倍ボタンを押すと

標準
3倍

❷カセットを入れると、カウンターが 0:00:00 になります。

❸取出しボタンを押すと

❹ワンタッチタイマー録画中は

❺録画開始点で自動的に頭出し信号を書き込むと

❻録画を一時停止にすると

・各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に
　5秒間表示します。

❼入力切換ボタンを押すと

ビデオ1

❽BS番組を見るときに、
　テレビ/BSボタンを押すと

BS　11CH

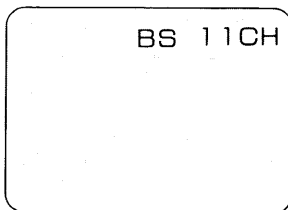
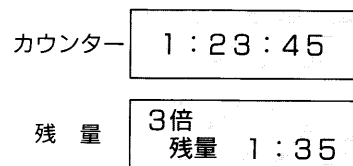
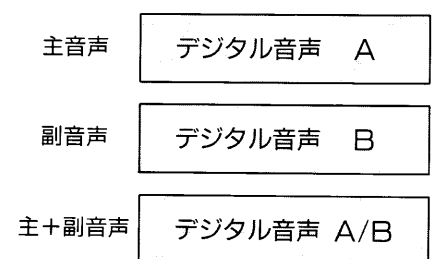
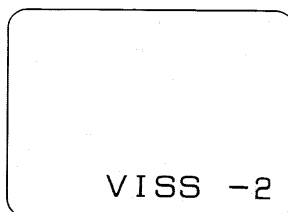
❾カウンター/残量ボタンを押すごとに

カウンター	1：23：45
残　量	3倍 残量　1：35

❿STEREO/L/Rボタンで
　聞きたい音声を選ぶと

主音声	デジタル音声　A
副音声	デジタル音声　B
主＋副音声	デジタル音声 A/B

⓫VISSスキャンボタンを押すと

VISS　-2

⓬録画していない部分をさがすときに、
　ブランクサーチボタンを押すと

ブランクサーチ

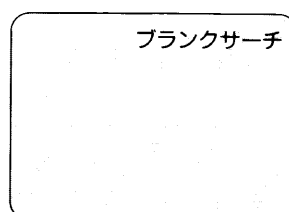
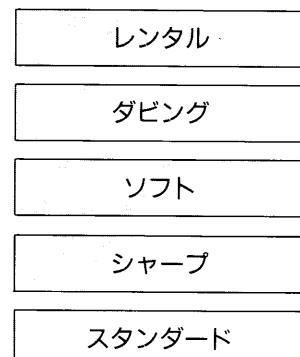
⓭シーンボタンを押すごとに

レンタル

ダビング

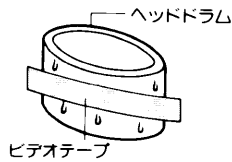
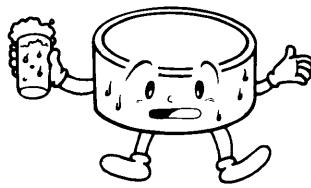
ソフト

シャープ

スタンダード

使用上のご注意

つゆつきにご注意

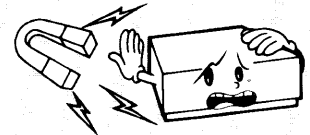
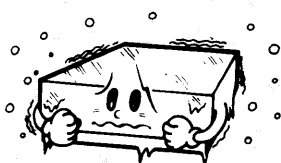
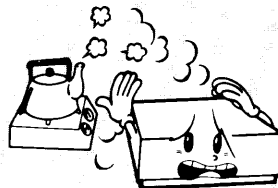
「つゆつき」とは
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を「つゆつき」（または 結露）といいます。

「つゆつき」がおきると
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴がつくとテープが貼りついて、テープやビデオをいためてしまいます。

こんなときには「つゆつき」にご注意
・寒いところから暖かい部屋に移動したとき。
・急に部屋を暖房したとき。
・エアコンなどの冷風が直接あたるところ。
・湿気の多いところ。

「つゆつき」をおこしそうなときは
あらかじめビデオの電源を入れておくと、「つゆつき」がおきにくくなります。

「つゆつき」がおきてしまったら
ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

こんなところでは使用しないでください。

湿気やほこりの多いところ	直射日光が当たるところ ストーブの近くなど暑いところ	磁気の発生するところ 振動のあるところ
極端に寒いところ	**湯気や油煙の当るところ**	**じゅうたんなどのやわらかいところ でこぼこしたところ**

ビデオの上にものをのせない
ビデオの上にものをのせたり、近くに水の入った容器などを置かないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。

雷にご注意
雷が近いときは早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対触れないようにしてください。

通気孔をふさがないで
ビデオにテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置かないでください。故障の原因となります。

キャビネットをあけないで
キャビネットは絶対にはずさないでください。
内部に手を触れると感電の危険があります。

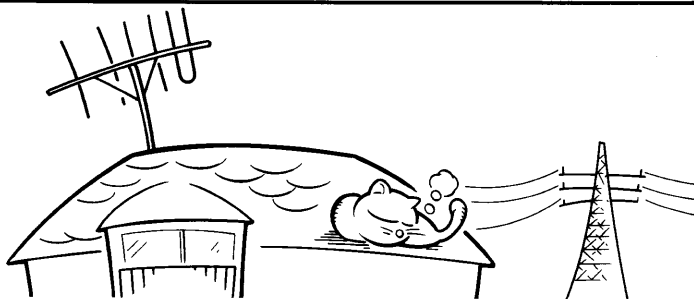
ビデオに手やものをいれない
カセット挿入口や通気孔に手やものを入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。万一異物が入ったときは電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

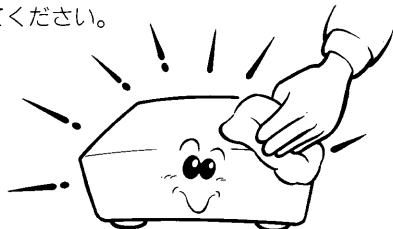
長時間使用しないときは
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグは、停止状態にしてカセットを取り出してから抜いてください。

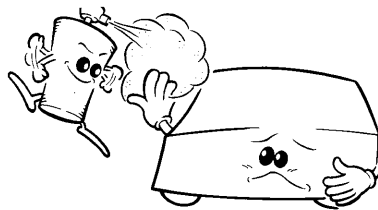
電源コードを大切に
電源プラグをコンセントから抜くとき、コードをひっぱらずにプラグを持って抜いてください。電源コードの上に重いものなど乗せないでください。コードに傷がついて火災、感電の原因となります。

持ち運ぶときは
持ち運びや輸送時に、衝撃を与えないでください。
カセットを取り出し、製品の入っていた段ボールで梱包してください。

アンテナについて

●妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してたててください。
●風雨にさらされているので、定期的に点検、交換することをおすすめします。
●アンテナ線には良好な画像を得るため、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは、柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げしてください。

シンナー、ベンジンなど使用しないでください。
キャビネットがいたんだり、塗料がはがれたりすることがあります。

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

ゴムやビニール製品などに長時間接触させないでください。

ビデオカセットについて

●ビデオカセットは、S-VHS、VHSタイプをお使いください。
●録画済テープに新しく録画するときは、前に録画されたものは自動的に消されます。
●カセットはうらがえしでは使えません。
●テープを走行させないで、カセットを何度も出し入れしないでください。
●テープ使用後は、始めまで巻戻しておいてください。

カセットの保管は

●湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところはさけてください。
●直射日光が当るところやストーブの近くはさけてください。
●磁気の発生するところはさけてください。
●落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。
●むらのある巻き取り状態はテープをいためます。きれいに巻きなおしてください。
●カセットケースに入れて、立てて保管してください。

このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源がことなりますので使用できません。

This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ビデオヘッドのクリーニング

テレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生するとザラザラした画面になることがあります。これは長い間ご使用しているうちに、ビデオヘッドが汚れて録画、再生能力が低下したためです。
別売のヘッドクリーニングテープTCL-2をご使用になり、ヘッドを清掃してください。

ヘッドクリーニングテープ

故障かな?と思ったら

こんなときは/Q&A

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	・電源が入らない	・電源コードがコンセントからはずれていませんか? ・TIMERランプが点灯していませんか?	—
	・引っ越し先でも使えるか	・日本国内は大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	・カセットが入らない	・正しい向きで入れてください。	22
	・カセットが出ない	・録画中またはTIMERランプが点灯していませんか?	22
	・コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	・別売のカセットアダプター C-P6 をご使用ください。	22
再生	・テレビに再生画が出ない	・本体表示窓に ビデオ が表示されていますか? ・テレビはビデオチャンネルになっていますか? 映像/音声入力端子付テレビ(AVテレビ)と接続しているときは"ビデオ"にします。 アンテナケーブルだけの接続ではビデオチャンネルを1か2にします。	30
	・画面の一部にノイズが出る	・本体表示窓にトラッキング表示されていますか? ・トラッキング表示中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行います。 ・長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚なくなることがあります。別売のクリーニングテープ TCL -2で掃除してください。	59 127
	・ Hi-Fi 音声が出ない	・本体表示窓に Hi-Fi が表示されていますか? ・ Hi-Fi でないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生すると Hi-Fi 音声は出ません。	54
	・デジタル音声が出ない	・本体表示窓に DIGITAL 表示が点灯していますか? 音声出力切換ボタンを押して切換えてください。 ・デジタル音声の記録されたテープを使用してください。	54
	・日本語と外国語が同時に聞こえる	・リモコンのSTEREO/L/Rボタンで聞きたい音声を選んでください。	62
	・シャトルサーチ、静止画にノイズが出る	・再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。 故障ではありません。	—
	・カウンターが動かない	・テープの未録画部分では動きません。	—
録画	・録画できない	・カセットのつめが付いていますか? ・前面から入力するとき入出力切換スイッチが出力になっていませんか? 入力にしてください。	22 80
	・希望の番組が録画できない	・ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ・ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか?	115
	・録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	・リモコンのSTEREO/L/Rボタンで聞きたい音声を選んでください。	62
	・日本語だけ録音したいのだが	・二重音声スイッチを主にしてください。	62
	・デジタル録音できない	・ S-VHS テープを使用してください。 ・S-VHS 記録モードが切になっていませんか?	24 122

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
タイマー録画	・タイマー録画ができない	・現在時刻は合っていますか? ・カセットのつめが付いていますか? ・TIMERランプは点灯していますか? ・予約内容を確認してください。 ・停電があったときは正しく動作しません。	38 〜 45
リモコン	・リモコンが動かない	・本体とリモコンのコード(A/B)は合っていますか? 本体のリモコンコード切換スイッチが切のときは、働きません。 ・電池が消耗していませんか?	21 18
	・テレビ操作ができない	・電池交換をしたら、リモコンのテレビメーカー指定をもう一度やり直してください。	20
	・本体への予約転送ができない	・本体に近づけて転送してください。	18
衛星放送	・BS番組が映らない	・アンテナ電源スイッチが切になっていませんか? 使用状況により、入にします。 (共同受信している場合は、他から電源が供給されているので切のままです。) ・BSデコーダを接続していますか? ・有料放送を受信していませんか?	99 28
	・ハイビジョン放送が映らない	・MUSE - NTSCコンバーターを接続していますか? ・BSデコーダ入力切換スイッチをMUSE　Sビデオにします。	106
	・BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される	・不要なBSチャンネルを飛ばしてください。	114
	・BSデコーダを接続しているのにスクランブルが解除されない	・本体背面のBSデコーダ入力切換スイッチが切になっていませんか? ・BSデコーダの電源は入っていますか?	28
	・Aモード音声放送受信中にテレビ音声が出ない	・BS音声スイッチがテレビになっていますか? ・WOWOWを見る場合は、BSデコーダの音声選択をテレビにしてください。 ・St.GIGAを聞く場合は、BSデコーダの音声選択を独立にしてください。	28 29
編集	・ダビングできない	・前面入力端子と接続しているときは、入出力切換スイッチを入力にします。 (映像入力端子の信号を録画するときは、S端子には何も接続しないでください。) ・背面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンで入力をビデオ1(または2)にします。	80 76
	・ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	・モード選択画面のオンスクリーンを切にしてください。	122

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。再度、プラグをコンセントに差し、動作を確認してください。

用語解説

ア

■インデックス 70
索引の意味です。番組の頭出しするときのマークのこと。

■オンスクリーン 122 124
録画・再生などの動作状態や、時計・カウンターなどをテレビ画面に表示します。
また、タイマー予約の確認や、時刻合わせ、チャンネル合わせなどの設定も、テレビ画面を見ながら操作できます。

■オートトラッキング 59
再生時に出るノイズを、自動的に消します。自動調整でノイズが出るときは、手動で調節してください。

カ

■外部入力 74 76 80
本機を録画側にしてダビングする場合、入力切換ボタンでチャンネルを外部入力（L1、L2、L3）にします。
外部入力表示が、本体表示窓、リモコン表示窓、テレビ画面上で、下表のように異なります。

表示場所	表示内容		
本体表示窓	L1	L2	L3
リモコン表示窓	L		
テレビ画面	ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3
予約確認リスト画面	入力1	入力2	入力3

サ

■シャトルサーチ 31
見たい場面を探し出すこと。
画面を見ながら早送り、巻き戻しができる。

■スクランブル放送 28 51
テレビの映像、音声などの信号を暗号化（スクランブル）して送信する放送です。この放送を受信するためには、放送局と受信契約を結び、BSデコーダが必要です。

■ゼロリターン 72
カウンターが0H00M00Sになるまで、自動的に早送り、または巻戻しになり停止します。

タ

■ダビング 76
録画済みテープのコピー（複写）のこと。

■テレビ/ビデオボタン 26 36
ビデオを見るときは［ビデオ］表示点灯に、テレビを見るときは［ビデオ］表示消灯に切換えます。
再生時は自動的に［ビデオ］表示が点灯します。

■トラッキング調節 59
再生画面にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞっていないためです。正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。

ハ

■ハイビジョン放送 106
走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、画面比率16：9(現行4：3)で、約5倍の情報量の、精密な画像を放送します。すでに、BS放送で試験放送が始まっています。

■パラボラアンテナ 100
おわん型のアンテナで衛星放送の普及と共にご家庭の屋根やベランダでよく見かけます。直径が大きいほど電波を安定して受信できます。

■ぴったりクロック 120
自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。

■ビデオチャンネル 98
映像・音声入力端子がないテレビをご使用のかたは、テレビを1または2チャンネルのうち、放送のないチャンネルをビデオチャンネルとして選びます。
ビデオ背面のビデオチャンネルスイッチも、ビデオチャンネルに合わせて切り換えます。

■ブルーバック 123
放送していないチャンネルをブルーの画面で表示します。

■平面アンテナ 101
パラボラアンテナと比べて取り付けが比較的容易で、奥行きも少なくてすみ、風や雪の影響を受けにくいのが特徴です。

マ

■マスターエディットコントロール 80
本機を録画側にしてビクタービデオムービーとダビングするとき、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。

ワ

■ワンタッチタイマー録画 35
録画中に録画時間を設定し、録画が終了すると自動的に電源が切れる機能です。

アルファベット

■AVテレビ 98

アンテナ入力端子の他に、映像・音声入力端子のあるテレビをいいます。

■BSデコーダ 102

テレビの映像、音声などの信号を暗号化したものを解読し正常な信号に戻す装置です。

原画像

スクランブル画像

復元画像

■BSデコーダ入力 75 102

受信したBS信号をBSデコーダに送り、スクランブル(暗号化）を解読した信号をビデオに戻すための信号です。
BSデコーダ入力切換スイッチが“ビデオ”または“MUSE Sビデオ”のときに入力されます。

■MUSE(ミューズ)-NTSCコンバーター 106

ハイビジョン放送を現行テレビ（NTSC方式）で見られるように変換する装置です。

■ TOTAL(トータル) 時間 42

タイマー予約した録画時間の合計を表示します。

■VISS スキャン 71

録画やタイマー録画の開始点に記録された頭出し信号を利用して、テープの頭出しをする機能です。

保証とアフターサービス

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い

この商品には保証書を別途添付しています。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービスについて

保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのビデオカセッターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

アフターサービスのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店、または別紙「サービス窓口案内」をご覧のうえ、お近くのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは

128～129ページをよくお読みの上、故障かどうかお調べください。
それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

ビデオが異常なときは

ビデオから異常な音や煙が出るとき、また画像が映らなくなってしまったときなどは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオテープレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめします。

用語索引

数字は参照ページです。

仕様

仕　様

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●電源……………………………AC100V　50/60Hz
●消費電力………………………49W（BSアンテナ電源使用時 54W / 電源「切」時 8W）
●電源出力………………………AC100V　50/60Hz　連動/非連動
　BSデコーダ用電源コンセント
●外形寸法………………………435(幅)×164(高さ)×405(奥行き)mm
●重量……………………………13.0kg
●許容動作温度…………………＋5℃～＋40℃
●許容相対湿度…………………35%～80%
●許容保存温度…………………−20℃～＋60℃

ビデオ(映像)

●録画・再生方式………………S-VHS方式
　回転2ヘッドヘリカルスキャン
　輝度信号　FM方式
　色信号　低域変換直接記録方式
●映像信号………………………NTSC日米標準信号

デジタルオーディオ(音声)

部	項目		
デジタルオーディオ部	録音方式	深層高周波バイアス記録方式	
	チャンネル数	2ch	4ch
	サンプリング周波数	48kHz	32kHz
	量子化ビット数	16bit直線	12bit非直線
	変調方式	O-QDPSK	
	キャリア周波数	3MHz	
	訂正方式	二重リード・ソロモン符号	
	使用カセット	DAマークのついたS-VHSビデオカセット	
デジタル音声特性	周波数特性(EIAJ)	サンプリング周波数	48kモード　5～22,000Hz±1dB
			32kモード　5～14,500Hz±1dB
	S/N比(EIAJ、録音・再生)		48kモード　90dB
	ダイナミックレンジ(〃)		48kモード　90dB
	総合ひずみ率(EIAJ、1kHz、録音・再生)		48kモード　0.005%
	ワウフラッター	測定限界値以下	

Hi-Fiオーディオ(音声)

●録音方式………………………VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性……………………20Hz～20kHz
●ダイナミックレンジ…………90dB以上
●ワウ・フラッター……………0.005%以下
●チャンネルセパレーション……60dB以上

ノーマルオーディオ(音声)

●録音方式………………………リニアトラック
●音声トラック…………………1チャンネル(モノラル)

チューナー(テレビ受信)

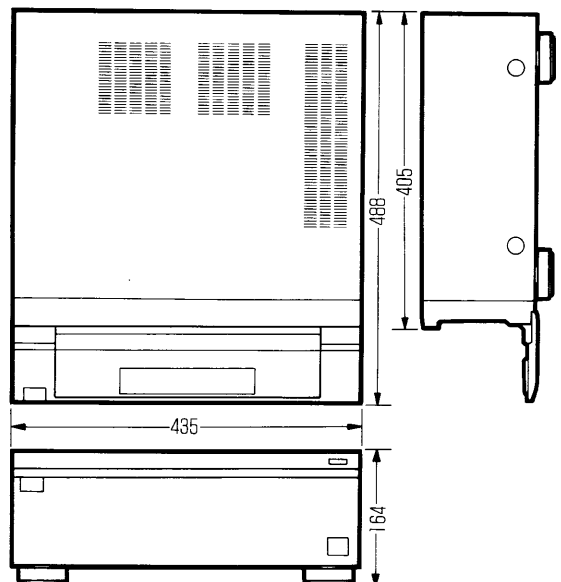
■VHF/UHFチューナー部
●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式……………インターキャリア方式
●受信チャンネル………………VHF　1～12チャンネル
　UHF13～62チャンネル

■BSチューナー部
●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
●受信チャンネル………………BS1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
●ビデオチャンネル……………1または2チャンネル(切モード付き)

タイマー(タイマー予約・時計)

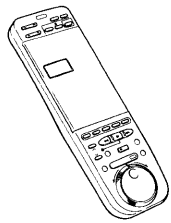
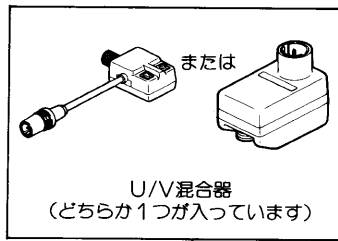
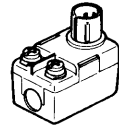
●タイマー予約…………………2週間8番組予約
●時計……………………………24時間方式
●停電補償時間…………………約30分

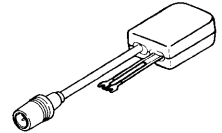
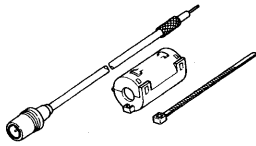
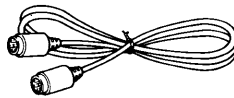
接続端子

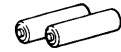
●アンテナ………………………75Ω　F型コネクター
　VHF/UHF一軸
●BSアンテナ……………………75Ω　F型コネクター
　アンテナ電源出力　DC15V　最大4W
●BS分配出力……………………75Ω　F型コネクター
●S映像…………………………入力　Y：0.8～1.2Vp-p 75Ω
　C：0.2～0.4Vp-p 75Ω
　出力　Y：1.0 Vp-p　75Ω
　C：0.29Vp-p　75Ω
●映像……………………………入力　0.5～2.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
　出力　1.0Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●音声……………………………入力　−8dBs　50kΩ(ピンジャック)
　モノ(左)対応
　出力　−8dBs　1kΩ(ピンジャック)
●検波入出力……………………0.67Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●ビットストリーム入出力………0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●デジタル音声入力(同軸)………0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●デジタル音声入力(光)…………−18dBm　光コネクター
●デジタル音声出力(同軸)………0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●デジタル音声出力(光)…………−18dBm　光コネクター
●AFC入力………………………0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック)
●リモートポーズ………………ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
●電話予約………………………3.5φ　AVコンピュリンク兼用
●ヘッドホン……………………3.5φ　8Ω～1kΩ
●マイク入力……………………3.5φ　−67dBs

(単位：mm)

付属品

付属品

ご使用前にお確かめください。

リモコン

U/V混合器
（どちらか１つが入っています）

アンテナ変換器

オーディオケーブル
（1.5m）

U/V分波器

アンテナケーブル
（1.5m）

Sビデオケーブル
（1.5m）

ビデオケーブル
（1.5m）

単三乾電池
（×２）

後日のために記入しておいてください。

型　番	お買い上げの販売店
HR-Z1	電話（　　　）　　　－
お買い上げ日	お近くのビクターサービス窓口
年　月　日	電話（　　　）　　　－

アフターサービスのお問合せ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点はお買上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。

お客様ご相談センター

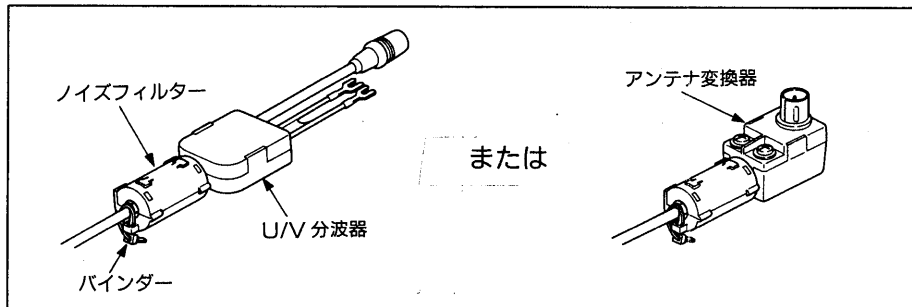
東京…☎(03)5684-9311（代表）
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪…☎(06)765-4161（代表）
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

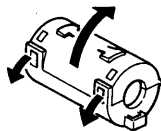
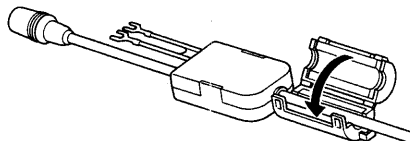
Victor JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)453-1111（代表）

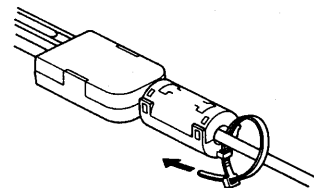
FEB92 PU30424-385-1 (SW)

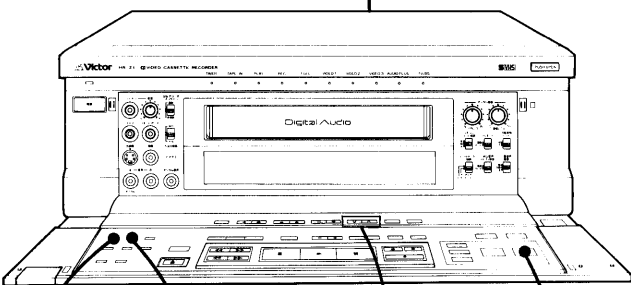
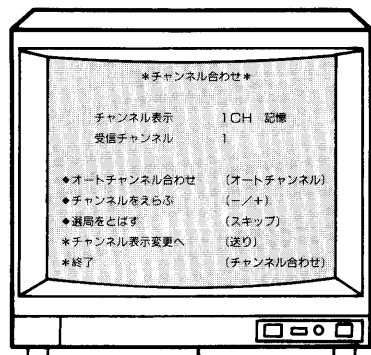
ノイズフィルターの取り付け方

■本機とテレビとの接続に使用するアンテナケーブルに、付属のノイズフィルターを取り付けてください。
テレビ画面のノイズを除去し、鮮明な映像をお楽しみいただけます。

完成図

(例・U/V 分波器を使用する場合)

1 両端のストッパーをはずし開く。

2 アンテナケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる。

・U/V 分波器に近い場所に取り付けてください。

3 バインダーを通し、しめる。(余った部分ははさみなどで切り取ってください。)

オートチャンネル設定

本機は、映るチャンネルを自動的に探します。BSアンテナを接続していれば、衛星放送も自動的に探します。
あとで、BSアンテナを接続するかたは、BSのオートチャンネル設定を行ってください。

1 開始

2 自動選局

・映るチャンネルを自動的に探し、終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。

●あとでBSアンテナを接続するときや、衛星放送のチャンネルが変わったとき、すでに一般のテレビ放送は選局済なので、衛星放送の自動選局を行います。

1 開始

2 BSチャンネル合わせ

・BSチャンネル合わせ画面をが表示されていることを確認してください。

3 自動選局

・映るチャンネルを自動的に探し、終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。

自動選局後は、選局されたチャンネルの確認をしましょう。
・チャンネルボタンで確認し、不要なチャンネルを飛ばしたいときは、裏面をご覧ください。

●詳しくは、取扱説明書の112～113ページをご覧ください。

不要なチャンネルを飛ばす　チャンネルスキップ

テレビ画面表示

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　2CH　スキップ
受信チャンネル　2
◆オートチャンネル合わせ　（オートチャンネル）
◆チャンネルをえらぶ　（−／＋）
◆スキップをやめる　（記憶）
＊終了　（チャンネル合わせ）

本体表示窓

チャンネル表示
スキップ表示
受信チャンネル

3　2　4　1

1 飛ばすチャンネルを選ぶ

2 チャンネル合わせ画面を表示する

3 チャンネルを飛ばす

・スキップを表示します。
・本体表示窓では：を表示します。

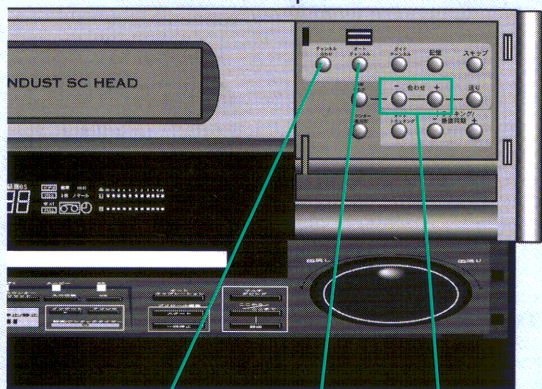
4 終了

〔設定完了〕

・他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、1〜4をくり返します。

●詳しくは、取扱説明書の114ページをご覧ください。

PU36568-4(SW)

1 本体の オートチャンネル設定

1 チャンネル合わせボタンを押す。

テレビ画面

＊ チャンネル合わせ ＊

チャンネル表示 1CH 記憶
受信チャンネル 1

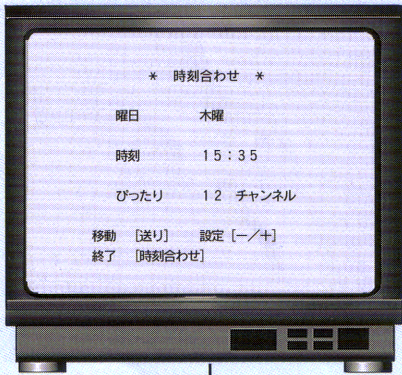
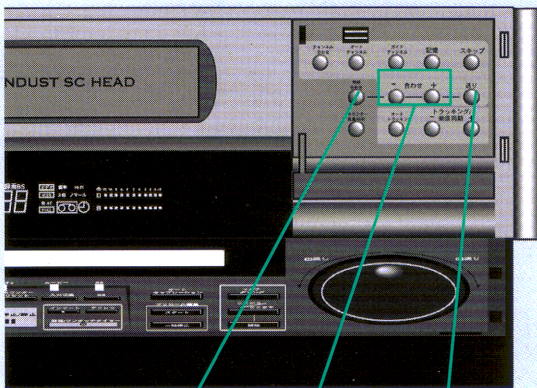
◆オートチャンネル合わせ [オートチャンネル]
◆チャンネルを選ぶ [ー／＋]
◆選局をとばす [スキップ]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

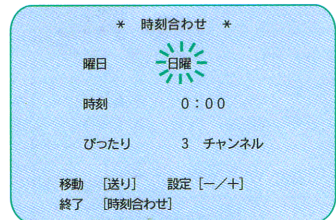
2 オートチャンネルボタンを押す。

選局が始まり、放送のあるチャンネルを自動的に記憶します。

3 合わせボタンで、選局されたチャンネルを確認する。

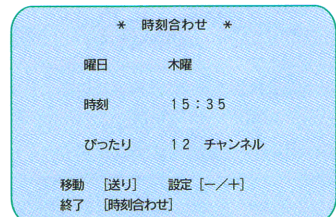
●詳しい説明は、取扱説明書の 30 ページをご覧ください。

2 本体の時刻合わせ

1 時刻合わせボタンを押す。

テレビ画面

約10秒以内

2 曜日、時、分、ぴったりチャンネルを合わせる。

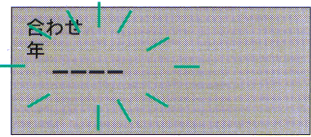
点滅部を合わせボタンで設定し、送りボタンで点滅部を移動させます。
ぴったりチャンネルはＮＨＫ教育テレビのチャンネルにします。

[例] 木曜日
15時35分
12チャンネル
（関西地区）

3 時計をスタートさせる。

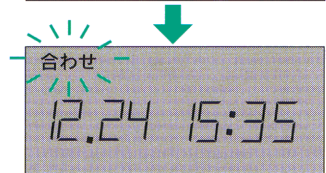
時刻合わせボタンを押す。
時刻合わせ画面が消え、時計が動き始めます。

●詳しい説明は、取扱説明書の 44 ページをご覧ください。

3 リモコンの時刻合わせ

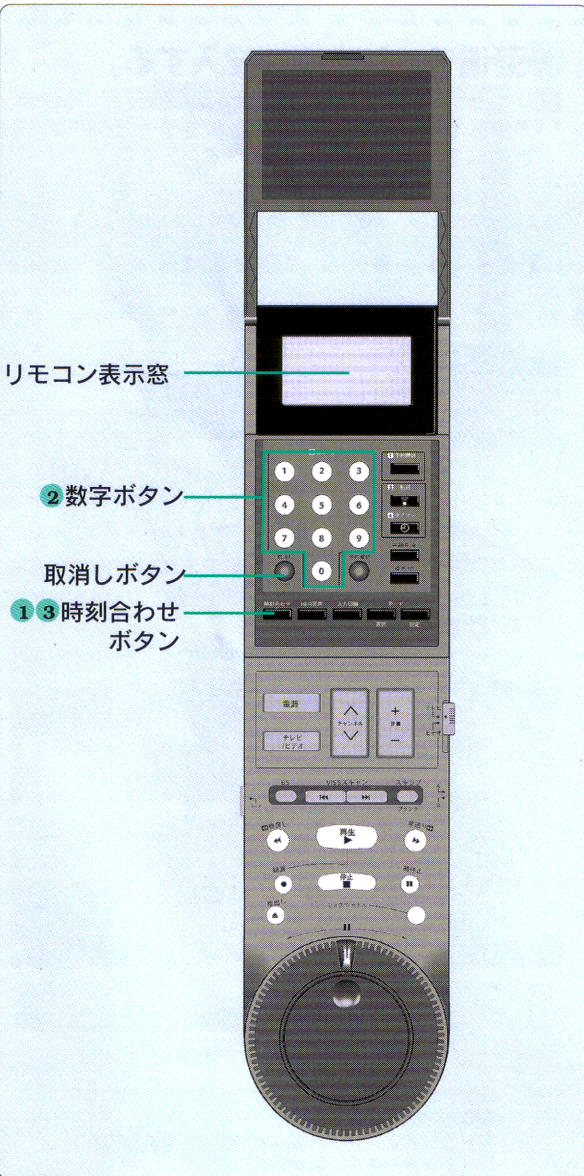
1時刻合わせボタンを押す。

2年、月、日、時、分を合わせる

数字ボタンを押す。1ケタの場合は0を先に押します。
曜日は自動的にセットされます。

［例］1993年12月24日15時35分

入力をまちがえたときは取消しボタンを押し、
再度数字ボタンで入力してください。

3時計をスタートさせる。

時刻合わせボタンを押す。
曜日を表示し、時計が動き始めます。

●詳しい説明は、取扱説明書の 43 ページをご覧ください。

4 本体のガイドチャンネル設定の準備

・ＮＨＫ総合とＮＨＫ教育テレビは、どの地域にお住まいの方でもガイドチャンネル設定が必要です。

・衛星放送のチャンネルはすでにメモリーしてありますので、ガイドチャンネル設定の必要はありません。

・ＣＡＴＶなどで衛星放送を受信しているときはガイドチャンネル設定が必要です。

（例）横浜市の場合

1より チャンネル表示	2より 放送局名	3より ガイドチャンネル
1	NHK総合	80
3	NHK教育	90
4	日本テレビ	4

下の表に書き込んでください。

	NHK総合	80
	NHK教育	90

1 受信チャンネルを記入する。

1のオートチャンネル設定を行い、あなたのお住まいの地区で受信できるチャンネルをチャンネルボタンで調べて、左の表に記入します。

例えば横浜市なら、本体で受信できるチャンネルは9つだ！

1	3	4	6	8	10	12	16	42

2 放送局名を記入する。

受信できた放送局名を調べて、
左の表に記入します。

3 ガイドチャンネルを記入する。

自分の住んでいる地域のガイドチャンネルを右の一覧表で調べて、左の表に記入します。

4 設定が必要なチャンネルを調べる。

左の表より、チャンネル表示とガイドチャンネルを見比べて、数字が違っている放送局を本体に記憶させます。（右はしページの5参照）

［例］・日本テレビは数字が同じなのでガイドチャンネル設定の必要はありません。
・ＮＨＫ総合とＮＨＫ教育は数字が違っているのでガイドチャンネル設定が必要です。

●詳しい説明は、取扱説明書の 38 ページをご覧ください。

ガイドチャンネル一覧表

地域	放送局名	ガイドチャンネル
全国共通	ＮＨＫ総合	80
全国共通	ＮＨＫ教育	90
全国共通	ＢＳ１	71
全国共通	ＢＳ３	72
全国共通	ＢＳ５　ＷＯＷＯＷ	73
全国共通	ＢＳ７　ＮＨＫ衛星第２	74
全国共通	ＢＳ９	75
全国共通	ＢＳ11　ＮＨＫ衛星第２	76
全国共通	ＢＳ13	77
全国共通	ＢＳ15	78
全国共通	ＣＳ　衛星チャンネル	99

●北海道・東北

地域	放送局名	ガイドチャンネル
北海道	北海道放送（ＨＢＣ）	1
北海道	札幌テレビ（ＳＴＶ）	5
北海道	テレビ北海道（ＴＶＨ）	17
北海道	北海道文化（ＵＨＢ）	27
北海道	北海道テレビ（ＨＴＢ）	35
青森	青森放送（ＲＡＢ）	1
青森	青森朝日（ＡＢＡ）	34
青森	青森テレビ（ＡＴＶ）	38
岩手	岩手放送（ＩＢＣ）	6
岩手	めんこい（ＭＩＴ）	33
岩手	テレビ岩手（ＴＶＩ）	35
秋田	秋田放送（ＡＢＳ）	11
秋田	秋田朝日（ＡＡＢ）	31
秋田	秋田テレビ（ＡＫＴ）	37
宮城	東北放送（ＴＢＣ）	1
宮城	仙台放送（ＯＸ）	12
宮城	東日本放送（ＫＨＢ）	32
宮城	宮城テレビ（ＭＭＴ）	34
山形	山形放送（ＹＢＣ）	10
山形	テレビユー山形（ＴＵＹ）	36
山形	山形テレビ（ＹＴＳ）	38
福島	福島テレビ（ＦＴＶ）	11
福島	テレビユー福島（ＴＵＦ）	31
福島	福島中央（ＦＣＴ）	33
福島	福島放送（ＫＦＢ）	35

●関東・甲信越

地域	放送局名	ガイドチャンネル
関東	日本テレビ（ＮＴＶ）	4
関東	東京放送（ＴＢＳ）	6
関東	フジテレビ（ＣＸ）	8
関東	テレビ朝日（ＡＮＢ）	10
関東	テレビ東京（ＴＸ）	12
関東	放送大学	16
関東	テレビ埼玉（ＴＶＳ）	38
関東	テレビ神奈川（ＴＶＫ）	42
関東	千葉テレビ（ＣＴＣ）	46
関東	群馬テレビ（ＧＴＶ）	48
新潟	新潟放送（ＢＳＮ）	5
新潟	新潟テレビ21（ＮＴ21）	21
新潟	テレビ新潟（ＴＮＮ）	29
新潟	新潟総合（ＮＳＴ）	35
長野	信越放送（ＳＢＣ）	11
長野	長野朝日（ＡＢＮ）	20
長野	テレビ信州（ＴＳＢ）	30
長野	長野放送（ＮＢＳ）	38
山梨	山梨放送（ＹＢＳ）	5
山梨	テレビ山梨（ＵＴＹ）	37

●中部

地域	放送局名	ガイドチャンネル
静岡	静岡放送（ＳＢＳ）	11
静岡	静岡第一（ＳＤＴ）	31
静岡	静岡県民（ＳＫＴ）	33
静岡	テレビ静岡（ＳＵＴ）	35
中京	東海テレビ（ＴＨＫ）	1
中京	中部日本放送（ＣＢＣ）	5
中京	名古屋テレビ（ＮＢＮ）	11
中京	テレビ愛知（ＴＶＡ）	25
中京	三重テレビ（ＭＴＶ）	33
中京	中京テレビ（ＣＴＶ）	35
中京	岐阜放送（ＧＢＳ）	37
富山	北日本放送（ＫＮＢ）	1
富山	テレビユー富山（チューリップ）	32
富山	富山テレビ（Ｔ34）	34
石川	北陸放送（ＭＲＯ）	6
石川	北陸朝日（ＨＡＢ）	25
石川	テレビ金沢（ＫＴＫ）	33
石川	石川テレビ（ＩＴＣ）	37
福井	福井放送（ＦＢＣ）	11
福井	福井テレビ（ＦＴＢ）	39

●関西・中国

地域	放送局名	ガイドチャンネル
関西	毎日放送（ＭＢＳ）	4
関西	朝日放送（ＡＢＣ）	6
関西	関西テレビ（ＫＴＶ）	8
関西	読売テレビ（ＹＴＶ）	10
関西	テレビ大阪（ＴＶＯ）	19
関西	テレビ和歌山（ＷＴＶ）	30
関西	びわ湖放送（ＢＢＣ）	30
関西	近畿放送〔京都テレビ〕（ＫＢＳ）	34
関西	サンテレビ（ＳＵＮ）	36
関西	奈良テレビ（ＴＶＮ）	55
岡山	西日本放送（ＲＮＣ）	9
岡山	山陽放送（ＲＳＫ）	11
岡山	テレビせとうち（ＴＳＣ）	23
岡山	瀬戸内海放送（ＫＳＢ）	33
岡山	岡山放送（ＯＨＫ）	35
広島	中国放送（ＲＣＣ）	4
広島	広島テレビ（ＨＴＶ）	12
広島	テレビ新広島（ＴＳＳ）	31
広島	広島ホーム（ＨＯＭＥ）	35
鳥取・島根	日本海テレビ（ＮＫＴ）	1
鳥取・島根	山陰放送（ＢＳＳ）	10
鳥取・島根	山陰中央（ＴＳＫ）	34
山口	山口放送（ＫＲＹ）	11
山口	テレビ山口（ＴＹＳ）	38

●四国

地域	放送局名	ガイドチャンネル
香川	西日本放送（ＲＮＣ）	9
香川	山陽放送（ＲＳＫ）	11
香川	テレビせとうち（ＴＳＣ）	23
香川	瀬戸内海放送（ＫＳＢ）	33
香川	岡山放送（ＯＨＫ）	35
愛媛	南海放送（ＲＮＢ）	10
愛媛	伊予テレビ（ＩＴＶ）	29
愛媛	愛媛放送（ＥＢＣ）	37
徳島	四国放送（ＪＲＴ）	1
高知	高知放送（ＲＫＣ）	8
高知	テレビ高知（ＫＵＴＶ）	38

●九州

地域	放送局名	ガイドチャンネル
福岡	九州朝日放送（ＫＢＣ）	1
福岡	ＲＫＢ毎日（ＲＫＢ）	4
福岡	テレビ西日本（ＴＮＣ）	9
福岡	ＴＸＮ九州（ＴＶＱ）	19
福岡	福岡放送（ＦＢＳ）	37
大分	大分放送（ＯＢＳ）	5
大分	テレビ大分（ＴＯＳ）	36
佐賀	サガテレビ（ＳＴＳ）	36
長崎	長崎放送（ＮＢＣ）	5
長崎	長崎国際（ＮＩＢ）	25
長崎	長崎文化（ＮＣＣ）	27
長崎	テレビ長崎（ＫＴＮ）	37
熊本	熊本放送（ＲＫＫ）	11
熊本	熊本朝日（ＫＡＢ）	16
熊本	熊本県民（ＫＫＴ）	22
熊本	テレビ熊本（ＴＫＵ）	34
宮崎	宮崎放送（ＭＲＴ）	10
宮崎	テレビ宮崎（ＵＭＫ）	35
鹿児島	南日本放送（ＭＢＣ）	1
鹿児島	鹿児島放送（ＫＫＢ）	32
鹿児島	鹿児島テレビ（ＫＴＳ）	38
沖縄	沖縄テレビ（ＯＴＶ）	8
沖縄	琉球放送（ＲＢＣ）	10

5 本体のガイドチャンネル設定

1 ガイドチャンネルボタンを押す。

テレビ画面

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　1CH
ガイドチャンネル　1

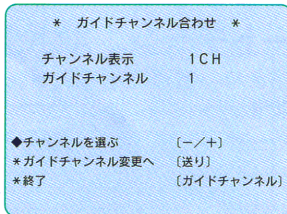
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

2 記憶するチャンネルを選ぶ。

合わせボタンを押す。
（例）
ＮＨＫ教育テレビ
（横浜市）

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　3CH
ガイドチャンネル　3

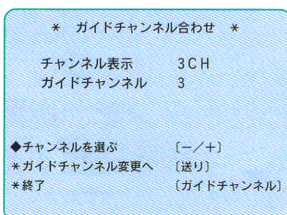
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

3 送りボタンを押す。

4 ガイドチャンネルを入れる。

合わせボタンを押す。

＊ ガイドチャンネル変更 ＊

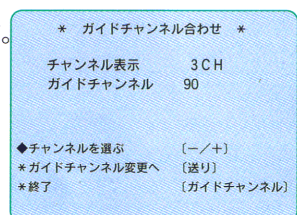
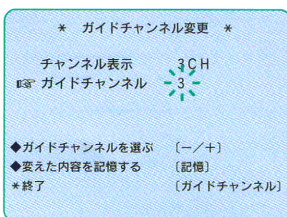
チャンネル表示　3CH
ガイドチャンネル　90

◆ガイドチャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
◆変えた内容を記憶する　〔記憶〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

5 ガイドチャンネルを記憶させる。

記憶ボタンを押す。

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

チャンネル表示　3CH
ガイドチャンネル　90

◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
＊ガイドチャンネル変更へ　〔送り〕
＊終了　〔ガイドチャンネル〕

6 ガイドチャンネル設定を終わる。

ガイドチャンネルボタンを押す。
テレビ画面に戻ります。

●詳しい説明は、取扱説明書の 40 ページをご覧ください。